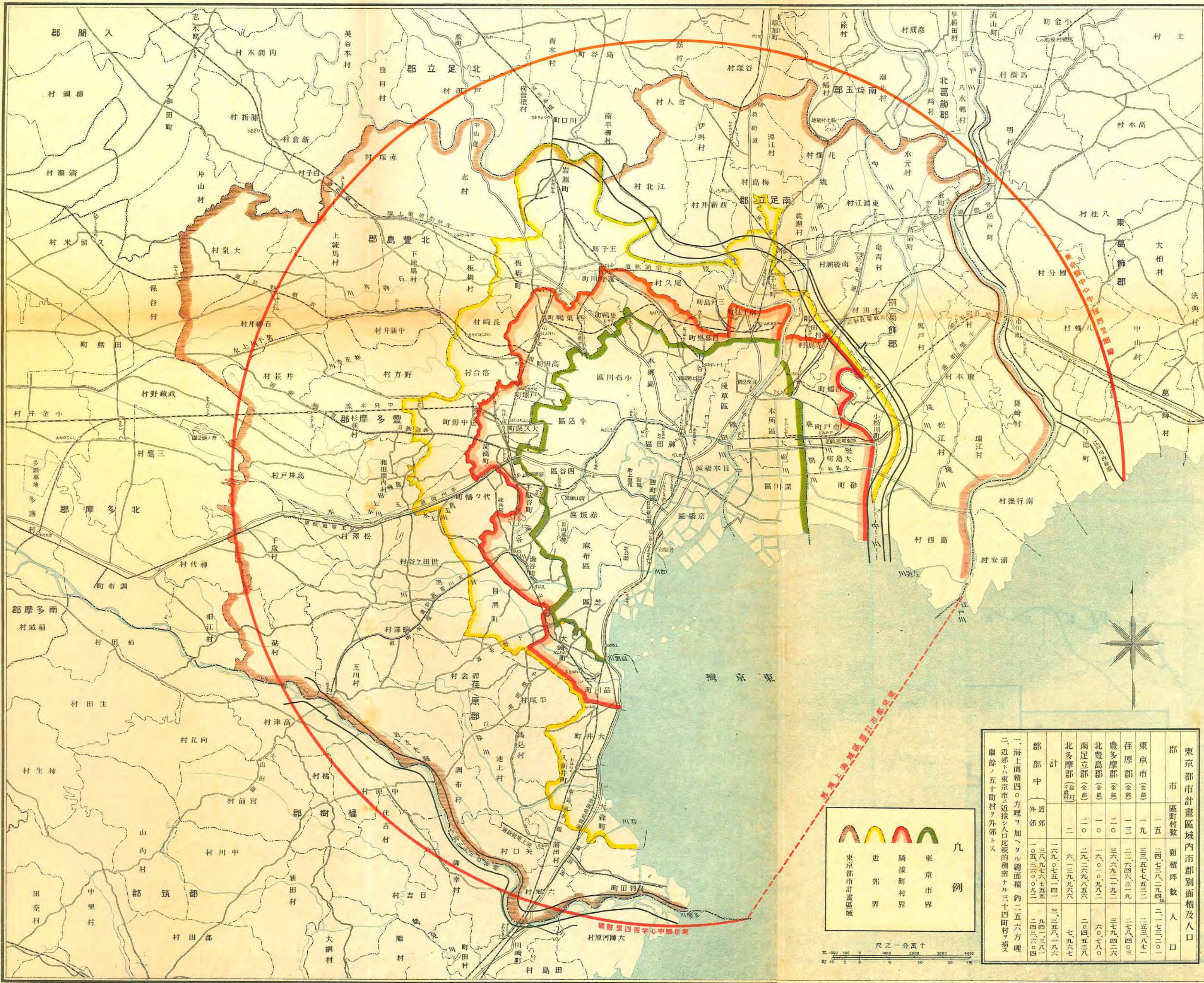
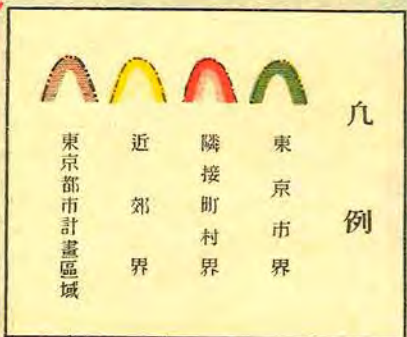


東京都市計畫區區域圖

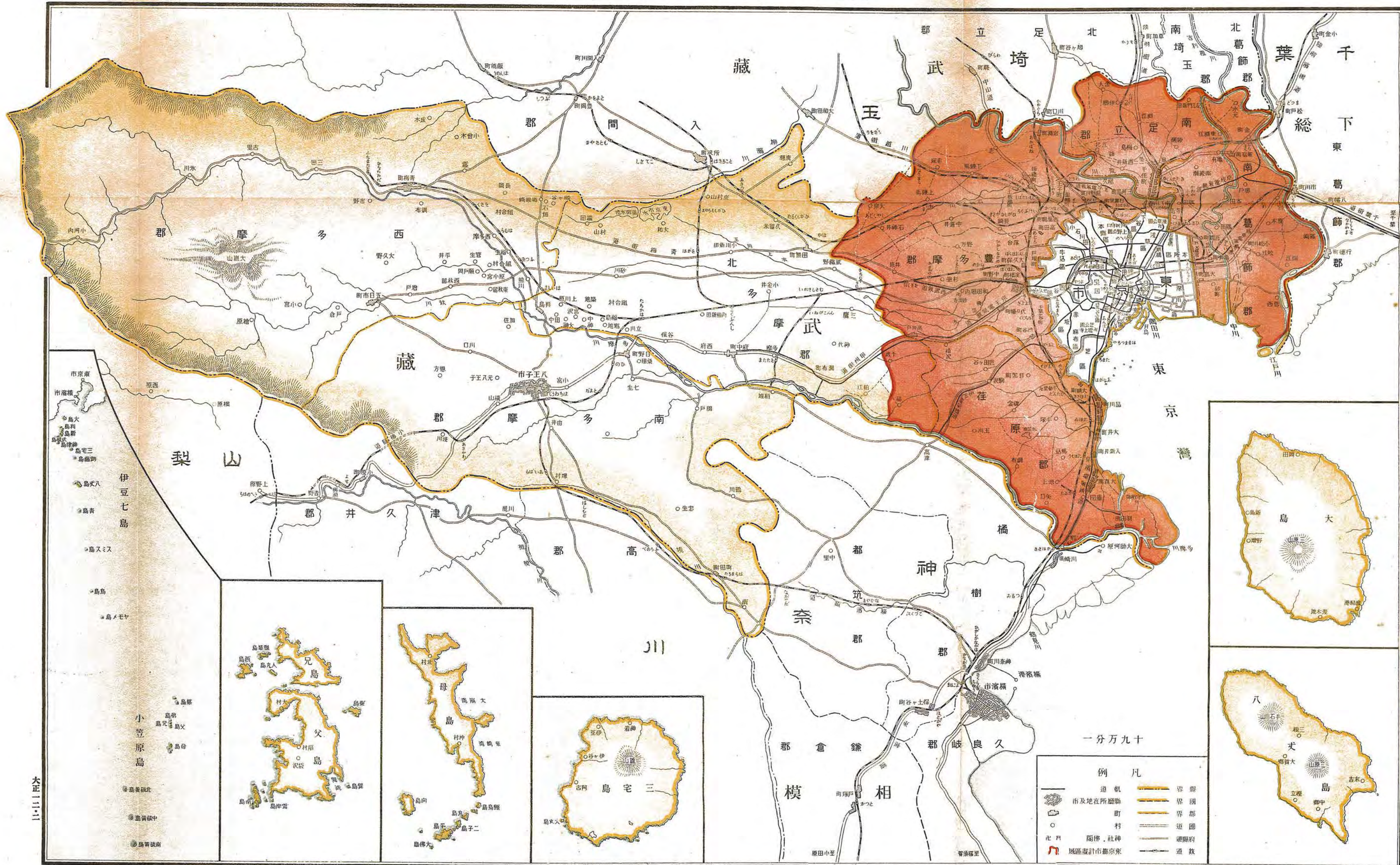


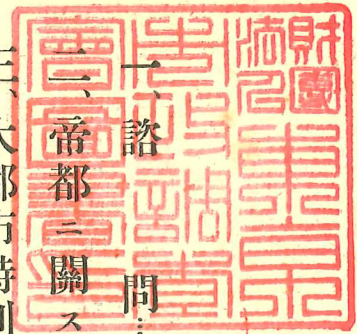
東京都市計畫區域內市郡別面積及人口			
市	郡	面積(平方町)	人口
東京市(全市)		一五、二四七、三八二	二、七三〇、一〇一
在野郡(全市)		一三、三三三、五七五	二、五三七、一七一
北多摩郡(全市)		二〇、三六六、三三九	二、八四〇、三
南多摩郡(全市)		一〇、一六〇、九八二	三、九四六、六
北足立郡(全市)		二九、二六九、八五六	二、四五六、八
北多摩郡(近郊)		一六、一三九、九六六	七、九六七
北多摩郡(遠郊)		一六、〇七五、一四一	三、三五八、一八六
北多摩郡(合計)		三二、二一五、一〇七	一〇、三一二、三七一
北多摩郡(合計)		一〇、五三六、〇九二	二、四三六、〇四
北多摩郡(合計)		二二、六八二、〇九九	一二、七四八、四一



尺之一分萬十
町 10 5 0 10 20 30 40 50

東京府管內圖





目次

一、帝都ニ關スル特別制度調査要項……………	一
二、大都市特別制度問題ノ經過……………	二
三、大都市特別制度問題ノ經過……………	一四
四、各種ノ區域ヲ以テスル東京都勢一覽……………	一九
五、大都市ノ面積人口及密度……………	二一
六、各種ノ區域ヲ以テスル武藏縣勢一覽……………	二三
七、各種ノ區域ヲ以テスル武藏縣ノ地位……………	二五
八、東京都市計畫區域內各市區町村ノ面積戶數人口及密度……………	三三
九、東京都市計畫區域內市町村ノ人口增加率……………	四二
十、東京都市計畫區域內市町村ノ最近十ケ年間人口增加率順位……………	四九
十一、東京都市計畫區域內市町村ノ最近五ケ年間人口增加率順位……………	五一
十二、東京府各市町村ノ負擔狀況……………	五三

十三、大正十二年度東京府稅及東京府各市町村稅稅目別負擔調	六五
十四、各種ノ區域ニ於ケル東京府稅及市町村稅負擔調	七九
十五、東京府市郡二部經濟並三部會制度ノ現狀	八一
十六、東京市ノ區ニ關スル調	一二三
十七、市外ニ設置スル東京市營造物	一五二
十八、三多摩ニ關スル資料	一五七
十九、島嶼ニ關スル資料	一七一
二十、東京府及之ト接續セル各縣ノ狀勢	一八三
二十一、東京都市計畫區域設定理由書	一九七
二十二、東京都制案ノ綱要(大正十一年地方局未定稿)	二〇三
二十三、外國大都市特別制度摘要	二一一
二十四、倫敦地方制度ニ關スル調査	二二五

諮問

東京市ニ關スル現行制度ニ付改正ヲ要ス
 ルモノアリヤ改正ノ必要アリトセハ其ノ
 要綱如何

帝都(以下便宜
都ト稱ス)ニ關スル特別制度調査要項

- 第一項 都ノ區域
- 第二項 都ト東京府トノ關係
- 第三項 都内ニ於ケル國政事務ノ處理方法
- 第四項 都長ノ選任
- 第五項 都ノ議決機關ノ組織
- 第六項 都ノ議決機關ト都長トノ關係
- 第七項 都ノ財政
- 第八項 都ノ監督
- 第九項 區ノ制度

參考書

第一項 都ノ區域

- 一 現在ノ東京市ノ區域ニ依ルモノ
- 二 現在ノ東京市及之ト隣接セル町村ノ區域ニ依ルモノ
- 三 現在ノ東京市及之ト家屋連簷シ市街地ト認メラル町村ノ區域ニ依ルモノ
- 四 現在ノ東京市及之ト家屋連簷シ市街地ト認メラル町村並近キ將來ニ於テ同一ノ狀態ヲ呈スヘシト認メラル町村ノ區域ニ依ルモノ
- 五 東京都市計畫區域ヨリ北多摩郡ニ屬スル部(千歲村及砧村)ヲ除キタル區域ニ依ルモノ
- 六 東京都市計畫區域ニ依ルモノ
- 七 東京府ノ區域ニ依ルモノ

第二項 都ト東京府トノ關係

- 一 東京府ノ一部ノ區域ヲ以テ都ヲ置ク場合都ヲ包括スル東京府ヲ存置スルノ可否
- 二 東京府カ都ヲ包括スル場合東京府ニ於ケル三部經濟ノ制度ヲ改メテ市部事業ヲ行ハサルコトトシ且市部府稅ヲ廢シ所要額ヲ都ニ分賦スルコトトスルノ可否
- 三 東京府ノ一部ノ區域ヲ以テ都ヲ置キ之ヲ府縣ノ外トスル場合
- (一) 東京府ノ殘部處分

- (1) 都ノ區域ヲ前記第一項ノ一又ハニニ依ル場合一縣(以下便宜武藏縣ト稱ス)設置ノ可否
- (2) 都ノ區域ヲ前記第一項ノ三又ハ四ニ依ル場合武藏縣設置又ハ近縣編入ノ可否
- (3) 都ノ區域ヲ前記第一項ノ五又ハ六ニ依ル場合近縣編入ノ可否

(二) 現在ノ東京府ノ事務ノ處理方法

- (1) 府ノ殘部ヲ以テ武藏縣ヲ設置スル場合縣都ニ區分シ難キモノハ縣都組合ヲ設ケテ處理スルノ可否
- (2) 府ノ殘部ヲ近縣ニ編入スル場合地域ニ依リ分別スルノ可否

第三項 都内ニ於ケル國政事務ノ處理方法

都長公吏タル場合現ニ東京府知事及郡長ノ管掌スル事務都及區ノ監督事務ヲ除クノ處理方法(都ノ區域ヲ現在ノ東京市ノ區域ニ依ル場合ハ郡長管掌スル事項ナシ)

- (一) 東京府知事ニ於テ管掌スルノ可否(東京府力都ヲ包括スル場合)
- (二) 全部中央官廳ニ於テ管掌スルノ可否
- (三) 武藏縣知事ニ於テ管掌スルノ可否(都ヲ府縣ノ外トスル場合)
- (四) 特ニ中央官廳ニ引上クルモノヲ除クノ外ハ都長及區長ニ於テ管掌スルノ可否

第四項 都長ノ選任

- 一 官吏トスルノ可否
- 二 都會選舉推薦裁可トスルノ可否
- 三 名譽職ト爲シ得ルノ途ヲ設クルノ可否

第五項 都ノ議決機關ノ組織

一 都會ノ組織

- 議員ノ定數ヲ市會ノ規定ニ準スルノ可否
- 二 都參事會ヲ存置スルノ可否
- 三 都參事會ヲ存置スル場合
 - (一) 都長公吏タル場合官吏ヲ參事會員ニ加フルノ可否
 - (二) 學識經驗アル者ヲ參事會員ニ加フルノ可否

第六項 都ノ議決機關ト都長トノ關係

- 一 議決機關ノ權限ヲ制限列舉スルノ可否
- 二 議決機關ノ權限ヲ概括例示スルノ可否

第七項 都ノ財政

- 一 市街地ト然ラサル地域トノ經濟ヲ分別スルノ可否
- 二 不均一賦課一部賦課及受益者負擔ヲ原則的ニ認ムルノ可否

第八項 都ノ監督

- 一 直接内務大臣ニ於テ監督スルノ可否
- 二 東京府知事ニ於テ監督スルノ可否(東京府カ都ヲ包括スル場合)
- 三 都長ニ委任スル國政事務ハ東京府知事(東京府カ都ヲ包括スル場合)又ハ武藏縣知事(都ヲ府縣ノ外トシ東京府ノ殘部ヲ以テ武藏縣ヲ設置スル場合)ニ於テ之ヲ監督シ都ニ委任スル國政事務及都ノ公共事務ハ直接内務大臣ニ於テ之ヲ監督スルノ可否
- 四 都及都長ニ委任スル國政事務ハ東京府知事(東京府カ都ヲ包括スル場合)又ハ武藏縣知事(都ヲ府縣ノ外トシ東京府ノ殘部ヲ以テ武藏縣ヲ設置スル場合)ニ於テ之ヲ監督シ都ノ公共事務ハ直接内務大臣ニ於テ之ヲ監督スルノ可否

九項 區ノ制度

- 一 區ノ區域
 - (一) 現在ノ東京市ノ區ノ分合ヲ行フノ可否
 - (二) 郊外町村ヲ都ノ區域ニ編入スル場合
 - (1) 各町村ノ區域ニ區ヲ設置スルノ可否
 - (2) 町村ヲ分合シ其ノ區域ニ區ヲ設置スルノ可否
- 二 區ノ事務
 - (一) 區ノ自治權ヲ擴張スルノ可否
 - (二) 區ノ自治權ヲ擴張スル場合
 - (1) 能力ヲ制限列舉スルノ可否
 - (2) 能力ヲ概括例示スルノ可否

- (3) 能力ヲ都條例ニテ定ムルノ可否

三 區長ノ選任

- (一) 都長任命トスルノ可否
- (二) 區會選舉推薦監督官應認可トスルノ可否
- (三) 都長推薦區會決定監督官應認可トスルノ可否

四 區ノ議決機關ノ組織

- (一) 區會ノ組織
 - (1) 都會議員ハ當然區會議員トスルノ可否
 - (2) 選舉資格トシテ都稅ヲ要件トスルノ可否
 - (3) 選舉區ヲ設ケ得ルノ途ヲ開クノ可否
- (二) 區參事會ヲ設置スルノ可否
- (三) 區參事會ヲ設置スル場合區參事會ノ權限ヲ市參事會ノ規定ニ準スルノ可否

五 區ノ議決機關ト區長トノ關係

- (一) 議決機關ノ權限ヲ制限列舉スルノ可否
- (二) 議決機關ノ權限ヲ概括例示スルノ可否

六 區ノ財政

- (一) 區稅ヲ認ムルノ可否
- (二) 區稅ヲ認ムル場合

七

- (1) 直接都税附加税(國稅附加
稅ヲ除ク)ノミヲ認ムルノ可否
- (2) 特別税ヲ認ムルノ可否
- (三) 起債權ヲ認ムルノ可否
- (四) 都ヲシテ資力薄弱區ノ救済ヲ爲サシムルノ可否
- 區ノ監督
- (一) 都長ニ於テ監督スルノ可否
- (二) 事業及課税ニ付都又ハ都長ノ認可ヲ受ケシムルノ可否

大都市特別制度問題ノ經過

帝國議會ニ現ハレタル大都市ノ特別制度ニ關スル
法律案及建議案一覽

法律案又ハ建議案ノ名稱	提出者	提出セラレタル帝國議會	内容	経過
(一)府制法律案	貴族院議員 男爵 渡邊清 外三名	第五議會 (二十六年)	東京、京都、大阪其ノ他勅令ヲ以テ認メタル市街地ヲ府トシ府ニ官吏タル府長ヲ置キ府ノ行政並消防警察ノ事務ヲ行フ	衆議院解散ノ爲議事未了
(二)同上	同上	第六議會 (二十七年)	同上	同上
(三)東京都制案 武藏縣設置法律案東京都及武藏縣連帶支辨費用ニ關スル法律案	政府	第九議會 (二十九年)	東京市ヲ都トシ之ヲ府縣ト對立セシメ郡部ヲ以テ武藏縣ヲ置ク郡部長ハ官選トシ都會ノ權限ハ概括例示ス	貴族院ニ於テ委員附託中政府ヨリ撤回
(四)東京市制案 千代田縣設置法律案	衆議院議員 肥塚龍 外三名	第十議會 (三十年)	東京市ヲ府縣ト對立セシメ郡部ヲ以テ千代田縣ヲ置ク市長ハ公選トシ市會ノ權限ハ概括例示ス	衆議院可決 貴族院否決
(五)東京市ニ關スル法律案	衆議院議員 鳩山和夫 外七名	第十三議會 (三十二年)	東京市ノ公共事務ノミ内務大臣ノ直轄トス	衆議院可決 貴族院否決
(六)同上	同上	第十四議會 (三十三年)	同上	同上
(七)東京都制案 千代田縣設置法律案 東京都千代田縣組合法案	貴族院議員 伯爵 清棲家敦 外四名	第十五議會 (三十四年)	政府提出東京都制案ニ同列舉ス	貴族院可決 衆議院未議了

(八)同上	同上	第十六議會 (三十五年)	貴族院提出東京都制案ニ (案以下都制)	同上
(九)東京市制案	衆議院議員 江間俊一 外十名	第二十二議會 (三十九年)	衆議院提出東京市制案ニ (案以下市制)	衆議院可決 貴族院未議了
(一〇)同上	同上 磯部四郎 外十五名	第二十三議會 (四十年)	同上	同上
(一一)同上	同上	第二十四議會 (四十一年)	同上	衆議院未議了
(一二)同上	同上	第二十五議會 (四十二年)	同上	同上
(一三)同上	衆議院議員 子爵岡部長職 外四名	同上	都制案ニ同シ	衆議院可決 貴族院未議了
(一四)東京市制案	衆議院議員 稻茂登三郎 外十一名	同上	市制案ニ同シ	衆議院可決 貴族院未議了
(一五)東京都制案 外二	貴族院議員 男爵松平正直 外七名	第二十六議會 (四十二年)	都制案ニ同シ	衆議院可決 貴族院未議了
(一六)東京市制案	衆議院議員 稻茂登三郎 外十七名	同上	市制案ニ同シ	衆議院可決 貴族院未議了
(一七)東京市及大阪市ニ關ス ル法律案	同上 尾崎行雄 外四名 福田又六 外六名 (委員會ニ於テニ 案ヲ合セリ)	第二十七議會 (四十四年)	東京大阪ノ兩市ノ公共事 務ノミ内務大臣ノ直接監 督トス	同上 原案ハ東京市ノミナリ シモ委員會ニテ「及大 阪市」ヲ加フ

(一八)東京市特別市制ニ關ス ル建議案	同上 村松恒一郎 外十一名	第四十議會 (大正七年)	東京市ヲ府縣ノ區域外ト シ内務大臣ノ直轄トス	衆議院未議了
(一九)大阪府特別市制ニ關ス ル建議案	衆議院議員 米田穰 外十五名	第四十議會 (大正七年)	大阪府ヲ府縣ノ區域外ト シ内務大臣ノ直轄トス	衆議院未議了
(二〇)東京市ニ關スル法律案	同上 近藤達兒 外七名	第四十一議會 (大正八年)	東京市ヲ府縣ノ區域外ト シ内務大臣ノ直轄トス尙 衛生交通ノ事務ヲ市ニ移ス	同上
(二一)東京市外五大都市特別 市制ニ關スル建議案	同上 鳩山一郎 外十五名 (各市別案)	第四十三議會 (大正九年)	公共事務ノミ内務大臣ノ 直接監督トス	衆議院可決
(二二)特別市制促進ニ關スル 建議案	同上 作間耕逸 外五名	第四十四議會 (大正十年)	促進ノ希望ノミニテ内容 ナシ	衆議院可決
(二三)六大都市特別市制速施 ニ關スル建議案	同上 奥村安太郎 外三名	同上	同上	同上未議了
(二四)區制案	政府	同上	區ノ自治能力ヲ擴張シ獨 立ノ財政權ヲ認ム	衆議院可決 貴族院未議了
(二五)六大都市行政監督ニ關 スル法律案	政府	同上	市ノ公共事務及國政事務 ニ付府縣知事ノ許可又ハ 認可ヲ要スル事件ニ付テ ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ 六大都市ハ之ヲ受ケシメ サルコトヲ得	衆議院可決 貴族院未議了
(二六)同上	同上	第四十五議會 (大正十一年)	同上	兩院可決
(二七)帝都制案 東京府廢止並神奈川縣 界變更ニ關スル法律案	衆議院議員 鳩山一郎 外九名 近藤達兒 外六名 (二案)	第四十六議會 (大正十二年)	大體東京都市計畫區域ヲ 都トシ八王子市及三多摩 郡ヲ神奈川縣ニ編入ス 都長ハ公選トシ都會ノ權 限ハ制限列舉ス	衆議院未議了

(二六)帝都制案 東京府廢止ニ關スル法 律案	同 上	同 上	東京府ノ區域ヲ以テ都ト シ其ノ他同前	同 上
(二九)京都制案 並附屬法案	同 上	同 上	京都市ノ區域ヲ都トシ府 ノ殘部ヲ以テ一府縣ヲ設 置ス都長ハ公選トス	同 上
(三〇)大阪都制案 並附屬法案	(二案) 同 上 赤田瑳一 板野友造 外七名	同 上	同 上	同 上

帝國議會ニ現ハレタル東京市ノ制度ニ關スル
法律案主要事項比較

主 要 事 項	府 縣 案 第 五、六 府 會 議 院 議 員 提 出	都 制 案 第 九 議 會 政 府 提 出	都 制 案 第 十 五、 十六、二十四、二 十五、二十六議 會 貴 族 院 議 員 提 出	東 京 市 制 案 第 十 二、二十三、二 十四、二十五、 二十六議 會 衆 議 院 議 員 提 出	東 京 市 制 案 第 十 三、十四、二 十七議 會 衆 議 院 議 員 提 出	東 京 市 制 案 第 十 四、十一、 十二議 會 衆 議 院 議 員 提 出	帝 都 制 案 第 四 十 六 議 會 衆 議 院 議 員 提 出
區 域	勅令ヲ以テ定ム	東京市	同上	同上	同上	同上	東京市及八十二 町村
府縣トノ關係	府縣ト併立ス	同上	同上	同上	同上	同上	府縣ト併立ス
境界變更ノ手續	勅令ヲ以テ定ム	法律ヲ以テ定ム	同上	同上	同上	同上	行政處分ヲ以テ 定ム
議決機關ノ權限	概括例示	同上	制限列舉	概括例示	同上	同上	制限列舉
首長ノ身分	官吏	同上	同上	市會推薦候補者 シ人中ヨリ勅任 有給吏員トス	同上	同上	都會推薦候補者 三人中ヨリ上奏 裁可有給又ハ名 譽職
區ノ事務	財產及營造物其 他法令ニ依ル委 任事務	同上	同上	同上	同上	同上	都會條例ニ定ムル 公共事務及法令 ニ依ル委任事務
區長ノ身分	府長任命府吏員	都參事會推薦內 務大臣選任	同上	市參事會(市長) 選任內務大臣認 可	同上	同上	都長任命
東京府ノ殘部	武藏縣設置	千代田縣設置	同上	同上	同上	同上	神奈川縣ニ編入
縣都(市)組合ノ 事務	警察費	勅令ヲ以テ定ム	警察及土木費	同上	同上	同上	同上

大都市特別制度問題ノ經過

一 特別市制 地方自治制度創始ノ際ハ町村ノ制度トシテ町村制、一般都市ノ制度トシテ市制、東京、京都及大阪ノ三大都市ノ制度トシテ特別市制ヲ編成スル計畫ナリシモ中途ニ於テ其ノ方針ヲ更メ都市ニハ大小ノ別ナク一律ニ市制ヲ施行スルコトト爲シタリ然ルニ元老院ハ之ヲ不可トシ激烈ニ反對シタル爲再度閣議ヲ變更シ當初ノ方針ニ從ヒ三大都市ノ制度トシテ特別市制ヲ編成シ明治二十三年ヨリ之ヲ實施セリ

然ルニ所謂特別市制ハ佛國巴里ノ制度ニ倣ヒタルモノニシテ市ニハ市長、助役、收入役、書記其ノ他ノ附屬員ヲ置カス市長ノ職務ハ府知事、助役ノ職務ハ書記官、收入役書記其ノ他ノ附屬員ノ職務ハ府廳ノ官吏之ヲ行フモノナルカ故ニ自治權侵害論喧シク衆議院ハ殆ト毎議會之カ撤廢ヲ議決シ第十二議會(明治三十一年)ニ於テ遂ニ貴衆兩院及政府ノ意見一致シ明治三十一年九月三十日限り之ヲ廢止シ三大都市ニモ一般都市ト同シク市制ヲ施行スルコトセリ

二 府制法律案 之ヨリ先特別市制ノ改正案トシテ第五及第六議會(明治二十六年)ニ於テ貴族院議員ヨリ府制法律案ヲ提出シタルモ兩度共衆議院ノ解散ノ爲未議了トナレリ而シテ本案ハ東京、京都、大阪及其ノ他特ニ勅令ヲ以テ府ト認メタル市街地ニ施行スヘキ制度トシテ提案セラレタルモノニシテ府長ハ官選トシ府ノ行政及警察、消防、監獄ノ事務ヲ指揮監督スルモノトス從テ帝都ニ於テハ警視廳ヲ廢シ警察權ヲ府長ノ統轄ノ下ニ歸セシムルモノトス

三 政府提出東京都制案 次テ第九議會(明治二十九年)ニ於テ政府ヨリ東京都制案ヲ貴族院ニ提出シタルカ本案ハ東京市ニ對スル特別市制ノ改正案ニシテ(一)從來ノ東京市ノ區域ヲ以テ都ヲ置キ(二)都ハ府縣ノ區域ニ屬セス(三)都長ハ之ヲ官選トシ(四)都會ノ權限ハ之ヲ概括例示シ(五)東京府ノ郡部ヲ以テ武藏縣ヲ置キ(六)東京都及武藏縣ニ於ケル警察費ヲ共同負擔スル爲東京都武藏縣聯帶費用評議員會ヲ置クモノナリシカ之ニ對シテハ(一)都ノ行政機關ニ官選分子ヲ入ルルコト多ク自治制度

ノ趣旨ニ反ス(二)武藏縣ノ警察權ヲ警視總監ニ統一スルトキハ縣知事ノ權力ハ甚タ縮少スルカ故ニ不可ナリ(三)武藏縣タル東京府郡部ノ負擔ニ影響ヲ及ホスコト大ナリトテ反對喧擾ヲ極メタルカ政府ハ貴族院委員會附託中ニ之ヲ撤回セリ

四 特別市制廢止後ニ於ケル狀態 特別市制ヲ廢止シタルハ大都市ヲ一般都市ト同等ニ處遇セムトスルノ趣意ニ出テタルモノニアラスシテ更ニ完全ナル特別制度ヲ制定スル迄ノ暫定的措置ニ外ナラザリシヲ以テ第十三議會(明治三十二年)以來衆議院ハ東京市制又ハ東京市ニ關スル法律ヲ、貴族院ハ東京都制ヲ立案シ互ニ主義主張ヲ異ニシ相爭フコト多年孰レモ其ノ主張ヲ讓ラス特別制度ノ問題ハ殆ト行キ詰マレルカノ如キ感アルニ至レリ

五 衆議院ノ東京市制案ト東京市ニ關スル法律案 東京市制案ハ(一)東京市ヲ府縣ノ外ニ置キ(二)市長ハ之ヲ公選トシ(三)市會ノ權限ハ之ヲ概括例示シ(四)東京府ノ郡部ヲ以テ千代田縣ヲ置キ(五)東京市ト千代田縣トノ聯帶經費ヲ處理スル爲東京市及千代田縣聯帶經費聯合會ヲ置クモノニシテ又東京市ニ關ズル法律案ハ單ニ市制中市ノ公共事務ニ關スルニ重監督ヲ撤廢スルモノナルヲ以テ兩法案ハ(一)市長ヲ公選トシ(二)市會ノ權限ヲ概括例示スル點ハ同様ナルモノハ市ヲ府縣ノ外ニ置キ他ハ之ヲ東京府ノ内ニ存スルノ差アリ此ノ兩案共ニ二重監督ノ撤廢ヲ主眼トセリ而シテ二重監督ノ撤廢ニ付テモ撤廢スヘキ監督ノ範圍ハ市ヲ府縣ノ外ニ置クト否トニ依リ異ナル即市ヲ府縣ノ外ニ置クトキハ市ノ公共事務、市ニ委任スル國政事務及市長ニ委任スル國政事務ノ全般ニ涉ルモ市ヲ東京府ノ内ニ存スルトキハ單ニ公共事務ノミニ限レリ然レトモ市ヲ府縣ノ内ニ存シツツ二重監督ヲ撤廢スル制度ニ對シテハ(一)公共事務ト國政事務トヲ區別スルコトハ困難ナルノミナラス兩者ハ互ニ關聯セルコト多キカ故ニ其ノ監督者ヲ異ニスルハ實際上不便ナリ(二)府市ノ間自治事務ノ衝突競合ヲ來スノ弊ヲ助長ス(三)行政組織ヲ紊ル等ノ批難アリ

六 貴族院ノ東京都制案ト衆議院ノ東京市制案 東京都制案ハ(一)從來ノ東京市ヲ都ト爲シ(二)都ハ之ヲ府縣ノ外ニ置キ(三)都長ハ之ヲ官選トシ(四)都會ノ權限ハ之ヲ制限列舉シ(五)東京府ノ郡部ヲ以テ千代田縣ヲ置キ(六)都縣ノ共同事務

ヲ處理スル爲都縣組合ヲ設クルモノナルカ故ニ都制案ト市制案トハ(一)從來ノ東京市ノ區域ヲ變更セサルコト(二)都又ハ市ヲ府縣ノ外ニ置キ(三)東京府ノ郡部ヲ以テ一縣ヲ置キ(四)都又ハ市ト縣トノ共通事務ヲ處理スル爲組合又ハ聯合會ヲ設クル點ハ同様ナルモ(一)首長ノ身分(二)議決機關ノ權限ヲ異ニス而シテ都制案ト市制案トヲ通シ(一)品川、淀橋、千住、板橋、小松川等ノ市ト軒ヲ連ネタル郊外地ヲ市ト區別スルハ不便ナリ(二)府市ヲ分離スルハ從來ノ沿革並共同ノ利害ヲ無視スルモノニシテ將來聯帶事業ノ經營ヲ困難ナラシムヘシトノ批難アリ又都制案ニ對シテハ(一)都長ヲ官選トシ都會ノ權限ヲ制限スルハ自治ノ精神ニ反ス(二)警察事務ヲ司ル爲ニハ警視總監アリ徵稅ニハ稅務署長アリ其ノ他ノ國政事務ニシテ府知事ニ屬スルモノカ都長ニ移ルニ過キサルヲ以テ都長カ多數ノ國ノ事務ヲ取扱フノ故ヲ以テ官吏ト爲ササルヘカサル理由ナシ(三)制度ノ權衡上都長ヲ官吏トスヘシト謂フハ餘リニ形式論ナリトノ批難アリ又市制案ニ對シテハ(一)大都市ノ市會ヲ以テ一切ノ事件ノ議決機關ト爲スハ弊害アリ(二)都長ノ掌ル事務ノ分量ハ自治事務ヨリモ國政事務多キヲ占ムルニ至ルヘキヲ以テ多數ノ事務ヲ取扱フ所ヨリ適當ノ人物ヲ選ムカ當然ナリ(三)市ヲ府縣ト同位ニ置ク結果市長ハ知事ト普通ノ市長トヲ併セタルモノナルヲ以テ制度上將行政ノ必要上國ノ直接任免スル地方官廳ナキハ不可ナルカ故ニ市長ハ官選ト爲ササルヘカラストノ批難アリ

七

市制ノ改正 斯クノ如クニシテ第二十七議會(明治十四年)ニ至リ市制町村制ノ改正ニ際會シタルモ政府ハ議會ニ於テ東京市ノ如キ大都市ニ對シ特別制度ヲ施行スルコトハ相當理由アルモ未タ何レノ方面ニモ滿足スヘキ成案ヲ得ス而モ市ノ制度ハ一日モ之ヲ緩ウスヘカラサルカ故ニ先ツ改正市制ヲ施行シ東京市モ亦之ニ依リ其ノ最善ヲ計ラムトス從テ現在ニ於テハ特別市制ノ案ナシ但シ將來其ノ機到來セハ別問題ナリトノ答辯ヲ爲セリ斯クテ特別制度ノ問題ハ第二十七議會(明治十四年)ノ限リトシ一時議會ヨリ其ノ影ヲ潛ムルニ至レリ

八

第四十議會以來ノ狀勢 然ルニ第四十議會(大正七年)以來再ヒ衆議院ヨリ或ハ建議トナリ或ハ法律案トナリテ其ノ姿ヲ現ハ

スニ至レリ然レトモ其ノ制度ノ内容ハ舊時ノ東京市制案又ハ東京市ニ關スル法律案ト大差ナク專ラ二重監督ノ撤廢ヲ主眼トセリ

九 區制案

而シテ第四十四議會(大正十年)ニ於テハ特別制度其ノモノニアラサリシモ政府ヨリ區制案ヲ提出シ衆議院ノ可決ヲ

經タルモ貴族院ニ於テ未議了トナレリ而シテ本案ハ大都市ニ於ケル區ノ自治權ヲ擴張シ區ヲシテ廣ク區内ノ公共事務ヲ處理スルノ能力ヲ認メ以テ大都市カ遍ク全市ニ徹底スル行政ヲ行フ能ハサルノ弊ヲ除カムトスルモノナリ

十

地方局未定稿東京都制案 特別制度ノ問題ハ政府トシテハ第九議會(明治十九年)ニ於テ東京都制案ヲ貴族院ニ提出シタル以來

ノ懸案ナルヲ以テ爾來之カ完成ニ努メタルモ各方面ヲ滿足スヘキ成案ヲ得ルニ至ラス然ルニ大都市發展ノ狀勢ハ特別制度ノ完成ヲ促スコト急ニシテ之カ遷延ヲ許ササルニ至リシカハ大正十一年地方局ニ於テ東京都制ノ未定稿ヲ第四十五議會(大正十一年)ニ於ケル六大都市行政監督ニ關スル法律案ヲ委員ニ配布シ其ノ後關係府市ニ送付シ或ハ新聞紙ニ發表シタルモ未タ

內務省ノ議ヲ經ルニ至ラス尙各種ノ點ニ付一段ノ調査研究ヲ遂ケサルヘカラサルモノアリ更ニ調査ヲ進ムルコトトセリ而シテ本案ハ(一)從來ノ東京市ノ區域ヲ以テ都ト爲シ(二)都長ハ之ヲ公選トシ(三)都會ノ權限ハ之ヲ概括例示シ(四)區ノ自治權ヲ擴張シ(五)東京府ノ殘部ヲ以テ武藏縣ヲ置キ(六)縣都ノ共通事務ヲ處理スル爲縣都組合ヲ設クルモノトス

十一

六大都市行政監督ニ關スル法律 衆議院ハ前記ノ如ク從來二重監督ノ撤廢ヲ特別制度ノ主眼ト爲シタルカ大正十一年六大都市行政監督ニ關スル法律ヲ制定シ府縣知事ノ許可又ハ認可ヲ要スル事件ニ付テハ勅令ノ定ムル所ニ依リ其ノ許可又ハ認可ヲ受ケシメサルコトヲ得ルノ途ヲ開キ大正十一年之カ施行ノ勅令公布セラレタリ

十二

第四十六議會ノ都制案 斯クテ第四十六議會(大正十二年)ニ於テ衆議院議員ノ提出シタル三大都市ニ關スル都制七案ハ孰レモ府市ヲ分離シ就中東京市ニ關スル三案ハ孰レモ市ノ區域ノ擴張ヲ試ミ議決機關ノ權限ヲ制限列舉シ區ノ自治權ヲ擴張スル等從來ノ衆議院案ニ比シ甚タシキ變化ヲ來セリ

十三 特別制度ヲ施行スヘキ都市 特別市制ハ當初東京、京都、及大阪ノ三大都市ノ制度トシテ編成セラレ第五及第六議會
(明治二十六年)ニ於テ貴族院議員ノ提出シタル府制モ亦主トシテ三大都市ノ制度トシテ提案セラレタルモ第九議會(明治二
十九年)ニ於テ政府カ東京都制案ヲ貴族院ニ提出シタル以來第二十七議會(明治四十四年)迄ハ特別制度ハ專ラ東京市ノ問題トシテ攻究セラレ
第四十議會(大正七年)以降ニ於テハ或時ハ東京市、或時ハ東京、大阪ノ兩市或時ハ東京、京都、大阪ノ三大都市或時ハ六大都
市ノ問題トナルニ至レリ

十四 臨時大都市制度調査會ノ設置 特別制度ノ問題ハ斯クノ如ク多年ニ瀰ル懸案ナルニ拘ラス未タ之カ解決ヲ見サル所以
ノモノハ畢竟行政組織ノ一大變革ニシテ其ノ關係スル所重大且廣汎ナルト從來政府並貴衆兩院各其ノ意見ヲ異ニシタルカ
故ニ外ナラサルヲ以テ之カ根本問題ヲ解決シ速ニ制度ノ確立ヲ期スル爲今回臨時大都市制度調査會ノ設置ヲ見ルニ至レリ

各種ノ區域ヲ以テスル東京都勢一覽

種別	現在ノ區域	東京市及其ノ隣接町村區域	東京市及近郊町村ノ區域	東京都市計畫區域	東京府ノ區域
面積	三、六六六	五四、七五	八三、九三	二五、九六	八三、二九七
戶數	四、五、八二〇	六〇〇、四七七	六六五、六四六	七〇八、四四一	七七一、六六六
人口	二、一七三、二〇一	二、八二五、一九五	三、一一四、五八二	三、三三八、一八六	三、六九九、四八八
人口平方哩	六八、五五四	五一、四〇五	三七、五五五	一五、五五〇	四、四九三
十年間ノ增加率	・二九九	・四三三	・四七三	・四九	・四〇
五年間ノ增加率	・〇六〇	・一五〇	・一八〇	・一七五	・一六一
市町村數	一	一九	三五	八五	一九〇
直接國稅	六五、一六四、一五二	七二、〇六七、八九四	七五、八五三、二四二	七六、四七七、八六一	七七、三五三、九八三
同一戶當	一四三、六四七	一八、三三四	一一三、九五四	一〇七、八六七	一〇〇、二四八
東京府稅	一〇、五八三、〇〇三	一三、二九一、三〇五	一四、七三三、二五八	一五、六九二、八六四	一六、六五八、八〇二
同一戶當	三三、一六六	二三、三三四	三三、一〇三	三三、二五二	二二、五九九
市町村稅	二三、三七、四四五	二六、九五、二六	二八、八〇八、八六	三〇、二〇九、二五六	三三、〇九六、二八五
同一戶當	五、一五二	四、九五六	四三、二七九	四二、六四一	四一、五九五
家屋稅附加稅及戶數割附加稅	五、〇二七、七九八	七〇四五、〇九九	八、二二七、七八三	九、〇七四、八六〇	一〇、三三、四六一

同 一 戸 當	11,006 ^坪	11,764	11,345	11,809	11,247
---------	---------------------	--------	--------	--------	--------

二〇 (111)

備考

- 一 戸數及人口ハ國勢調査ニ依ル世帶數及人口ナリ
- 二 十年間ノ人口増加率ハ明治四十四年末ヨリ大正十年末ニ至ル間、五年間ノ人口増加率ハ大正五年末ヨリ大正十年末ニ至ル間ノ増加率ナリ
- 三 直接國稅ハ大正十年度ノ調定額ナリ
- 四 東京府稅、市町村稅及家屋稅附加稅及戸數割附加稅ハ大正十一年度ノ豫算額ナリ
- 五 戸數割附加稅中ニハ島嶼町村ノ戸數割ヲ含ム

大都市ノ面積人口及密度

都 市	面 積	人 口	密 度 (一平方哩當)
東 京 市	31.7 ^{平方哩}	2,173,201	68,564
隣接町東京市加	52.8	2,815,195	53,280
近郊町東京市加	82.9	3,114,582	37,555
都市計畫區域	216.0	3,358,186	15,550
東 京 府 市	823.3	3,699,428	4,493
京 都 市	23.2	591,323	25,488
大 阪 市	22.6	1,252,938	55,442
横 濱 市	10.2	422,938	41,464
神 戸 市	23.7	608,644	25,681
名古屋 市	57.2	608,127	10,631
大 倫 敦	692.9	7,461,168	10,768
倫敦 行政縣	116.9	4,483,249	38,334
伯 林 市	339.0	3,804,048	11,215
巴 里 市	30.9	2,906,472	94,060

紐育市	二八六・八	五、六二〇、〇四八	一九、五九六
市俄古市	一九二・四	二、七〇一、七〇五	一四、〇四二
華盛頓市	六〇・〇	四三七、五七一	七、二九二

備考 人口ハ大倫敦、倫敦行政縣、巴里市ハ一九二二年、紐育、市俄古ハ一九二〇年、伯林市ハ一九一九年ノ調査、内地ハ國勢調査ニ依ル

各種ノ區域ヲ以テスル武藏縣勢一覽

種別	現在ノ東京市域 <small>除キタル區域</small>	東京市及其ノ隣接町村ヲ除キタル區域	東京市及近郊町村ヲ除キタル區域	東京都市計劃區域 <small>除キタル區域</small>	(參考) 島嶼
面積	七九・六〇一 <small>平方哩</small>	七六・五三	七四〇・三六四	六〇七・三三六	一五・四六
戶數	三四、八〇六	一七一、四九	一〇五、九八〇	六三、一八五	八、〇七九
人口	一、五八、三七八	八八四、三三	五九四、八四六	三四、二四三	三三、一〇六
郡役所及島廳數	一一	一一	一一	六	三
市數	一	一	一	一	一
町村數	一八	一七〇	一五四	一〇四	二九
直接國稅	二二、一八九、八三三	六、二八六、〇八九	一、五〇六、七四一	九六、一三三	一、七四九
同一戶當	三八、七二一	三八、七八	一四、一六〇	一四、八五一	二二六
東京府稅	六、〇七五、七九九	三、三六七、四九七	一、九四五、五四六	九六五、九三八	—
同一戶當	一九、三〇〇	一九、六七五	一八、三五七	一五、二八七	—
市町村稅	八、七八、八五〇	五、一〇一、二一九	三、二八七、四六九	一、八八七、〇三九	一六、八五九
同一戶當	二七、七七	二九、八〇五	三一、〇一九	三一、〇七〇	二〇、六五三
家屋稅附加稅及戶數割附加稅	五、一九四、六六三	三、一七、三六二	二、〇〇四、六七八	一、一四七、六〇一	六六、八七六
同一戶當	一六、五〇一	一八、五五四	一八、九一五	一八、一六三	八、二七七

備考

- 一 戸數及人口ハ國勢調査ニ依ル世帶數及人口ナリ
- 二 直接國稅ハ大正十年度ノ調定額ナリ
- 三 東京府稅、市町村稅、家屋稅附加稅及戸數割附加稅ハ大正十一年度ノ豫算ナリ
- 四 戸數割附加稅中ニハ島嶼町村ノ戸數割ヲ含ム

各種ノ區域ヲ以テスル武藏縣ノ地位

一、東京市ヲ除キタル東京府ノ殘部

種	別	順	位	備	考
面	積	七九、六〇二 ^{方哩}	第四十五位	武藏縣ヨリモ面積狹小ナル府縣 大阪、香川	
人	口	一、五三六、三七八 ^人	第十位	武藏縣ヨリモ人口ノ多キ府縣 北海道、兵庫、新潟、愛知、静岡、長野、廣島、福岡、大阪	
戸	數	三四、八〇六 ^戸	第八位	武藏縣ヨリモ戸數ノ多キ府縣 北海道、兵庫、大阪、新潟、愛知、廣島、福岡	
郡役所及島廳數		二	第二十三位	郡役所及島廳數十一以上ノ府縣 北海道、京都、新潟、千葉、茨城、三重、愛知、静岡、滋賀、岐阜、長野、宮城、福島、巖手、島根、岡山、廣島、愛媛、福岡、大分、熊本、鹿児島	
市	數	一		市ノナキ府縣 宮崎	
町村	數	一八	第三十七位	町村數百八十八以下ノ府縣 長崎、栃木、奈良、青森、福井、徳島、香川、佐賀、宮崎、鹿児島	
直接國稅	三、一八九、八三三 ^円	第六位		武藏縣ヨリモ直接國稅額ノ多キ府縣 大阪、神奈川、兵庫、愛知、福岡	
府縣稅	六、〇七五、七九 ^円	第六位		武藏縣ヨリモ府縣稅額ノ多キ府縣 大阪、兵庫、新潟、愛知、福岡	

種	別	順位	備考
家屋税附加税及戸數割附加税	五、二四、六三 ^四	第十一位	武藏縣ヨリモ家屋税附加税及戸數割附加税額ノ多キ府縣 北海道、京都、大阪、兵庫、新潟、愛知、長野、廣島、福岡、鹿児島
市町村税	八、七六、八五 ^四	第十一位	武藏縣ヨリモ市町村税額ノ多キ府縣 北海道、京都、大阪、兵庫、神奈川、新潟、愛知、長野、廣島、福岡
市町村費	一三、三四、〇五 ^四	第十一位	武藏縣ヨリモ市町村費ノ多キ府縣 北海道、京都、大阪、神奈川、兵庫、新潟、愛知、長野、石川、福岡

備考

- 一 順位ハ府縣(北海道ヲ含ム)トノ比較ナリ
- 二 戸數及人口ハ國勢調査ニ依ル世帯數及人口ナリ
- 三 直接國税ハ大正十年度ノ調定額ナリ
- 四 府税、市町村税、家屋税附加税及戸數割附加税並市町村費ハ大正十一年度ノ豫算ナリ
- 五 家屋税附加税及戸數割附加税中ニハ市町村税家屋税及戸數割ヲ含ム

二、東京市及隣接十八箇町村ヲ除キタル殘部

種	別	順位	備考
面積	五、六、五三 ^方	第四十五位	武藏縣ヨリモ小ナル府縣 大阪、香川
人口	八四、三三 ^人	第二十九位	武藏縣ヨリモ人口ノ少ナキ府縣 奈良、山梨、滋賀、巖手、青森、福井、石川、富山、鳥取、島根、和歌山、徳島、香川、高知、大分、佐賀、宮崎、沖縄
戸數	一七、一〇九 ^戸	第二十七位	武藏縣ヨリモ戸數ノ多キ府縣 北海道、京都、大阪、神奈川、兵庫、長崎、新潟、埼玉、群馬、千葉、茨城、栃木、三重、愛知、静岡、岐阜、岐阜、長野、福島、岡山、廣島、山口、愛媛、福岡、大分、熊本、鹿児島
郡役所及島廳數	二	第二十三位	第一表ト同一ニ付略ス
市數	一		第一表ト同一ニ付略ス
町村數	一七〇	第四十位	町村數百七十以下ノ府縣 奈良、青森、徳島、佐賀、宮崎、鹿児島、沖縄
直接國税	六、二六、〇八 ^九	第九位	武藏縣ヨリモ直接國税額ノ多キ府縣 北海道、京都、大阪、神奈川、兵庫、新潟、愛知、福岡
府縣税	三、三七、四七 ^七	第二十六位	武藏縣ヨリモ府縣税額ノ多キ府縣 北海道、京都、大阪、神奈川、兵庫、新潟、埼玉、千葉、茨城、栃木、三重、愛知、静岡、岐阜、岐阜、長野、福島、山形、石川、富山、岡山、廣島、山口、愛媛、福岡、熊本

種	別	順	位	備	考
家屋税附加税及戸數割附加税	三七、三三 ^四	第三十一位		武藏縣ヨリモ家屋税附加税及戸數割附加税額ノ多キ府縣 北海道、京都、大阪、神奈川、兵庫、長崎、新潟、埼玉、群馬、千葉、茨城、三重、愛知、静岡、岐阜、長野、富山、山形、秋田、石川、鳥取、岡山、廣島、山口、愛媛、福岡、大分、熊本、鹿兒島	
市町村税	五、一〇、一一 ^四	第三十一位		武藏縣ヨリモ市町村税額ノ少ナキ府縣 枋木、奈良、山梨、滋賀、巖手、青森、福井、富山、鳥取、和歌山、徳島、香川、高知、佐賀、宮崎、沖繩	
市町村費	七、二九、〇一 ^四	第二十六位		武藏縣ヨリモ市町村費ノ少ナキ府縣 群馬、枋木、奈良、山梨、滋賀、巖手、青森、福井、秋田、富山、鳥取、島根、山口、和歌山、徳島、香川、高知、大分、佐賀、宮崎、沖繩	

備考 前表ニ同シ

三、東京市及近郊町村ヲ除キタル殘部

種	別	順	位	備	考
面積	五〇、三六 ^{方哩}	第四十五位		武藏縣ヨリモ狭小ナル府縣 大阪、香川	
人口	五四、八四 ^人	第四十三位		武藏縣ヨリモ人口ノ少ナキ府縣 奈良、山梨、鳥取、沖繩	
戸數	一〇五、九八 ^戸	第四十六位		武藏縣ヨリモ戸數ノ少ナキ府縣 鳥取	
郡役所及島廳數	二	第二十三位		第一表ト同一ニ付略ス	
市數	一			第一表ト同一ニ付略ス	
町村數	一五	第四十一位		町村數百五十四以下ノ府縣 奈良、徳島、佐賀、宮崎、鹿兒島、沖繩	
直接國稅	一、五〇、七二 ^円	第四十六位		武藏縣ヨリモ直接國稅額ノ少ナキ府縣 沖繩	
府縣稅	一、九四、五四 ^円	第四十五位		武藏縣ヨリモ府縣稅額ノ少ナキ府縣 鳥取、沖繩	
家屋税附加税及戸數割附加税	二、〇四、六八 ^円	第四十三位		武藏縣ヨリモ家屋税附加税及戸數割附加税額ノ少ナキ府縣 山梨、鳥取、高知、沖繩	

種	別	順	位	備	考
市町村税	三、二七、四九 ^四	第四十三位		武藏縣ヨリモ市町村税額ノ少ナキ府縣 山梨、鳥取、高知、沖繩	
市町村費	四、四八、三〇 ^四	第四十五位		武藏縣ヨリモ市町村費ノ少ナキ府縣 山梨、沖繩	

備考 前表ニ同シ

四、東京都市計畫區域ヲ除キタル殘部

種	別	順	位	備	考
面積	六〇七、三六 ^{方哩}	第四十七位		各府縣ニ比シ最小	
人口	三、四二、四三 ^八	第四十七位		各府縣ニ比シ最少	
戸數	六三、一八五 ^戸	第四十七位		各府縣ニ比シ最少	
郡役所及島廳數	六	第四十五位		郡役所及島廳數六以下ノ府縣 鳥取、沖繩	
市數	一			第一表ト同一ニ付略ス	
町村數	一〇四	第四十五位		町村數百四以下ノ府縣 宮崎、沖繩	
直接國稅	九六、一三 ^四	第四十六位		武藏縣ヨリモ直接國稅額ノ少ナキ府縣 沖繩	
府縣稅	九六、九六 ^四	第四十六位		武藏縣ヨリモ府縣稅額ノ少ナキ府縣 沖繩	
家屋稅附加稅及戸數割附加稅	一、一四七、六〇 ^四	第四十七位		各府縣ニ比シ最少	

市町村税	一、八七、〇三 ^四 元	第四十七位	各府縣ニ比シ最少
市町村費	二、四六、四六 ^四 元	第四十七位	各府縣ニ比シ最少

備考 前表ニ同シ

東京都市計畫區域内各市區町村ノ面積、戶數、人口及密度

東京市 (十五區)				
區名	面積	戶數	人口	一平方哩人口密度
麴町區	三、一九一 ^{平方哩}	二、五九九 ^戶	六五、六九三 ^人	二〇、五七 ^人
神田區	一、一九八	二八、九七一	一五、九九〇	二六、八七〇
日本橋區	一、二九七	二二、一九九	二六、四一五	一〇五、六一〇
京橋區	二、〇五五	二九、七六〇	一四三、三九七	六九、七八〇
芝區	三、六五一	三六、八四九	一七九、二二四	四九、〇八六
麻布區	一、五〇三	一八、八八六	八八、五五八	五九、九三二
赤坂區	一、六五三	一一、五〇五	六二、二三三	三七、六四八
四谷區	一、二四五	一五、五〇〇	七〇、二二七	五五、三九九
牛込區	二、〇〇四	二五、七九三	二六、二八二	六三、〇一五
小石川區	二、四八六	三一、六九五	一四六、五〇七	五八、九三三
本郷區	一、八三八	二七、一七七	一三五、五七三	七三、七六一
下谷區	一、九一九	四三、三三九	一八三、一八六	九五、四九九
淺草區	二、〇三五	五九、三七〇	二五六、四一〇	一三六、六三三

區名	面積	積戶	數人	口	一平方哩人口密度
本所區	二・五〇八 ^{平方哩}	五〇、九四 ^戸	二、五、二六九 ^人	一〇三、一八一 ^人	
深川區	三・三三三	四〇、一九一	一八、二五九	五、三三九	
計	三・六六六	四、八、八〇〇	二、一七、一〇一	六八、五五四	
荏原郡 (十九箇町村)					
町村名	面積	積戶	數人	口	一平方哩人口密度
品川町	一・〇三六 ^{平方哩}	九、〇四四 ^戸	四、〇五九 ^人	三九、六三二 ^人	
大森町	一・三〇八	三、七七一	一九、五〇一	一四、九〇九	
羽田町	二・四九五	二、七六二	一四、五四六	五、九一五	
大井町	一・三三三	八、二五一	三六、六五九	二七、五〇一	
大崎町	一・二六八	八、〇八〇	三四、八三七	二七、四七四	
入新井町	一・〇二五	四、一三七	一九、〇八八	一八、六三三	
蒲田町	一・一〇八	一、三八九	六、四〇〇	五、七九四	
六郷村	一・五七九	八四〇	四、一八一	二、六四八	
矢口村	一・六九四	六二五	三、四六七	二、〇四七	
調布村	二・一〇五	四九八	二、九七〇	一、四二一	

豊多摩郡 (十三箇町村)					
町村名	面積	積戶	數人	口	一平方哩人口密度
池上村	二・七六九	一、〇四六	五、六四四	二、〇三二	
馬込村	一・五九三	四五六	二、七五五	一、七一一	
平塚村	二・〇三三	一、七八三	八、五三三	四、二二五	
目黒町	二・七四七	三、六七二	一八、〇九四	六、五八六	
碑衾村	二・九七九	六九三	四、一九三	一、四〇八	
駒澤村	三・三〇四	一、二三四	八、六八四	二、六八	
世田ヶ谷町	四・七四〇	二、四四六	一三、〇五四	二、七五四	
玉川村	四・九二九	一、一三七	七、五九一	一、五四〇	
松澤村	一・八二二	三六八	二、六五六	一、四五九	
計	四二・八一九	五二、四〇五	二五三、八七一	六、〇七一	
町					
淀橋町	一・一二二 ^{平方哩}	九、一四〇 ^戸	四〇、四五三 ^人	三六、〇八七 ^人	
中野町	二・五四三	四、四六一	二二、八七五	八、六〇二	
千駄ヶ谷町	九・六五五	八、〇二四	三六、三七四	三七、六九三	
澁谷町	二・二九九	一七、五六〇	八〇、七九九	三五、一四五	

町	村	名	面	積	戸	數	人	口	一平方哩人口密度
○大	久保	町		七九二 ^{平方哩}		六、〇九〇 ^戸		二七、九四九 ^人	三五、二八九 ^人
○戸	塚	町		六八五		三、九八九		一八、三八七	二六、八四二
△落	合	村		一、三三九		一、四六三		七、一〇〇	五、七六五
△代	々幡	町		二、五九六		四、三三九		二〇、〇三四	七、七七七
野	方	町		一、九三三		一、一一一		七、三三三	三、八二一
和	田堀内	村		二、四三三		六、四〇〇		三、九〇七	一、六〇六
杉	並	村		三、四八九		九八五		五六三三	一、六四四
井	荻	村		三、六七八		七二〇		四、三六九	一、一八八
高	井戸	村		三、六〇一		六八〇		四、一九一	一、一六四
計				二七、三五三		五九、〇九三		二七八、四〇三	一〇、一七八
北豊島郡 (二十箇町村)									
町	村	名	面	積	戸	數	人	口	一平方哩人口密度
△板	橋	町		二、〇一七 ^{平方哩}		三、八三六 ^戸		一六、六六一 ^人	八、三二〇 ^人
○南	千住	町		一、〇一七		一一、一二三		五〇、七三三	四九、八六五
△岩	淵	町		二、八七七		二、八四七		一五、六七三	五、四四七

○巢	鴨	町		七四五		六、四八一		二八、〇三五	三七、六三二
△王	子	町		二、四一九		九、一八一		三八、三六八	一五、七九六
○瀧	ノ川	町		一、九五六		九、三六七		四〇、六八九	二〇、八〇三
○日	暮里	町		七四		一〇、三三六		四一、五一	五七、三九一
中	新井	村		一、四三〇		三九		二、〇〇七	一、四〇三
志		村		四、五三		一、〇九二		六、一七四	一、三七一
○高	田	町		一、〇〇〇		五、九〇五		二六、七八六	二六、七八六
上	練馬	村		四、〇二六		七〇三		四、六四三	一、一五三
赤	塚	村		三、九八二		八七九		五、三六五	一、三四七
石	神井	村		五、三九九		九六六		六、〇三五	一、三〇〇
△三	河島	町		一、〇〇五		五、四七三		二二、六三三	二二、五五
△尾	久	町		一、三二一		一、四四四		七、五三五	六、一六三
○西	巢鴨	町		三、三六一		一〇、九八二		五一、四七八	一五、三六
上	板橋	村		二、二六五		五二		三、四一五	一、五七七
下	練馬	村		二、九〇八		九九		五、三九一	一、八五四
△長	崎	村		一、四七五		六三九		三、五〇四	二、三六

町	村	名	面	積	戸	數	人	口	一平方哩人口密度
大	泉	村		四・五〇 _{平方哩}		六〇二 _戸		三、七九二 _人	八三 _人
計				四八・七九〇		八四、七三六		三七九、四二八	七、七七七
南足立郡 (十箇町村)									
町	村	名	面	積	戸	數	人	口	一平方哩人口密度
千	住	町		二・一八九 _{平方哩}		七、一四六 _戸		三一、〇四七 _人	一四、一八三 _人
西	新井	村		二・三二四		九六六		五、一八九	二、二四三
江	北	村		三・五〇三		八七六		四、六九〇	一、三三九
舍	人	村		一・七三五		三〇七		一、九一〇	一、一〇七
淵	江	村		二・七六一		四七三		二、八八〇	一、〇四三
梅	島	村		一・九五七		六九二		三、八七九	一、九八二
綾	瀬	村		一・二九一		五〇七		二、七九九	二、一六八
東	淵江	村		一・八二六		五三三		二、九一六	一、五九七
花	畑	村		二・四八〇		七三六		四、〇七〇	二、六四一
伊	興	村		一・二三三		三三九		一、三九〇	一、一三七
計				二・二七八		二二、四九五		六〇、七六〇	二、八五六

北多摩郡 (二箇村)									
町	村	名	面	積	戸	數	人	口	一平方哩人口密度
砧	村			三・七四二 ^{平方哩}		五九八 ^戸		三、六八〇 ^人	九八三 ^人
千	歳	村		四・一三三		六七六		四、二八七	一、〇三七
計				七・八七五		一、二七四		七、九六七	一、〇二三
南葛飾郡 (二十箇町村)									
町	村	名	面	積	戸	數	人	口	一平方哩人口密度
新	宿	町		一・〇一〇 ^{平方哩}		四九六 ^戸		二、四〇一 ^人	二、三七七 ^人
龜	戸	町		九六六		七、九四六		三六、五四八	三六、七〇三
大	島	町		八七三		五、〇三三		二二、三三三	二五、五九二
吾	婦	町		一・四九七		六、一〇一		三〇、六六〇	二〇、四八一
小	松川	町		一・六〇四		一、七三八		八、〇一九	四、九九九
松	江	村		三・三六二		一、四四五		七、六五五	二、二七七
瑞	江	村		二・七四三		一、〇七五		五、七四四	二、〇九四
葛	西	村		三・五二六		一、三六〇		七、六八八	二、一八七
鹿	本	村		一・五三八		四七一		二、九一九	一、八八八

町村名	面積	戸數	人口	一平方哩人口密度
○寺島町	八〇三 ^{平方哩}	四、六〇一 ^戸	一九、一五九 ^人	二三、八八九 ^人
本田村	二、〇〇九	一、一〇三	五、八七五	二、九二四
龜青村	一、五五七	六〇三	三、一四三	二、〇一八
南綾瀬村	一、八七四	六四九	四、六三七	二、四七四
篠崎村	二、〇六七	五〇八	二、九一八	一、四二二
小岩村	二、一七八	八〇七	四、四四三	二、〇九八
金町村	一、七一一	六三七	三、三四	一、九四三
水元村	二、二五三	四五五	二、八三三	一、二五三
奥戸村	三、二二八	九六六	五、四九九	一、七四五
△隅田村	五〇〇	二、九〇〇	一四、六〇七	二、八〇四
○砂町	一、九三三	二、七五五	二二、一八四	六、三〇六
計	三七、一五〇	四一、六一九	二〇四、五八八	五、五〇六
近隣接町村	二三、〇六九	一四三、六五七	六四一、九九四	二七、八二九
隣接セサル町村	二八、一六八	六五、一六九	二九、三八七	一〇、六二九
計	五一、二三七	二〇八、八二六	九四一、三八一	一八、三七三

外	郊
計	一八四、六六五
計	二五、六二二
計	一、八四、九六五
計	六、四三〇

備考

- 一 戸數及人口ハ國勢調査ニ依ル世帯數及人口ナリ
- 二 ○印ハ東京市ノ隣接町村、△印ハ東京市ノ近郊町村ナリ

東京都市計畫區域内市町村ノ人口増加率

四二

(三四)

市町村名	明治四十四年末	大正五年末	大正十年末	十年間人口増加率	五年間人口増加率
東京市	一、九九、四二〇 ^A	二、二九、〇六九 ^A	二、四三、三四〇 ^A	・二六九	・〇六〇
荏原郡					
○△品川町	二、五四三	二、四、二九三	四、五六六	一・〇四七	・八三三
△大森町	一五、九一一	一五、二二六	二〇、七九六	・三〇七	・三七四
羽田町	一四、六三九	一五、二四九	一五、九〇六	・〇八七	・〇五一
△大井町	一八、六九六	三、五〇三	三六、七六六	・九六五	・六三三
○△大崎町	一〇、八四四	一八、九八八	三七、三七七	一・四四一	・九六五
△入新井町	八、二〇九	一〇、四三三	二一、一八〇	一・五八〇	一・〇三三
蒲田町	三、〇三八	四、一四七	七、三七七	一・四四二	・七六八
六郷村	三、三三三	三、六八九	四、四〇六	・三四〇	・一七三
矢口村	三、五〇一	三、五五四	三七、六九	・〇七	・〇一一
調布村	二、八五六	三、二九五	三、〇三七	・〇六三△	・〇七八
池上村	四、八三九	五、三四七	五、八〇三	・二〇一	・〇八五
馬込村	二、五一四	二、六七二	二、九三四	・二六七	・〇九八

平塚村	四、二二八	五、三九七	一〇、四九八	一・四九八	・九四五
△目黒町	七、四二八	一二、〇六四	一八、〇五八	一・四四四	・四九六
碑衾村	三、六八七	四、一五一	四、四七五	・二四	・〇七八
駒澤村	四、三三三	五、六三三	七、四八	・六八	・三〇七
世田ヶ谷町	七、九〇一	一三、九一四	一五、五三	・九三	・一五
玉川村	七、〇七八	七、一一一	八、二天	・四八	・一四二
松澤村	一、八五三	一、九三三	二、三六六	・二七	・二四
豊多摩郡					
○△淀橋町	三〇、九一九	三〇、一〇六	四三、五六	一・〇〇四	・四七
△中野町	一、四七八	一四、二五三	二八、七九	一・五〇四	一・〇一六
○△千駄ヶ谷町	三三、一三五	二六、四七二	三七、六三	・七〇〇	・四二
○△澁谷町	四三、一五〇	七、四六六	九一、一七四	一・一一三	・二五八
○△大久保町	二、三二六	二六、五四〇	二七、四六	一・一三八	・五六八
○△戸塚町	五、二二五	一、九三二	一九、五九	二・七四	・六四一
△落合村	二、八七七	四、三七八	八、五五	一・九七四	・九五四
△代々幡町	五、五七七	二、一五七	二七、四五	三・九八	一・二五五

四三

(三五)

市町村名	明治四十四年末	大正五年末	大正十年末	十年間人口増加率	五年間人口増加率
野方村	四、四七三	五、〇七三	六、四三三	・四三九	・二六七
和田堀内村	二、九〇〇	三、二八一	三、八三三	・二七九	・一六五
杉並村	四、二四四	四、九八五	五、九七七	・四五三	・一九九
井荻村	三、六七三	四、一七六	四、五三四	・二三四	・〇八五
高井戸村	三、九三五	四、三二九	四、三六五	・一〇九	・〇一〇
北豊島郡					
△板橋町	一一、三〇三	一二、七七七	一六、八八八	・四九四	・三三二
○△南千住町	二二、八六八	三四、八五三	五、一九九六	・一三七八	・四九二
△岩淵町	六、六五五	八、一〇三	一四、二六三	・一四三	・七六〇
○△巢鴨町	七、七三六	一五、〇六〇	三〇、〇〇〇	・二八八三	・九九二
△王子町	二六、二七〇	三三、七二五	三九、九八九	・五三	・三二
○△瀧野川町	一七、七二一	二八、一三四	四八、八五六	・一七五九	・七三六
○△日暮里町	一三、二五七	二七、四四三	四四、六八一	・二、三七〇	・六二八
志村	五、四二五	五、七七〇	六、一三八	・一三	・〇六三
○△高田町	六、五九九	一二、六二八	二六、六二一	・三、〇五一	・一、一〇九

上練馬村	四、三六一	四、六五〇	四、七六九	・〇九四	・〇二五
赤塚村	五、〇三三	五、五九六	五、六六〇	・一一七	・〇〇三
石神井村	五、六三五	六、〇〇五	六、八九二	・三三	・一四七
△三河島町	四、七五六	一〇、八一〇	二二、六〇〇	・三七五六	・一、〇九二
△尾久町	二、五八三	三、二二三	六、一〇〇	・一、三六二	・八九八
○△西巢鴨町	八、八五四	二五、三二九	五三、二七三	・五、〇〇七	・一、一〇四
上板橋村	三、三八	三、四九九	二、九四四△	・一、一三△	・一、五一
下練馬村	四、九〇四	五、一三三	五、九七六	・二九	・一六六
△長崎村	二、四七八	二、八〇九	三、六九三	・四九〇	・三三四
中新井村	一、八五〇	二、二四四	二、一五一	・一、六三△	・〇四八
大泉村	三、四七	三、七〇三	三、九四六	・一五	・〇六五
南足立郡					
△千住町	三、四三三	二六、四九九	三四、四六七	・四七一	・三〇一
西新井村	四、九八〇	五、一〇二	五、六六六	・一八	・一〇〇
江北村	五、五三	五、〇七四	五、〇四九	・〇六六△	・〇四九
舍人村	一、九三六	二、二二七	二、一〇七	・〇三八△	・〇九六

市町村名	明治四十四年末	大正五年末	大正十年末	十年間人口増加率	五年間人口増加率
淵江村	二、七四五	三、〇二三	二、九九三	・〇〇九△	・〇六七
梅島村	三、四二五	三、七四七	三、六九九	・〇八三	・〇一三
綾瀬村	二、六一五	二、五五五	二、六五五	・〇一五	・〇三九
東淵江村	二、二一九	二、二九五	二、九五三	・三九六	・二六六
花畑村	三、七六三	四、四三九	四、〇九六	・〇八三△	・〇七五
伊興村	一、二八二	一、三七七	一、三八六	・〇八一	・〇〇六
北豊多摩郡					
砧村	三、二九七	三、八六五	三、七五五	・一四五△	・〇三三
千歳村	三、七五七	四、一八七	四、六八〇	・二四六	・一二七
南葛飾郡					
新宿町	一、五八八	一、七四七	二、五五一	・六〇六	・四六〇
○△龜戸町	一、四二二	二、二九〇	四、〇二二	・一八三	・八八四
○△大島町	一、一七四〇	一、六三六二	二、三、九三九	・一〇三九	・四六三
○△吾嬬町	七、五五五	一八、二三三	三、四、〇三八	・三五五	・八六七
△小松川町	三、一七六	六、〇九二	九、一四三	・一八七九	・五〇〇

松江村	三、九二三	八、〇〇二	八、三三四	・一〇二	・二七七
瑞江村	五、六六八	六、三三五	六、一七四	・〇八九△	・〇三二
葛西村	七、六三八	八、〇一五	八、五三八	・一一八	・〇六五
鹿本村	二、八八四	二、九三四	三、〇〇七	・〇四二	・〇二四
○△寺島町	八、〇三〇	一〇、三四〇	三、一〇五	・一七四三	・一一九
本田村	二、九四〇	四、五三三	六、七六九	・一三〇二	・四九三
龜青村	二、二二七	二、三六四	二、九一〇	・三三三	・二八〇
南綾瀬村	二、九九〇	三、一六一	三、三八六	・一三三	・〇七一
篠崎村	三、〇二二	三、〇〇九	三、〇五七	・〇二二	・〇一五
小岩村	四、〇九一	四、二九四	四、四七八	・〇九五	・〇四三
金町村	三、〇三八	二、九九八	三、五五二	・一六九	・一八四
水元村	二、六八六	二、九九七	三、〇七四	・一四四	・〇二五
奥戸村	三、八九九	五、五九六	五、八四〇	・四九八	・四三三
△隅田村	九、〇九四	一二、一五三	一五、一六二	・六六七	・二四七
○△砂町	七、〇四五	九、九七五	一三、一三〇	・八六四	・三六
都市計畫區域合計	二、五五九、一六三	三、一五〇、八六四	三、七〇四、六五一	・四九九	・一七五

市町村名	近		外	近郊及外郊合計
	隣接町村	隣接セサル町村		
明治四十四年末	二六〇、八八七	一五九、九一五	四三〇、八三二	六九〇、七五三
大正五年末	四二〇、四三二	二〇六、〇七三	六二六、四四五	八四六、七五五
大正十年末	六八九、八五三	三三三、八五五	一、〇三三、七七八	一、二九六、三三二
十年間人口増加率	一・六四四	一・〇二五	一・四〇九	一・〇四八
五年間人口増加率	・六四二	・五七一	・六二八	・四八五

備考 一、十年間人口増加率トハ明治四十四年末人口ト大正十年末人口トヲ比較シ其ノ増加數ノ明治四十四年末

人口ニ對ハル千分比ヲ示ス

一、五年間人口増加率トハ大正五年末人口ト大正十年末人口トヲ比較シ其ノ増加數ノ大正五年末人口ニ對スル千分比ヲ示ス

東京都市計畫區域内市町村ノ最近十年間人口増加率順位

順位	市町村名	十年間人口増加率	順位	市町村名	十年間人口増加率
一	東京市	・二六九	一五	中野町	一・五〇四
二	西巢鴨町	五〇・一七	一六	平塚村	一・四八九
三	代々幡町	三・九一八	一七	大崎町	一・四四一
四	三河島町	三・七五六	一八	目黒町	一・四三四
五	高田町	三・五〇五	一九	蒲田町	一・四一二
六	巢鴨町	二・八八五	二〇	南千住町	一・三七八
七	戸塚町	二・七五四	二一	尾久町	一・三六二
八	日暮里町	二・三七〇	二二	本町	一・三〇二
九	落合村	一・九七四	二三	大久保町	一・二二八
一〇	小松川町	一・八七九	二四	岩浦町	一・一四三
一一	龜戸町	一・八二三	二五	澁谷町	一・一一三
一二	瀧野川町	一・七五九	二六	松江村	一・一〇二
一三	島町	一・七四二	二七	淀橋町	一・〇八四
一四	新井町	一・五八〇	二八	品川町	一・〇四七
一五	大井町	・九六五	二九	大島町	一・〇三九
一六	世田ヶ谷町	・九六三	三〇	大井町	・九六五
一七	砂ヶ谷町	・八六四	三一	大井町	・九六五
一八	駒澤村	・六八八	三二	千駄ヶ谷町	・七〇〇
一九	隅田村	・六六七	三三	駒澤村	・六八八
二〇	新宿町	・六〇六	三四	駒澤村	・六八八
二一	王子町	・五二二	三五	隅田村	・六六七
二二	奥戸村	・四九八	三六	新田村	・六六七
二三	板橋町	・四九四	三七	奥戸村	・五二二
二四	長崎村	・四九〇	三八	奥戸村	・四九八
二五	千住町	・四七一	三九	板橋町	・四九四
二六	杉並村	・四五三	四〇	長崎村	・四九〇
二七	野方村	・四三九	四一	千住町	・四七一
二八	東淵江村	・三九六	四二	杉並村	・四五三
二九			四三	野方村	・四三九
三〇			四四	東淵江村	・三九六

順位	市町村名	十年間人口増加率	順位	市町村名	十年間人口増加率	順位	市町村名	十年間人口増加率
四五	六郷村	・三四〇	五九	大泉村	・二五一	七三	羽田村	・〇八七
四六	龜青村	・三三三	六〇	玉川村	・二四八	七四	梅島村	・〇八三
四七	大森町	・三〇七	六一	砧村	・一四五	七五	花畑村	・〇八三
四八	和田堀内村	・二七九	六二	水元村	・一四四	七六	伊興村	・〇八一
四九	松澤村	・二七八	六三	南綾瀬村	・一三二	七七	矢口村	・〇七七
五〇	千歳村	・二四六	六四	志村	・一三一	七八	調布村	・〇六三
五一	井荻村	・二三四	六五	西新井村	・一二八	七九	鹿本村	・〇四三
五二	石神井村	・二二三	六六	葛西村	・一一八	八〇	舍人村	・〇三八
五三	下練馬村	・二一九	六七	赤塚村	・一一七	八一	綾瀬村	・〇一五
五四	碑衾村	・二一四	六八	高井戸村	・一〇九	八二	篠崎村	・〇一二
五五	池上村	・二〇二	六九	小岩村	・〇九五	八三	江北村	・〇八六
五六	金町村	・一六九	七〇	上練馬村	・〇九四	八四	上板橋村	・一一三
五七	馬込村	・一六七	七一	淵江村	・〇九〇			
五八	中新井村	・一六三	七二	瑞江村	・〇八九			

備考

明治四十四年末人口ト大正十年末人口ト比較シタル人口増加率ノ順位ニ依リ配列ス
市町村名ノ上〇印ハ東京市ニ隣接セル町村、△印ハ近郊町村ヲ示ス
人口増加率欄△印ハ減ヲ示ス

東京都市計畫區域内市町村ノ最近五年間人口増加率順位

順位	市町村名	五年間人口増加率	順位	市町村名	五年間人口増加率	順位	市町村名	五年間人口増加率
一	代々幡町	・一・二五五	一五	品川町	・八三三	三〇	奥戸村	・四三二
二	寺島町	・一一二九	一七	岩淵町	・七六〇	三一	千駄ヶ谷町	・四二一
三	高田町	・一一〇九	一八	瀧野川町	・七三六	三二	大森町	・三七四
四	西巢鴨町	・一一〇四	一九	戸塚町	・六四一	三三	板橋町	・三二一
五	三河島町	・一〇九一	二〇	大井町	・六三三	三四	砂町	・三一六
六	八新井町	・一〇三二	二二	日暮里町	・六二八	三五	長崎村	・三一四
七	中野町	・一〇一六	二三	大久保町	・五六八	三六	駒澤村	・三〇七
八	巢鴨町	・九九二	二四	小松川町	・五〇〇	三七	千住町	・三〇一
九	大崎町	・九六五	二五	目黒町	・四九六	三八	東淵江村	・二八六
一〇	落合村	・九五四	二六	本町	・四九三	三九	龜青村	・二八〇
一一	平塚村	・九四五	二七	南千住町	・四六一	四〇	松江町	・二七七
一二	尾久町	・八九八	二八	大島町	・四六三	四一	野方村	・二六七
一三	吾々村	・八六七	二九	新宿町	・四六〇	四二	澁谷町	・二五八
一四	龜戸町	・八八四	三〇	淀橋町	・四四七	四三	隅田村	・二四七
			三一	松澤村	・四四四	四四	松澤村	・二二四

順位	市町村名	五年間人口増加率	順位	市町村名	五年間人口増加率	順位	市町村名	五年間人口増加率
四五	△主 子 町	・二二一	五九	碑 倉 村	○・七八	七三	伊 興 村	○・〇六
四六	杉 並 村	・一九九	六〇	南 綾 瀬 村	○・七一	七四	赤 塚 村	○・〇二
四七	金 町 村	・一八四	六一	大 泉 村	○・六五	七五	梅 島 村	△・〇一三
四八	六 郷 村	・一七三	六二	葛 西 村	○・六五	七六	瑞 江 村	△・〇二二
四九	下 練 馬 村	・一六六	六三	志 村	○・六三	七七	砧 村	△・〇二三
五〇	和 田 堀 内 村	・一六五	六四	羽 田 町	○・五一	七八	中 新 井 村	△・〇四八
五一	石 神 井 村	・一四七	六五	小 岩 村	○・四三	七九	江 北 村	△・〇四九
五二	玉 川 村	・一四二	六六	綾 瀬 村	○・三九	八〇	淵 江 村	△・〇六七
五三	千 歳 村	・一一七	六七	水 元 村	○・二五	八一	花 畑 村	△・〇七五
五四	世 田 ヶ 谷 町	・一一五	六八	上 練 馬 村	○・二五	八二	調 布 村	△・〇七八
五五	西 新 井 村	・一〇〇	六九	鹿 本 村	○・二四	八三	舍 人 村	△・〇九六
五六	馬 込 村	・〇九八	七〇	篠 崎 村	○・一五	八四	上 板 橋 村	△・一五一
五七	井 荻 村	・〇八五	七一	矢 口 村	○・一一			
五八	池 上 村	・〇八五	七二	高 井 戸 村	○・一〇			

備考

一 本表ハ大正五年末人口ト大正十年末人口ト比較シタル人口増加率ノ順位ニ依リ配列ス
一 市町村名ノ上〇印ハ東京市ニ隣接セル町村、△印ハ近郊内町村ヲ示ス
一 人口増加率欄△印ハ減ヲ示ス

東京府各市町村ノ負擔狀況

一 東京都市計畫區域内

郡市町村名	戸 數	直 接 税 額	一 戸 當 税 額	府 税 額	一 戸 當 税 額	市 町 村 税 額	一 戸 當 税 額	家屋税附加税又ハ戸數割附加税 額	一 戸 當 額
東 京 市	四、五、八、〇、五、一、六、四、五、一、四	一、四、一、〇、五、三、〇、〇、三、一、四	二、三、一、六、三、三、三、七、四、三、五	五、一、一、五、一、五、〇、七、七、九、八	一、一、〇、〇、〇、〇、〇、〇、〇、〇、〇	一、一、〇、〇、〇、〇、〇、〇、〇、〇、〇	一、一、〇、〇、〇、〇、〇、〇、〇、〇、〇	一、一、〇、〇、〇、〇、〇、〇、〇、〇、〇	
荏原郡 品川町	九、〇、四、四	四、一、一、五、七	五、二、二、四	二、四、五、四、〇	二、七、一、九	二、六、八、九、〇、一	二、九、七、三	一、〇、七、八、六、一	一、一、九、二
△大 森 町	三、七、七、二	四、九、一、一、〇	二、四、九、四	七、六、三、八、六	二、〇、六、六	三、三、七、九	五、一、〇、五、九	一、三、八、〇	一、三、八、〇
羽 田 町	二、七、七、二	一、九、九、〇、一	七、二、〇	四、七、二、八、〇	一、七、一、一	五、〇、一、二	一、八、一、四	二、七、六、四、三	一、〇、〇、〇
△大 井 町	八、二、五、一	一、八、九、七、四、〇	三、三、九、九	一、六、三、〇、二、七	一、九、七、五	一、八、一、〇、〇、四	二、二、九、三	一、一、九、七、五、八	一、四、五、一
△大 崎 町	八、〇、八、〇	六、五、五、三、一	八、一、〇、八	一、九、七、九、八、二	二、四、五、〇	三、七、一、三、三	二、八、一、〇	一、二、四、〇、〇	一、五、六、四
△入新井町	四、一、三、七	一、七、一、五、二	四、三、〇、八	一、三、三、七、七	三、三、〇、八	一、五、七、七、三	三、六、三、六	九、三、三、八	二、三、五、六
蒲 田 町	一、一、三、九	一、八、三、九、九	二、三、二、四	二、六、〇、一、一	二、〇、七、三	二、九、二、〇、〇	二、二、〇、二	三、一、二、五	一、五、九、二
六 郷 村	八、四、〇	一、一、三、四、四	一、三、五、五	一、七、四、〇、〇	二、〇、七、三	一、八、三、八、三	二、二、八、八	一、〇、九、九、九	一、三、〇、九
矢 口 村	六、五、五	六、四、〇、〇	一、〇、四、二	一、六、九、五、六	二、七、五、七	二、五、七、二、〇	四、一、八、三	一、八、四、〇、〇	二、九、九、一
調 布 村	四、九、八	七、六、五、五	一、五、三、七	二、三、七、九、八	二、五、六、九	一、七、一、五、八	三、四、四、五	一、二、六、三	二、三、六、五
池 上 村	一、〇、四、六	一、八、〇、八、五	一、七、二、八	二、六、九、八、七	二、五、八、〇	三、一、三、九、九	三、〇、二、四	一、五、四、八	一、四、七、三
馬 込 村	四、五、八	五、三、九、九	一、一、七、六	二、一、七、五、五	二、六、五、九	一、九、一、七、七	四、一、八、七	一、一、〇、〇、〇	二、四、〇、一

郡市町村名	戸数	直接税		府税		市町村税		家屋税附加税又ハ戸数割附加税	
		税額	一戸當	税額	一戸當	税額	一戸當	税額	一戸當
平塚村	一、七六三	三、四二七	一七、六三	四、〇一八	二、三五	八四、四三一	四七、三五	六、〇〇〇	三四、七七
目黒町	三、六七二	一、九八五	五三、四七	二五、五二	三、八六	二四、三三	三、八五	八五、七三	三、三六
碑倉村	六九三	八、三三四	一、八八	一六、九三	二四、四三	二八、八七八	四一、六七	一九、七七八	二八、五五
駒澤村	一、三四	一七、九九六	一四、七〇	一六、八六七	一三、七六	二八、一四二	二、九九	一三、五二〇	一、〇四
世田ヶ谷町	二、四六六	二八、五七三	一一、六八	四一、三七六	一六、九二	八四、一四九	三四、四〇	五九、二二六	二四、二二
玉川村	一、三七七	二、六六九	一〇、三〇	二五、四九〇	一九、二〇	四六、一九一	三四、八〇	三〇、二六八	三、八〇
松澤村	三六八	三、六八八	一〇、〇三	八、五七七	二、一七	一六、〇九三	四三、七三	一一、八九九	三、三三
計	五、四四五	三、六六三、一五二	六九、九〇	一、三六七、〇五九	二四、一七	一、五五、三〇七	二九、一〇	八九九、二九四	一七、一六
豊多摩郡 〇〇淀橋町	九、一四〇	一九、二二三	一四、一三	一六九、三〇三	一八、五三	一六五、六八五	一八、一三	八七、八七五	九、六一
〇〇中野町	四、四六一	一三六、七四〇	三〇、六五	九一、八三四	二〇、五八	一九六、六五七	二六、八二	七四、六一〇	一六、七二
〇〇千駄ヶ谷町	八、〇三四	三三三、四三二	四〇、一八	三七、八三八	四、七一	一五九、七八五	一九、六四	五八、三三三	七、二六
〇〇澁谷町	一七、五五〇	四八、三三五	二四、三八	三三七、六四九	一九、七九	四七三、五九七	二六、九二	二四、一四〇	一三、七四
〇〇大久保町	六、〇九〇	一三四、三三四	二二、〇四	一〇二、七五五	一六、八六	一八八、五五四	一九、四六	六七、六四五	一一、一〇
〇〇戸塚町	三、九八九	六三、三七八	一五、六三	二〇、六五	五、一七	八八、〇七三	二二、〇七	五一、八二八	一三、九九
〇〇落合村	一、四六三	六八、九一〇	四七、一〇	一四、〇七〇	一三、二八	四九、二八五	三三、六八	二五、二六六	一七、二六

代々幡町	四、三三九	二二、一五〇	五〇、〇二	二二、七九	五、六一	一〇六、九三〇	二五、二八	五八、〇四六	一三、七三
野方村	一、一一一	一五、六五五	一四、〇六	九、九三	八、二七	五、六八一	四、五一	二六、五三	二、三八
和田堀内村	六四〇	五、九三三	九、二五	一三、九三〇	二、七六	一九四、五三	三〇、三九	一一、八八八	二〇、一三
杉並村	九八五	一一、二五七	一一、四二	二二、六九八	二、〇四	三二、一八八	三、六六	二二、〇〇〇	二、五三
井荻村	七二〇	六、六二二	九、一九	一一、四二〇	一五、八四	三〇、二四	四、九六	二〇、六〇五	二、八六一
高井戸村	六八〇	六、二五五	九、一九	一〇、六三四	一五、六三	三七、〇九三	五四、五四	二七、八二六	四〇、九〇
計	五九、〇九二	一、五八、七六	九、七九	八九五、六四七	一五、一五	一、四五〇、一七四	二四、二五	七七四、〇四四	一三、〇九
北豊島郡 〇〇板橋町	三、八三六	三七、五七七	九、七九	五四、一六六	一四、二二	九〇、七七五	三三、六六	六、八八八	一六、一三
〇〇南千住町	二、二二三	一三、四六六	一〇、九二	三九〇、六六五	三、九八	三二〇、二九九	二五、四〇	一七九、〇七九	一四、六六
〇〇岩淵町	二、八四七	二四、八四〇	八、七二	七六、四九一	二七、五八	七六、六八五	二六、九三	六〇、八六〇	二、三七
〇〇巢鴨町	六、四八一	四九、〇七	七、七四	九六、四三〇	一四、八七	一五、五四七	二、三六	九二、七五〇	一四、三一
〇〇王子町	九、一八一	七七、八六一	八四、七二	一七、〇五	一九、一七	二四六、二〇二	二六、八二	一八六、〇七二	二〇、二六
〇〇瀧野川町	九、三六七	一一〇、一九八	二二、八三	一三〇、一〇五	一三、八八	二四、三八五	二六、一九	一五四、九五四	一七、三三
〇〇日暮里町	一〇、三三六	八五、〇五	八三、二六	一三七、五八〇	一三、三二	二二九、〇九六	二二、一六	一五四、九五四	一四、九九
〇〇中新井村	三三九	二、九六一	九、〇九	七、二七一	一三、一〇	二二、四九七	三七、九八	九、三三八	二八、三二
志村	一、〇九二	二二、四五五	二一、四〇	二四、四五六	二、三九	四七、一五〇	四三、〇六	三五、三〇〇	三、三六

郡市町村名	戸数	直接税		府税		市町村税		家屋税附加税及戸数割附加税	
		税額	一戸當	税額	一戸當	税額	一戸當	税額	一戸當
高田町	五、九〇五	八、九〇一	一五、〇七	一〇二、四四二	一七、六四	一五七、七一九	二七、〇一	二〇九、八〇〇	一八、五九
上練馬村	七三	一〇、二七九	一四、六二	一九、七三四	二八、〇七	三四、五六六	四九、一六	二五、六六四	三六、五〇
赤塚村	八七九	九、四三	一〇、七一	二一、四四三	二四、三九	二七、五〇六	三一、二九	一七、六六五	二〇、〇九
石神井村	九六六	八、五二	八、八六	二二、四三三	二二、二	二八、〇三五	二九、三七	二九、五二三	三〇、五五
三河島村	五四七三	八、七五二	一六、〇〇	九五、三三九	一七、四二	一八四、七五五	三三、七五	二八、二五五	三三、四三
尾久町	一、四四	一九、〇三三	一三、三六	七四、三〇	五、一八	六〇、一〇七	四二、二	四、一七〇	二九、二八
西巢鴨町	一〇、九二	三、八三二五	二二、七〇	一七、一三〇	一五、五七	二六、四八四	二四、三五	一五、九二四	一四、五六
上板橋村	五二二	六、一五七	一〇、九五	一三、八八九	二四、七二	二二、八四二	三八、八六	一四、八六一	二六、四四
下練馬村	九一九	一、六四五	一三、六七	一九、二九四	二〇、九	二九、三四三	三一、九二	二二、二四九	二四、八六
長崎村	六三九	八、五五〇	一三、三八	一七、一九六	二六、九二	二〇、六二三	三三、七三	一三、六一五	二一、三〇
大泉村	六〇二	六、六四	一一、〇〇	一五、六八九	二六、〇六	二二、三四四	二七、〇九	一四、二八七	二三、五九
計	八四、七六	一、七六、六六四	二〇、五一	一六六、〇〇九	一九、六八	二、二七四、九三九	二六、八四	一五、八二〇六	一九、一七
南足立郡千住町	七、一四六	二〇一、一七五	二八、一五	一九五、五二二	二七、三五	二二七、八八〇	三一、八八	一一五、六七五	一六、一八
西新井村	九六六	八、八八九	八、八八	二四、〇六九	二四、一六	三四、〇三九	三四、一七	二一、五九	二一、六一
江北村	八七六	一一、八六	一三、五三	二四、〇三三	二七、四三	二六、七七	三〇、五六	一四、六〇〇	一六、六六

舍人村	三〇七	八、四〇一	二七、三六	一四、〇九四	四五、九〇	一一、一一	三六、一九	四、三八九	一四、二九
淵江村	四七三	一一、三八二	二四、〇六	一八、四五九	三九、〇二	一三、五九四	二八、七四	五、〇九四	一〇、七六
梅島村	六九二	一〇、七二	一五、四九	二五、五五二	三六、九二	三四、九一〇	五〇、四四	一一、四八九	一六、六〇
綾瀬村	五〇七	九、〇五〇	一七、八五	一七、三三六	三四、一九	一一、六二	二二、九二	四、四〇	八、二六
東淵江村	五三三	九、四七	一七、六六	一六、一九一	三〇、三七	一九、〇七二	三五、七八	七、六五〇	一四、三五
花畑村	七六	一三、六五七	一八、八一	二二、二八五	三三、〇七	二二、五四八	三三、四三	一〇、七〇	一四、七六
伊興村	二三元	五、七四七	二四、〇四	一〇、四一七	四、五八	七、九四九	三三、二五	二、九五九	一二、三八
計	一二、四九五	一七、三三五	二二、三三	三三、三二	二九、五二	四〇、〇五一	三三、八五	一九、二四五	一五、八六
北多摩郡砧村	五九八	七、四五	一二、四二	一五、九七三	二六、七一	一九、五四二	三三、六七	一一、九一五	一九、九二
千歳村	六七六	九、八一〇	一四、五一	一八、二四八	二六、九	三〇、七〇九	四五、四三	一七、二七四	二五、五五
計	一、二七四	一七、三三五	一三、五二	三四、三二	二六、八六	五〇、二五〇	三九、四四	二九、一八九	二三、九一
南葛飾郡新宿町	四九六	一四、六七七	二九、五九	二〇、一七五	四〇、六七	二七、一九三	五四、八二	二、六三六	五、三一
龜戸町	七、九四六	六、五七、七三八	八、二七	一八〇、五六一	二三、七二	二五五、三六五	三三、一三	一二三、六六八	一五、四三
大島町	五、〇三三	六、九一、二三三	一三七、三四	一一二、五七五	二三、三六	一四九、三三三	二九、六七	八七、七八〇	一七、四四
吾嬬町	六、一〇一	三、六五、五四〇	五九、九一	一一九、六〇八	一九、六〇	一八九、九一〇	三二、一三	一一五、六八〇	一八、九六
小松川町	一、七六	三、九六二七	二二、九	三〇、〇六六	一七、二九	四三、九〇〇	二五、二五	二九、四〇〇	一六、九一

郡市町村名	戸数	直接税		府税		市町村税		家屋税附加税又ハ戸数割附加税	
		税額	一戸當	税額	一戸當	税額	一戸當	税額	一戸當
松江村	一、四四五	二〇、三七一	一四、〇九	三五、二六四	二四、四〇	四二、六六二	二九、五二	二八、八〇四	一九、九三
瑞江村	一、〇七五	一四、三八二	一三、三七	二三、七五	二二、〇九	二六、八九四	二五、〇一	二六、七四七	一五、五七
葛西村	一、三六〇	一九、一八四	一四、一〇	三三、三八八	二四、五五	二八、三七一	二〇、八六	一七、五二三	一二、八七
鹿本村	四七二	七、三三二	一五、五	一一、四一一	二四、二二	一三、三九五	二八、四四	七、三六四	一五、六七
〇〇寺島町	四、六〇一	九、三五一	二、五九	六二、〇二六	一三、二六	六六、六三三	一八、八二	四七、三〇七	一〇、二八
本田村	一、一〇三	一〇、三九	九、一八	一八、三四五	一六、六三	三三、五八一	二八、六三	三三、二五	二〇、〇五
龜青村	六〇三	八、一六九	一三、五四	一三、四四九	二二、三〇	一六、八九二	二八、〇六	五、一二三	八、五七
南綾瀬村	六四九	七、三五〇	一一、三三	一六、四五一	二五、三四	一六、七四五	二五、八〇	一〇、四三六	一六、〇八
篠崎村	五〇八	七、三四四	一四、四五	一一、四五九	二二、五五	一一、二六九	二二、一八	四、八六九	九、五八
小岩村	八〇八	九、九二	一二、二九	一四、一八六	一七、五七	二〇、六三九	二五、五七	二二、八五九	一五、九二
金町村	六三七	一一、二五七	一七、六七	一一、八二五	一八、五六	一四、七六七	二二、一八	八、一八二	一二、八四
水元村	四五五	八、四四	一八、四七	二二、八六九	二八、二八	一〇、八六九	二二、八八	四、九五六	一〇、八九
奥戸村	九六	一五、七二	一七、〇二	三三、六九	二五、五	二四、一八	二六、〇四	一一、六七七	一三、六九
〇〇隅田村	二、九〇〇	八三六、三九	二八八、三六	四一、六七〇	一四、三六	三六、八五〇	一二、七〇	二六、三五〇	九、〇八
〇〇砂町	二、七六五	一一、一六二、五七七	四〇〇、一〇	八四、二〇八	三〇、四五	八三、二六四	三〇、一一	四四、六五	一六、一三

計	四一、六九	四、〇五、六六六	九六、三四	八七五、九六	二二、〇四	一、一三〇、六五〇	二七、一六	六八、〇八四	一五、〇九
---	-------	----------	-------	--------	-------	-----------	-------	--------	-------

二、東京都市計畫區域外(島嶼ヲ除ク)

郡市町村名	戸数	直接税		府税		市町村税		家屋税附加税又ハ戸数割附加税	
		税額	一戸當	税額	一戸當	税額	一戸當	税額	一戸當
八王子市	七、六六五	二七、一六八	三五、四四	二九、六〇二	二六、九〇	二八、〇三五	三六、五六	一〇一、九〇〇	一三、二九
西多摩郡 組合 福生村	八二六	一九、〇九六	二二、四〇	一六、七五	二〇、四九	二六、四〇	三四、九二	二二、七四二	二九、〇九
熊川村	七六八	一一、二七六	一四、一八	一六、五九七	二一、〇六	三五、三〇〇	四五、三二	二七、四六七	三四、九二
西多摩郡 組合 箱根ヶ崎村	八七三	七、三〇七	八、三六	一五、二五〇	一七、四六	二六、二九	二九、九三	二二、一〇七	二五、三二
石畑村	八七三	七、三〇七	八、三六	一五、二五〇	一七、四六	二六、二九	二九、九三	二二、一〇七	二五、三二
殿ヶ谷村	八七三	七、三〇七	八、三六	一五、二五〇	一七、四六	二六、二九	二九、九三	二二、一〇七	二五、三二
合長岡村	八七三	七、三〇七	八、三六	一五、二五〇	一七、四六	二六、二九	二九、九三	二二、一〇七	二五、三二
多西村	五七六	四、三八八	七、四四	一〇、一七七	一七、六六	一九、一〇九	三三、一七	一五、九六七	二七、三七
平井村	四二七	三、一〇一	七、三三	八、三〇〇	一九、九二	一五、九六	三六、一六	一四、一五四	三三、九四
東秋留村	五八五	六、〇九二	一一、七九	一四、一六八	二四、二二	二〇、〇九三	三四、三四	一四、五九七	二四、九五
西秋留村	三九三	四、〇九二	一〇、四一	九、二五五	二三、五四	一五、四八四	三九、三九	一二、七〇〇	三三、三二

郡市町村名	戸数	直接國稅		府稅		市町村稅		家屋稅附加稅又ハ戸數割附加稅	
		稅額	一戸當	稅額	一戸當	稅額	一戸當	稅額	一戸當
增戸村	四三	三、一五六	六、八一	八、三三〇	一七、九	二二、六五六	二七、三三	一〇、〇六二	二一、七三
大久野村	五七	四、二二	七、一七	八、八五〇	一五、〇七	一五、八九七	二七、〇八	一三、七七七	二一、六六
戸倉村	三七	一、二七〇	五、五九	三、三五六	一四、六八	八、七五〇	三六、五四	六、六三三	二九、一七
小宮村	三五	一、五二	四、六八	四、五六二	一四、〇三	一〇、二五六	三一、五五	七、五九五	二三、三六
五日市町	八七	二〇、一一	二三、〇六	一六、〇三三	一八、三六	二三、六〇八	二七、〇七	一六、八〇〇	一九、四〇
檜原村	一〇五	三、一一九	三、〇七	一一、九六〇	一一、六	二五、七九	二五、三五	一八、九五五	一八、六七
霞村	一一七	七、八〇〇	六、九八	二〇、八八一	一八、六九	三二、四九六	二八、一九	二四、〇〇六	二一、四九
小曾木村	五九	四、二三	七、九	九、四一五	一七、七九	一八、六九九	三五、三四	一三、七三	二五、九三
成木村	五九	四、六二八	七、八五	九、〇一六	一五、三〇	二六、五五〇	四五、〇七	二三、一〇三	三九、三
青梅町	一、六五五	六四、六〇二	三九、〇三	四一、〇九七	二五、四三	五四、七六四	三三、〇九	三三、四六二	二〇、二
調布村	一、〇四	一三、八〇六	一三、六二	一六、一〇〇	一五、八七	四一、〇四四	四〇、四七	三三、六八	三四、一五
吉野村	五七	三、四八五	六、一〇	九、五六七	一六、七五	一五、二八七	二六、七七	一二、三六	二一、四
三田村	六七	六、七三九	九、九六	八、〇三六	一一、八八	二〇、九三三	三〇、九六	一七、四〇〇	二五、七三
古里村	六四	九、七八七	一五、九三	七、七三三	一二、五七	二二、三〇四	三六、三	一九、八七六	三二、二七
氷川村	七五〇	五、七二七	七、六二	九、〇七八	一二、一〇	二二、五一六	三〇、〇三	一八、二〇〇	二四、二六

小河内村	五七	一、二八七	二、二六	六、八七四	一二、三	一五、七六二	二七、七九	七、九一一	一四、〇九
計	一六、〇一九	二二、三四四	一三、一九	二八、三五九	一七、六三	五五、六二	三三、八七	四〇、八一〇	二五、四七
南多摩郡 横山村	五三	七、九五三	一三、八七	五、九二七	一〇、三四	一九、五二五	三四、〇五	一四、四六九	二五、二五
淺川村	六九	七、〇五五	一〇、一〇	八、六八二	一二、四三	二二、三三五	三三、〇〇	一四、八六	二二、二四
元八王子村	八七	六、六〇九	七、九	九、五七九	一二、五八	二七、三九六	三三、一二	一七、七二	二一、四
恩方村	八〇	六、五三	八、〇九	九、二四二	一二、四〇	二二、六五三	二六、七三	一五、八二二	一九、五二
川口村	七四	九、四一三	一二、六五	八、五七四	一一、五二	二〇、六二	二七、七一	一一、八二七	一五、八八
加住村	五四	五、〇〇六	九、一八	五、九三二	一〇、九	一四、五〇八	二六、六三	一〇、三〇	一八、七七
小宮村	九六	一〇、八七二	一一、三二	一二、九六三	一三、四八	二二、八九七	三三、六	一一、一〇二	一一、五五
日野町	八九	一二、四、三九	一三、八、七六	九、八九六	一二、〇四	二八、四〇四	三二、七〇	一七、三八五	一九、四〇
七生村	五八	七、一九二	一三、三六	五、七五四	一〇、六九	一七、三三三	三三、一九	一一、五二〇	二一、四
由木村	八六	八、七七七	一〇、一三	九、〇九〇	一〇、四九	二八、八三四	三三、二九	一五、一三四	一七、四七
多瀬村	七〇	九、一四六	一二、九三	七、六九四	一〇、八八	二五、三三八	三五、八三	一八、六二五	二六、三四
稻城村	六五	一〇、〇八三	一四、五〇	七、五九六	一〇、九二	二〇、八八九	三〇、〇五	一三、五九	一九、四八
鶴川村	八四	一〇、七七〇	一二、七三	九、六八五	一一、四四	二九、一七二	二四、四八	一八、八六七	二二、三〇
南村	六四	六、二二九	八、九六	七、九八〇	一一、四九	一七、二九五	二四、九二	一一、四八七	一六、五五

郡市町村名	戸數	直接國稅		府稅		市町村稅		家屋稅附加稅又ハ戸數割附加稅	
		稅額	一戸當	稅額	一戸當	稅額	一戸當	稅額	一戸當
町田町	一、〇〇七	一一、八八一	一一、七九	二、三九六	二、三八一	三〇、八八三	三〇、六六	二二、〇六五	二〇、九一
忠生村	九二	九、八〇〇	一〇、七	一〇、六六一	一一、八二	二五、六〇〇	二八、五七	一七、〇四〇	一八、六八
堺村	五九	六、四八一	八、二二	八、四五〇	一〇、七〇	二一、七四	二七、五三	一七、一〇六	二一、六八
由井村	八〇五	八、六九八	一〇、八〇	九、三三三	一一、五八	二五、八六〇	三三、一二	一九、二八五	二三、九五
計	一三、九二三	二六六、八六七	一九、一八	一六〇、二六	一一、五〇	四一九、二四七	三〇、一三	二七、〇三二	一九、一九
北多摩郡立川村	八九七	一二、〇一九	一三、三九	一九、二四	二一、三〇	二七、七〇	三〇、八九	一七、〇五二	一九、〇二
谷保村	四七二	五、三四〇	一一、三一	一一、七七五	二四、四八	一一、二五五	二五、九六	六、三六七	一三、四八
西府村	三五四	六、一八〇	一六、九七	一〇、一七四	二七、九五	七、二二	一九、八五	三、五八八	九、八五
府中町	一、一九九	一七、七三六	一四、七九	三三、九九五	二七、五一	三六、二八二	三〇、三四	一八、八九四	一五、七五
多磨村	七八	一〇、六三四	一四、八一	一八、七九	二六、一七	三三、九五七	三一、九七	一一、三六〇	一五、八二
調布町	八五七	一四、九九四	一七、四九	二二、六九	二六、五九	二五、八六〇	三〇、一七	二一、六二〇	一四、七二
神代村	六二〇	五、五五九	八、九三	一四、五五六	二三、四七	二二、二四五	三五、八七	一六、七二二	二六、九五
狛江村	四四五	六、四六〇	一四、五一	一二、五四八	二八、一九	一三、七五九	三〇、九一	一〇、〇九五	二三、六八
三鷹村	九二六	七、四七五	八、〇七	一九、六二二	二一、一七	二三、六八三	二四、四九	二一、九八四	一四、〇二
武藏野村	八五	八、二二〇	九、四八	二二、二八三	二六、〇三	二二、〇〇九	二六、八七	一四、八二九	一七、三三

郡市町村名	戸數	直接國稅		府稅		市町村稅		家屋稅附加稅又ハ戸數割附加稅	
		稅額	一戸當	稅額	一戸當	稅額	一戸當	稅額	一戸當
小金井村	六三二	五、〇四五	七、九	一三、八〇九	二一、八八	一八、二四五	二八、九二	一一、三三三	一七、八〇
國分寺村	八〇一	六、一九八	七、七三	二六、〇三七	二〇、〇三	二三、六三二	二九、五〇	一一、九九八	一四、九七
砂川村	八三五	七、三四七	八、七九	一七、九六六	二一、五二	二二、二六九	二六、六六	一三、四八三	一六、一四
組	六九三	九、〇九〇	一三、一一	一七、九七七	二五、九四	一六、八七〇	二四、三四	八、三七五	一二、〇八
合	六九三	九、〇九〇	一三、一一	一七、九七七	二五、九四	一六、八七〇	二四、三四	八、三七五	一二、〇八
大神村									
中神村									
郷地村									
福島村									
田中村									
上川原村									
築地村									
宮澤村									
拜島村	二九四	二、七九一	九、四九	七、三二	二四、五六	七、九七八	二七、二三	四、五〇二	一五、三三
村山村	一、二二〇	九、六七二	七、六七	二一、六九五	一七、二二	二六、四四七	二〇、九八	一八、四五五	一四、六四
大和村	八九二	八、一七六	九、一六	一五、七七二	一七、六八	二四、三三八	二七、二八	一八、九〇〇	二一、一八
東村山村	一、二九九	一一、七〇一	九、〇〇	一五、三〇五	一九、四八	三九、九二八	三〇、七三	二〇、七〇〇	一五、九三
清瀬村	五四	五、三〇五	九、九三	一一、〇七〇	二一、六〇	一四、九四〇	二七、九七	八、七四四	一六、三七

郡市町村名	戸数	直接國稅		府稅		市町村稅		家屋稅附加稅又ハ戸數割附加稅	
		稅額	一戸當	稅額	一戸當	稅額	一戸當	稅額	一戸當
久留米村	七七	六、八六六	八八六	一六、六五二	二、四二	二〇、三九二	二六、二四	一三、七三三	一六、三八
保谷村	六〇一	五、七五九	九五九	一三、三九一	二〇、六二	一六、六六三	二七、七二	九、二八八	一五、四五
田無村	五九	四、三三五	八、一四	一一、八九七	二〇、九〇	一八、三四三	三三、三三	九、五七七	一六、七四
小平村	九六九	七、三六二	七、六二	二〇、四三五	二一、〇八	二九、八七七	三〇、八三	二二、二五七	二一、九三
計	一七、五〇九	一八四、四八二	一〇、五三	三九三、八六一	三、四九	四九四、〇〇七	二八、二一	二九三、六九四	一六、七七

三、島 嶼

島 嶼	戸数	國稅		町村稅		戶割	
		稅額	一戸當	稅額	一戸當	稅額	一戸當
伊豆七島	六、九二七	一、四七七	二一七	一六、五〇	二〇、〇〇	五三、六六	七、七四
小笠原島	一、一五三	二七三	二三	二八、二六八	二四、五三	一三、一五〇	一一、五〇

備考

- 一 戸數及人口ハ國勢調査ニ依ル世帶數及人口ナリ
- 二 直接國稅ハ大正十年度ノ調定額ナリ
- 三 府稅、市町村稅、家屋稅附加稅又ハ戸數割附加稅及戸數割ハ大正十一年度ノ豫算ナリ
- 四 家屋稅附加稅又ハ戸數割附加稅欄ニ* 印ヲ附セルハ家屋稅附加稅ナルコトヲ示ス
- 五 ○印ハ東京市ノ隣接町村、△印ハ東京市ノ近郊町村ナリ

大正十二年度東京府稅及東京府各市町村稅稅目別負擔調

一、府 稅

地 域	國稅附加稅課率	宅地地租 其ノ他ノ土地地租	營業稅所得稅	取引所營業稅	家屋稅及戸數割 國稅ニ對スル割合	營業稅所得稅	國稅ニ對スル割合	雜種稅	合 計
市 部	〇、三三三	〇、九三三	〇、〇三三	〇、一〇〇	二、六六九	〇、〇五五	一、四三三	〇、〇一〇	〇、二〇〇
郡 部	〇、六七七	一、五三三	〇、六七七	〇、〇三〇	一一、三三六	〇、五三三	一、一〇九	〇、〇五五	一、一四七

備考 一、一戸當ハ國勢調査ノ世帶數ニ依リ算定ス但シ島嶼ノ分ヲ除ク
二、國稅ニ對スル割合ハ大正十二年度豫算ニ掲上セル國稅附加稅ノ標準國稅ニ依リ算定ス

二、市 町 村 稅

(一) 東京都市計畫區域内

郡市町村	國稅附加稅課率	宅地地租 其ノ他ノ土地地租	營業稅所得稅	家屋稅及戸數割 國稅ニ對スル割合	營業稅所得稅	普通種稅	均課稅	特別稅	戶別割	電柱稅	合 計
東京市	〇、三三三	〇、八三三	〇、〇三三	〇、一〇〇	一、七〇〇	一、七〇〇	二、一〇〇	百分ノ一	百分ノ一	一、〇〇〇	〇、八六
荏原川郡町	〇、二六〇	〇、六三〇	〇、〇三〇	〇、一〇〇	一、二六〇	一、二六〇	一、五〇〇	百分ノ一	百分ノ一	一、〇〇〇	〇、四八
○大崎町	〇、三三三	〇、七三三	〇、〇三三	〇、一〇〇	一、七〇〇	一、七〇〇	一、〇〇〇	百分ノ一	百分ノ一	一、〇〇〇	〇、五九

郡市町村	國稅附加稅課率		府稅		附加稅		特別稅		課率		合計
	宅地地租	其ノ他ノ土地地租	營業稅所得稅	家屋稅及戸數割	營業稅	雜稅	不均一稅	不動產取得稅	消費稅	戶別割電柱稅	國稅ニ對スル割合
目黒町	0.10	0.10	0.10	1.50	0.00	0.00	—	—	—	—	0.26
世田谷町	0.10	0.10	0.10	1.50	0.00	0.00	—	—	—	—	0.26
松澤村	0.10	0.10	0.10	5.00	0.00	0.00	—	—	—	—	0.26
平塚村	0.10	0.10	0.10	5.00	0.00	0.00	—	—	—	—	0.26
碑衾村	0.10	0.10	0.10	5.00	0.00	0.00	—	—	—	—	0.26
玉川村	0.10	0.10	0.10	5.00	0.00	0.00	—	—	—	—	0.26
駒澤村	0.10	0.10	0.10	5.00	0.00	0.00	—	—	—	—	0.26
馬込村	0.10	0.10	0.10	5.00	0.00	0.00	—	—	—	—	0.26
調布村	0.10	0.10	0.10	5.00	0.00	0.00	—	—	—	—	0.26
矢口村	0.10	0.10	0.10	5.00	0.00	0.00	—	—	—	—	0.26
池上村	0.10	0.10	0.10	5.00	0.00	0.00	—	—	—	—	0.26
入新井町	0.10	0.10	0.10	5.00	0.00	0.00	—	—	—	—	0.26
大井町	0.10	0.10	0.10	5.00	0.00	0.00	—	—	—	—	0.26

大森町	0.10	0.10	0.10	5.00	0.00	0.00	—	—	—	—	0.26
蒲田町	0.10	0.10	0.10	5.00	0.00	0.00	—	—	—	—	0.26
六郷村	0.10	0.10	0.10	5.00	0.00	0.00	—	—	—	—	0.26
羽田町	0.10	0.10	0.10	5.00	0.00	0.00	—	—	—	—	0.26
豐多摩郡中野町	0.10	0.10	0.10	5.00	0.00	0.00	—	—	—	—	0.26
野方村	0.10	0.10	0.10	5.00	0.00	0.00	—	—	—	—	0.26
和田堀内村	0.10	0.10	0.10	5.00	0.00	0.00	—	—	—	—	0.26
杉並村	0.10	0.10	0.10	5.00	0.00	0.00	—	—	—	—	0.26
井荻村	0.10	0.10	0.10	5.00	0.00	0.00	—	—	—	—	0.26
高井戸村	0.10	0.10	0.10	5.00	0.00	0.00	—	—	—	—	0.26
大久保町	0.10	0.10	0.10	5.00	0.00	0.00	—	—	—	—	0.26
戸塚町	0.10	0.10	0.10	5.00	0.00	0.00	—	—	—	—	0.26
落合村	0.10	0.10	0.10	5.00	0.00	0.00	—	—	—	—	0.26

郡市町村	國稅附加稅課率			府稅	附加稅		特別稅	課率	合計
	宅地地租 其ノ他ノ 土地地租	營業稅所得稅	家屋稅及戶數割 課率 一戸當		營業稅 課率 普通	雜稅 課率 一			
〇〇澁橋町	〇.二六〇	〇.〇〇〇	〇.〇〇〇	一.〇〇〇	一.〇〇〇	同	—	—	〇.八八
△代々幡町	〇.二六〇	〇.〇〇〇	一.七五六	一.〇〇〇	一.〇〇〇	同	—	—	〇.八八
〇〇千駄ヶ谷町	〇.四二〇	〇.九〇〇	七.三三六	〇.八〇〇	〇.八〇〇	同	—	—	〇.四九
〇〇澁谷町	〇.二六〇	〇.〇〇〇	一.三九二	一.〇〇〇	一.〇〇〇	同	—	—	〇.九五
北豐島郡 板橋町	〇.二二〇	〇.〇九〇	一.七四六	一.〇〇〇	一.〇〇〇	取得價格 千分ノ十 消費金額 五圓以上 百分ノ三	—	—	二.四九
						年額 〇.五〇〇			
〇〇榮町	〇.二二〇	〇.〇九〇	一.六七〇	一.〇〇〇	一.〇〇〇	同	—	—	一.三〇
〇〇瀧野川町	〇.二二〇	一.五四〇	二.〇五八	一.五〇〇	一.五〇〇	同	〇.五〇〇	—	二.三九
〇〇日暮里町	〇.二六〇	〇.〇〇〇	一.五九四	一.〇〇〇	一.〇〇〇	同	—	—	二.六六

△三河島町	〇.二六〇	〇.〇〇〇	〇.〇七〇	〇.一四〇	〇.二二〇	同	—	三.六八
〇〇南千住町	〇.二六〇	〇.〇〇〇	〇.〇七〇	〇.一四〇	〇.二二〇	同	—	〇.九〇
△尾久町	〇.二六〇	〇.〇〇〇	〇.〇七〇	〇.一四〇	〇.二二〇	同	—	一.〇五
△土子町	〇.二六〇	〇.〇〇〇	〇.〇七〇	〇.一四〇	〇.二二〇	同	—	二.九五
△岩淵町	〇.二六〇	〇.〇〇〇	〇.〇七〇	〇.一四〇	〇.二二〇	同	—	二.八七
志村	〇.二六〇	〇.〇〇〇	〇.〇七〇	〇.一四〇	〇.二二〇	同	—	三.六二
上板橋村	〇.二六〇	〇.〇〇〇	〇.〇七〇	〇.一四〇	〇.二二〇	同	—	二.八七
赤塚村	〇.二六〇	〇.〇〇〇	〇.〇七〇	〇.一四〇	〇.二二〇	同	—	二.三九
上練馬村	〇.二六〇	〇.〇〇〇	〇.〇七〇	〇.一四〇	〇.二二〇	同	—	三.〇四
大泉村	〇.二六〇	〇.〇〇〇	〇.〇七〇	〇.一四〇	〇.二二〇	同	—	二.六五
石神井村	〇.二六〇	〇.〇〇〇	〇.〇七〇	〇.一四〇	〇.二二〇	同	—	四.六五
中新井村	〇.二六〇	〇.〇〇〇	〇.〇七〇	〇.一四〇	〇.二二〇	同	—	三.五七
下練馬村	〇.二六〇	〇.〇〇〇	〇.〇七〇	〇.一四〇	〇.二二〇	同	—	四.〇七
△長崎村	〇.二六〇	〇.〇〇〇	〇.〇七〇	〇.一四〇	〇.二二〇	同	—	二.三三

郡市町村	國稅附加稅課率		府稅		附加稅		特別稅		課率		合計
	宅地地租	其ノ他ノ土地地租	營業稅所得稅	家屋稅及戶數割	營業稅	雜稅	不動產取得稅	遊興稅	戶別割電柱稅	國稅ニ對スル割合	
〇〇高田町	0.250	0.000	0.100	0.000	0.000	0.000	—	—	—	0.000	1.250
〇〇西巢鴨町	0.250	0.000	0.100	0.000	0.000	0.000	同分ノ十	—	0.000	—	1.250
南足立郡 △千住町	0.250	0.000	0.100	0.000	0.000	0.000	百分ノ一	—	本柱一本 支柱一本	—	1.250
西新井村	0.250	0.000	0.100	0.000	0.000	0.000	—	—	—	—	1.250
江北村	0.250	0.000	0.100	0.000	0.000	0.000	—	—	—	—	1.250
舍人村	0.250	0.000	0.100	0.000	0.000	0.000	—	—	—	—	1.250
梅島村	0.250	0.000	0.100	0.000	0.000	0.000	—	—	—	—	1.250
綾瀬村	0.250	0.000	0.100	0.000	0.000	0.000	—	—	—	—	1.250
東淵江村	0.250	0.000	0.100	0.000	0.000	0.000	—	—	—	—	1.250
花畑村	0.250	0.000	0.100	0.000	0.000	0.000	—	—	—	—	1.250
淵江村	0.250	0.000	0.100	0.000	0.000	0.000	—	—	—	—	1.250
伊興村	0.250	0.000	0.100	0.000	0.000	0.000	—	—	—	—	1.250

南葛飾郡 △小松川町	0.250	0.000	0.100	0.000	0.000	0.000	—	—	—	—	1.250
松江村	0.250	0.000	0.100	0.000	0.000	0.000	—	—	—	—	1.250
葛西村	0.250	0.000	0.100	0.000	0.000	0.000	—	—	—	—	1.250
瑞江村	0.250	0.000	0.100	0.000	0.000	0.000	—	—	—	—	1.250
鹿本村	0.250	0.000	0.100	0.000	0.000	0.000	—	—	—	—	1.250
篠崎村	0.250	0.000	0.100	0.000	0.000	0.000	—	—	—	—	1.250
小岩村	0.250	0.000	0.100	0.000	0.000	0.000	—	—	—	—	1.250
金町村	0.250	0.000	0.100	0.000	0.000	0.000	—	—	—	—	1.250
水元村	0.250	0.000	0.100	0.000	0.000	0.000	—	—	—	—	1.250
新宿町	0.250	0.000	0.100	0.000	0.000	0.000	—	—	—	—	1.250
奥戸村	0.250	0.000	0.100	0.000	0.000	0.000	—	—	—	—	1.250
〇〇吾嬬町	0.250	0.000	0.100	0.000	0.000	0.000	—	—	—	—	1.250
本田村	0.250	0.000	0.100	0.000	0.000	0.000	—	—	—	—	1.250
龜青村	0.250	0.000	0.100	0.000	0.000	0.000	—	—	—	—	1.250

郡市町村	國稅附加稅課率		府稅附加稅		特別稅課率		合計	
	宅地地租 其ノ他ノ 土地地租	營業稅所得稅	家屋稅及戸數割 課率一戸當	營業稅 課率	雜種稅 普通一不 均一	特 別稅 消費稅 戶別割 電柱稅 一戸當	國稅ニ對 スル割合	合計
南綾瀬村	0.120	0.250	0.050 × 1.200	1.600	1.000	0.030	0.030	2.500
△隅田村	0.050	0.110	0.000 × 0.650	2.350	0.000	—	—	0.180
○寺島町	0.050	0.050	0.000 × 1.500	1.850	1.000	—	—	1.500
○龜戸町	0.120	0.050	0.000 × 1.000	1.750	0.000	—	—	0.070
○大島町	0.120	0.050	0.000 × 1.100	1.950	0.000	—	—	2.500
○砂町	0.050	0.110	0.000 × 0.650	1.600	0.000	—	—	0.070
北多摩郡千歲村	0.050	0.170	1.200	1.950	1.000	—	—	1.800
砧村	0.050	0.050	0.000	1.750	0.000	—	—	2.500

(二) 東京都市計畫區域外

郡市町村	國稅附加稅課率		府稅附加稅		特別稅課率		合計	
	宅地地租 其ノ他ノ 土地地租	營業稅所得稅	家屋稅及戸數割 課率一戸當	營業稅 課率	雜種稅 普通一不 均一	特 別稅 消費稅 戶別割 電柱稅 一戸當	國稅ニ對 スル割合	合計
八王子市	0.120	0.050	0.000	1.750	0.000	—	—	1.500

西多摩郡青梅町	0.120	0.050	0.000	1.750	0.000	—	—	1.500
五日市町	0.120	0.050	0.000	1.750	0.000	—	—	1.500
箱根ヶ崎村 石根ヶ崎村 長岡村 殿ヶ谷村	0.120	0.050	0.000	1.750	0.000	—	—	1.500
熊川村	0.120	0.050	0.000	1.750	0.000	—	—	1.500
西多摩村	0.120	0.050	0.000	1.750	0.000	—	—	1.500
多西村	0.120	0.050	0.000	1.750	0.000	—	—	1.500
東秋留村	0.120	0.050	0.000	1.750	0.000	—	—	1.500
西秋留村	0.120	0.050	0.000	1.750	0.000	—	—	1.500
平井村	0.120	0.050	0.000	1.750	0.000	—	—	1.500
増戸村	0.120	0.050	0.000	1.750	0.000	—	—	1.500
大久野村	0.120	0.050	0.000	1.750	0.000	—	—	1.500
戸倉村	0.120	0.050	0.000	1.750	0.000	—	—	1.500

郡市町村	國稅附加稅課率		府稅附加稅		特別稅		課率	合	國稅二對 スル割合
	宅地地租 其ノ他ノ 土地地租	營業稅所得稅	家屋稅及 戸數割 課率一戸當	營業稅 課率	雜稅 普通	不 均	取得稅 消費稅	戶數割 電柱稅一戸當	
小宮村	(0.260)	(0.880)	四、〇〇〇	一、〇〇〇	〇、〇〇〇	—	—	—	二、六六〇
檜原村	(0.101)	(四、五八)	三、三三	〇、〇〇〇	〇、〇〇〇	—	—	—	五、五九
霞村	〇、二〇	〇、二五〇	三、一〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	—	—	—	三、三七
小曾木村	(0.250)	(一、九七)	四、四〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	—	—	—	五、三二
成木村	(0.240)	(三、四三)	三、五九〇	〇、〇〇〇	〇、〇〇〇	—	—	—	四、九〇
調布村	〇、二〇	〇、二五〇	四、五〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	—	—	—	一、九八
吉野村	〇、二〇	〇、二五〇	三、五九〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	—	—	—	四、一六
三田村	〇、二〇	〇、二五〇	三、七六〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	—	—	—	一、八四
古里村	〇、二〇	〇、二五〇	四、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	—	—	—	三、四〇
氷川村	(0.251)	(三、四〇)	三、〇〇〇	〇、〇〇〇	〇、〇〇〇	—	—	—	三、八七
小河内村	(0.25)	(三、〇〇)	三、〇二〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	—	—	—	三、八二
南多摩郡 横山村	〇、二〇	〇、二五〇	三、三三	一、〇〇〇	一、〇〇〇	—	—	—	二、五五

淺川村	(0.27)	(一、七)	二、七〇	一、八〇〇	一、五〇〇	—	—	—	三、五二〇	二、五
元八王子村	(0.25)	(一、三)	二、八五〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	—	—	—	三、八七〇	二、六
恩方村	(0.25)	(一、二)	二、四〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	—	—	—	二、六、三〇	四、九
川口村	(0.25)	(一、二)	二、二〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	—	—	—	二、六、四〇	二、七
加住村	〇、二〇	〇、二五〇	二、二〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	—	—	—	二、七、一〇〇	二、九
小宮村	〇、二〇	〇、二五〇	一、六〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	—	—	—	二、六、一五〇	一、九
日野村	〇、二〇	〇、二五〇	二、五〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	—	—	—	二、一〇、一〇〇	〇、五〇
七生村	〇、二〇	〇、二五〇	二、二〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	—	—	—	二、三、五〇〇	二、三
由木村	(0.23)	(一、三)	一、七〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	—	—	—	二、五、四〇〇	二、四
多摩村	〇、二〇	〇、二五〇	二、七九	一、〇〇〇	一、〇〇〇	—	—	—	二、三、七〇	二、三
稻城村	〇、二〇	〇、二五〇	一、五〇〇	〇、〇〇〇	〇、〇〇〇	—	—	—	二、八、〇〇〇	一、〇
鶴川村	〇、二〇	〇、二五〇	一、一五〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	—	—	—	二、〇、二〇〇	二、三
南村	〇、二〇	〇、二五〇	一、七、七	一、〇〇〇	一、〇〇〇	—	—	—	二、三、五〇〇	二、五〇
町田町	〇、二〇	〇、二五〇	二、九七〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	—	—	—	二、〇、一、一〇〇	二、〇

郡市町村	國稅附加稅課率		府稅		附加稅		特別稅		課率		合計
	宅地地租	其ノ他ノ土地地租	營業稅所得稅	家屋稅及戶數割	營業稅	雜稅	均課稅	取得稅	消費稅	戶別割電柱稅	國稅ニ對スル割合
忠生村	0.0000	0.0000	0.0000	二、三〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	—	—	—	—	二、三〇〇
界村	0.0000	0.0000	0.0000	三、三三三	一、〇〇〇	一、〇〇〇	—	—	—	—	三、三三三
由井村	0.0000	0.0000	0.0000	二、二二二	一、〇〇〇	一、〇〇〇	—	—	—	—	二、二二二
北多摩郡府中町	0.0000	0.0000	0.0000	三、五〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	—	—	—	—	三、五〇〇
西府村	0.0000	0.0000	0.0000	〇、八八〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	—	—	—	—	二、八八〇
谷保村	0.0000	0.0000	0.0000	一、五五五	一、〇〇〇	一、〇〇〇	—	—	—	—	二、五五五
立川村	0.0000	0.0000	0.0000	四、一六六	一、〇〇〇	一、〇〇〇	—	—	—	—	五、一六六
大田村	0.0000	0.0000	0.0000	一、七七八	一、〇〇〇	一、〇〇〇	—	—	—	—	二、七七八
神奈川村	0.0000	0.0000	0.0000	一、七七八	一、〇〇〇	一、〇〇〇	—	—	—	—	二、七七八
中島村	0.0000	0.0000	0.0000	一、七七八	一、〇〇〇	一、〇〇〇	—	—	—	—	二、七七八
福地村	0.0000	0.0000	0.0000	一、七七八	一、〇〇〇	一、〇〇〇	—	—	—	—	二、七七八
上原村	0.0000	0.0000	0.0000	一、七七八	一、〇〇〇	一、〇〇〇	—	—	—	—	二、七七八
拜島村	0.0000	0.0000	0.0000	二、二二二	一、〇〇〇	一、〇〇〇	—	—	—	—	三、二二二
砂川村	0.0000	0.0000	0.0000	一、六六六	一、〇〇〇	一、〇〇〇	—	—	—	—	二、六六六
村山村	0.0000	0.0000	0.0000	二、二二二	一、〇〇〇	一、〇〇〇	—	—	—	—	三、二二二

大和村	0.0000	0.0000	0.0000	〇、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	—	—	—	—	二、〇〇〇
東村山村	0.0000	0.0000	0.0000	一、一〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	—	—	—	—	三、一〇〇
清瀬村	0.0000	0.0000	0.0000	一、一〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	—	—	—	—	三、一〇〇
久留米村	0.0000	0.0000	0.0000	一、一〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	—	—	—	—	三、一〇〇
保谷村	0.0000	0.0000	0.0000	一、一〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	—	—	—	—	三、一〇〇
田無町	0.0000	0.0000	0.0000	一、一〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	—	—	—	—	三、一〇〇
小平村	0.0000	0.0000	0.0000	一、一〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	—	—	—	—	三、一〇〇
國分寺村	0.0000	0.0000	0.0000	一、一〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	—	—	—	—	三、一〇〇
小金井村	0.0000	0.0000	0.0000	一、一〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	—	—	—	—	三、一〇〇
武藏野村	0.0000	0.0000	0.0000	一、一〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	—	—	—	—	三、一〇〇
三鷹村	0.0000	0.0000	0.0000	一、一〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	—	—	—	—	三、一〇〇
神代村	0.0000	0.0000	0.0000	一、一〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	—	—	—	—	三、一〇〇
狛江村	0.0000	0.0000	0.0000	一、一〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	—	—	—	—	三、一〇〇

郡市町村	國稅附加稅課率		府稅		附加稅		特別稅		課率		合計
	宅地地租 其ノ他ノ 土地地租	營業稅所得稅	家屋稅及戸數割 課率一戸當	營業稅 課率一戸當	雜稅 普通	均課稅	取得稅	消費稅	戶別割 電柱稅一戸當	國稅ニ對 スル割合	
調布町	(0.1500)	(0.6500)	0.2500	0.1500	1.2500	1.2500	0.5000	—	—	—	1.6500
多磨村	(0.1500)	(1.0000)	0.2500	0.1500	1.2500	1.2500	0.5000	—	—	—	1.6500

備考

- 一、〇印ハ東京市ノ隣接町村、△印ハ東京市ノ近郊町村ナリ
- 二、×印ハ家屋稅附加稅ナリ
- 三、宅地地租及其ノ他ノ土地地租欄ノ括弧内ノ數字ハ反別割ノ課率ヲ便宜換算シタルモノナリ
- 四、一戸當ハ國勢調査ノ世帯數ニ依リ算定ス
- 五、東京市ハ本表ノ外左ノ二稅アリ
礦業稅附加稅 〇、一〇〇 取引所營業稅附加稅 〇、一〇〇
- 六、特別稅中不動産取得稅ハ東京市以外ハ建物ニ對スルモノナリ
- 七、東京市ノ家屋稅附加稅中ニハ區ニ屬スル市稅ヲ含ム

各種ノ區域ニ於ケル東京府稅及市町村稅負擔調

區域	地租附加稅課率		營業稅附加稅課率		所得稅附加稅課率		家屋稅及戸數割並其ノ附加稅		府稅及市町村稅合計	
	宅地	其ノ他	營業稅	所得稅	家屋稅及戸數割並其ノ附加稅	國稅ニ對 スル割合	一戸當	國稅ニ對 スル割合	府稅及市町村稅合計	國稅ニ對 スル割合
東京市	八五	一七三	一〇三	一九三	二二、九五	一六	六〇、五五	〇、八三	—	—

東京市及隣接町村	平均ニ相當 スル町村數		平均ニ相當 スル町村數		平均ニ相當 スル町村數		平均ニ相當 スル町村數		平均ニ相當 スル町村數	
	平均ニ相當 スル町村數	平均ニ相當 スル町村數	平均ニ相當 スル町村數	平均ニ相當 スル町村數	平均ニ相當 スル町村數	平均ニ相當 スル町村數	平均ニ相當 スル町村數	平均ニ相當 スル町村數	平均ニ相當 スル町村數	平均ニ相當 スル町村數
東京市	八七	二、一六八	一、〇四六	一九五	一八、〇五二	三〇	五、六九四	〇、九八	—	—

東京市及近郊町村	平均ニ相當 スル町村數		平均ニ相當 スル町村數		平均ニ相當 スル町村數		平均ニ相當 スル町村數		平均ニ相當 スル町村數	
	平均ニ相當 スル町村數	平均ニ相當 スル町村數	平均ニ相當 スル町村數	平均ニ相當 スル町村數	平均ニ相當 スル町村數	平均ニ相當 スル町村數	平均ニ相當 スル町村數	平均ニ相當 スル町村數	平均ニ相當 スル町村數	平均ニ相當 スル町村數
東京市	八七	二、一六八	一、〇四六	一九五	一八、〇五二	三〇	五、六九四	〇、九八	—	—

東京	都市	計畫	區域
平均	平均ニ相當 スル町村數	平均ヲ超ユ ル町村數	平均ニ滿タ サル町村數
八二	一	八二	四
二、二〇九	一	一六	六六
一、〇四六	一	六	七
一、五	一	八三	一
一八、七四	一	六	八
一、三	一	八四	一
五、九〇七	一	四四	四〇
一、〇三	一	八〇	四

東京	府	平均	平均ニ相當 スル町村數	平均ヲ超ユ ル町村數	平均ニ滿タ サル町村數
一、〇七	五、四二	一	一	一	一
一、〇七	一〇四	一	一	一	一
一、〇七	一〇四	一	一	一	一
一、〇七	一〇四	一	一	一	一
一、〇七	一〇四	一	一	一	一
一、〇七	一〇四	一	一	一	一
一、〇七	一〇四	一	一	一	一
一、〇七	一〇四	一	一	一	一
一、〇七	一〇四	一	一	一	一
一、〇七	一〇四	一	一	一	一

備考 一、市町村稅ハ大正十二年度豫算ニ依ル

二、國稅ハ大正十二年度各市町村豫算ニ掲上セル國稅附加稅ノ標準國稅ニ依ル

三、府稅ハ國稅附加稅ニ在リテハ前記ノ國稅ニ所定ノ稅率ヲ乘シタルモノ、其ノ他ニ在リテハ大正十二年度各

市町村豫算ニ掲上セル府稅附加稅ノ標準府稅ニ依ル

四、一戸當ハ國勢調査ノ世帯數ニ依ル

五、平均欄中國稅附加稅ノ課率ハ各其ノ區域ヲ通シ均一ニ賦課スル場合ノ課率ナリ

六、東京府中ニハ島嶼ヲ包含セス

東京府市郡二部經濟並三部會制度ノ現狀

沿革

東京府市郡二部經濟並三部會制度ハ府縣制第四百十條、明治三十二年勅令第二百八十五號及同年內務省令第二十五號ニ據ルモノナルモ市郡ノ經濟ヲ分別シ三部會ヲ設ケタルハ遠ク府縣會規則及地方稅規則施行ノ直後トス

東京府市郡二部經濟並三部會制度ノ現狀

目次

- 一 東京府市部及郡部ノ一般狀勢
- 二 府會市部會郡部會議決事件分別
- 三 大正十二年度東京府市部郡部及市郡聯帶經濟ニ屬スル經費ノ區分
- 四 東京府市郡聯帶費市部郡部分擔ノ割合
- 五 同 分收ノ割合
- 六 大正十二年度東京府一般會計歳入出豫算總計表
- 七 東京府稅課率
- 八 東京府市郡聯帶經濟ニ屬スル學校其ノ他ノ所在地

一 東京府市部及郡部ノ一般狀勢

種 別	東京府	市	部	島嶼以外	島	嶼	部計
面 積	一一、四七〇 ^{方里}	五、〇六六	一〇七、四〇四	二五、七六〇	一二三、一六四		
戸 數	七三、五四七	四五六、八二〇	三〇六、七二七	八、〇七九	三四、八〇六		
人 口	三、六九、四一八	二、一七三、二〇一	一、四九三、二二一	三三、一〇六	一、五二六、二二七		
區 町 村 數	二〇三	一五	一五九	二九	一八八		

二 府會市部會郡部會議決事件ノ分別

明治三十六年二月東京府令第五號

一歳 入 豫 算 但市部ニ屬スルモノ

一歳 出 豫 算 中

警 察 費 但市内及水上ノ警察ニ關スル諸費

警察廳舍建築費 但同上

警察廳舍修繕費 但同上

市町村傳染病豫防補助費 但市内ニ關スルモノ

府 費 取 扱 費 但市内ノ府稅徵收費ニ關スルモノ

財 產 費 但市部ニ屬スル府有財産ニ關スル諸費

府 社 費 但市内ノ府社ニ關スルモノ
行政執行費 但市内ニ係ルモノニシテ他ノ費目ニ屬セザルモノ
府 債 費 但市部ニ關スルモノ
豫 備 費 但市部歳出ニ充ツルモノ

一前二項歳入歳出豫算各科目ニ關聯又ハ附帶ノ事件

一府稅賦課徵收方法 但市部ニ屬スル府稅ニ關スルモノ

一營業稅雜種稅課目課額 但同上

一市部ニ屬スル特別經濟ニ關スルモノ

以上市部會議決事件

一歳入豫算 但郡部ニ屬スルモノ

一歳出豫算中

警察 費 但郡内ノ警察ニ關スル諸費

警察廳舍建築費 但同上

警察廳舍修繕費 但同上

土木費

但郡内道路橋梁其他土木事業 (市郡ニ連續スル國道第一號路線、第四號路線、第七號路線、第八號路線、四谷區界ヨリ豐多摩郡代々幡町府縣道第四十三號世田ヶ谷代々幡線分岐點ニ至ル間 第九號路線、府縣道第一號東京厚木線 東京市赤坂區界ヨリ荏原郡世田ヶ谷村府縣道第二十二號芝溝線分岐點ニ至ル間 第二號東京青梅線 東京市四谷區界ヨリ豐多摩郡中野町府縣道第六十八號中野線分岐點ニ至ル間 第六號東京川口線第十八號芝下大崎線、第十九號下大崎川和線 荏原郡大崎町府縣道第十八號芝下縣

崎線ヨリ同町五反 第二十號芝溝口線 東京市芝區界ヨリ荏原郡第二十一號松井高田線 北豐島郡高田町元標ヨリ 第二十二號芝溝線 豐多摩郡前ニ至ル間 第四十號田無小石川線 東京市小石川區界ヨリ北豐島郡高田町元標ニ至ル間 第五十號神田千住線、第六十四號王子小石川線、第一百十號麻布惠比壽停車場線 東京市麻布區界ヨリ豐多摩郡澁谷町ノ道路橋梁及市郡ニ接續スル橋梁並荒川、多摩川、江戸川、中川、綾瀬川、新川、淺川、秋川、海老取川、小名木川、堅川、横十間川、北十間川、古利根堤ノ治水堤防費及荒川改良工事並利根川改良工事ニ附帶スル工事及都市計畫ニ關スルモノヲ除ク)ニ關スル諸費

郡市町村土木補助費 但郡内ニ關スルモノ荒川改良工事並利根川改良工事ニ附帶スル工事ニ關スルモノヲ除ク

衛生及病院補助費 但郡内部ノ衛生及郡立病院病舎ニ關スルモノ

市町村傳染病豫防補助費 但郡内ニ關スルモノ

郡廳舍建築費

郡廳舍修繕費

郡役所費

救育費 但郡内ノ棄兒及窮民ノ養育ニ關スル諸費

諸達書及揭示諸費 但郡役所ノ揭示場ニ關スル諸費

勸業補助費 但農業試驗場害虫驅除豫防耕地改良農事改良公有林野造林獎勵及測候ニ關スル諸費

勸業補助費 但農會、桑園、耕地整理、製糸、製茶、機業、農業倉庫及養蠶組合及採種圃ニ關スル諸費

府費取扱費 但郡内ノ府稅徵收費ニ關スルモノ

財產費 但郡部ニ屬スル府有財產ニ關スル諸費

府社費 但郡内ノ府社ニ關スルモノ

町村長會補助費
行政執行費 但郡内ニ係ルモノニシテ他ノ費目ニ屬セサルモノ
府債費 但郡部ニ關スルモノ
豫備費 但郡部歳出ニ充ツルモノ
一前二項歳入歳出豫算各科目ニ關聯又ハ附帶ノ事件
一府税賦課徵收方法 但郡部ニ屬スル府税ニ關スルモノ
一營業稅雜種稅課目課額 但同上
一郡部ニ屬スル特別經濟ニ關スルモノ
以上郡部會議決事件
一市部會郡部會ニ屬セサル歳入歳出豫算及其ノ他ノ事件
以上府會議決事件

三 大正十二年度東京府市部、郡部及市郡聯帶經濟ニ屬スル經費ノ區分

一 般 會 計

費 目	市 郡 聯 帶	市	部	郡	部
警 察 費	警視廳及警察練習所ニ關スル諸費	市内及水上ノ警察及消防ニ關スル諸費		郡部内ノ警察ニ關スル諸費	

土 木 費	國道及府縣道 市部ニ連續スルモノノ内近郊ニ屬スル部分 荒川、多摩川、江戸川、中川、綾瀨川、新 川、淺川、秋川、海老取川、小名木川、堅 川、横十間川、北十間川、古利根堤			市郡聯帶ニ屬スルモノ以外	
府 會 議 諸 費	全 部				
郡 役 所 費 及				全 部	
郡 廳 舍 建 築 修 繕 費					
衛 生 及 病 院 費	全 部				
教 育 費	全 部				
救 育 費	代行旅病人死亡人費、精神病者費 代用精神病院費			郡部内ノ窮民救助費及棄兒費	
勸 業 費	蠶業取締所費、原蠶種製造所費、種畜場 獎勵費、農事講習所費、勸業諸會費、蠶絲業 獎勵費、畜產獎勵費、水產獎勵費、農業 獎勵費、實業獎勵費、産業獎勵費、農業 獎勵費、苗圃費、工業試驗場設置調査費、 商工獎勵館經濟編入金			農事試驗場、氣象觀測費、害虫驅除 豫防費、主要食糧増收獎勵費、耕地 改良費、公有林野造林獎勵費、産業 團體助成費	
府 費 徵 收 費	金 庫 諸 費	市部徵稅費		郡部徵稅費	
府廳舍建築修繕費	全 部				
衆議院議員選舉費	全 部				
府會議員選舉費	同 上				
府吏員職員費	同 上				

費目	市郡聯帶	市	部	郡	部
府廳舍建築修繕費	全部				
應	本廳費、交際費				
神社費	島村ニ係ルモノ	市部内ニ係ルモノ		郡部内ニ係ルモノ	
土地收用費	全部				
財產費	管理費				
史蹟名勝記念物保存費	全部				
府統計費	同				
感化院費	同				
地方獎勵費	同				
市町村吏員懲戒審査會費	同				
補償鑑定費	同				
社會事業調查費	同				
海外視察員派遣費	同				
都市計畫畫費	同				
都市計畫事業費	同				

都市計畫畫地方委員會費	同				
市町村土木補助費				郡部内ニ係ルモノ	
看護婦組合補助費	全部				
市町村傳染病豫防補助費	島村ニ係ルモノ	市部ニ係ルモノ		郡部ニ係ルモノ	
教育補助費	東京府教育會、實業教育、市町村立小學校教育費、私立中學及實業學校			郡教育會、郡青年團、公立高等女學校	
地方改良事業補助費	東京地方改良協會				
社會事業補助費	全部				
勸業補助費	物產共進會、小笠原航海、產業組合中央會、東京支會、造林費、伊豆七島航海、蔬菜促成栽培、東京府山林會			東京府農會、耕地整理、養蠶組合、採種圃	
町村長會補助費				全國町村長會	
神職會補助費	東京府神職會			郡神職會	
在鄉軍人會補助				在鄉軍人聯合分會	
府債費	市部聯帶ニ係ルモノ	市部ニ係ルモノ		郡部ニ係ルモノ	
上下水道補助費	全部				

特別會計

市郡聯帶經濟

- 一 商工獎勵館
- 二 功勞者表彰獎勵資金
- 三 松澤病院基本金
- 四 慈惠救濟資金
- 五 御大禮恩賜賑恤資金
- 六 罹災救助基金
- 七 軍人遺家族救護基金
- 八 住宅建設費貸付資金
- 九 教育資金
- 一〇 公立學校職員年功加俸資金
- 一一 小學校教員加俸資金
- 一二 小學校教員恩給基金
- 一三 小學校教員恩給金
- 一四 御大典記念育英資金
- 一五 谷口育英資金

- 一六 美術館創立資金
- 一七 府立學校基本金
- 一八 府立第一中學校戰役記念獎學資金
- 一九 府立第一中學校武術獎勵資金
- 二〇 府立第二中學校恩賜記念獎學資金
- 二一 府立第四中學校伏見宮博義王殿下獎學資金
- 二二 府立第四中學校獎學資金
- 二三 織染學校校舍落成記念獎學資金
- 二四 園藝學校御下賜記念獎學資金

市 部

- 一 慈惠救濟資金
- 二 積立金
- 郡 部
- 一 慈惠救濟資金
- 二 衛生資金
- 三 積立金

四 東京府市郡聯帶費市部郡部
分擔ノ割合

科 目	區別		大正十二年 度割合	合 標 準
	郡	市		
警 察 費	郡	市	七分九厘 二分一厘	戸數ヲ準トシ市部ハ戸數ノ二倍
警察廳舍建築及修繕費	郡	市	七分五厘 二分五厘	警察練習所費ハ配置數其他ハ戸數ヲ準トシ市部ハ戸數ノ二倍
土 木 費	郡	市	五分一厘 四分九厘	
砂 防 工 事 費	郡	市	五分一厘 四分九厘	
治 水 費 分 擔 金	郡	市	七分二厘 二分八厘	五分ヲ人口割、五分ヲ前三個年度平均直接國稅割
國 庫 納 付 金	郡	市	七分二厘 二分八厘	同

河川改良工事附帶工事費	區別		大正十二年 度割合	合 標 準
	郡	市		
府 會 議 諸 費	郡	市	七分二厘 二分八厘	同
衛 生 及 病 院 費	郡	市	六 分 四 分	人 口 傳染病豫防費トラホーム豫防費結核病豫防費及娼妓病院費ハ人口、癩豫防費及癩療養所費分擔金ハ六分ヲ人口割四分ヲ前三個年度平均直接國稅割、獸疫豫防費ハ市五分、郡五分其他ハ戸數ヲ準トシ市部ハ戸數ノ二倍
看護婦組合補助費	郡	市	七分二厘 二分八厘	半額ヲ看護婦組合數、半額ヲ組合所屬看護婦數
市町村傳染病豫防補助費	郡	市	九 分 九 分	人 口 學校費ハ半額ヲ戸數半額ヲ通學生徒數、小學校教員恩給金補充費及講習費ハ正教員數、小學校教員加俸資金編入金ハ正教員及准教員數、公立學校職員年功加俸資金編入金ハ公立學校職員數、社會教育費ハ人口、其他ハ戸數
教 育 費	郡	市	六分二厘 三分八厘	東京府教育會補助ハ會員數、實業教育補助ハ實業學校經費豫算、市町村立小學校教育費補助ハ前三個年度平均學齡兒童數、
教 育 補 助 費	市		七 分	

勸業補助費	勸業費		諸達書及揭示諸費		教育費		郡
	郡	市	郡	市	郡	市	
	四分四厘	五分六厘	三分	七分	二分三厘	七分七厘	三分
私立中等學校及實業學校補助ハ尋常小學校卒業生徒數ヲ準トシ市部ハ其二倍							
行路病人及死亡人費精神病者費ハ救助延人員、代用精神病院費ハ代用精神病院救助延人員							
公報配付部數							
地方森林會費ハ市一厘郡九分九厘、蠶業取締所費蠶糸業獎勵費原蠶種製造所費農事講習所費ハ市二厘郡九分八厘、森林改良費苗圃費ハ市五分一厘郡四分九厘、畜產獎勵費種畜場費ハ市八分四厘郡一分六厘共進會品評會獎勵費實業獎勵費水產獎勵費同業組合及副業助成費工業試驗場調查費農產獎勵費ハ市五分郡五分、產業視察費ハ市六分六厘郡三分四厘、產業組合獎勵費ハ市二分六厘郡七分四厘、商工獎勵館經濟編入金勞働會館費ハ市九分一厘郡九厘、產業從業員獎勵費ハ市七分郡三分開墾助成費ハ市六分三厘郡三分七厘、島嶼產業改良助成費ハ市六分四厘郡三分六厘							
物產共進會補助ハ出品見込點數、小笠原島航海費補助ハ人口、產業組合中央會東京支會補助ハ產業組合數、造林補助東京府山林會補助ハ市五分一厘郡四分九厘、伊豆七島航海費補助蔬菜促成栽培費補助ハ市六分四厘郡三分六厘							

府費取扱費	府廳舍建築及修繕費		衆議院議員選舉費		府會議員選舉費		府吏員職員費		廳費		財產費		土地收用費
	郡	市	郡	市	郡	市	郡	市	郡	市	郡	市	
	三分四厘	六分六厘	三分四厘	六分六厘	四分	六分	四分八厘	五分二厘	四分一厘	五分九厘	四分	六分	六分
前三個年度平均歲入豫算ノ割合													
戶數													
人口													
官房所屬ハ市六分九厘郡三分一厘、衛生所屬ハ市八分一厘郡一分九厘、同業組合獎勵所屬ハ市八分九厘郡一分一厘、副業獎勵所屬ハ市五分郡五分、其他ハ關係費目分擔ノ割合													
關係費目分擔ノ割合													
人口													
人口													

補償 鑑定費	市町村吏員懲戒審査會費			地方改良事業補助費		地方獎勵費		感化院費		府統計費		史蹟天然記念物保存費		神社費		
	市	郡	市	郡	市	郡	市	郡	市	郡	市	郡	市	郡	市	郡
	六分	四分	六分	四分	六分	四分	六分	二分二厘	七分八厘	四分	六分	四分	六分	四分	六分	四分
	人口	人口	人口	人口	人口	人口	人口	在院者延日數	人口	人口	人口	人口	人口	人口	人口	

都市計畫事業費及 都市計畫費	上下水道補助費		神職會補助費		積立金		海外視察員派遣費		町村警備補助費		社會事業補助費		社會事業調查費		
	市	郡	市	郡	市	郡	市	郡	市	郡	市	郡	市	郡	
	七分二厘	四分九厘	五分一厘	四分	六分	四分	七分二厘	二分八厘	四分	六分	三分四厘	六分六厘	四分	六分	四分
	五分ヲ人口割、五分ヲ前三個年度平均直接國稅割		人口		人口		五分ヲ人口割、五分ヲ前三個年度平均直接國稅割		人口		感化院補助費ハ在院者延人員其他ハ人口		人口		

都市計畫地方委員會費	郡		市		府債費	郡		市		豫備費	郡	
	郡	市	郡	市		郡	市	郡	市		郡	市
二分八厘			八分三厘		七分二厘			二分八厘		六分		四分
五分ヲ人口、五分ヲ前三個年度平均直接國稅額ヲ準トシ市部ハ孰レモ其二倍					五分ヲ人口割、五分ヲ前三個年度平均直接國稅割					人口		

五 東京府市郡聯帶費市部郡部收入ノ割合

科目	區別		度大正十二年	割合	標準
	郡	市			
財產收入	郡	市	一分三厘		農工銀行株式配當金ハ宅地鑛泉地池沼以外ノ有租地段別割、其他ハ歲出當該科目分擔ノ割合
國庫下渡金	郡	市	七分九厘		歲出當該科目分擔ノ割合
雜收入	郡	市	六分六厘		同
	郡	市	三分四厘		

六 大正十二年度東京府一般會計歲入歲出豫算總計表

國庫補助金		國庫負擔金		財產賣拂代		分擔金		納付金		寄附金	
郡	市	郡	市	郡	市	郡	市	郡	市	郡	市
六分四厘	三分六厘	七分二厘	二分八厘	五分一厘	四分九厘	五分一厘	四分九厘	七分二厘	二分八厘	七分二厘	二分八厘
歲出當該科目分擔ノ割合		同		同		同		同		同	

歲入總計	部			
	納付金	寄附金	府債	臨時部合計
二、九二五、五四三	八、四〇九六	四八、六三二八	〇	一、七六七、六四八五七
四、一九六、〇四三	六、〇九一八九	三五、〇〇七九七	〇	一、一四六、〇三三
八、七九、四六〇	二、三九〇七	一三、六四二	〇	六四一、六四二六
一九、三二一、八五四二	〇	〇	〇	八、七九、四六〇五〇
二、二六〇、四六七二	八、四〇九六	一四〇、〇二八〇〇	二六二、〇〇〇〇〇	三五、九八八三
三〇、八一〇、七六七九	〇	一八八、六五〇八	二六二、〇〇〇〇〇	四六六、七九八三
				一一、四八八、九二二六

歲

出

科	目	府歲出	市部負擔		市部歲出	郡部歲出	計
			郡部負擔	市部負擔			
警察費	警察費	二、〇六五、九五三〇五	一、六三三、〇二四	四三三、八五〇一四	八、九九七、八五四八六	二、七〇〇、三九八四八	一三、七四四、二六三九
警察廳舍修繕費	警察廳舍修繕費	六、三二一〇〇	四、七三二五	一、五七七五	三五、七八五〇〇	一〇、六五二〇〇	五、七四七〇〇
土木費	土木費	四八〇、〇八四〇三	二四、八四二八五	二三五、二四二七	〇	九三、五二七八	一、三九三、六二二〇
府會議諸費	府會議諸費	二七、八五六〇三	七六、七三六一	五一、四四一	〇	〇	二七、八五六〇三

經

常	目	府歲出	市部負擔		市部歲出	郡部歲出	計
			郡部負擔	市部負擔			
衛生及病院費	衛生及病院費	五七、八二六八	四一六、七五五五	一六二、〇七〇三	〇	〇	五七、八二六八
教育費	教育費	二、六八一、五七〇〇六	一、六六二、五七三	一、〇一八、九六六二	〇	〇	二、六八一、五七〇〇六
郡役所費	郡役所費	〇	〇	〇	〇	二七、九二七〇七	二七、九二七〇七
郡廳舍修繕費	郡廳舍修繕費	〇	〇	〇	〇	三、五二二〇〇	三、五二二〇〇
救育費	救育費	六二〇、四〇六〇八	四七〇、〇二六八	一四〇、三九三	〇	二二、二六四三	六三三、六九〇四
諸達書及揭示諸費	諸達書及揭示諸費	九、九三〇六〇	三、二七二〇	六、六五三五〇	〇	五二〇〇	九、九三二六〇
勸業費	勸業費	二七、四二五九	一九四、五五九二	八三、三八二四八	〇	九三、〇三三九	三七〇、九七九八
府費取扱費	府費取扱費	四、一〇〇〇〇	二、七〇六〇〇	一、三九四〇〇	五、八八八二六	一八九、五四九二	二五〇、五四八二八
府廳舍修繕費	府廳舍修繕費	一五、八〇一〇〇	一〇、四八六六	五、三七三四	〇	〇	一五、八〇一〇〇
衆議院議員選舉費	衆議院議員選舉費	一、〇一〇〇〇	六三三〇〇	四一五六〇	〇	〇	一、〇一〇〇〇
府會議員選舉費	府會議員選舉費	四、五三三〇〇	一、八〇九二〇	二、七三六〇	〇	〇	四、五三三〇〇

科	目	府	市	市	郡	計
		歲出	部	部	部	
			負擔	歲出	歲出	
府	府吏員職員費	五九、五六〇七三	三八、六五一五七	〇	〇	五九、五六〇七三
廳	費	二五、二八〇二五	一四七、六六五三五	〇	〇	二五、二八〇二五
財	財產費	九四八	一〇二、六四九〇	〇	〇	九四八
土	土地收用費	二、三三二〇〇	一、三九二二〇	〇	〇	二、三三二〇〇
神	神社費	三四〇〇	九三三八〇	一、二〇〇〇〇	一、九二〇〇〇	三、四六四〇〇
史蹟天然記念物保存費	費	三、五〇〇〇	二、一三〇〇〇	〇	〇	三、五〇〇〇
府	府統計費	六、三七五九	三、八〇五五	〇	〇	六、三七五九
感	感化院費	一三、七八〇〇	二、五四七〇四	〇	〇	一三、七八〇〇
地	地方獎勵費	九、五九四〇〇	一〇、七三九〇四	〇	〇	九、五九四〇〇
市	市町村吏員懲戒審查會費	一四八〇〇	五九二〇	〇	〇	一四八〇〇

部	補償鑑定費	社會事業調查費	海外視察員派遣費	都市計畫費	都市計畫費	都市計畫費	豫備費	市郡分賦市部	經常部合計	警察廳舍建築費	土木費	市町村土木補助費
補償鑑定費	一六、一〇〇	八、九〇〇〇〇	六、〇〇〇〇〇	六、一七〇七三	二四六、七八七四〇	二四六、七八七四〇	三〇、〇〇〇〇〇	〇	八、〇九七、八五四一六	四〇〇〇〇	五、三二一〇〇	〇
社會事業調查費	九六六〇	五、三四〇〇〇	四、三三〇〇〇	四、四九四九	二〇四、八三五四	二〇四、八三五四	一八、〇〇〇〇〇	〇	五、四七九、五六〇九	三〇〇〇〇	二、六八二	〇
海外視察員派遣費	六四四〇	三、五〇〇〇〇	一、六八〇〇〇	一七、二七八二三	四一、九五三八六	四一、九五三八六	一三、〇〇〇〇〇	〇	二、六八二、三三〇七	一〇〇〇〇	二、五七七八九	〇
都市計畫費	〇	〇	〇	〇	〇	〇	一〇、〇〇〇〇〇	八、七九、四六〇五〇	一七、八四一、二〇八六三	二二、七九〇〇〇	〇	〇
都市計畫費	〇	〇	〇	〇	〇	〇	二〇、〇〇〇〇〇	四、一九六、〇四三八五	八、三七九、八九六三三	一三〇、五八五〇	一八五、三三三〇〇	八四、〇〇〇二〇
豫備費	七〇、〇〇〇〇〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	二、三九三、四五四六五	二五七、七八五〇	一九〇、六四四〇〇	八四、〇〇〇二〇
市郡分賦市部	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
經常部合計	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
警察廳舍建築費	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
土木費	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
市町村土木補助費	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇

科 目	府 歲 出	市 部 負 擔		市 部 歲 出	郡 部 歲 出	計
		郡 部 負 擔	市 部 負 擔			
治水費分擔金	一八、五〇〇〇	三、四〇〇〇	五、〇〇〇〇	〇	〇	一八、五〇〇〇
河川改良工事 附帶工事費	四、八二〇〇	三、五〇〇〇	一、三二〇〇	〇	〇	四、八二〇〇
衛生補助費	〇	〇	〇	〇	五〇〇〇	五〇〇〇
看護婦組合補助費	五、〇〇〇〇	四、五〇〇〇	〇	〇	〇	五、〇〇〇〇
市町村傳染病 豫防補助費	一、五〇〇〇	九〇〇〇	一五、八〇〇〇	四一、五〇〇〇	〇	一九六、八〇〇〇
教 育 費	七、七三三〇	四四、四七五五	〇	〇	〇	七、七三三〇
教育補助費	二九、六〇〇〇	二四、一二〇〇	〇	二一、三〇〇〇	〇	三〇三、九〇〇〇
町村警備補助費	七〇一〇〇	二八〇〇〇	〇	〇	〇	七〇一〇〇
勸 業 費	二六、五九五〇	八、五九八五	〇	三、二八〇〇	〇	二九、八四九五〇
勸業補助費	四〇、六二五〇	二、七五〇〇	〇	五九、九三〇〇	〇	一〇〇、五五六〇〇

臨

時

府廳舍建築費	九、八二五〇〇	六、四八四五〇	〇	〇	九、八二五〇〇
地方改良事業 補助費	四、〇〇〇〇	二、四〇〇〇	〇	〇	四、〇〇〇〇
社會事業補助費	六八、一〇〇〇〇	四四、九四六〇	〇	三、〇〇〇〇	六八、一〇〇〇〇
町村長會補助費	〇	〇	〇	三、〇〇〇〇	三、〇〇〇〇
神職會補助費	一、〇〇〇〇	六〇〇〇	〇	八〇〇〇	一、八〇〇〇
在鄉軍人會補助費	〇	〇	〇	一、六〇〇〇	一、六〇〇〇
府 債 費	六二七、三七〇〇	四四四、四七五四四	一、二八九、六八五〇〇	一、八四七、三六二〇	三、六五四、三七八二〇
運用金戻入	〇	〇	〇	一〇七、三三五〇	一〇七、三三五〇
土木費本年 度支出額	五五、〇〇六〇〇	二六八、二五三〇六	〇	六、八〇三三五	一、一四四、〇九二五
河川改良工事 附帶工事費	一〇一、二九一九	七三、九二九六	〇	〇	一〇一、二九一九
砂防工事費	五、四八八〇〇	二八、八〇八八	〇	〇	五、四八八〇〇
本年度支出額	二七、六七九二	二七、六七九二	〇	〇	五、四八八〇〇

總括

市 郡 聯 帶	一三、九二五、五四	八、八四四、六四七	一六、九二六	一一、
經 濟 別	歲 出	府 稅	歲 出 一 戶 當	府 稅 一 戶 當

市部 (聯帶ノ分擔 分收ヲ除ク)	一〇、五八二、〇三三	三、五九四、六八八	二三、一六四	七、八六八
郡部 (同上)	七、二七九、四三三	四、五四一、二七七	二三、七三三	一四、八〇五
計	三〇、七六六、九六九	一七、〇〇〇、六二二	四〇、三三〇	二三、二六五
市部 (聯帶ノ分擔 分收ヲ含ム)	一九、三一、四八四	九、五一、五八七	四三、二七三	二〇、八四三
郡部 (同上)	一一、四七五、四八五	七、四九、〇三五	三七、四二二	二四、三八三

七 東京府府税課率

税目		市	郡	部
地租	割宅 其ノ他	本税一 圓ニ付	※三四〇 ※八九二	※一五七 ※一二五
所得税	附加税	同	三六	六〇
營業税	附加税	同	※二八七 ※一二六	※四八七 ※一七〇
家屋税及戸數割	平均戸	二、六六九		一一、三三六

備考 ※印ハ都市計畫特別税ナリ

八 東京府市郡聯帶經濟ニ屬スル學校其ノ所在地

(△印ハ東京市ト家屋連管セル町村)
(×印ハ東京都市計畫區域ニ屬スル町村)

名稱	所在地
師範學校	東京市赤坂區
青山師範學校	東京市小石川區
豐島師範學校	東京市小石川區
女子師範學校	東京市麴町區
第一中學校	北多摩郡立川村
第二中學校	東京市牛込區
第三中學校	東京市小石川區
第四中學校	東京市小石川區
第五中學校	東京市小石川區
第六中學校	東京市小石川區
第七中學校	東京市小石川區
第八中學校	東京市小石川區
高等女學校	東京市小石川區

第一高等女學校	第二高等女學校	第三高等女學校	第四高等女學校	第五高等女學校	第六高等女學校	品川高等女學校	小松川高等女學校	織染學業校	工業學業校	實科工業學業校	園藝學業校	農林學業校	農業學校及實業女學校	商業學業校	農蠶學業校	商業學業校
---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	----------	-------	-------	---------	-------	-------	------------	-------	-------	-------

東京市淺草區	東京市小石川區	東京市麻布區	八王子市	×△豐多摩郡淀橋町	東京市芝區	×△荏原郡品川町	×△南葛飾郡小松川町	八王子市	東京市京橋區	東京市本所區	×荏原郡駒澤村	西多摩郡青梅町	×△豐多摩郡中野町	×△北豐島郡瀧ノ川町	北多摩郡府中町	×△豐多摩郡澁谷町
--------	---------	--------	------	-----------	-------	----------	------------	------	--------	--------	---------	---------	-----------	------------	---------	-----------

第二商業學校	化學工業學業校	蠶業取締場所	原蠶種製造場所	種畜場所	農事講習所	商業工獎勵館	勞働會館	小笠原修齊學園	松澤病院	娼妓病院
--------	---------	--------	---------	------	-------	--------	------	---------	------	------

八王子市	東京市深川區	東京市淺草區	東京市四谷區	東京市深川區	東京市品川町	×荏原郡松澤村	小笠原島	同	同	同	同	同	東京市	同	同	×荏原郡松澤村	東京市淺草區	東京市四谷區	東京市深川區	東京市品川町	×△荏原郡品川町	八王子市	北豐島郡板橋町	北多摩郡府中町
------	--------	--------	--------	--------	--------	---------	------	---	---	---	---	---	-----	---	---	---------	--------	--------	--------	--------	----------	------	---------	---------

東京市ノ區ニ關スル調

目次

一	區ノ沿革
二	區ノ世帶數及人口比較
三	區ノ現住戸口累年比較
四	區歲入出累年比較
五	區歲出
	區費額
	區歲出額比較
	區歲出額經常臨時內譯
	區歲出額費途內譯
	區會議員學務委員費用辨償額
六	區歲入及區ニ屬スル市稅
	區歲入額內譯
	區ニ屬スル市稅累年比較
	區ニ屬スル市稅ノ種類
	區小學校其ノ他ノ授業料調
七	區ノ事業

(イ) 區ノ事業一覽
(ロ) 區ノ事業補助内譯

八 區有財産

九 市税調定額各區別調

一〇 區會議員選舉有選者調

一一 區會議員定數調

一二 市外ニ設置セル東京市營造物

一 區ノ沿革

(一) 維新以前 (區ヲ設ケサリシ時代)

東京ニ區制ノ布カレタルハ明治二年三月十六日ニシテ之ヨリサキ江戸時代ニ於テハ町奉行ノ手ニ統一セラレタルモノナリ
始メ天正十八年徳川家康江戸ニ入ルヤ板倉勝重ヲ以テ江戸奉行ニ任シ勝重ノ後彦坂元成ヲシテ之ヲ襲カシム、慶長六年青山
忠成、内藤清成ノ二人之ニ任シ慶長九年始メテ町奉行ノ名ヲ定メテ職制ヲ布ク、此年八代洲河岸吳服橋内ニ廳ヲ設ケ南北二
廳アリ、米澤内政、土屋重成ノ兩名ヲ町奉行トシ毎月交番ヲ以テ吏務ヲ執ラシム、同十八年島田利正奉行トナルヤ、之ヨリ二
十年間ハ一人ヲ以テ任ニ當ル寛永八年堀直之、加爪忠澄ノ二人町奉行ニ任セラレ、又南北兩廳ニ分ル之ヨリ町奉行ハ二人ノ
分掌ヲ以テ原則トセシカ明暦三年八代洲河岸ノ政廳燒ケタルヲ以テ一時町奉行ハ一人トナリシカ寛文二年又二人ノ制ニ復シ
常盤橋門内ニ廳ヲ設ク、元祿十五年八月更ニ増シテ町奉行三人トナリ更ニ鍛冶橋内ニ廳ヲ立テシカ、寶永四年四月常盤橋内
ノ廳ヲ廢シテ數寄屋橋門内ニ之ヲ設ク鍛冶橋政廳ハ享保四年奉行一員ヲ減シテ二人トスルニ及ヒテ之ヲ廢シ常盤橋政廳ハ之
ヨリサキ享保二年再ヒ奉行所上地トナリ其後久シク之ヲ北ノ廳衙トシ數寄屋橋政廳ヲ南トセシガ文化九年又吳服橋ヲ以テ北
トナシ遂ニ明治維新ノ廢止ニ及フ

斯ク町奉行ハ南北二廳ニ分ル、カ故ニ奉行二人ヲ控數トセルモ時ニ増減アリシ事上述ノ如シ、本所深川ノ地即チ河東ニハ一
時特ニ本所奉行ヲ置ケリ、萬治元年三月ノ事ナリ享保四年ニ廢シテ町奉行ノ所管ニ合併セラレタリ

町奉行ノ下ニ各町々ニ町名主アリテ司配町内ノ公務ヲ行フ、支配ノ町數ハ一定セス尠キハ一二町多キハ二十三ヶ町ニヘリ、
然レトモ奉行ノ屬僚町年寄ノ指揮ニ從フモノニシテ自治的ニ獨立セルモノニ非ス

(二) 維新以後

明治維新トナリテ明治元年五月二十八日江戸鎮臺府置カル、ト共ニ町奉行所ハ市政裁判所ト改メラレ鎮臺府ノ被管トセラル
二年三月十六日東京市中ヲ五十區ニ分チ各々之ニ中年寄ヲ置キテ分治セシム、元ノ町名主ノ改稱トモ云フヘキモノニシテ多
クハ元ノ町名主ヲ以テ之ニ任シタルカ如シ同年二十一日ニ令シテ五區毎ニ世話掛中年寄ナルモノヲ置ク

同二年四月東京市區改正ヲ行ヒ大ニ各小町ヲ併合セルモ尙依然五十區ニ分ツ事ハ元ノ如シ翌三年四月、同四年屢々小併合行
ハレタリ、四年六月六日改メテ全市ヲ六大區ニ分チ更ニ細分シテ二十五區トス六大區次ノ如シ

第一大區 東芝金杉橋ヨリ南高輪迄、芝二本榎ヨリ白金臺町十一丁目、西ハ白銀村今里下中次谷村新堀川筋目一ノ橋、北
ハ赤羽橋迄

第二大區 東ハ溜池ヨリ西久保、飯倉通、南ハ赤羽橋古川道、西ハ澁谷宮益坂町青山通、北ハ和歌山藩邸喰違迄

第三大區 東ハ江戸川、南ハ千駄ヶ谷、西ハ四ッ谷大木戸、北ハ戸塚村

第四大區 東ハ駒込千駄木坂下迄西ハ音羽町迄南ハ駒込東片町ヨリ本郷境、北ハ西ヶ原區ノ堀ノ内村迄

第五大區 東ハ大川ヲ境、南ハ海禪寺通、淺草寺西裏ヨリ新吉原町ヲ境、西ハ新堀村谷中茶屋町邊、北ハ通新町迄

第六大區 東ハ中川通、西ハ大川筋本所扇橋川十間川通、南ハ海岸迄、北ハ向島大川通

各區各々區長アリ

此ノ六大區内ノ小區ニ付キテハ爾後屢々變更アリ多キハ六十小區ニ分チタルモアリキ其後六大區ヲ改メテ十一大區トセリ

明治八年頃ナリ、明治十一年十一月二日府令ヲ以テ現在ノ十五區ニ改正セラレタルナリ

明治二十一年四月公布セラレタル市制第三條ニ於テ從來ノ區ヲ存置セラレ超エテ明治四十四年四月法律第六十八號ヲ以テ現

行市制公布セラレ同法第六條及同年勅令第二百三十九號ヲ以テ現在ノ十五區ハ法人トシ財産及營造物ニ關スル事務其ノ他法
令ニ依リ區ニ屬スル事務處理ノ權能ヲ賦與セラレタリ之即チ現今ノ東京府十五區ナリ

二區ノ世帯數及人口比較 (大正九年國勢調査)

區	人 口	世 帯 數	一 世 帯 當 平 均 人 口	面 積	面 積 一 萬 坪 平 均 人 口	住 宅 一 棟 ノ 平 均 坪 數	住 宅 一 棟 ノ 平 均 居 住 者
麴町	五、六八八	一一、五五九 ^{世帯}	五、七	二、七二、九〇五 ^坪	二四二 ^人	二八、〇六 ^坪	五、一三
神田	一五、九八九	二八、九七一	五、二	一、一六四、一九三	一、三〇五	二〇、九二	八、四六
日本橋	二六、四二六	二二、一九九	六、〇	八八三、五四	一、四三〇	二一、一六	五、六二
京橋	一四、三九〇	二九、七〇〇	四、八	一、二七三、四六二	一、二一七	一九、七七	六、〇八
芝	一九、二二三	三六、八四九	四、九	二、五九一、二六三	六九一	二〇、一五	五、九三
麻布	八、五五八	一八、八八八	四、七	一、一三四、五五	七六〇	二八、四九	六、四八
赤坂	六、二四三	一一、五五五	五、四	一、三四、三六	四五〇	二〇、九六	五、五七
四谷	七、二四	一五、五〇〇	四、五	八三三、三一	八五	二〇、四九	六、五八
牛込	二六、二七八	二五、七三三	四、九	一、六三三、八四	七七八	二三、四	七、二七
小石川	一四、五〇七	三一、六九五	四、六	一、八七二、一六五	七八三	一九、一五	六、七七
本郷	一五、五五五	二七、一七七	五、〇	一、五九、六九〇	八六九	二三、〇六	七、二三
下谷	一八、一八四	四三、三三九	四、三	一、四四五、七七〇	一、二六七	二三、四七	六、四八
淺草	二五、四二〇	五九、三七〇	四、四	一、四二六、七四八	一、七九七	二三、九〇	八、三
本所	二五、二六九	五七、〇九四	四、五	一、七八七、八五三	一、四三三	一八、六六	九、四二

深川	一八、二五九	四〇、一九一	四、五	二、三二五、四九三	七六二	二三、五四	八、六六
計	二、一七、一三二	四五、八二〇	四、八	二、三、九六八、〇九六	九〇六	二二、八六	七、〇六

備考

- 一、面積ハ大正十年一月一日現在調
- 二、住宅ノ坪數及居住者調ハ大正九年調東京市統計ニ依リ其他ハ國勢調査ニ依ル

三區現住戸口累年比較

區	五年間ノ増減		大正十一年末		大正十年末		大正九年末		大正八年末		大正七年末	
	戸數	人口	戸數	人口	戸數	人口	戸數	人口	戸數	人口	戸數	人口
麴町	△ 五	△ 三	一三、四〇九	六三、五八三	一三、三三六	六三、〇六一	一三、一九六	六二、二九〇	一四、三三三	六五、九二八	一四、一六六	六五、七〇六
神田	二六	三三	四七、五二〇	一六九、一三六	四八、八七六	一七三、四〇〇	四八、三七五	一七一、三三九	四七、三四七	一六七、八二〇	四六、三九七	一六五、〇〇四
日本橋	一五	五一	二六、一三三	一五、一三六	二六、〇七七	一五、三三六	二六、一四三	一五、九六八	二五、九二二	一五、一六三	二五、七三五	一五一、三五三
京橋	一九	△ 五	五、〇七九	一五、九一二	五、〇九八	一五、四九〇	四九、七八八	一五四、七五九	四七、八八二	一五、六五六	五〇、〇八九	一六、三五二
芝	一八	六六	五、〇九八	二七、四四一	五、〇二六	二五、三〇六	五、〇七四	二二、一〇〇	五、〇五九	二〇、三三四	五、〇一九	二〇、五四二
麻布	三三	五五	二六、〇一五	九六、二三五	二五、七五五	九四、〇四五	二五、三四七	九二、三八四	二五、六〇八	九二、四八七	二五、四五五	九一、一七一
赤坂	一八	三七	一五、六〇一	六九、八九七	一五、七〇八	六九、六二六	一五、三六七	六八、一四一	一四、九六一	六五、九七一	一五、三二三	六七、三九〇
四谷	二五	三三	二〇、六五九	八四、八五五	二〇、五四五	八三、八二四	二〇、三六七	八二、九〇〇	一六、二〇四	六三、八五〇	一六、四八五	六三、一六九
牛込	△ 三七	△ 一八	三五、〇四九	一三七、四四八	三四、五二三	一三五、八九七	三四、一七二	一三一、六七一	四五、六二三	一六八、九一〇	四五、四一七	一六八、三五九

小石川	八三	三六	四九、三五七	一七、〇四一	四八、六三七	一七、三五六	四八、二五三	一七、一八四	四八、〇九六	一七、八六九	四七、八四八	一七、八六九
本郷	八一	一四	三九、八四八	一四、一九四	三八、六三三	一四、七二七	三七、六四六	一四、四五三	三七、七五〇	一三、三六六	三五、八三六	一三、〇五四
下谷	七二	一三〇	五九、三八五	二六、九六一	五九、二三三	二三、六三三	五九、二三八	二七、三六九	五九、二九三	一九、〇八七	五五、四四三	一九三、六五四
淺草	一三五	一六	七九、五五三	二九、〇八七	八一、八七三	二八、二九六	八〇、六七〇	二七、四六六	八〇、四〇九	二七、八〇四	七〇、〇七七	二六、〇四九
本所	二五二	一七九	七六、九四八	二九、〇三三	七四、五八八	二七、四九九	六四、九六〇	二五、三三四	六三、二五〇	二五、八二七	六一、七五三	二四六、〇九
深川	七	一七一	四九、六六〇	二〇、四六六	四九、〇四七	一九、〇七六	四八、六三三	一九、一一五	四七、九二二	一八、七五六	四七、五〇一	一八四、一七一
計	五三	六四	六四一、二九三	二、四七六、三三三	六三八、四六五	二、四三七、五〇三	六二一、七〇六	二、三七五、七八三	六三三、〇三六	二、三七七、一〇二	六〇八、六五六	二、三三九、三〇一

備考

- 一、増減欄△印ヲ付シタルハ減少ヲ示ス
- 一、四谷區ハ大正九年四月一日内藤新宿町ヲ合併シタリ

四區歲入出累年比較

區	別	大正十二年度	大正十一年度	大正十年度	大正九年度	大正八年度	大正七年度
麴町	差歲歲 引出入	二五、七九 二五、七九	一八、二四五 一八、二四五	三〇八、四〇〇 二五、二八	二六〇、二九三 三〇、二九三	一九九、六〇一 一八三、三三	一四〇、九二六 一三三、八九一
神田	差歲歲 引出入	二四〇、六二七 二四〇、六二七	二二、五五七 二二、五五七	九三五、二三八 八六、〇四三	九五〇、三三七 七八〇、四〇九	四九七、六〇四 三七九、六四〇	四七六、四九 四二、四四五
日本橋	差歲歲 引出入	二二〇、三〇三 二二〇、三〇三	三〇六、六一 三〇六、六一	六二九、一〇二 五九一、五四一	五七、七〇八 四九一、〇六六	五〇四、六八二 三七〇、〇二四	三〇三、二〇四 二七、二九二
京橋	差歲歲 引出入	二四、七七一 二四、三二七	二五〇、三六 二五〇、三六	六七〇、八六〇 五九、六四七	五七、三一七 五八、九五二	五八二、〇五 五五、五九	三三四、四八 三二、三三
芝	差歲歲 引出入	四四、四三三 四三、五五七	二九、七七八 二九、七二	一、一七九、四九六 一〇九七、〇六三	一、一四三、八九〇 四三、三六五	七四二、一〇二 六八五、八〇三	三六〇、九五五 三四、六〇五
麻布	差歲歲 引出入	一七四、〇五七 一七四、〇五七	三六〇、〇七 三六〇、〇七	六五、四〇一 四八、二二三	六〇、〇四四 五九、二七五	二二、七五〇 一九七、七七八	二五、四四 二五、八〇五
赤坂	差歲歲 引出入	八〇、六〇一 九、六八九	八六、四六七 八六、四六七	二六四、一四〇 三四、七八八	二二、三九三 二〇五、七七	二八二、四六八 二二〇、六四〇	一三〇、〇五一 一〇、九四四

區	別	大正十二年度	大正十一年度	大正十年度	大正九年度	大正八年度	大正七年度
四谷	差歲歲 引出入	一二、六二五 一二、六二五	二〇七、〇三四 二〇七、〇三四	三三〇、五五六 三〇、五五六	二六七、三七七 二五、六九五	一四五、八四四 一八、九七四	一一九、五二七 一三、九四七
牛込	差歲歲 引出入	一五、四九 一五、四九	一五、八六七 一五、八六七	七、一五二 四〇、二二七	五九、四七三 二四、二六	三九七、六七〇 三二、九九九	三二〇、九八三 二二、三九八
小石川	差歲歲 引出入	一八、四四五 一八、四四五	一五、二二九 一五、二二九	六〇、六〇三 五五、七八四	六五、七四四 六〇、九八八	五九、〇三〇 四九、三八八	三〇三、三三三 二八、二二
本郷	差歲歲 引出入	二〇八、七三三 二〇八、七三三	三九七、一四七 三九七、一四七	六五、九二九 五九、二四五	五八、〇七六 五三、〇二二	四五一、六二〇 四〇、二九四	二九四、三四七 二八、一三二
下谷	差歲歲 引出入	二四、二八七 二四、二八七	二六、〇五一 二六、〇五一	一、一六七、九四三 一、〇四〇、二七六	一、〇六八、二二〇 八五、〇八四	六八、六八七 六八、七四二	四九〇、〇〇八 四七、九八九
淺草	差歲歲 引出入	二八四、三四四 二八四、三四四	三三、二六六 三三、二六六	一、六六二、六二九 一、二四九、一〇〇	一、二二一、九一五 一、〇〇二、二二四	六八、〇五四 六八、〇五四	六二、一八七〇 四九、一九〇
本所	差歲歲 引出入	八三、七〇〇 八三、七〇〇	五三、六四〇 五三、六四〇	一、一六八、〇四一 九七、六三四	九七、九五〇 九四、六九八	八八、一九九 八〇、四三二	五二、二〇四 四九、四〇八
深川	差歲歲 引出入	二七〇、七五一 二七〇、七五一	六六、五二六 六六、五二六	九八四、四七三 八〇、八四三	七四、二〇四 六一、一三〇	五五、五六一 四五、三〇八	四一、二七五 三三、三二七

合 計	差 歳	引 出 入	三、八三、七四三	四、二八八、二五一	一一、九八五、八五一	一〇、三三三、六四八	七、六二三、九〇四	五、〇五七、九七二
			三、八三、三三二	四、二七九、二五五	一一、〇三二、七七四	九、三三九、五四八	六、七六六、三三五	四、五八一、七四六
			一〇、五三三	九、〇六六	一、六七四、〇七七	一、二三四、〇九八	八四七、五九九	四、七六、三六

一、大正十年度迄ハ決算ニ依リ大正十一、十二年度ハ豫算ニ依ル
 一、總計ニ符合セサルハ圓位ニ止メ以下切捨タルニ依ル

五 區 歳 出

(イ) 區 費 額 (大正十二年度當初豫算)

區	區 費			區 費 一 戸 當	家 屋 稅 附 加 稅	
	稅 收 入	稅 外 收 入	計		本 稅 一 圓 二 付	一 戸 二 付
麴 町	八六、五七八	二九、一六一	一一五、七九	八、六三二	六、八〇	六、四五六
神 田	一五四、四〇六	八六、二一一	二四〇、六一七	五、〇六四	一、七二〇	三、二五一
日 本 橋	一五一、二二九	七九、〇八三	二三〇、三一二	八、八一五	八、〇〇	五、七八八
京 橋	一六〇、一三九	八二、五七二	二四二、七一一	四、七五二	一、三〇〇	三、一三五
芝 布	一七二、六三三	二六二、八二〇	四三四、四三三	八、五〇九	一、六五〇	三、三七八
麻 布	七五、八五〇	九八、二〇七	一七四、〇五七	九、六八九	一、八五〇	二、九一五
赤 坂	四五、二〇一	三五、四〇〇	八〇、六〇一	五、一六六	一、五八〇	二、八四六
四 谷	六二、七九五	四九、八二〇	一一二、六二五	五、四五一	二、三〇〇	三、〇三九

牛込	小石川	本郷	下谷	浅草	本所	深川	計
一〇八、三九	一七、二七四	三二、四九七	一五、四七四	一七、五四三	三六、五九四	一三、五五四	二、〇四、〇九六
五、一一〇	七五、一四一	八七、三五	九〇、八三	一〇九、九一	四九六、二六	一四、一八七	一、七九、六四七
一五、四四九	一九二、四五	二〇八、七三	二四三、二八七	二八四、三四	八四、七二〇	二七〇、七五	三八三、七四三
四、五二〇	三八九〇	五、三七	四、〇九六	三、五四四	一〇、八四七	五、四五二	五、九六四
二、五〇〇	二、七〇〇	二、三三〇	二、四八〇	一、七七〇	三、九五〇	一、六〇〇	—
三、〇九一	二、三七六	三、〇四九	二、五六七	二、一九四	四、四四五	二、四六〇	三、一八七

(口) 區歳出額比較

(×印ハ臨時費) (大正十一、十二年度豫算)

區	本年度歳出	前年度歳出	差引増減
麴町	× 一一、八八八 三八五二	× 一〇、四三四 三四四、三九	× △ 一、四四五 三四〇、四七八

神田	日本橋	京橋	芝	麻布	赤坂	四谷	牛込	小石川	本郷	下谷
× 二〇九、二九二 三、三三五	× 二二三、七〇〇 一六、五三三	× 二二〇、八〇八 二九、五〇九	× 一九二、六九九 三九、八五八	× 一二〇、三九一 五、六六六	× 六三、四一九 一六、二七〇	× 一二三、二六五 三、五〇〇	× 一〇二、七八一 五、六六八	× 一〇六、一八三 八〇、八九二	× 一七三、五五六 三、一六六	× 二二四、四九六 二六、七九八
△ 二〇一、〇三〇 二九、一六三	× 二六三、三五五 一三、六九四	× 二三五、八三三 一八七、八三〇	× 二〇〇、八八五 四六〇、六六四	× 一二三、二九三 二二、六八八	× △ 六七、八五三 二一、六〇〇	× 一六、六五六 九〇、三七七	× 一〇九、二〇一 一九、一二九	× 一〇四、二四三 五〇二、二六〇	× 一七四、三〇四 二二、六八三	× 一八一、九八三 五九、一九八
× △ 八、二六二 二、〇二七	× △ 四九、五五五 二、八三八	× △ 一五、〇一四 一五、三三一	× △ 八、一八六 三〇、八〇六	× △ 七、〇九八 一六、〇三三	× △ 四、四三四 五、三三〇	× △ 四、三九一 九〇、〇二七	× △ 六、四四〇 一四、二四八	× △ 一、九四一 四二、三六八	× △ 七、四八八 一九、五七七	× △ 三、五〇六 五二〇、四〇六

區		本年度歲出	前年度歲出	差引増減
淺草		× 二六〇、五五三 三三、七六一	× 二五二、六四九 七五、二九	× △ 七、九〇四 七六、四三八
本所		× 二五、六九 五三、〇九一	× 二六、九六〇 四七、七五五	× 一、二六二 一〇九、三六
深川		× 一八〇、九三 八九、八九	× 一八二、六三 五四、三六七	× △ 一、六九一 四三、五三八
計		× 二、五四、六三五 一、二八、五九六	× 二、五七、二五〇 四、八〇、三九五	× △ 四、六一五 三、五七、八〇九

(ハ) 區歲出額經常臨時內譯 (大正十二年度豫算)

區	經常部	臨時部	計	歲出入出殘金處分	
				財產積立	繰越金
麴町	一一、八八八	三、八五一	一五、七三九		
神田	二〇九、二九一	三、三五	二四〇、六七		
日本橋	二二三、七〇	一六、五三	二四〇、三三		
京橋	二一〇、八〇八	二九、五〇九	二四〇、三七	二、三九四	
芝布	一九二、六九	三九、八五八	四三、五五七	一、七〇四	一七三
麻布	二一〇、三九一	五三、六六六	一七四、〇五七		

赤坂	六三、四一九	一六、二七〇	七九、六八九	九三	
四谷	一一二、二五五	三五〇	一四七、六五		
牛込	一〇二、七六一	五、六六〇	一〇八、四二		
小石川	一〇六、一八三	八〇、八九二	一八七、〇七五	五、三四〇	
本郷	一七三、五五六	三五、一六六	二〇八、七三		
下谷	二四、四九	二八、七九	五三、二八七		
淺草	二六〇、五三三	二三、七六一	二八四、三三四		
本所	二五、六九	五三、〇九一	八四、七二〇		
深川	一八〇、九三	八九、八九	二七〇、七二		
計	二、五四、六三五	一、二八、五九六	三、八三、二二	一〇、三五〇	一七三

(二) 歲出額費途內譯 (大正十二年度) 其一

區名	會議費	學務委員會費	小學校費	幼稚園費	實業補習學校費	財產費	雜支出	補助費
麴町	二、五八	八七一	六五、六八三	一五、一八九	九、二五四	八、三六	四、〇一六	二、三〇〇
神田	五、四五一	五五五	一三七、七九四	—	三三、五〇八	一八、二九七	二八、七八	二、五八〇
日本橋	三、六八	四八八	(四〇、八五四) (幼稚園費ヲ含ム)		二六、五〇	三二、六八九	七六〇	二、六〇四

區名	會議費	學務委員 會費	小學校費	幼稚園費	實業補習 學校費	財產費	雜支出	補助費
京橋	八、三六一	一、一六	一四八、六八六	九、七六六	三、五九七	一六、三七六	四、六五四	一、一〇〇
芝布	八、六〇〇	一、三一一	三〇六、七〇九	—	九、九六五	三三、四八三	五七、八八五	四、五〇〇
麻坂	四、五九九	七六六	九六、四七六	三、六八	八、〇三七	一一、〇六六	三六、二三五	一、二〇〇
赤坂	四、二七六	四九一	四、四九三	—	三、四五三	六、八八六	一六、〇二八	四、五〇〇
四谷	四、〇五六	九二一	六三、九五七	六、七四九	×五、四五 五、五〇四	一〇、四六三	三九	六、五〇〇
牛込	三、〇九九	七六五	九七、〇五一	—	三、三三三	一六、六〇〇	三〇、八四〇	五、五〇〇
小石川	四、五四八	七五二	一三、五七二	—	六、二五九	一四、二〇三	三、九二八	一、五五〇
本郷	四、九八二	六〇〇	一三四、〇九七	八、五七三	一八、〇九六	一七、六八九	一四、二九	一、五五〇
下谷	三、四〇二	一、四一九 (幼稚園費ヲ含ム)	一、五一八	—	九、九五二	二五、三九九	二六、三四二	三、六六八
淺草	六、三四四	三、六三	一五、九四四	—	一四、一〇二	四三、四二六	一、六四三	七、四〇六
本所	六、九六〇	一、七七七	六五、七二七	七、三五五	三〇、〇六五	二九、五七三	八四、六九三	四、三〇〇
深川	五、七六六	一、七〇二	一五三、〇三九	一四、八五七	二、五三三	一八、七四一	四六、三二一	四、九〇二
計	七六、四八〇	一七、一七七	二、五〇〇、一八三	六六、一七	二九、六六八	三〇二、一四〇	三、五、六〇六	三五、二六〇

備考×印ハ女子實業補習學校費ナリ

(二) 歳出額費途内譯

(大正十二年度) 其二

區名	救助費	財産積立	諸稅負擔	傳染病豫防	兒童衛生	豫備費	其他	合計
麴町	二、五	—	—	五〇〇	—	六、八〇六	—	一、五、七九
神田	—	七、四二三	一、六〇〇	—	—	五、四二九	二八〇	二四〇、六二七
日本橋	四二	一一、六三	二〇〇	八一	—	八、九〇三	八七〇	二二〇、三〇一
京橋	一、一〇〇	—	八	—	—	三、〇三三	四、五六七	二四〇、三二七
芝	一〇九	七六六	二〇〇	—	—	一三、〇二九	—	四三、五五七
麻布	三、六五	一、六三六	二	—	—	九、四五五	六三九	一七四、〇五七
赤坂	—	—	—	一七〇	五〇〇	三、〇〇〇	—	七九、六八九
四谷	—	五、三四三	—	一〇〇	—	八、二九七	七六五	一一三、六六五
牛込	二二〇	一、〇九一	—	—	—	五、〇〇〇	—	一五、四四九
小石川	四三	三五	五三	五〇〇	—	四、二五五	—	一八七、〇七五
本郷	五九二	二、〇四四	—	—	—	六、二七〇	—	二〇八、七三三
下谷	六六	八七五	—	—	—	一六、〇〇八	三九	二四三、二八七
淺草	—	六、〇三三	三九	—	—	五、七八五	—	二八四、三三四
本所	五七	三、六三四	四八〇	—	—	七、五〇〇	一、六〇〇	八四三、七〇〇
深川	三、三三〇	—	—	七〇〇	—	八、八六一	—	二七〇、七五一

區名	救助費	財產積立	諸稅負擔	傳染病豫防	兒童衛生	豫備費	其他	合計
計	六、四七九	四〇、五四	二、六二	二、〇五	五〇〇	二〇、六八	八、七〇	三、八三、三二

(ホ) 區會議員學務委員費用辦償額 (大正十二年度豫算)

區名	議長	副議長	議長	員	學務委員	議員費用辦償額
麴町	出張一回 一圓	同上 一回 一圓	同上 一回 一圓	同上 一回 一圓	同上 一回 一圓	五五〇
神田	一回 一圓	同 一圓	同 一圓	同 一圓	同 一圓	三八〇
日本橋	一回 一圓	同 一圓	同 一圓	同 一圓	同 一圓	一、二六〇
京橋	一回 一圓	同 一圓	同 一圓	同 一圓	同 一圓	一、九一七
芝	一回 三圓	同 三圓	同 三圓	同 三圓	同 三圓	三、七六五
麻布	一回 一圓	同 一圓	同 一圓	同 一圓	同 一圓	二、二三〇
赤坂	年額八十圓	同上六十圓	同上四十圓	同 年額議員二十圓 同 公民五十圓	同 年額議員二十圓 同 公民五十圓	二、九四〇
四谷	一回 三圓	一回 三圓	一回 三圓	一回 三圓	一回 三圓	一、七四五
牛込	一回 一圓	同 一圓	同 一圓	同 一圓	同 一圓	一、一四〇
小石川	一回 一圓	同 一圓	同 一圓	同 一圓	同 一圓	一、八八〇
本郷	年額八十圓	同上七十五圓	同上六十圓	同上六十圓	一回 二圓	二、六九五

下谷	同 三百圓	同 三百五十圓	同 二百圓	年額議員五十圓 同 公民一百圓	八、一五〇
淺草	一回 一圓	同 一圓	一回 一圓五十錢	一回 一圓五十錢	二、三六
本所	一回 一圓	同 一圓	同 一圓	同 一圓	三、一五四
深川	一回 一圓	同 一圓	同 一圓五十錢	同 一圓五十錢	二、九五
平均	年百五十二圓 二十三錢 回 一圓六十六錢	年百二十八圓 三十三錢 回 一圓六十六錢	年一百圓 七十二錢 同 二圓	議員年三十五圓 公民年七十五圓 同 一圓七十四錢	二、四七〇、六六

六 區歲入及區ニ屬スル市稅

(1) 歲入額內譯 (大正十二年度豫算) 其一

區名	財產收入	使用料	國庫補助金	府補助金	市補助金
麴町	二、四〇四	一九、四三	五九	四六〇	一、三九一
神田	四、七四五	四、五、八七	—	一、〇七三	二〇、三五六
日本橋	一〇、六七五	二五、〇八〇	—	六八五	一一、五三三
京橋	三、八九九	五、四六八	—	八九三	九、七三三
芝	一〇、二三八	五、四四二	—	一、二〇〇	一七、一〇一
麻布	四、二七九	三〇、〇二八	—	六〇〇	五〇、八〇二
赤坂	六、〇〇〇	一九、六五九	二七九	一五〇	五五〇
四谷	七、三三八	三、二九五	一、三〇三	二七七	三、五七
牛込	一、一六二	三、九〇五	四六	一三三	一、二九
小石川	二、七五九	四、九八五	九〇	一四	一九、三三四
本郷	二、〇七〇	四、二九四	九〇四	三五九	二七、一七六
下谷	三、八〇二	六、四四六	—	一九六	四、三四八

淺草	八、六六五	六、九、一〇三	—	三三三	一、六七二
本所	九、一三三	三、四、一九九	二、八〇〇	五〇〇	三七〇、六五六
深川	四、六九五	六、八、三〇七	—	一、一八七	三七、八〇〇
計	八、七五三	六、五、五四〇	五、九五二	八、二七	六八七、〇六九

(1) 歲入額內譯 (大正十二年度豫算) (其二)

區名	繰越金	雜收入	市稅	編入金	寄附金	合計
麴町	四、二三三	六八三	八、五七六	—	二〇	一五、七九
神田	一〇、〇〇〇	三、〇九六	一、四、四〇六	—	一、三五五	二四〇、六七
日本橋	二九、七九八	一、三〇二	一五、二二九	—	一〇	二三〇、三〇一
京橋	一一、〇一〇	一、五七〇	一六〇、一三九	—	—	二四、二七一
芝	一三、一九六	七、四三	一七、二六三	四、〇〇〇	—	四四、四三三
麻布	一一、五七八	九一五	七、五、八五〇	—	五	一七四、〇五七
赤坂	八、二三三	五二九	四、五、二〇一	—	—	八〇、六〇一
四谷	四、四一〇	六八〇	六、二、七九五	—	二〇〇	一二、六二五

區名	繰越金	雜收入	市税	編入金	寄附金	合計
牛込	九、四八七	一、一九四	一〇八、三三九	—	—	一五、四四九
小石川	三、二八七	六七三	二七、二七五	—	—	一五、四二五
本郷	六、二六四	一、一五五	二二、四九七	—	—	二〇八、七三三
下谷	一五、〇〇〇	二、七二二	一五、四七四	—	—	二四三、二八七
淺草	二七、六三三	二、四〇六	一七四、五四三	—	—	二八四、三三四
本所	七〇、四九九	四、七九九	三三八、五九四	—	三、六〇〇	八四四、七二〇
深川	二九、二二五	七、〇五三	一三三、五六四	—	—	二七〇、七五一
計	二六三、七〇一	二九、四七九	二、〇四四、〇九七	四、〇〇〇	五、二〇六	三、八三三、七四三

(口) 區二屬スル東京市税累年比較

區名	大正十二年度	大正十一年度	大正十年度	大正九年度	大正八年度	大正七年度	大正六年度	大正五年度
麹町	八六、五七六 ^円	六三、二四〇 ^円	一五二、〇四三 ^円	一四四、一四三 ^円	八七、四一七 ^円	八一、〇三五 ^円	七〇、七三三 ^円	七、六六八 ^円
一平	六、四四六	四、七七七	一三、一五三	一〇、九九七	六、一四二	五、七四一	五、〇三三	五、一六五
一平	一、三六三	一、〇〇一	二、四八〇	二、三六八	一、三六三	一、一三三	一、〇六三	一、〇九六
税	—	—	—	—	—	—	—	—
戸	—	—	—	—	—	—	—	—
當均	—	—	—	—	—	—	—	—
額	—	—	—	—	—	—	—	—

區名	大正十二年度	大正十一年度	大正十年度	大正九年度	大正八年度	大正七年度	大正六年度	大正五年度
神田	一五四、四〇六	一二三、九三〇	三三七、九二一	二八〇、五五六	二二一、八二〇	二二四、三六六	一七九、八二二	一八〇、三六六
一平	三、二五一	二、六八九	一一、六六六	五、七九九	四、八九六	四、六二七	三、七二二	三、八七五
一平	〇、九二二	〇、七六〇	一、六三七	一、六三七	一、三六一	一、二九八	一、〇六五	一、一〇二
税	—	—	—	—	—	—	—	—
戸	—	—	—	—	—	—	—	—
當均	—	—	—	—	—	—	—	—
額	—	—	—	—	—	—	—	—
日本橋	一五一、二二九	一九三、九五五	三三七、六三三	二八七、四九一	二〇九、六二五	一九四、五四四	一七四、四九元	一五八、七七七
一平	五、七八八	七、四三七	一五、四五四	一〇、九九七	八、〇八九	七、五五八	七、七五七	七、二八八
一平	〇、九九三	一、二七三	二、一四一	一、八七九	一、三七八	一、二八五	一、一六二	一、〇九四
税	—	—	—	—	—	—	—	—
戸	—	—	—	—	—	—	—	—
當均	—	—	—	—	—	—	—	—
額	—	—	—	—	—	—	—	—
京橋	一六〇、二九九	一三六、七四七	三六一、七〇八	三〇八、五三二	二五六、三六五	二〇〇、六六五	一七八、二一〇	一七〇、四九五
一平	三、一三五	二、七三三	一一、一五四	六、二〇六	五、三五四	四、〇〇五	三、五九四	三、五五一
一平	一、四一〇	〇、八七五	二、三三七	一、九九四	一、六七九	一、一九二	一、〇三七	一、〇一六
税	—	—	—	—	—	—	—	—
戸	—	—	—	—	—	—	—	—
當均	—	—	—	—	—	—	—	—
額	—	—	—	—	—	—	—	—
芝	一七二、六三三	一八九、五五六	四三三、四〇八	三五二、九二二	二七八、二三五	二二二、七七〇	一八九、〇四四	一七三、一四六
一平	三、三七八	三、七二五	一一、一四六	六、九三六	五、五〇四	四、二三九	三、八一〇	三、五六〇
一平	〇、七九三	〇、八八〇	一、九九六	一、六六九	一、三三六	一、〇四五	〇、九八六	〇、九三六
税	—	—	—	—	—	—	—	—
戸	—	—	—	—	—	—	—	—
當均	—	—	—	—	—	—	—	—
額	—	—	—	—	—	—	—	—
麻布	七五、八五〇	九七、五七七	二三五、六〇六	一八〇、七二四	一六、〇七七	一〇一、一一〇	七三、二二九	七二、五三六
一平	二、九二五	三、七六七	一一、九八二	七、一三〇	四、五三三	三、九七二	二、六三六	二、七三三
一平	〇、七八八	一、〇三六	二、四四二	一、九五六	一、二五五	一、一〇九	〇、七三〇	〇、七四〇
税	—	—	—	—	—	—	—	—
戸	—	—	—	—	—	—	—	—
當均	—	—	—	—	—	—	—	—
額	—	—	—	—	—	—	—	—

税額	本郷			小石川			牛込			四谷			赤坂		
	一平	一平	税	一平	一平	税	一平	一平	税	一平	一平	税	一平	一平	税
	人	戸	額	人	戸	額	人	戸	額	人	戸	額	人	戸	額
	當均	當均	額	當均	當均	額	當均	當均	額	當均	當均	額	當均	當均	額
一五二、四七四	〇、八二四	三、一八七	二、〇四四、〇九六	一八、七六八	四、三七六	一、九八八	二、〇八八	七、七四七	一、四八八	〇、七四四	三、〇三九	六、七九五	〇、六四六	二、八四六	四、五二〇
一八、七六八	一、一六八	三、一五三	二、〇一二、六〇一	二、二九五	一、八六四	二、二九五	一、九二五	七、一八一	一、四八八	一、七四三	一、七四三	一、七四三	一、七四三	一、七四三	一、七四三
四〇三、二〇〇	一、九八八	一〇、二七二	四、六九二、七三二	四、二一六	一、八六四	四、二一六	一、八六四	四、二一六	一、八六四	四、二一六	一、八六四	四、二一六	一、八六四	四、二一六	一、八六四
四二、一六六	一、七九一	六、八四四	四、二五五、四九七	二七〇、三三二	七、一八一	二七〇、三三二	七、一八一	二七〇、三三二	七、一八一	二七〇、三三二	七、一八一	二七〇、三三二	七、一八一	二七〇、三三二	七、一八一
二七〇、一六五	一、二八〇	四、八五三	三、〇一八、〇二〇	一九九、九八〇	五、二九七	一九九、九八〇	五、二九七	一九九、九八〇	五、二九七	一九九、九八〇	五、二九七	一九九、九八〇	五、二九七	一九九、九八〇	五、二九七
一九一、五四七	一、〇三八	三、九七一	二、四二六、九五七	一五七、五〇〇	四、二七七	一五七、五〇〇	四、二七七	一五七、五〇〇	四、二七七	一五七、五〇〇	四、二七七	一五七、五〇〇	四、二七七	一五七、五〇〇	四、二七七
一六三、四八七	〇、八六三	三、二六九	二、〇七七、〇八一	一三六、八四〇	三、八八〇	一三六、八四〇	三、八八〇	一三六、八四〇	三、八八〇	一三六、八四〇	三、八八〇	一三六、八四〇	三、八八〇	一三六、八四〇	三、八八〇
一五四、二二五	〇、八一	三、〇七四	一、八四九、九五二	一三三、八四〇	三、八八〇	一三三、八四〇	三、八八〇	一三三、八四〇	三、八八〇	一三三、八四〇	三、八八〇	一三三、八四〇	三、八八〇	一三三、八四〇	三、八八〇

税額	下谷			浅草			本所			深川			合計		
	一平	一平	税	一平	一平	税	一平	一平	税	一平	一平	税	一平	一平	税
	人	戸	額	人	戸	額	人	戸	額	人	戸	額	人	戸	額
	當均	當均	額	當均	當均	額	當均	當均	額	當均	當均	額	當均	當均	額
二、五六七	〇、七二二	二、一四四	一、七四四、五三三	〇、六〇〇	二、一九四	一、七四四、五三三	〇、六〇〇	二、一九四	一、七四四、五三三	〇、六〇〇	二、一九四	一、七四四、五三三	〇、八二四	三、一八七	二、〇四四、〇九六
二、五七五	〇、八七八	二、二七二	二、二七二、二八	〇、七四四	二、八四八	二、二七二、二八	〇、七四四	二、八四八	二、二七二、二八	〇、七四四	二、八四八	二、二七二、二八	〇、八二五	三、一五三	二、〇一二、六〇一
九、五五五	一、九四四	八、三七四	四八八、八三三	一、七五三	八、三七四	四八八、八三三	一、七五三	八、三七四	四八八、八三三	一、七五三	八、三七四	四八八、八三三	一、九八八	一〇、二七二	四、六九二、七三二
七、〇七五	一、九八六	六、四九七	五〇〇、四五〇	二、〇一一	六、四九七	五〇〇、四五〇	二、〇一一	六、四九七	五〇〇、四五〇	二、〇一一	六、四九七	五〇〇、四五〇	一、七九一	六、八四四	四、二五五、四九七
四、七九九	一、三六四	四、七七七	三六〇、〇九四	一、三九八	四、七七七	三六〇、〇九四	一、三九八	四、七七七	三六〇、〇九四	一、三九八	四、七七七	三六〇、〇九四	一、二八〇	四、八五三	三、〇一八、〇二〇
三、四五五	〇、九八九	四、七二七	三八〇、〇五九	一、三九八	四、七二七	三八〇、〇五九	一、三九八	四、七二七	三八〇、〇五九	一、三九八	四、七二七	三八〇、〇五九	一、〇三八	三、九七一	二、四二六、九五七
二、八三二	〇、八〇六	三、五八八	二五、四一〇	〇、九六五	三、五八八	二五、四一〇	〇、九六五	三、五八八	二五、四一〇	〇、九六五	三、五八八	二五、四一〇	〇、八六三	三、二六九	二、〇七七、〇八一
〇、七九六	〇、八〇六	二、七〇八	二〇八、九一三	〇、七八五	二、七〇八	二〇八、九一三	〇、七八五	二、七〇八	二〇八、九一三	〇、七八五	二、七〇八	二〇八、九一三	〇、八六三	三、二六九	一、八四九、九五二
二、四〇〇	三、〇一五	二、四〇〇	二、四〇〇、三九三	二、四〇〇	三、〇一五	二、四〇〇、三九三	二、四〇〇	三、〇一五	二、四〇〇、三九三	二、四〇〇	三、〇一五	二、四〇〇、三九三	〇、七二五	二、六九六	二、〇七二、〇六六
二、四〇〇	三、〇一五	二、四〇〇	二、四〇〇、三九三	二、四〇〇	三、〇一五	二、四〇〇、三九三	二、四〇〇	三、〇一五	二、四〇〇、三九三	二、四〇〇	三、〇一五	二、四〇〇、三九三	〇、七二五	二、六九六	二、〇七二、〇六六
二、四〇〇	三、〇一五	二、四〇〇	二、四〇〇、三九三	二、四〇〇	三、〇一五	二、四〇〇、三九三	二、四〇〇	三、〇一五	二、四〇〇、三九三	二、四〇〇	三、〇一五	二、四〇〇、三九三	〇、七二五	二、六九六	二、〇七二、〇六六

備考 各年度ノ調定額ハ其年十二月三十一日現住人口、戸數ヲ以テ除シタリ

十一年度税額ヲ十二年度ニ比シ著シク減少シタルハ小學校教員給ヲ市費支辨トナシタル結果ニヨル

(ハ) 區ニ屬スル市税ノ種類

區ニ屬スル市税ノ種類及制限左ノ如シ

一、家屋税 附加税、大正九年度

賦課率ニ制限ナシ

參考

區ニ關スル市税ノ制限率ハ左ノ如シ但シ府税營業税附加税及雜種税附加税ハ大正七年度限り、地租附加税ハ大正八年度限り止シタリ

地租附加税 宅地 本税壹圓ニ付 九錢
其ノ他ノ土地 同 貳拾壹錢

府税營業税附加税及雜種税附加税 本税壹圓ニ付 拾錢

(二) 區小學校其他授業料調

區名	小學校授業料	幼稚園保育料	實業補習學校授業料	實科高等女學校授業料
神田	× 1,000 1,000	1	1,500	1
麹町	× 1,000 1,000	三、五〇〇	1	1,100

日本橋	× 1,000 1,000	二、〇〇〇	1	1
京橋	× 1,000 1,000	三、五〇〇	三〇〇	1
芝	× 1,000 1,000	1	100	1
麻布	× 1,000 1,000	二、五〇〇	二〇〇	1
赤坂	× 1,000 1,000	二、〇〇〇	三〇〇	1
四谷	× 1,000 1,000	三、〇〇〇	〇 1,000 △ 1,000 1,000	1
牛込	× 1,000 1,000	1	二〇〇	1
小石川	× 1,000 1,000	1	二〇〇	1
本郷	× 1,000 1,000	四、〇〇〇	七〇〇 1,100	1
下谷	× 1,000 1,000	三、〇〇〇	三〇〇	1
淺草	× 1,000 1,000	1	三〇〇	1

區名	小學校授業料	幼稚園保育料	實業補習學校授業料	實科高等女學校授業料
本所	× 1,000	三,500	500	1
深川	× 1,000	二,000	300	1
平均	× 1,000	二,900	△ 1,000 ○ 1,000 四三〇	1,100

備考 ×印ハ高等科 △印ハ夏期學校 ○印ハ女子實業補習學校授業料ナリ

七區ノ事業

(イ) 區ノ事業一覽 (大正十二年度各區豫算ニ依ル) 其 一

區名	教育費	小學校	幼稚園	實科高等女學校	實業學校	實業補習學校
麴町	九一、九九七	六	一	三	一	二
神田	一七〇、八五七	一五	一	一	一	七
日本橋	一六九、八九二	一〇	二	四	一	六
京橋	一九四、〇五一	一七	一	一	一	八
芝	三二七、九八五	一九	二	一	一	二
麻布	一〇九、六四四	二三	一	一	一	四
赤坂	四八、三七七	七	二	一	一	一
四谷	八二、四六六	九	一	一	一	三
牛込	一〇一、一四九	一一	一	一	一	二
小石川	二九、五三三	一七	一	一	一	三
本郷	一六一、三七六	二三	一	一	一	五
下谷	一六七、五二七	二三	一	一	一	二

本所	六九、六六	二六	一	一	一	一	一	四
深川	一八、三〇	八	一	二	一	一	一	四
計	二、八三、二〇九	三三	一八	一六	一	一	一	五九

(1) 區ノ事業一覽 (大正十二年度各區豫算ニ依ル) 其 二
(學校數ハ大正十二年三月調)

區名	事業補助	貧困者救助	罹災者救助	貧困者施療	傳染病豫防	區公報發行	住宅
麴町	三、三〇〇	二五	一	一	五〇〇	一、六三	一
神田	二、五〇〇	一	一	一	一	一	一
日本橋	二、六〇四	四二	一	一	八	一	一
京橋	一、一〇〇	一〇〇	一、〇〇〇	一	一	一	一
芝	四、五〇〇	一〇九	一	一	一	一	一
麻布	一、二〇〇	三六五	一	一	一	一	一
赤坂	四、五〇〇	一	一	一	一七〇	一	一
四谷	六、五〇〇	一	一	一	一〇〇	一	一
牛込	五、五〇〇	一三〇	一	一	一	一	一

小石川	一、五〇〇	九二	三五〇	一	五〇〇	一	一八〇
本郷	一、五〇〇	五二七	二五	五〇	一	一	一
下谷	三、六六八	六六	一	一	一	一	一
淺草	七、四〇六	五七	一	一	一	一	一
本所	四、三〇〇	一	一	一	一	一	一
深川	四、九〇二	二、六三〇	六〇〇	一〇〇	七〇〇	一	一
計	三、五、二六〇	四、三五四	一、九七五	一、五〇	二、〇五二	一、六三	一八〇

(口) 區ノ事業補助内譯 (大正十二年度豫算ニ依ル) 其 一

	區教育費	少年團	青年團	在郷軍人會分區	地方改良協會	區衛生會	區醫師會	區林間學校	教員互助會
麴町	一	一	三〇〇	一	一	一	一	一、〇〇〇	一
神田	三〇〇	一	七五〇	五〇〇	五〇	三〇〇	一	一	三〇〇
日本橋	二、〇〇〇	一	一	一	五〇	五〇〇	一	一	一
京橋	八〇〇	一	一	一	一	一	一	一	一
芝	一	一	一	一	一	四、五〇〇	一	一	一

計	八、八五〇	一五〇	四、一〇〇	六、三〇〇	四〇〇	二七〇〇	三〇〇	二、〇〇〇	三〇〇
麻布	三〇〇	—	三〇〇	三〇〇	—	—	—	—	—
赤坂	—	—	二〇〇	二〇〇	五〇	—	—	—	—
四谷	—	一五〇	一五〇	—	五〇	—	三〇〇	—	—
牛込	—	—	—	五〇〇	五〇	—	—	—	—
小石川	二〇〇	—	四〇〇	七〇〇	五〇	二〇〇	—	—	—
本郷	—	—	五〇〇	五〇〇	五〇	五〇〇	—	—	—
下谷	八〇〇	—	五〇〇	六〇〇	—	—	—	—	—
浅草	二、一五〇	—	—	一、〇〇〇	—	—	—	—	—
本所	一、五〇〇	—	一、〇〇〇	一、〇〇〇	五〇	七五〇	—	—	—
深川	八〇〇	—	—	一、〇〇〇	—	—	—	—	—

區ノ事業補助内譯 (大正十二年度豫算ニ依ル) 其 二

私立女學	校	同 情 團	教員講究會	婦 人 會	私立幼稚	盲人技術	區兵事義	私立小學	區 町 會	
麵 町	—	—	—	—	—	—	—	—	—	二、三〇〇
神 田	—	—	二〇〇	一八〇	—	—	—	—	—	二、五〇〇

計	深川	本所	淺草	下谷	本郷	小石川	牛込	四谷	赤坂	麻布	芝	京橋	日本橋
三〇〇	一	一	三〇〇	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
三〇〇	一	一	三〇〇	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
二〇〇	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
一八〇	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
五四	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	五四
三〇〇	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	三〇〇	一
八〇〇	一	一	五〇〇	一	一	一	一	一	一	三〇〇	一	一	一
七、〇六六	三、一〇一	一	三、一五六	七八	一	一	一	一	一	一	一	一	一
一、〇〇〇	一	一	一	一、〇〇〇	一	一	一	一	一	一	一	一	一
三、二六〇	四、九〇二	四、三〇〇	七、四〇六	三、六六八	一、五五〇	一、五五〇	五五〇	六五〇	四五〇	一、二〇〇	四五〇	一、一〇〇	二、六〇四

八區有財產 (大正十年十二月末現在)

區名	土地 坪數 價格	建物 坪數 價格	有價證券	現金	其 他 財 產 價 格	合 計	同 戶 當 額 上	同 人 當 額 上
麴町	八、三八 七四、〇五	六、〇九 四四、七二	二、七〇〇	五二、〇九六	六七、七四二	一、三〇三、七六八	一二、七九二	一九八、四七
神田	八、一〇五 六四、五九	九、五三〇 九一、四七五	一、九三五	一四七、三九二	二四、〇〇六	一、九〇八、三九七	五、八七二	一二、五五六
日本橋	七、六九 一、二九、〇四〇	四、六二〇 六九、二九四	二、〇〇〇	一五五、三三一	二四、九三〇	二、七四、二九五	一〇二、五五五	一七、一九九
京橋	一三、九〇九 一、〇九、七五	一〇、五七三 七九、六四三	一七、六〇〇	三九、〇〇九	一七、〇〇〇	二、二九、〇一七	七、五三九	一四、八四七
芝	一七、四八九 八八、一〇三	八、〇六八 一、〇〇、四五五	九、二七五	六七、四三〇	九、四七二	二、〇五八、七三五	五、八六九	一一、四八七
麻布	九、二八四 四七五、〇〇〇	五、一〇一 四〇〇、〇〇〇	八、〇〇〇	四一、一四五	二四、〇四	九九八、一九九	五、〇一六	一一、二七一
赤坂	六、三八 五〇六、二四〇	四、〇六八 四九、三五八	七、八〇〇	四〇、七八二	五、九八一	一、一六〇、一六二	一〇〇、八三九	一八、六五九
四谷	八、〇八一 四〇九、三〇二	三、四五七 二二、六三三	六五〇	九八、六六七	四三、一二七	七五、三五八	四九、三七七	一〇、九〇〇
牛込	一二、六六八 一、〇三、四二六	七、七六三 九三、五六〇	—	三五、〇二五	八八、〇五九	二、〇六、〇六〇	八〇、五六六	一六、四五六

小石川	九、三五三 六二八、〇八三	七、九三〇 一、〇〇五、三九二	二、七一〇	九、二九六	一一、二三九	一、七四、七二〇	五五、六七六	一二、〇四五
本郷	一〇、八五三 六五四、〇三九	九、三〇五 七五四、四四一	—	四四、八五六	一四三、七八五	一、五九七、〇九一	五八、七六六	一一、七八〇
下谷	一五、〇一六 六三三、三六七	一一、八九八 八八四、五三一	—	九四、六四三	九八、八四一	一、七〇、三三二	四〇、四〇六	九、三三六
淺草	一六、九九六 一、二七五、三五二	七、三三七 一、三七一、二二六	—	一三、七〇六	一八九、九一〇	二、九六八、一〇四	五〇、八四九	一一、五五五
本所	一〇、三〇四 七九、八二五	八、三九一 一一、八、九七六	一、二三五	一八、六八四	七四、一二三	一、九三三、八三三	三三、八五三	七、五四二
深川	一三、四九二 六八三、五九二	六、二九一 九六、六七六	—	一〇四、一〇〇	一四八、三四六	一、八五二、七二四	四六、〇九七	一〇、三二一
合計	一七、七二五 二、五九、二二八	一〇、五三一 二、〇五九、九五三	一一、八九五	一、〇六〇、一六二	一五八、三六七	二、六四一、八三五	(平均) 五七、七九四	(平均) 一二、二四九

備考 人口、戸數ハ國勢調査ニ依ル人口、世帯數ニ依ル

九市稅調定額各區別調 (大正十年度) 其 一

科目	區名	麴町區	神田區	日本橋區	京橋區	芝區	麻布區	赤坂區	四谷區
地租附加稅		三四、二七四 四、〇〇〇	六五、七二一 四、〇〇〇	一〇八、〇三九 七、五〇〇	六九、九六六 二、二〇〇	六三、〇八八 六、五〇〇	二三、〇三九 九、一〇〇	一六、九四九 一、〇〇〇	一八、七〇二 七、七〇〇
國稅營業稅附加稅		四〇、一五五 七、四〇三	一一、一四七 九、〇〇〇	一六、九二八 七、九〇〇	八二、九七三 七、六〇〇	二四、九三八 三、三〇〇	四一、八三三 九、九〇〇	三九、八七一 四、九〇〇	四〇、七五二 七、一〇〇

附所得稅	一五〇、〇九一、六七〇	四九、四三〇、四八〇	六八七、一六三、九八〇	二五〇、二六六、五〇〇	二九一、五〇三、六九〇	一五〇、九三三、六二二	一、二七、四七〇	三八、三五八、六七〇
附鑛業稅			一三三、三六〇					
附賣藥營業稅	五五、四六〇	二四七、九一〇	三五四、三二〇	二四二、六八〇	八一、六四〇	二四、八〇〇	四七、三八〇	四三、〇二〇
附取引所營業稅		一	八六、〇六二、〇八〇		一		一	一
附稅營業稅	四七、六三五、七八〇	三四、二八一、三七〇	一七二、四五二、七二〇	一六五、四六四、八〇〇	八六、五九七、八一〇	二七、二四三、〇三〇	四九、九八一、四六〇	三六、一七六、五八〇
附雜種稅	四〇、五六八、三六〇	二九、三七六、四〇〇	三〇九、五五五、二二〇	三四五、三四九、六八〇	二二一、九六九、四三〇	一二、五七八、六九〇	九七、二九、九五〇	五九、六〇五、四一〇
附特別稅不動產取得稅	七一、一八一、九九〇	六九、〇七六、五二〇	一三九、八二六、九八〇	一二、八七八、二〇〇	一〇六、三七七、二六〇	五、四五四、四六〇	三六、一五七、九九〇	四〇、三五四、四六〇
附特別稅	二、三四六、二二〇	一五〇、八二〇	一〇〇、〇〇〇	六七五、二九〇	二、四五二、一三〇	六〇五、五九〇	三六二、六四〇	三九、一五八、〇〇〇
附特別稅	七三、三四六、六二〇	一七、六〇九、八〇〇	一八四、七九、四一〇	二七二、七八、二六〇	八八、七四五、四六〇	二九、三五、一四〇	五、五七九、〇三〇	九六、五四四、三三〇
附特別消費稅	一、一八九、九六〇、二八〇	八七、〇四二、七〇〇	三三二、七一六、五九〇	二、四七、三五三、三四〇	一、一〇〇、一三三、三九〇	四四、九〇九、二二〇	四三、三六二、三三〇	三三〇、九二九、五〇〇
計								
一戶當	一〇二、九四六	二八、八九二	一五、四七六	六八、七九五	二九、八五五	二三、四七〇	三五、〇五九	二一、三五〇

九市稅調定額各區別調

(大正十年度) 其二

科 目	區 名						
	牛 込 區	小 石 川 區	本 郷 區	下 谷 區	淺 草 區	本 所 區	深 川 區
地租附加稅	二五、二五、八二〇	三、七四、五五〇 ^四	三、九六、〇九〇 ^四	三五、八七、〇五〇 ^四	五四、九〇九、三〇〇 ^四	四一、五五、九六〇 ^四	四一、五五、九三〇 ^四
國稅營業稅	五、四六、三三〇	七、一二四、八九〇	八、六三四、九〇〇	一三、七三、八三〇	二二、八六一、二八〇	三三、五六三、六七〇	一七六、三五〇、九六〇
附加稅	九六、二〇一、七〇〇	一四九、七二六、一〇〇	四九、七七二、三四〇	五九、七九一、四八〇	一三三、三八八、〇九〇	二五〇、二五六、八二〇	八七、五五一、七四〇
所得稅							
附加稅							
合計	二、七五四、三九四、三五〇						

礦業稅		一							三三、三八〇
附加稅			一						
賣藥營業稅	二八、九二〇	六九、七一〇	一六、五九〇	三四、七七〇	一三九、四二〇	七二、八二〇	三七、三三〇	一、七七七、七八〇	
附加稅									
取引所營業稅			一	一			一、一二、五九〇	八七、一八三、六七〇	
稅附加稅									
府稅營業稅	七三、二六七、二七〇	四三、七八、六四〇	五八、四六二、六五〇	五六、五七二、〇九〇	一六三、二八七、〇一〇	五一、〇九六、一四〇	三九、二七七、六六〇	一、一〇五、四八五、〇六〇	
附加稅									
雜種稅	九四、三七三、四八〇	八四、三一、六八〇	一一五、〇三六、一五〇	一三四、一五六、八三〇	三四五、四二八、五〇〇	三三、一〇九〇、三〇一、〇九〇	二〇、五九九、二四〇	二、八五一、三四〇、一二〇	
附加稅									
特別稅不動產取得稅	七七、二九〇、六二〇	六九、七三四、三八〇	五三、二〇八、九二〇	五五、五五五、四三〇	八〇、九八三、六三〇	八六、三八〇、四〇〇	八三、五八五、五三〇	一、一三八、九六六、七五〇	
特別稅									
特別稅	六一九、五三〇	四七、七三〇	四六〇、八〇〇	一、三六七、六〇〇	一、七五九、八二〇	七二八、五三〇	三七五、〇〇〇	一二、八五七、二七〇	
戶別割稅									
特別消費稅	七四、三六六、四五〇	四六、三六四、二四〇	四九、四九四、四七〇	四八、二三三、七三〇	五四二、六六七、一三〇	一九、九五六、四七〇	二五五、九〇三、一六〇	一、八五〇、〇四三、六〇〇	
計	四九二、九七〇、一〇〇	四八八、二五六、九二〇	五五四〇、一五二、九七〇	五五二五、四五〇、八〇〇	一五三四、四二四、一九〇	九一五、八八一、九〇〇	八二六、二八八、一七〇	二四、九八一、二七四、四三〇	
一戶當	一九、一二二	一五、四〇四	一九、八七五	二二、四一三	二六、二八七	一六、〇四一	二〇、三二〇	(平均) 三二、七九四	

一〇區會議員選舉有權者調 (大正十一年二月現在)

區名	選舉人數			直 接 市 稅 納 額	總 額
	一級	二級	計數	最多納額	平均額
麴町	五二	一、八二九	二、三四〇	二、三三、三〇	五二、二八四
神田	一、四六九	四、六六六	六、〇九五	四、〇六、〇四	七二、六九〇
日本橋	一、二三三	五、六六八	六、七〇〇	二、二〇六、三九	一六、八六六
京橋	八元	三、五九四	四、四三三	一六、三〇三、二〇	二九、四三三
芝布	一、四八四	五、一五七	六、六四二	四、〇六〇、七三	六〇、〇八八
麻坂	五八	二、二〇三	二、七三〇	七、四七一、九三	七二、七四七
赤谷	四六	一、八五三	二、二八八	四、〇四二、三九	六三、五三三
四谷	五四	一、六四九	二、一九三	五、三〇、一九	六〇、九四四
牛込	九七	三、一九二	四、一七八	六、五五四、八八	四五、四五〇
小石川	八九三	三、一三二	四、〇三四	四、七五二、五九	四七、一五〇
本郷	九五九	三、四五七	四、四二六	一五、六五七、六三	五八、六四二
下谷	一二三	三、三七二	四、五八三	二、三七四、九八	五九、九八〇
淺草	一、六九三	五、六二二	七、三三四	二〇、〇〇〇、〇〇	七五、一〇九
					五四八、五九八、〇〇

本所	一、三七〇	四、四八四	五、八五四	八、九二五、六一	六八、八二七	四〇二、九一七、〇〇
深川	七〇四	二、六六八	三、三七二	五、八〇九、六二	八七、二九八	二九四、三七〇、〇〇
計	一四、七六一	五、四六〇	六七、三二二	—	—	五、三七五、七五五、〇〇

一一區會議員定數調

區名	定數	區數	定數	區數
麴町	三六八	小石川	三六八	三六八
神田	四〇	本郷	四〇	四〇
日本橋	△四〇	下谷	△四〇	四〇
京橋	△四二	淺草	△四二	△四六
芝布	四〇	本所	四〇	四四
麻布	三六	深川	三六	四〇
赤坂	三六	計	三六	一八八
四谷	三六		三六	
牛込	三六		三六	

備考 △印ヲ附シタルハ増員條例ノ設ケアルモノナリ

二 市外ニ設置セル東京市營造物

名	稱	主 要 事 務	所在地(△印ハ東京市ト家屋連着セル町村 ×印ハ東京都市計畫區域ニ屬スル町村)
小作砂利採取場	砂利採取		西多摩郡西多摩村小作
廣尾病院	傳染病患者ノ治療		×△ 豐多摩郡澁谷町
井ノ頭公園			北多摩郡武藏野村
飛鳥山公園			×△ 北豐島郡王子町
雜司ヶ谷共葬墓地			北豐島郡高田町
染井共葬墓地			×△ 北豐島郡巢鴨町
龜戸共葬墓地			×△ 南葛飾郡大島町
多摩墓			北多摩郡多摩村及小金井村
淨水	浮水竝配水		×△ 豐多摩郡淀橋町
淀橋水衛所	玉川上水路ノ取締		×△ 同 上
和田堀水衛所			× 豐多摩郡和田堀村
久我山同			× 同 高井戸村
境同			北多摩郡武藏野村

小川同	同	同	同 小平村
砂川同	同		同 砂川村
熊川同	同	多摩川上水源ノ設備其他配水ノ取締	西多摩郡熊川村
水道課羽村派出所			同 西多摩村羽
水源林事務所		水源林ノ保護取締及造林施行等	同 青梅町
水道課氷川派出所	同		同 氷川村
同 丹波山派出所	同		山梨縣北都留郡丹波山村
同 落合派出所	同		同 東山梨郡神金村落合
三河島汚水處分工場			×△ 北豐島郡三河島町
同 三河島出張所		汚水處分工場維持管理	×△ 同
養育院巢鴨分院		收容兒童ノ教養	×△ 北豐島郡巢鴨町新田
同 板橋分院		肺結核、癆疾者收容	×△ 同 板橋町
同 安房分院		虛弱兒童教養	千葉縣安房郡船形町
同 井ノ頭學校		感化生教化	北多摩郡武藏野村
幼少年保護所		不良性並浮浪性幼年ノ指導保護並身上相談	×△ 北豐島郡巢鴨町
電車課廣尾出張所		電車運轉事務	×△ 豐多摩郡澁谷町

同	青山同	同
同	早稻田同	同
同	巢鴨同	同
同	駒込分遣所	電車運轉系統ニ關スル事務
電氣局會計課廣尾倉庫	電氣事業材料品其ノ他物品ノ貯藏	×△ 同 上
電氣局電燈課青山收納所	電氣使用料、工事費等ノ徵收事務	×△ 同 上
同	青山出張所	×△ 同 上
同	廣尾試驗所	×△ 同 上
同	廣尾出張所	×△ 同 上
同	廣尾建設所	×△ 豐多摩郡澁谷町
同	中澁谷散宿所	×△ 同 上
同	千駄ヶ谷出張所	×△ 同 千駄ヶ谷町
同	幡ヶ谷散宿所	×△ 同 代々幡町
同	品川出張所	×△ 荏原郡品川町
同	大崎散宿所	×△ 同 大崎町
同	桐ヶ谷同	×△ 同 上

同	下目黒散宿所	輕易ナル保線事務	× △	荏原郡大崎町
品川	發電所		× △	同上
品川	變電所		× △	同上
澁谷	變電所		× △	豐多摩郡澁谷町
澁谷	發電所		× △	同上
青山	電車庫		× △	同上
廣尾	同		× △	同上
大塚	電車新車庫		× △	北豐島郡巢鴨町
巢鴨	電車庫		× △	同上
三ノ輪	同		× △	北豐島郡三河島町
早稻田	同		× △	豐多摩郡戸塚町
電氣局	乘務員教習所		× △	豐多摩郡澁谷町

三多摩ニ關スル資料

目次

- 一 概況
- 二 沿革
- 三 三多摩ヲ東京府ニ編入シタル顛末
 - (イ) 知事及警視總監ノ意見
 - (ロ) 政府提出法律案及其ノ理由
 - (ハ) 關係府縣民ノ意向
 - (ニ) 議會ニ於ケル狀況
- 四 編入後ニ於ケル三多摩ト東京市其他トノ關係
 - (イ) 東京市トノ關係
 - (ロ) 都市計畫區域トノ關係
 - (ハ) 神奈川線トノ關係
 - (ニ) 三多摩ニ於ケル東京府ノ施設
 - (ホ) 澁谷町トノ關係
 - (ヘ) 遊覽地トシテノ三多摩

一、概 況

東京府西多摩、南多摩、北多摩ノ三郡及八王子市ノ所謂三多摩（以下三多摩ト稱ス）ハ府ノ西南部ニ位シ神奈川、山梨、埼玉ノ各縣ニ隣接シ域内廣濶ニシテ東京府全面積ノ五割五分ヲ占メ就中山林原野四萬五千余町歩ニシテ地勢概シテ高燥ナリ域内一市七十七ヶ町村ニシテ人口三十一萬六千余、世帯數五萬六千余ヲ包擁シ生業ハ主トシテ農林業ニ從事シ全戶數ノ約六割ヲ占メ商工業ニ從事スルモノ二割八分ニ當リ年産額一億一千九百余萬圓一人當三百七十九圓余ニシテ就中工産（生糸、生絹織物）九千三百余萬圓ヲ首位トシ農産之ニ亞ク其ノ狀況左表ノ如シ

(イ)

戸 口

(國勢調査ニ依ル)

種 別	西多摩郡	南多摩郡	北多摩郡	八王子市	計	東京市	東京府
世 帯 數	一六、〇九	一三、九三	一八、六三	七、六五	五、三〇	四、八〇	七二、六六
人 口	八八、一五	七九、五二	一〇九、四二	三八、九三	三六、一〇	二、七三、二〇	三、六九、四八

(ロ)

民有有租地反別

(大正十一年一月一日現在)

種 別	西多摩	南多摩	北多摩	八王子市	計	民有有租地地目別反別千分比
田	四二〇、三三	二、二八八、一五	一、六五、五〇	六五、二五	四、四三、二五	三多摩一東京市一東京府
畑	五、四五、三八	六、七五、四九	一三、八六、九〇	二五、五三	二六、二四、二〇	三三三
宅 地	七五、五〇	八八、六三	一、四一八、七四	一七、〇二	三、一八、八九	四〇
						九七五
						一一三

山林	三、四三、五五	一〇、二六、九七	五、八六、三三	一八、一五	三九、五五、九	五〇	三	三五
原野	三、〇〇四、二七	二、〇六、九、七五	三五、五一	三六、三	五、四六、八四	六九	一	五一
其他	二五、五	四、三	一〇一、八七	一	一三、七三	二	一〇	四
計	三、〇八〇、四七	三、一九三、三	三、二六五、八四	五四、一、天	七九、〇〇、九〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇

(ハ) 職業別現在戸數 (東京市ハ大正九年其他ハ大正四年現在ナリ)

業別	西多摩郡	南多摩郡	北多摩郡	計	職業別現在戸數千分比			
農漁林業	八、三九六	九、九二四	二、三九	二九、六八一	六〇二	八	三九	
工(鑛)業	二、二二三	三、九三九	一、八〇八	七、八五九	一五	四〇一	二六〇	
商業	一、五五四	二、九六二	一、六九一	六、一七七	二六	三〇九	一七〇	
運輸交通業	五七六	五七七	三九三	一、五四六	三	七	五四	
其他	一、〇六六	二、〇六七	九六三	四、一〇一	八四	二四	一八七	
計	一三、六九〇	一九、四六三	一六、二四	四九、三六七	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	

(二) 生産額調 (大正十年)

種別	西多摩郡	南多摩郡	北多摩郡	八王子市	計	東京市	東京府
農産	四、四三七、六二〇 ^四	六、二二三、七五三 ^八	九、八〇九、八二七 ^四	二四、五八 ^四	二〇、七四、七四八 ^四	三六、四三 ^四	四九、七三、八三 ^四

畜産	二七、三三四	三八、一二三	一、〇六三、九八三	一四、五七七	一、八〇九、九〇六	七六、四八	二〇、一二、八三四
水産	一七、六八	五七、〇七〇	一八、七三三	一九七	九三、五九八	六四六、九五	七、八五四、六三〇
林産	二、八四、一七六	九三、九二一	二六、六五九	九、七二〇	四、〇六七、四六六	—	五、四四、〇四一
工業	一二、三三、三〇〇	一五、一五〇、六七	一一、四一九、八六三	五四、五五、〇九八	九三、二九七、八七六	四八、五〇一、八五	九四、三〇一、二二〇
計	一九、七五、九三八	三三、七五、四六三	三三、五七四、〇三五	五四、九〇五、一六〇	一一九、九七三、五九六	四四〇、二六三、六四一	一、〇三七、四五六、五八
一戸當	一、三三、四九	一、六三、六七九	一、一〇一、八三三	七、一六、〇九九	二、一二七、九四六	九六三、七七	一、三四、六六
一人當	二四、一六	二八、六五三	二〇六、三四三	一、四九、五〇	三七九、五四三	二二〇、五八八	二八、〇四七

二、沿革

三多摩ノ地ハ明治元年現豊多摩郡ノ一部ト共ニ武藏國多摩郡タル一郡ヲ成シ當時神奈川、品川、葦山、武藏ノ各縣、西端、龍ヶ崎、前橋ノ各藩及高家ノ領地ニ分屬セシカ同三年高家ノ領地ハ神奈川縣ニ統轄セラル、ニ至レリ四年更ニ現三多摩ノ地域ハ入間、前橋、神奈川ノ各縣ニ屬セシメラレ翌五年ニハ神奈川縣ノ管下ニ統轄セラル、ニ至レリ超エテ同十三年多摩郡ハ東西南北ノ四部ニ分割セラレ東多摩郡ハ東京府ニ他ノ部分即チ現今ノ三多摩郡ハ二十六年ニ至ル迄神奈川縣ニ屬シタリ而シテ主トシテ東京市民ノ飲料ニ供スヘキ上水ノ水路カ西北多摩郡ニ屬スルハ不便ナリトシ明治二十六年法律第十二號ヲ以テ「東京府及神奈川縣境界變更ニ關スル件」ヲ公布シ同年四月一日ヨリ三多摩ヲ東京府ニ編入セリ其後南多摩郡八王子町ハ町勢發展シ他ノ一般市ト比肩シ得ルニ至リタルヲ以テ大正六年市制ヲ施行シ之ヲ八王子市ト爲シタル結果舊ノ多摩三郡ハ現在一市三郡ト爲レリ

三、三多摩ヲ東京府ニ編入シタル顚末

(イ) 知事及總監ノ意見

三多摩ヲ東京府ニ編入スルノ議ニ關シテハ明治二十一年地方制度制定以前ヨリ論議セラレタルモノニシテ明治二十五年九月東京府知事ハ「東京市街飲用供給ノ第一タル玉川上水路ノ取締監督上水路ノ通過地タル武藏國西多摩及北多摩ノ兩郡ヲ神奈川縣ヨリ移シテ東京府ニ編入スルハ刻下ノ急務ナリトシ又武藏國南多摩郡ハ直接水路ノ通過地ニ非サルモ多摩川ヲ隔テ、西北多摩郡ニ相對シ殊ニ元來同一郡ニシテ後東西南北ノ四郡ニ分割セシモノニシテ民情風俗ノ同一ナルハ固ヨリ其地勢ノ如キ甲州街道ニ沿ヒ百貨運輸等總テ東京ト利害ヲ俱ニシ加之甲武鐵道等ノ延長ニ伴ヒ東京府下ノ來往一層ノ利便ヲ來シ之ヲ神奈川縣下ニ比スレハ便否霄壤ノ差アルヲ以テ西北多摩ト共ニ東京府ニ編入ヲ要ス」ト上申シ又神奈川縣知事及警視總監ヨリモ亦三多摩ヲ東京府ニ編入ノ要アリト上申セリ

(ロ) 政府提出法律案及其ノ理由

東京府及神奈川縣境域變更ニ關スル法律

第一條 神奈川縣下武藏國西多摩郡北多摩郡南多摩郡ヲ東京府ニ移ス

第二條 衆議院議員選舉區神奈川縣第三區ハ本法ニ依レル府縣境域ノ變更ノ爲ニ東京府選舉區第十三區トシテ東京府ニ移リタルモノトス

第三條 神奈川縣選出ノ現任衆議院議員ハ本法ニ依レル府縣境域ノ變更ノ爲ニ其ノ議員タル資格ヲ失フコトナシ

第四條 衆議院議員選舉區東京府第十三區ハ其ノ東京府ニ移リタルカ爲ニ新ニ議員ヲ選舉スルコトナシ

第五條 貴族院多額納稅者議員衆議院議員及府縣會議員ノ選舉及被選舉資格中其ノ年限ニ關スルモノハ本法ニ依レル府縣境

域ノ變更ノ爲ニ中斷セラルコトナシ

第六條 此ノ法律ハ明治二十六年四月一日ヨリ施行ス

東京府及神奈川縣境域變更ニ關スル法律案理由書

神奈川縣西多摩郡北多摩郡南多摩郡ヲ東京府ノ境域ニ移サントスルハ主トシテ東京市飲用水路ノ關係ニ於テ事實ノ必要アルニ依ル抑東京市街飲用供給ノ第一タル玉川上水ハ其源流ヲ山梨縣下甲斐國北都留郡ニ發シ神奈川縣下武藏國西北多摩郡ヲ貫通シテ始メテ東京ニ入ル其流域貳拾有餘里ニシテ神奈川縣下ニ屬スルモノ拾里ニ下ラス又其上水ノ平水流量ハ西多摩郡羽村堰入口ニ於テ水量毎秒時四百四拾壹立方尺ニシテ上水路ヲ經テ東京市ニ達セシムルモノトス然ルニ實際ニ於テハ其東京ニ達スルモノ僅ニ其一分ノミニシテ餘ハ上水路左右拾九箇所ニ分水シテ五郡數十村ノ需用ニ供ス是則チ從來ノ割合ニシテ目今水道改良ノ設計亦之ニ同シ然ルニ近來水源往々涸渴シ定量ヲ得難キ而已ナラス去ル二十一年二月ノ如キ多摩川本流僅ニ百八十一立方尺即上水ノ平水流量ニ比シテ其半ニ及ハス本春ノ如キ亦然リ此ノ如キ場合ニ會スレハ不得已市外灌田飲料兩用水ノ幾分ヲ減殺シ或ハ分水樋口ヲ閉鎖シ僅ニ市民ノ需用ニ應セシムルカ如キ暫行ニ依リ一時急ヲ濟フノ手段ヲ取ルニ過キス而シテ多摩川ノ源流ハ幾多ノ細流數方里ヲ覆ヒ其地ヤ大概民有ニ屬セルヲ以テ常ニ其樹林ノ榮枯繁凋ハ直ニ水量ニ影響ヲ及ホス事頗ル大ナリト雖モ流域監督ニ就キ東京府管外ニ在テ東京府ノ施行スル所羽村以下久我山ニ至ル上水路在里内外ニ止マリ其敷地以外及引入口以上ハ舉テ神奈川縣ニ屬スルヲ以テ同縣ニ委託シ適取締上必要ニ際シテ東京府令警察令等ヲ發スルモ要スルニ他管人民ニ向テ之ヲ遵守セシムルノ困難ナル常ニ充分ノ効果ヲ見ルヲ得ス並ニ其實例ヲ舉レハ去ル十九年虎列刺病流行ニ際シ神奈川縣下西多摩郡長淵村即羽村引入口ノ上流ニ於テ排泄物ヲ放下シタリトノ急報ニ接シ府下ハ素ヨリ御用水ニ萬一ノ變ヲ恐レ非常ノ警戒ヲ加ヘ下流ヲ横斷シ辛クモ餘毒ヲ府下ニ注入セシメサルヲ得タルコトアリ當時東京府ハ甚タ困難ヲ感セリ

又平日ノ監督ニ就キテモ羽村堰通筏ノ如キ上水架設ノ橋梁修覆ノ如キ上水敷兼用道路修理ノ如キハ一ツトシテ其各村ヨリ神奈川縣ヲ經由シテ東京府ニ出願スルノ煩ヲ取ラサルハナシ又水源ノ取締ニ就テモ神奈川縣ニ在テハ常ニ吏員ヲ置クノ必要ナケレハ之ヲ東京府自ラ爲スト否トハ其差幾許シヤ又多摩沿岸ノ森林中採伐ノ法宜シキヲ失ヒタル痕跡アルモノ少ナカラサルニ依ルモ其利害ノ懼ル所實ニ明ナリ故ニ水道改良ノ事業ハ日ヲ逐テ其歩ヲ進ムルノ今日ニ在テハ最水源ノ涵養保護森林濫伐ノ取締及流水或ハ河域ニ生スル衛生上ノ利害等ハ實ニ府下引水ノ事業ト離ルヘカラサル關係ヲ有スルモノナレハ決シテ其管轄ヲ異ニスヘカラサルコト明瞭ナリ而シテ舊來ノ沿革ヲ尋ヌルニ素西北南三多摩郡ハ現ニ東京府ノ境域タル東多摩郡ト合セテ一郡ニシテ其地形何レモ甲州街道ニ沿ヒ互ニ利害ノ關係ヲ共通シ百貨運輸ノ途概ネ東京府ニ關聯シ殊ニ甲武鐵道ノ布設ニ從ヒ同府ノ來往一層ノ利便ヲ得現今神奈川縣ニ往來スル者ト雖モ先ツ途ヲ東京ニ取ルノ實況ナリ故ニ此三郡ヲ移スニハ獨リ水道ノ利害ニ關スル而已ナラス地勢自然ノ宜シキヲ得ルモノナリ且今其管轄ヲ分合スルモ神奈川縣ハ現在郡數十五ニシテ西北南多摩ノ三郡ヲ除クモ一縣ノ境域及資力ニ影響ヲ及ホスノ虞ナク又東京府ハ現今ノ六郡ニ此三郡ヲ加フルモ其所轄廣濶ニ過クルノ憂ナク又西北南多摩三郡ニ於テモ其負擔ヲ重カラシムルコトアラサルヲ信ス以上列記スル所是境域ヲ移ス理由ノ要點ナリトス而シテ此境域變更ノ爲メ貴族院多額納稅者議員衆議院議員等ニ關スル事項ハ其逐條ニ就キ特ニ之ヲ記載ス

第一條 神奈川縣下武藏國西多摩郡北多摩郡南多摩郡ヲ東京府ニ移ス

(理由)

大体ハ理由書ニ記載スル所ニ外ナラサレハ茲ニ之ヲ再記セス

第二條 衆議院議員選舉區神奈川縣第三區ハ本法ニ依レル府縣境域ノ變更ノ爲ニ東京府選舉區第十三區トシ東京府ニ移リタルモノトス

(理由)

第一條ノ境域變更ノ結果トシテ神奈川縣選舉區第三區ハ東京府選舉區十二區ノ次ニ編入シ十三區トナルコト當然ナルヘシト雖モ衆議院議員選舉法附錄ニ異動ヲ來タスヘキカ故ニ特ニ之ヲ明示ス而シテ神奈川縣選出議員貳人ヲ減シ東京府ニ貳人ヲ増シ及神奈川縣第四區ハ第三區トナリ第五區ハ第四區トナリ第六區ハ第五區トナルハ本條ノ結果トシテ自然ニ生スヘキノ異動ナレハ本條ニ明示セス

第三條 神奈川縣選出ノ現任衆議院議員ハ本法ニ依レル府縣境域ノ變更ノ爲ニ其ノ議員タル資格ヲ失フコトナシ

(理由)

衆議院議員ノ資格アル同法第八條ニ「其ノ選舉府縣内ニ於テ直接國稅十五圓以上ヲ納メ仍引續キ納ムル者タルヘシ」トアリ故ニ神奈川縣選出ノ現任議員中若シ此西北南多摩ノ三郡内ニ於テ地租ヲ納ムルカ爲メ其資格ヲ有セシモノアリトセハ境域ヲ移シタルカ爲メ其資格ニ關係ヲ及ホスノ結果ヲ生スルコトナシトセス然レトモ選舉ノ當時相當ノ資格ヲ具ヘテ已ニ議員トナリタル者ハ行政區畫ノ異動ノ爲メニ其効ヲ失セシムヘカラス依テ之ヲ明示ス

第四條 衆議院議員選舉區東京府第十三區ハ其ノ東京府ニ移リタルカ爲ニ新ニ議員ヲ選舉スルコトナシ

(理由)

神奈川縣第三區ハ本法ニ依リ東京府第十三區トナルモ其已ニ議員タルモノハ三郡カ神奈川縣第三區タル時ニ於テ選出セラルモ己ニ議員ノ職ヲ保有スル以上ハ今其選舉區域ノ管轄ヲ改ムルカ爲メニ其職ヲ失スルコトアルヘカラス從テ東京府ニ於テ新ニ議員ヲ選舉スヘキニアラス

第五條 貴族院多額納稅者議員衆議院議員及府縣會議員ノ選舉及被選舉資格中其ノ年限ニ關スルモノハ本法ニ依レル府縣境域變更ノ爲ニ中斷セラルコトナシ

(理由)

本條ヲ設クルノ必要アルハ貴族院多額納稅者議員互選權ヲ有スル資格（貴族院令第六條及明治二十二年六月勅令第七十九號（第一條）及衆議院議員選舉被選舉權ヲ有スル資格（衆議院議員選舉法第六條及第八條）府縣會議員被選舉權ヲ有スル資格（府縣會議規則第十三條及府縣會議員選舉規則第四條）ハ各其府縣内ニ於テ年數ヲ算スルノ法ナレハ今神奈川縣ヨリ東京府ニ移ス所ノ三郡ニ在テハ同府ニ移リタル日ヨリ規定ノ年限ヲ算スルトキハ一時資格ヲ失スルノ結果ヲ生スヘシト雖モ是亦前條ノ理由ト同シク前後年數ヲ通算シテ其資格ヲ保續セシムルコト當然ナリ

第六條 此法律ハ明治二十六年四月一日ヨリ施行ス

（理由）

本條明治二十六年四月一日ヲ施行期トセシハ只ニ經濟上年度ノ混交ヲ避クルニ外ナラス

（ハ）關係府縣民ノ意向

A 反對者ノ意見

三多摩郡民ノ一部ニ依リ反對論者アリタリ

一、東京府ト神奈川縣三郡トハ地勢人情風俗ヲ異ニスルコト

二、東京府ト神奈川縣トハ地方税ノ負擔ニ差異アリテ三郡ヲ東京府ニ編入スルトキハ三郡人民ハ其負擔ニ堪ヘサルコト

三、三郡ヲ東京府ニ編入スルトキハ神奈川縣地方經濟ニ異動ヲ生シ全体ノ爲メニ地方税ノ負擔ヲ重カラシムルコト

四、東京府水道改良事業ニ對シ境域ノ變更ノ必要ナリト云フモ數百年ノ今日ニ至ル迄著シキ害アリシヲ見スト云フコト

B 賛成者ノ意見

神奈川縣高座郡外五郡一市及北多摩ノ有志者ハ以上反對者ノ理由ヲ夫々反駁シ且ツ左ノ理由ヲ附シ賛成セリ

一、三多摩ノ道路ハ悉ク東京ヘ通シ横濱ヘノ通路ハ別ニ之ナシ

二、三多摩郡民ニ於テ多摩川ニ關スル府知事ヘノ出願等ハ盡ク神奈川縣ヲ經由セサルヘカラサル等不便アリ

三、上水ノ取締ニ關シ府知事ハ令達ヲ發シテ取締ルコト難シ

四、三多摩ニ變事アルトキハ神奈川縣官ハ鐵道ヲ利用シ東京ヲ經テ三多摩ニ赴ク故警戒十分行届カス

五、米麥薪炭ヲ除クノ外東京トノ取引頗ル多シ材木ノ如キハ最モ東京ト取引シ商工業ノ大部分ハ東京ニアリ

以上ノ理由ニ依リ三多摩郡民十中ノ八九ハ東京府ノ管轄ニセンコトヲ望メリ

三多摩郡民ノ賛成理由左ノ如シ

三多摩郡ノ宿望スルトコロニシテ物産ノ運輸交通上陸路ニ依リテ東京市ニ搬出シ甲武鐵道ノ延長ニ依リテ東京トノ交通織ルカ如ク、横濱市場ハ繁多ナルモ互市場ナルヲ以テ直接關係ナシ、神奈川ニ管轄廳アルヲ以テ人民ハ迂遠ナル不便ヲ受ク其他教育上、衛生上、交際上ノ事皆東京府管轄ノ下ニ屬スルヲ希望ス

（ニ）議會ニ於ケル狀況

東京府及神奈川縣境界變更ニ關スル法律案ノ第四回帝國議會ニ於ケル議事經過ノ大要左ノ如シ

（イ）衆議院

明治二十六年二月二十一日日本案ノ第一讀會ヲ開キ同日議長指名ノ特別審査委員ニ附託セラル同年二月二十七日緊急動議トシテ『特別審査委員ヲシテ本日六時迄ニ報告セシムヘシ』トシ其ノ理由左ノ如シ

境界變更ニ付テハ民間ニ種々議論アリ夜陰ニ乘シ水門ノ投渡木ヲ取拂ヒ四谷ニ於テ一尺五寸ノ減水アリ速ニ決議セサレハ人心恟々トシテ東京府民ノ不幸甚シ

又山田泰造議員ハ『減水ノ爲メ東京市民ハ困難アリトスルモ此ノ問題ノ爲メ神奈川縣西南北多摩ノ幾分ハ役場ヲ閉チ皆反對ノ請願ヲ爲セリ此ノ問題ハ第五議會ニ緩々審議スヘキモノトス』ト論シ委員長タル工藤議員ハ『報告不能ナリ』ト唱ヘ

結局九十五對九十七ニテ動議ハ否決セラレ

翌二十八日工藤委員長ハ『本案ハ委員會ニ於テ否決セリ』トシ其ノ説明概要左ノ如シ

經濟上ヨリ見レハ三多摩ノ人民及神奈川縣民ハ負擔増加シ又水道ノ管理ヨリ見ルモ東京府ニ編入ノ要ナク更ニ人民ノ意向ニ徴スレハ三多摩人民ハ餘程沸騰シ南多摩ニ於テ二十一人、北多摩ニ於テ五人、西多摩ニ於テ二十三人ノ村長ハ辭職シテ專ラ之ニ反對シ又人民ノ請願ニ徴スルニ賛成スルモノ十一通、六百六十七人ナルニ反對スルモノ十九通三千五百五十二人ナリ如斯希望セサルモノヲ啞嗟ノ間ニ決スルハ不穩當ナリ

原案ニ對スル賛否ノ論喧シク結局記名投票ノ結果本案ヲ可トスルモノ百三十三、否トスルモノ百十二ニシテ一讀會ハ之ヲ可決シ、二讀會ニ於テハ多數ヲ以テ三讀會ニ移シ三讀會モ亦多數ヲ以テ原案ヲ可決セリ

(ロ) 貴族院

二月二十八日貴族院ノ本會議ニ附セラレタルニ三四ノ質問アリタルノ結果異議ナク可決セラル

四 編入後ニ於ケル三多摩ト東京市其他ノ關係

(イ) 東京市トノ關係

◎上水道 爾來東京市所管ノ上水道ハ其ノ擴張計畫成リ西多摩郡西多摩村宇羽村ノ上水取入口ヲ改良シ村山貯水池ヲ設ケ北多摩郡小金井村ニ境淨水場ヲ設ケル等工費四千七百萬圓ヲ以テ擴張工事ノ施工中ニ屬ス是レニ先チ東京市ハ西多摩郡、山梨縣北都留郡、東山梨郡ニ跨リ總面積四萬八千八百六十二町步ニ對シ經費百萬餘圓ヲ投シ水源涵養林ノ造殖ヲ爲シ爾後毎年八萬餘圓ヲ投シ砂防、植栽、林道ノ修繕ヲ爲ス

◎公園 恩賜井ノ頭公園ハ北多摩郡武藏野村三鷹村ニアリ大正三年二月御料地七萬二千七百餘坪ヲ下賜セラレ市ニ於テ相當

ニ設備ヲ加ヘ大正六年五月開園シ東京市唯一ノ郊外公園タリ

◎墓地火葬場 北多摩郡多磨村及小金井村ニ面積三十萬坪ノ敷地ヲ百四十四萬餘圓ニテ求メ都市計畫事業トシテ歐州近代ノ墓地設計ヲ斟酌シテ必要ノ設備ヲ爲シ本年四月ヨリ其一部ノ使用ヲ開始セリ更ニ殘部ノ工事進行ト共ニ火葬場ヲモ附設スルノ計畫アリ

◎砂利採取場 市ノ名事業ニ使用スル爲メ多摩川ノ砂利ヲ採取スル爲メ大正十二年度ニ百餘萬圓ヲ投シ南多摩郡西多摩村ニ採取場ヲ設備セントス

(ロ) 都市計畫區域トノ關係

(ハ) 神奈川縣下トノ關係

大正十一年東京都市計畫區域ノ設定セララルヤ北多摩郡砧村及千歲村ハ共ニ同區域中ニ包含セラレタリ

三多摩移管當時ノ鐵路ハ東京市ヲ經由スルニ非サレハ直接神奈川縣ト交通スルヲ得サリシモ曩ニ東神奈川、八王子間ニ鐵道開通スルニ至リ三多摩地方ノ物資ニシテ從來東京市ニ搬出セラレタルモノモ神奈川縣下ニ直送セララルモノ漸次増加シ商取引ノ如キハ鐵道ニ依リ廣ク各地ト行ハルルニ至リタルヲ以テ舊時ニ於ケル三多摩神奈川間ノ交通關係ハ相當面目ヲ改メ且ツ日用品ノ如キ横濱地方ヨリ移入ヲ見ルニ至レリ

然レトモ重要物產タル織物其他ノ取引ニ付テハ尙ホ東京市ト密接ノ關係ヲ存セリ今產物ノ移出狀況ヲ見レハ左ノ如シ

種 別	東京市及近接郡内	神 奈 川 縣	埼 玉 縣	其 他
織 物	一八、九四、九六三 ^四	一、七七一、四五〇 ^四	四五、七三九 ^四	一八〇一 ^四
木 炭	二〇六、三六七	二一、八四〇	四三、八九二	一

木	材(小角)	一五、七三	三一、〇四	三九、二〇	一
生	絲	三、七五、〇〇〇	七、八五、〇〇〇	一	一
蠶	種	一、四三、四八三	五、九三	四、四九	四、四九
生	繭	七、七五、六二八	五、五、七五	一、〇三、五〇	三、六二〇、四八
桑	苗	一	一	一	約三〇〇、〇〇〇

備考

一、大正十一年調ニシテ各府縣ノ分別ハ實際取引ノ狀況ヲ參酌シ東京府ニ於テ分別セルモノナリ

(ニ) 三多摩ニ於ケル東京府ノ施設

東京府ノ施設ニ關シテ三多摩内ニ存スルモノ凡ソ左ノ如シ

織染學	校	八王子市
商業學	校	同
第四高等女學	校	同
農事講習	所	北多摩郡立川村
蠶業試驗	場	同
種畜場	場	同
蠶糸取締	所	同

農業試驗場	同	北多摩郡立川村
第二中學	校	同
農蠶學	校	同
農林學	校	西多摩郡青梅町
養魚場	場	同
砂利採取場	場	南多摩郡日野町

府立學校ニ在學スル生徒ニ付其ノ所屬ヲ舉クレハ概ネ左ノ如シ

學校名	東京市	郡	部	生徒數	他府縣	寄宿生	計
織染學校	一		二〇〇	三		四	二五〇
第四高等女學校	二四		二八一	二四		五	三八二
商業學校	一		一三四	八		一	一四三
第二中學校	二三		二九一	二三		一〇五	四三四
農林學校	一		八四	五		五七	一四六

備考 寄宿生ハ概ネ他縣人ナリ

(ホ) 澁谷町トノ關係

水道 豐多摩郡澁谷町ノ經營ニ係ル上水道ハ其ノ水源ヲ北多摩郡砧村地内多摩川ノ流水ニ之ヲ求メツツアリ

(へ) 遊覽地トシテノ三多摩

小金井ノ櫻 北多摩郡小金井村、小平村、國分寺村、武藏野村ノ數村ニ涉リ玉川上水ノ兩岸ニアリ花時都人士清遊ノ地タリ
吉野ノ梅林 西多摩郡吉野村ニアリ村内一帯ニ梅樹多ク多摩川ノ溪流ニ沿ヒ風光明媚ニシテ殊ニ樹下ニ福壽草多ク花時都人士清遊ノ地タリ

高尾山 南多摩郡淺川村ニアリ海拔一千二百餘尺全山杉、樅、松ヲ以テ蔽ハレ四顧ノ景色曠豁ニシテ雄大、溪間ニハ數流ノ飛瀑アリ新緑、晩秋ノ候眺望特ニ佳、都人士清遊ノ地タルト共ニ青年團、小學兒童ノ旅行ノ地トシテ重キヲ爲セリ
深大寺 北多摩郡神代村ノ丘陵地ニアリ古刹ニシテ城内鬱蒼トシテ多摩川ノ溪流ヲ遠望シ都人士清遊ノ地タルト共ニ夏期林間學校ノ適地トシ又調布町ニ近ク別莊地トシテ發展ス

多摩川 西多摩北多摩ノ兩郡ヲ貫流シ沿岸ノ風光明媚ニシテ殊ニ、二子、是政、調布、立川、福生ノ各地ハ鮎漁地トシテ都人士ノ清遊スル者多キヲ加フ

島嶼ニ關スル資料

目次

一 位置面積及人口

二 沿革

三 島嶼行政

四 島村財政

五 交通及產業經濟

一、位置面積及戸口

東京府管内ノ島嶼ハ之ヲ大別シテ伊豆七島及小笠原諸島トス

(イ) 伊 豆 七 島

伊豆七島ハ静岡縣賀茂郡ノ南方北緯三十二度ヨリ三十五度東經百三十九度ヨリ百四十度ニ散布スル火山系ノ島嶼ニシテ東京ヨリ大島迄六十八哩、八丈島へ百六十二哩トス島ノ面積百十三平方哩七五ニシテ人口二萬七千餘人アリ今其ノ内譯ヲ示セハ左ノ如シ

	世帯	數	人	口
大島		二、一二二		七、一三七
利島		七二		三〇五
式(屬島)	根島			
神津島		四〇七		二、〇三二
三宅島		一、二八一		四、九三九
御藏島		九〇		三五九
八丈島		一、九〇九		八、四九二
鳥(屬島)	鳥島	七		二六

青	ケ	島	一一五	四五〇
新	島	九二四	三八八七	
計		六、九二七	二七、六二七	

(ロ) 小笠原島

小笠原島ハ伊豆七島ノ西南方ニ位シ北緯二十七度ヨリ二十六度東經百四十二度ノ線上ニ散布スル三十有餘ノ小島嶼ナリ横濱ヨリ父島迄五百二十九哩ニシテ硫黄島迄六百九十五哩ナリ更ニ父島ト南鳥島トノ距離ハ七百三十五哩アリ島ノ面積三十九平方哩七五ニシテ人口五千四百餘人アリ今其ノ内譯ヲ示セハ左ノ如シ

村名	區	域	世帯數	人口
大村	父島ノ一部、顰島、嫁島、弟島		三六四	一、四三六
扇村	父島ノ内		一八六	九七八
沖村	母島ノ一部、姉、妹、姪、媒島		二六六	一、三〇六
北村	母島ノ内		一一一	五六〇
硫黄島			二二五	一、一四四
計			一、一五二	五、四二四

二 沿革

(イ) 伊豆七島

(府縣治) 古來伊豆七島ハ伊豆國賀茂郡(靜岡縣内)ニ屬シ(和名鈔)徳川幕府時代ニ至リ、代官江川太郎左衛門ヲシテ大島、利島、新島、神津島、三宅島、御藏島ノ諸島ヲ併管セシメ維新後明治元年六月荏山縣(靜岡縣内)ノ管轄トナリ同四年足柄縣(神奈川縣内)ニ、同九年靜岡縣ニ屬シ同十一年東京府ニ轉屬ス

(島廳) 明治三十三年大島及八丈島ノ兩島廳ヲ設置シ大正九年十月新島及三宅島ニ大島々廳出張所ヲ置キタリ
(島村治) 明治十一年郡區町村編成法ノ施行ニ依リ之ニ倣ヒ戶長、用掛等ノ吏員ヲ置キ同十三年區町村會法ノ發布ニ依リ漸ク行政ノ体系ヲ備エタルモ未タ島嶼ノ行政ニ適セサルモノトシ同十四年東京府達ニ依リ之カ適用ヲ廢止シ舊幕時代ノ制度ヲ準用シ島寄合、地役人、名主等ノ制度ヲ採用セリ

大島及八丈島ニ付テハ明治四十一年沖繩及島嶼町村制ノ發布ニ際シ之ヲ兩島ニ施行セラレ大正八年ヨリ島嶼町村制之ニ代リ執行機關タル村長、收入役、書記及議決機關タル村會ヲ設ケラレタリ
利島外四島ニ付テハ今仍舊幕時代ノ制度ニ準據シツ、アルモ其ノ島嶼發達ノ狀ニ徴シ大正十二年十月一日ヨリ之等ノ島々ニモ島嶼町村制ヲ施行セラル、コト、ナレリ(大正十二年省令第十九號)

(ロ) 小笠原島

(府治) 小笠原島ハ曩ニ英米間ニ其ノ所屬ヲ爭ヒタルニ因テ發シ却テ本邦ノ所領タルヲ明ニシ爾來徳川幕府内ニ開拓ノ議起リ外國奉行水野筑後守所管シ日本役所ヲ設ク明治九年小笠原ノ事務ヲ内務省ニ所屬セシメ内務省出張所ヲ父島ニ設ケ管理セシモ明治十三年ニ東京府ノ管轄ニ屬セシム

(島廳) 明治十三年東京府ハ其ノ出張所ヲ本島ニ設ケシモ明治十九年閣令第二十八號ニ基キ島司ヲ置カレタレハ之ヲ島廳ニ

改メ現ニ父島ニアリ

(島村治) 舊時ノ島村治ノ沿革ニ付テハ大体伊豆七島ト同様ニシテ明治十四年以來仍舊藩ノ制度ヲ踏襲セリ

三島嶼行政

(イ) 國 政

伊豆七島及小笠原島ニ於ケル國政事務ハ東京府知事及地方官官制ニ依リ設ケタル島司ノ掌理スル所ニ係リ町村長及名主、地役人之ヲ補助ス島廳管轄區域ヲ示セハ左ノ如シ

島 廳 名	位 置	設 置 年	管 轄 區 域
八 丈 島 廳	八 丈 島	明治二十三年	八丈島、小島、青ヶ島、鳥島
大 島 島 廳	大 島	明治三十三年	大島、利島、新島、神津島、三宅島、御藏島及其屬島
新 島 出 張 所	新 島	大正九年	
利 島 出 張 所	利 島	同	
小 笠 原 島 廳	父 島	明治十九年	小笠原島、南鳥島、中ノ鳥島

伊豆七島ニ對シ特別ノ取扱ヲ爲ス重ナル事項ヲ舉クレハ左ノ如シ

一、地租ハ地租條例中「當分從前ノ通タルヘシ」トノ明文ヲ設ケ舊慣ニ依ル貢租額ニヨリ名主ヨリ納付セシム(明治十七年太政官布告第七號)

一、所得稅ハ所得稅法第四十八條中「當分ノ內施行セス」ト規定ス(大正九年法律第十一號)

一、酒造稅ハ「酒造稅法第四條ニ依ル造石稅ハ當分其ノ三分ノ一トス」トノ單行法ヲ設ケ輕減ス(明治四十一年法律第二十四號)

一、醬油稅ハ「當分施行セス」トノ規定ヲ設ケ免除ス(明治二十一年六月勅令第四十七號)

一、自家用醬油稅ハ「當分施行セス」トノ規定ヲ設ケ免除ス(明治三十三年三月法律第四十三號)

一、國稅ノ徵收ハ第三十三條ニ依リ「當分施行セス」ト規定シ別ニ單行法ヲ設ケ名主、一式引受人、又ハ地役人ハ國稅徵收

ニ關シ國稅徵收法中滯納處分ノ例ニ依ルコトヲ得セシム(明治三十五年法律第二十三號)

一、義務教育ニ關シテハ小學校令中小學校ノ設置、小學校ニ關スル府縣郡ノ負擔、郡視學々務委員區長及其ノ代理者ニ關スル條規ヲ除キ其ノ他ノ條規ヲ施行スルコト、シ尙之ニ特別例ヲ認メ單行勅令ヲ設ク(明治二十五年勅令第四〇號)

(ロ) 府 治

兩島嶼ニ於ケル東京府治ハ府縣制ニ依ルモノナリト雖モ明治三十二年勅令第二百二十八號ヲ以テ「東京府下伊豆七島及小笠原島ニ於ケル府稅ノ賦課及府縣會議員ノ選舉ニ關シテハ當分從前ノ例ニ依ル」ト規定シ兩島民ニハ府稅ヲ賦課スルコトナク又島民ハ府會議員ノ選舉權ヲ有セス從テ兩島ニ對スル府ノ施設ハ極メテ微々タルモノニ止マル大正十二年度豫算中特ニ島嶼ノ爲メニスル費用左ノ如シ

傳染病、トラホーム豫防補助費

一、五〇〇圓

島嶼產業改良助成費

五、〇〇〇圓

小笠原航海補助

一九、〇〇〇圓

伊豆七島航海補助

五、〇〇〇圓

東京府ノ施設ニシテ島嶼ニ存スルモノ左ノ如シ

小笠原修齊學園

小笠原島所在

(ハ) 島 村 治

現ニ島嶼町村制施行地ハ伊豆七島中八丈島及大島ニ過キサルモ本年十月ヨリ他ノ五島ニモ之ヲ施行セラル
該制度ノ内地町村制ト異ル要點ヲ舉クレハ左ノ如シ

項	目	島 嶼 町 村 制	町 村 制
區 域 變 更		内務大臣處分ス	府縣知事カ町村會ノ意見ヲ聽キ内務大臣ノ許可ヲ受 ケテ處置ス
選 舉 權 ノ 要 件		直接國稅ヲ納ムルコトヲ要ス	之ヲ要セス
議 員 定 數		一町村四名以上十二名以下ニテ 府縣知事定ム	法ニ明定ス
選 舉 ノ 規 程		内務大臣ノ許可ヲ受ケ知事之ヲ 定ム	法ニ明定ス
町 村 會 議 決 方 法		書面ニ依リ決シ得	必ス會議ニ依ルコト
町 村 長 助 役		町村長ハ府縣知事任免ス 助役ナシ 町村長ハ議決ヲ取消シ得 旅費額ハ知事定ム	町村會選舉シ知事ノ認可ヲ受ク 町村長ハ取消シ得ス 旅費額ハ町村會決ス
町 村 組 合 程		法律勅令ニ明定ス	内務大臣ノ許可ヲ得知事定ム
町 村 組 合		規定ナシ	規定アリ
使用料、手数料ノ許可		知事ノ許可	内藏兩大臣ノ許可

小笠原島ニハ地方制度ハ全然未施行ナルヲ以テ島司ニ於テ之ヲ掌理スルトコロトナレルモ實際ニ直接執行シ得サルヲ以テ内
地町村ニ模倣シ「世話掛」ナル理事機關ト「村寄合」ナル議決機關ヲ設ク
世話掛ハ各島村ニ一名ヲ置キ島司任命シ俸給ハ國庫ヨリ支辨ス、日常役場ニアリテ村ノ公共事務又ハ島司ノ委任ニ依ル事務
ヲ處理スルモノニシテ内地ノ町村長ニ恰當ス

村寄合ハ村寄合規約準則ニ依リ之ヲ定メ島司ノ認可ヲ得テ設定シ村民中ヨリ總代ヲ選舉シ之ト世話掛トヲ以テ組織シ村費支
辨ノ事ヲ議スルモノニシテ内地ノ町村會ニ恰當ス
村吏員、世話掛トノ外ニ別ニ補助員トシテ村書記、收入役ヲ置キ協議費ヨリ支辨ス

四、島 村 財 政

伊豆七島ニ於ケル島村ハ國庫ヨリ義務教育費國庫下渡金ヲ、府費ヨリ傳染病豫防法ニ依ル補助金、育英事業並敎員住宅費補助
金ノ交付ヲ受クル外土木費勸業費等ニ關シ内地町村ニ對スル府ノ補助金ヲ受クルコトナク何レモ町村費又ハ協議費ニ俟テリ
伊豆七島ノ島村經濟ヲ舉クレハ左ノ如シ
(大正十一年度豫算)

島	町 村	歲 出 額	支 辨 財 源				府 稅 一 戶 當
			國庫補助金及下渡金	府補助金	村 稅	其 他	
大 島	元 村	一九、八八三 ^四	四、五〇〇 ^四	三、五八 ^四	一七、八九一 ^四	一、一八三 ^四	三〇、二二九 ^四
	岡 田 村	二二、〇八九	一六三	一五〇	八、七〇七	三、〇六九	三四、〇一二
	泉 津 村	二二、五〇一	二五〇	一七〇	一、四七六	一〇、六〇五	一〇、五四三
	野 増 村	二二、二九一	二八〇	四〇〇	五、八〇〇	五、八一	一六、一五六
	差 木 地 村	三一、三五〇	三五〇	一六八	五、二七八	二五、五四	一一、九九五
	波 浮 港 村	一、六〇三	三〇〇	一〇〇	六、八三〇	四、二七三	二五、三九〇
	元 村 外 五 ヶ 村 合	五、二二五	一	一	一	五、二二五	一
島	計	一〇五、八八一	一、七九三	一、四四六	四五、九八二	五五、六二〇	二二、六六九

新島	本村	若郷村	計	神着村	伊豆村	伊ヶ谷村	阿古村	坪田村	計	御藏島	神津島	利島	八丈			
													中之郷村	榎立村	三根村	大賀郷村
	三三、三三	六、〇六五	三九、三九七	九、七九二	二三、一一〇	八、一七四	一六、九〇七	九、五二〇	六七、五〇三	三五、一四七	一九、六六九	三、六八〇	一六、三四五	七、七九八	三六、四八二	二三、四七三
	一、〇〇〇	一三七	一、一三七	二六九	一九三	二六六	二九五	四〇〇	一、四二三	一一〇	五〇〇	九〇	五一〇	四〇〇	八三三	八〇〇
	四〇九	九五	五〇四	七一	三〇	五五	一	一〇〇	二五六	六	三八〇	一	二六〇	五〇	三七三	八四二
	八、七三一	二、〇二六	一〇、七四七	四、三七八	三、五六六	三、四七三	四、三八三	五、〇九七	二〇、八四六	一	一八、五八二	三、二八五	九、八五八	四、五八〇	八、五七三	一二、二五
	二三、一八二	三八二七	二六、九九九	五、〇七三	一九、三七一	四、三八〇	一二、三〇〇	三、九二三	四四、九七七	三五、〇三一	三七	三〇五	五七七	二、三〇八	二六、七〇三	八、七〇六
	一〇、四九四	二、一九三	一二、六二二	一八、八七一	一五、七六六	一八、六七二	一二、七〇二	一七、二七八	一六、七三	一	四五、六六六	四五、六六五	四〇、二六	二五、一六五	一三、六九四	一九、六六九

島	末吉村	計	合
	一三、一〇七	四〇〇	三六、八〇一
	六、二〇五	二、九四三	七、九六六
	二、六四三	五、二三四	一四〇、四三九
	五、八六一	六、一八九	二四、七八二
	三、五一	三三、一四八	二〇、八三四

小笠原島ニ於ケル島村ニ付テハ明治二十三年法律第三十七號ヲ以テ「地方人民ノ負擔スルモノヲ除クノ外従前ノ通國庫ヨリ支辨ス」ト規定セラレ各村ノ經費ハ國庫ノ支辨ニ屬スルモノ（世話掛俸給）國庫ヨリ補助スルモノアリ其他ノ費用ハ協議費トシテ負擔セリ

島村ノ經濟ヲ舉クレハ凡ソ左ノ如シ (大正十一年度豫算)

村名	經費	支辨				其他	協議費一戸當
		國庫	支辨	府費補助	協議費		
大村	一一、九二六	一、〇六六	四八〇	二、七六三	二、七四九	一六、七〇三	一六、七〇三
扇村袋澤村	八、三四六	七〇九	一一〇	五、八九八	一、六一九	三一、五〇〇	三一、五〇〇
沖村	八、七七八	一、〇三三	一九二	五、四〇八	二、〇九六	二〇、七〇〇	二〇、七〇〇
北村	五、二八八	六三五	一一三	三、六六五	八五五	四一、一七九	四一、一七九
硫黄島	七、九三五	七六九	一一四	五、九九七	一、〇六六	二六、六五三	二六、六五三
計	四二、二二五	四、一九〇	一、〇三八	二六、六〇一	八、三八六	三三、四二二	三三、四二二

五、交通及産業經濟

(イ) 伊豆七島

伊豆七島ト内地トノ交通ハ主トシテ東京灣汽船株式會社ノ定期航路ニ依リ靈岸島ヨリ伊豆下田ヲ經テ大島外諸島ニ至ルモノアリ之ニ依リ毎月利島四回半(復航ノミ寄港スルモノヲ半回トス)新島若郷村六回、式根島四回、神津島五回、新島本村、三宅島ハ七回、御藏島ハ二回寄港ス、右ノ外東京、八丈島間毎月五回航海スルモノアリ又新島、三宅島ト伊豆下田(静岡縣)、大島ト伊東(静岡縣)トハ臨時航海ノ便アリ

伊豆七島ノ産業ハ漁業ヲ主トシ農林牧畜業之ニ亞キ生産品ハ便船ニ依リ之ヲ東京ノ市場ニ搬出スルヲ常トス漁業ハ同島ノ主業ナルモ産業資金乏シキ爲メ發動機付帆船ノ設備少ク漁場ハ却テ千葉、神奈川、静岡ノ各縣ノ遠洋漁業者ニ利益ヲ占メラルルノ狀況ニシテ明治四十二年東京府、神奈川、千葉、静岡ノ各縣聯合シテ工費六萬四千圓ヲ投シ式根島ニ漁港、漁船碇留場ヲ設ケタルアリ國庫ハ大正七年度以來繼續事業トシテ伊豆七島水産經費十五萬七千餘圓ヲ投シ鯉漁業ノ奨勵ヲ爲スヲ以テ本島ノ漁業ハ近ク面目ヲ改ムルモノアルヘシ

島民ノ多クハ舊時静岡縣下ヨリ轉住シタルモノアリト雖モ現今ハ便船ノ都合上東京地方ニ生活ノ資料ヲ仰キ其ノ關係ヲ濃ニセリ今之カ狀況ヲ示セハ左ノ如シ

物資移入狀況 (大正十年)

島嶼別	移入				計
	東京方面	横濱方面	静岡方面	他島村	
大島	四六、七〇八 ^四	七、六三三 ^四	四二、〇〇四 ^四	二五、六二三 ^四	五四三、九五七 ^四
八丈島	五〇、二五九	四三、一六五	一	一八、三六六	六五〇、九〇〇

三宅島	五九、一九四	四、〇〇〇	六七、四〇〇	四八、七四九	六四九、三四三
新島	三六、四八八	一	二三、一三八	二、六五〇	四三、二七六
神津島	二五、七七七	一	一	八、五五六	二四、二五三
御藏島	二五、一四三	一	一	二、〇二八	二七、一七一
利島	二一、一四〇	一	一	一、八九〇	二四、〇一〇
計	二、一八、六四九	五、七七七	一三、一五三	一〇七、八三三	二、四三、八一〇
千分比	八七九	三	五四	四五	一、〇〇〇

産物移出狀況 (大正十年)

島嶼別	移出				計
	東京方面	横濱方面	静岡方面	他島村	
大島	五〇、四八八 ^四	一五、五九二 ^四	六八、六五〇	七三、一七九 ^四	八三七、八八九 ^四
八丈島	六七、三三三	五九、〇三三	一	五、一二九	七七七、四七五
三宅島	七四、七七二	一	八〇、六五〇	五、二八〇 ^四	八三九、六六六
新島	四三、八八六	二四、一五三	七、六五二	一〇、二九〇	四五六、〇七九
神津島	二二、一九二	一	一	一	二二、一九三
御藏島	五、一〇〇	一	一	三、四三三	五四、六三三

利	島	三、〇三五				三、〇三五
計		二、五三、八五	二七、八六七	一、五、九五二	一、四三、〇九 (八、九二五)	三、一七一、九〇七
千 分 比		八二五	八四	五〇	(四) 四七	一、〇〇〇

備考 他島村欄中ノ括弧内ノ數ハ他府縣へ移出スルモノナリ

(ロ) 小 笠 原 島

小笠原島ト内地ノ定期航路ハ國庫又ハ東京府ノ補助ニ依リ日本郵船會社カ横濱ヲ起點トシ八丈島ヲ經テ父島母島ニ至リ更ニ硫黃島ニ至ルモノニテ年十八回航海スルアリ同島ハ近來南洋航路汽船ノ寄港地トナリタルノ外各島嶼間ニハ月一二回ノ帆船ノ往復スルモノアリ

小笠原島ノ産業ハ専ラ糖業ト水産業ニシテ年額九十萬圓ニ達シ就中水産ハ年額四十八萬圓ニ上リ產物ハ主トシテ横濱ヲ經テ東京ノ市場ニ搬出セラレ生活ノ資料ハ多クハ横濱地方ヨリ供給セリ

物資移入出狀況 (大正十年)

種 別	横 濱 方 面	東 京 方 面	島 村	計
物 資 移 入	一、〇四、四九四 _四	一 _四	六九、一三〇 _四	一、一五、六四 _四
產 物 移 出	一、〇三、四、五三	一	九、九二〇	一、〇四、四四五

東京府及之ニ接續セル各縣ノ狀勢

目次

一	府縣勢一班		
二	府縣勢順位		
三	人口増加ノ趨勢		
四	府縣歲出額増加ノ趨勢		
五	歲出額及稅負擔		
六	歲出額內譯		
七	歲出額千分比		
八	府縣稅額內譯		
九	府縣稅額千分比		
二	府縣稅課率		
二	府縣債調		
(イ)	府縣債額	(ロ)	府縣債目的別
三	府縣財產調		
(イ)	府縣財產額	(ロ)	府縣財產目途別
		(ハ)	府縣財產種類別

一 府縣勢一班

種別	東京府	神奈川縣	埼玉縣	千葉縣	山梨縣	全國道府縣
面積	八三、二九七 ^{平方哩}	九、五四七	一、四八、九七二	一、九六六、二五七	一、七〇〇、二六五	三、一六七、五四三
人口	三、六九九、四八八	一、三三三、三七二	一、三三九、五六六	一、三三六、一〇八	五九三、四五五	一、一九〇、六六二
戶數	七七一、六六六 ^{戸數}	二六二、一二六	二三七、九四三	二五九、三二二	一一四、六七七	二三八、七八八
密度 (一方哩當人口)	四、四九三	一、四三〇	八九八	六八一	三三九	三七六
郡數	八	一一	九	三二	九	二二
市數	二	二	一	一	一	二
町村數	一八八	一九六	三九九	三四八	二四二	二五八
府縣歲出額	三〇、七八六、九六八 ^円	八、六九九、〇六九	八、〇六九、一一八	六、四六二、四八〇	三、五〇〇、六二〇	七、〇六九、七二三
同上 一戸當	三九、八九八 ^円	三三、三四	三三、九一二	二四、九四〇	三〇、六二三	二九、六〇六
市町村歲出額	一五、五四四、〇八〇 ^円	三三、九四二	八、八八、三六七	九、二六三、四六四	四、四四五、三二六	一六、二八八、七七三
同上 一戸當	一九六、三九六 ^円	八八、〇三三	三七、〇三三	三五、七四六	三八、九三六	六八、二四
國稅額	七、五四四、二九 ^円	一三、四三三、七八五	四、六五〇、六五六	四、二四七、二六	二、〇三三、二五四	七、一五五、五〇二
同上 一戸當	一〇〇、四九四 ^円	四七、六二八	一七、六二九	一六、三九一	一七、七三〇	二九、九六五
府縣稅額	一六、九〇〇、六二二 ^円	五、五二七、六七四	六、二五、二八五	五、三八九、二四七	二、三三〇、四七〇	四、七九六、二二〇
同上 一戸當	三三、二二三 ^円	二二、一三二	二六、二六一	二〇、七九八	一一〇、三三三	二〇、〇八五

市町村稅額	三、九四、七三 ^四	九、七七、八六	六、六〇、〇五 ^三	六、八四、九〇	三、〇四、七五	八、〇四、六七 ^八
同上一戶當	四、四〇〇 ^四	三七、四二	二七、七七	二六、四三	二六、五五	三三、六七 ^七
租稅合計額	二六、四八〇、五四 ^四	二七、七九、二七五	一七、五五、九五五	一六、四八、〇五三	七、四四、四六一	一九、九三、三四五
同上一戶當	二六、一〇六 ^四	一〇六、一九一	七三、五〇	六三、六三	六四、五七	八三、七七

備考 一、人口戶數ハ國勢調査ノ結果ニ依ル

二、府縣歲出額及府縣稅額ハ大正十二年度豫算、國稅ハ大正十年度調定額

市町村歲出額及市町村稅ハ大正十一年度豫算ニ依ル

三、東京府府稅額一戶當ハ島嶼ノ戶數ヲ除キタルモノニ依ル

二 府縣勢順位

種別	第一位	第二位	第三位	第四位	第五位	第六位
面積	府縣平均	千葉	山梨	埼玉	神奈川	東京
人口	東京	千葉	神奈川	埼玉	府縣平均	山梨
戶數	東京	神奈川	千葉	府縣平均	埼玉	山梨
密度	東京	神奈川	埼玉	千葉	府縣平均	山梨
府縣歲出額	東京	神奈川	埼玉	府縣平均	千葉	山梨

市町村歲出額	東京	神奈川	府縣平均	千葉	山梨	埼玉
國稅額	東京	神奈川	府縣平均	千葉	山梨	埼玉
府縣稅額	東京	神奈川	府縣平均	千葉	山梨	埼玉
市町村稅額	東京	神奈川	府縣平均	千葉	山梨	埼玉
租稅合計	東京	神奈川	府縣平均	千葉	山梨	埼玉
國稅一戶當	東京	神奈川	府縣平均	千葉	山梨	埼玉
府縣稅一戶當	埼玉	東京	神奈川	府縣平均	千葉	山梨
市町村稅一戶當	東京	神奈川	府縣平均	千葉	山梨	埼玉
租稅一戶當	東京	神奈川	府縣平均	千葉	山梨	埼玉

三、人口増加ノ趨勢

府縣	國勢調査	大正七年末	大正二年末	明治四十一年末	明治三十六年末	人口增加率
東京府	三、六九、四八	三、六九、七四	三、一七、〇四	三、〇六、五九	二、五九、三五	千八二 ^四
神奈川縣	一、三三、三七	一、三〇、八〇	一、二二、六七	一、一六、五〇	一、〇四、三五	二七〇
埼玉縣	一、三九、五六	一、三〇、二四	一、三二、九〇	一、二八、三三	一、二六、九四	六一
千葉縣	一、三六、〇八	一、三四、四八	一、三〇、二七	一、二四、五八	一、〇八、五九	三二
山梨縣	五三、四五	六三、六七	六〇、三一	五七、四四	五四、〇七	八〇

全 國	一府縣平均	全 國	一府縣平均	全 國	一府縣平均	全 國	一府縣平均
五、九六一、四〇〇	一、一九〇、六六三	五七、七五五、三九七	一、二九、四七六	五〇、八四九、〇八一	一、一六七、〇〇一	五二、四四三、九四七	一、〇九四、九七七
四、三九、五七一	一、〇三八、二八八						

備考 最近年末現住人口ノ調査ナキヲ以テ假ニ國勢調査ニ依ル人口ト明治三十六年末現住人口トヲ比較シタルモノナリ

四、府縣歲出額増加ノ趨勢

府 縣	大正十二年度	大正十一年度	大正十年度	大正九年度	大正八年度	増加割合
東 京 府	三〇、七六六、九六八 ^四	三六、七六七、六五 ^四	二八、九四四、一五二 ^四	二三、二六六、五九 ^四	一六、〇七四、九九〇 ^四	九四二
神 奈 川 縣	八、六九九、〇六九	九、九六七、三〇四	八、二二一、五七三	七、一八六、九八二	四、五四六、九七	九三二
埼 玉 縣	八、〇六九、一一八	八、一七、四〇一	八、〇三三、三七	六、八七三、六七三	四、七三四、三四二	七二一
千 葉 縣	六、四六三、四八〇	五、九二七、八九〇	五、五三六、六〇四	四、六七五、八五八	三、一九四、九〇五	一、〇三三
山 梨 縣	三、五二〇、六〇〇	三、四四三、二六七	三、五五〇、八二六	三、二八一、八五九	二、〇三〇、七六四	七七七
全 國 道 府 縣	三三三、二七六、五四八	三三五、四四四、四九	三三三、八四七、六八〇	二八五、二五〇、七二五	一九五、七〇四、九〇〇	六九七
一府縣平均	七、〇六九、七二四	七、一三六、四七七	六、八九〇、三七六	六、〇六九、一六四	四、一六三、九四	—

備考 大正十年度迄ハ決算、其ノ他ハ豫算ニ依ル

五、歲出額及稅負擔 其 一 (大正十二年度豫算)

區 別	歲 出 額	支 辨 財 源			稅 負	一 人 當 擔
		租 稅	外 收 入	歲出額ニ對スル稅負擔ノ割合		
東 京 府	一九三二、四八四 ^四	九、五一、五七 ^四	九、六九、八九七 ^四	四八七	二〇、八二〇	四、三七七
市 部	一一、四七五、四八四	七、四七九、〇二五	三、九六、四九九	六四九	二四、三三三	五、〇〇九
郡 部	三〇、七八六、九六八	一六、九九〇、六二二	一三、七九六、三五六	五一	二二、二五二	四、六三四
計	三、二四三、三六三	二、一〇九、九六四	一、一三三、四九	六五一	二一、五五四	四、九八九
神 奈 川 縣	五、四五六、六八六	三、四〇七、七二〇	二、〇四八、九六六	六二四	二〇、五四四	三、七八四
市 部	八、六九九、〇六九	五、五一七、六七四	三、一八一、三九五	六三四	二一、一三一	四、一六九
郡 部	八、〇六九、一一八	六、三三五、二八五	一、八四三、八三三	八三三	二六、一六四	四、七二七
計	六、四六三、四八〇	五、三六九、二四七	一、〇七三、一三三	八三三	二〇、七九八	四、〇三四
千 葉 縣	三、五二〇、六〇〇	二、三三〇、四七〇	一、一八〇、一五〇	六六四	二〇、三三三	三、九九四
山 梨 縣	三、五二〇、六〇〇	二、三三〇、四七〇	一、一八〇、一五〇	六六四	二〇、三三三	三、九九四
全 國 道 府 縣	三三三、二七六、五四八	三三五、四四四、四九	一〇六、八五、八〇〇	六八〇	二〇、〇八六	四、〇二八
平 均	七、〇六九、七二三	四、七九六、一六〇	二、二七三、五五三			

備考 一、一戶當一人當ハ國勢調査ノ世帶數及人口ニ依ル以下同シ

二、東京府稅一戶當及一人當ハ島嶼ノ人口世帶數ヲ除キタルモノニ依ル

六 府縣歲出額內譯 (大正十二年度豫算)

種別	東京府	神奈川縣	埼玉縣	千葉縣	山梨縣	全國道府縣
警察費	一四、〇八四、七四二	二、四〇六、〇三五	九二、一六七	八五、三三四	四九五、三六六	六四、〇〇九、六二〇
土木費	三、五二二、二二五	二、七二二、七七一	三、一七〇、七四四	二、一九二、〇〇七	一、一四四、六三五	八五、九五〇、〇六五
衛生費	八四四、二九	二二、七六八	八二、五八	五、八四六	八三、一四三	六、九八二、三六
教育費	三、三三二、九三六	一、四二二、三六	一、三〇七、〇二一	一、四三三、六三	六四二、七六二	七五、二八八、五七九
勸業費	五四七、二五九	九三三、七五四	一、〇五三、八〇六	九六三、五四八	四二一、一七二	三六、〇二七、九五六
社會事業費	七四、四五九	九三、四七九	二〇、八七五	六、三三四	三、四八九	二、〇四四、一〇三
都市計畫費	二、三七六、二〇〇	六八、六七〇	—	—	—	二、七二一、六二九
府縣債費	三、七〇六、三七四	三四一、八六五	八六、八五四	一八八、四三〇	三五八、七四八	二、九三三、八六七
廳費及郡役所費	八三七、一三	二二、七六三	三二、四三七	三六、三三三	二三五、九五	一七、九六三、一〇一
其他	四七、九三三	三三、七二七	三三、六六六	四五、〇八七	一三六、三〇	一八、三六六、三二三
計	三〇、七六六、九六八	八、六九九、〇六九	八、〇六九、一八	六、四六二、四八〇	三、五〇、六二〇	三三三、二六六、五四八

七 府縣歲出千分比 (大正十二年度豫算)

種別	東京府	神奈川縣	埼玉縣	千葉縣	山梨縣	全國道府縣
警察費	四九	二七七	一四	一三三	一四	一九三
土木費	二五	三三三	三九三	三三九	三三六	二五九
衛生費	二六	二五	一〇	八	二三	二一
教育費	一八	一七〇	一六三	二三三	一八三	三七
勸業費	一八	一〇七	一三	一四八	一七	一〇八
社會事業費	二四	二二	三	一	一	六
都市計畫費	七	—	—	—	—	七
府縣債費	三〇	三元	一〇八	二九	一〇二	六九
廳費及郡役所費	二七	二四	三七	四九	六七	五四
其他	一五	二六	四一	七一	三元	五四
計	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇

八 府縣稅內譯 (大正十二年度)

稅種	東京府	神奈川縣	埼玉縣	千葉縣	山梨縣	全國道府縣
地租附加稅	二、一〇一、一三七	九〇八、〇七四	二、七九、九六六	二、三三四、一四八	九〇〇、七六六	七四、五三、六五二

國稅營業 稅附加稅	五、〇七五、一七	三七、四六八	四三、四七五	二三九、六四	一九九、六五二	二、二二六、六六
所得稅附加稅	九二、一〇四	一四五、七七	一二七、〇五三	七〇、八六	六三、五四三	六、〇四九、二九
賣藥營業 稅附加稅	一、一〇三	七五	八二	八〇	二五	一〇、七五三
取引所營業 稅附加稅	八七、一八〇	一	一	一	三五	一九六、五三
礦業稅附加稅	一	二六二	二五六	二八二	八六〇	四三七、九三
砂鑛區稅 附加稅	一	一	一	五	二五	九〇
戶數割及 家屋稅	四、六九六、九三	七〇〇、三八二	一、四二六、一六	一、五三八、四二	六〇六、〇二	五七、九〇八、五九
營業稅	一、〇七四、九三五	一八〇、九四三	二六六、一七二	三〇一、八五	一二六、二六五	九、七八三、五一
雜種稅	二、九八一、八五	一、一三四、九二	一、三三三、〇七三	一、〇〇三、九七一	四三三、九四八	四、九六八、八〇一
市町村分賦額	一六、九〇、六三	二、一〇九、九六四	五〇、〇三	一	一	八、三三一、六五 〇、四、五四八
計		五、五二七、六四	六、三三五、二八五	五、三三九、二四七	二、三三〇、四七二	三五、四一九、七四七

備考 一、〇印ハ夫役ナリ

九府縣稅千分比

稅種	東京府	神奈川縣	埼玉縣	千葉縣	山梨縣	全國道府縣
地租附加稅	二四	一六五	四三六	四四四	三八六	三三〇

國稅營業 稅附加稅	二九	六二	六八	四四	八六	九四
所得稅附加稅	五	二六	一九	一三	二七	二六
賣藥營業 稅附加稅	一	一	一	一	一	一
取引所營業 稅附加稅	五	一	一	一	一	一
礦業稅附加稅	一	一	一	一	一	二
砂鑛區稅 附加稅	一	一	一	一	一	一
戶數割及 家屋稅	二七六	二二七	三七	二八五	二六〇	二五七
營業稅	六四	三三	四三	五六	五三	四五
雜種稅	一七三	二〇五	一九六	一八六	一八六	二〇八
市町村分賦額	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
計		一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇

(大正十一年度)

[illegible]

備考 一、營業稅雜種稅ハ稅率多種ニ付省略ス

二、神奈川県市部ハ全額分賦スルニ依リ縣稅ノ課率ナシ

三、(一)内ハ東京市又ハ横濱市ノ市税課率ヲ參考ノ爲メ掲記ス

府縣債調
(大正十年度末現在)

(イ) 府
縣
債
額

府	縣	府縣債額	一戶當	一人當	歲出額千圓ニ付	財産千圓ニ付
東京府		九、〇一九、〇〇〇	一一、六八八 ^四	二、四三八 ^四	二九三 ^四	九〇六 ^四
神奈川縣		一、三八九、〇一七	五、三一九	一、〇四九	一六〇	三四三
埼玉縣		五、九二五、八三五	二四、九〇四	四、四九一	七三四	二、一三三
千葉縣		一、二四七、七〇〇	四、八一五	九三四	一九三	三八一
山梨縣		三、七六九、五〇〇	三三、八七一	六、四六二	一、〇七四	二、〇八三
全國府縣		一三三、八二四、五六七	一一、八三四	二、八三八	三九九	八七二
一府縣平均		二、八二六、〇五四	—	—	—	—

(口) 府縣債目的別

府縣	教育費	衛生費	勸業費	災害土木費	普通土木費	電氣及瓦斯事業費	社會事業費	其他	合計
東京府	30,000 ^四	—	—	六六,000 ^四	三,四七〇,〇〇〇 ^四	—	四,八四三,〇〇〇 ^四	—	九,〇一九,〇〇〇 ^四
神奈川縣	—	—	—	六六,〇一六	七三,〇〇〇	—	—	—	一,三八九,〇一七
埼玉縣	—	—	—	三,四八,〇〇〇	二,三〇四,八五	—	一四〇,〇〇〇	—	五,七五八,三五
千葉縣	—	—	—	八五,七〇〇	三九五,〇〇〇	—	—	—	一,二四七,七〇〇
山梨縣	—	—	—	三四九,五〇〇	三四〇,〇〇〇	—	—	—	三,七六九,五〇〇
全國府縣	四,三二,八〇四	一,五七,〇八五	六,七五,六五七	二六九二,一六七	四,〇三七,七五	四六二,〇〇〇	七,二六五,〇〇〇	五,五四一,三六	二二,三八四,五七
一府縣平均	九,八二五	三,七五三	一,三四,四四三	一三,三,七四一	九八一,六五〇	九九,一七〇	一五四,五四	一二七,八九	二,八二六,〇五四

(ハ) 府縣債目的別千分比

府縣	教育費	衛生費	勸業費	災害土木費	普通土木費	電氣及瓦斯事業費	社會事業費	其他	合計
東京府	三	—	—	七五	三六五	—	五七	—	一,〇〇〇
神奈川縣	—	—	—	四九〇	五〇	—	—	—	一,〇〇〇
埼玉縣	—	—	—	五八	三九	—	二三	—	一,〇〇〇
千葉縣	—	—	—	六八三	三六七	—	—	—	一,〇〇〇
山梨縣	—	—	—	九〇九	九一	—	—	—	一,〇〇〇

全國府縣	三三	二三	四	四七三	三四七	三五	五五	四二	一,〇〇〇
------	----	----	---	-----	-----	----	----	----	-------

二、府縣財產調

(大正十一年十月一日現在)

(イ) 府縣財產額

	財產額	一戶當	一人當	歲出千圓ニ付
東京府	九,〇六九,〇八六 ^四	一一,七五三 ^四	二,四五一 ^四	二九四 ^四
神奈川縣	四,〇四八,九二三	一五,五六六	三,〇五九	四六五
埼玉縣	二,七七,六五三	一一,六七三	二,一〇五	三四四
千葉縣	三,二八,二七三	一二,六六六	二,四五六	五〇八
山梨縣	一,八〇九,三七	一五,七七七	三,一〇一	五二五
全國府縣	一五,二九六,八九六	一三,五六九	二,七七七	四五六
一府縣平均	三,二四〇,三五五	—	—	—

(ロ) 府縣財產用途別

府縣	一般經濟	教育基金	救護基金	勸業資金	衛生資金	土木資金	其他	合計
東京府	二五〇,三四〇 ^四	一,一二三,〇七六 ^四	二,六一五,六九七 ^四	七九 ^四	二七,〇八一 ^四	—	四,八二三,二四 ^四	九,〇六九,〇八六 ^四

神奈川縣	三六三、六五	一、一五〇、三五二	一、四四四、七八一	八五、四四一	四四四	一四三、六〇五	八二〇、六四四	四、〇四八、九二二
埼玉縣	一七三、八〇〇	五四〇、九〇六	二、〇三二、二三九	三二、七二七	—	—	—	二、七七七、六五三
千葉縣	五、二七三	五四六、八八六	二、一三七、七四九	四六、一七七	—	一〇六、二七七	六九、九〇八	三、二八二、二七三
山梨縣	二六七、〇九五	三〇五、四九三	一、一四〇、六〇二	二〇、一四九	五九、五一九	一、八六九	一四六、〇〇四	一、八〇九、三七二
全國府縣	二六、〇八五、六三八	三三、三九七、三二一	七九、七五七、五九三	七、二六四、四七〇	八四八、一九二	一、五四六、一四九	一四、三九七、五三三	一五三、二九六、六九六
府縣平均	三四二、二四八	六八九、三〇〇	一、六九六、九七〇	一五四、五六三	一八、〇四七	三三、八九七	三〇六、三三〇	三、二四〇、三五五

(ハ) 府縣財產種類別

	有價證券	現金	土地價格	建物價格	其他財產價格	計
東京府	一、三三〇、三七五 ^四	七、七八七、七一 ^四	— ^四	— ^四	— ^四	九、〇六九、〇八六 ^四
神奈川縣	一、六三九、四八〇	二、一六〇、六〇七	七〇、二〇四	—	一八八、六二二	四、〇四八、九二二
埼玉縣	一、〇八、七五〇	一、七四八、九〇三	—	—	—	七、〇五九、三八〇
千葉縣	二、三六三、四〇〇	八三三、六九一	五四	四、七〇九	六九、九〇八	三、三八二、二七三
山梨縣	一、〇四〇、九〇〇	七六一、八三三	六、五九五	—	—	一、八〇七、三二七
全國府縣	七四、〇五一、五四四	三三、七八、一五 ^六	七、四九五、九三	一三九、九〇〇	六、九〇一、一八一	一五二、二九六、六九六
府縣平均	一、五七五、五五	一、三三五、四九二	一五九、四八七	二、九七七	一四六、八三三	三、二四〇、三五五

東京都市計畫區域設定理由書

東京都市計畫區域設定理由書

今や東京ニ於ケル都市計畫漸ク其ノ緒ニ着キ都市計畫法ニ依ル計畫區域設定ノ必要切ナルモノアリ茲ニ案ヲ具シ其ノ立案ノ理由ヲ述フ

都市計畫區域設定ノ基本ハ將來ニ於ケル都市發展ノ程度ノ豫定ニアリ而シテ普通都市ニ於ケル發展ノ概括的測定ハ略人口ニ依ルヲ得ヘク從テ計畫區域設定ノ基本ハ將來ニ於ケル人口ノ増加ノ豫定ニ目途ヲ置クヲ妥當トスヘシ
更ニ計畫區域設定ニ當リ之ヲ支配スヘキ具體的要件ハ交通ノ設備人口ノ密度土地ノ形態行政ノ區域等其ノ主要ナルモノニシテ就中交通ノ設備ヲ以テ重要ナル基件トス

一般都市ニ於テ其商業的中心地ハ都市生活者活動ノ最も多ク集中スル所ニシテ從テ交通系統ノ中樞ヲ爲ス故ニ今後交通機關ノ相當ナル普及ヲ得ハ一般公衆カ約一時間以内ニ商業的中心地ニ集散シ得ヘキ範圍ハ略都市生活ノ有機的機能ヲ發揮シ得ヘキ限界ト思考スルヲ得ヘク之ヲ現代交通機關進步ノ程度ト東京附近發展ノ實況トニ考ヘ又四方濶達ナル東京附近ノ地形ヲ鑑ミ前記中心地ヨリ半徑四里(約十哩)ノ圓圈內ニ包含セラル、區域ヲ以テ其ノ範圍ト見做ス事ハ歐米諸都市ニ於ケル大都市區域ノ例ニ徴スルモ亦大過ナキカ如シ

今近キ將來ニ於ケル東京ノ商業上並ニ交通上ノ中心地點ハ東京驛附近ナリト推定セラル、ヲ以テ同驛前ニ中心點ヲ採リ前記圓圈ヲ畫ケハ附圖(東京都市計畫區域圖)ニ示スカ如シ然レテ計畫事業施行ノ便宜並ニ天然ノ區劃タル河川ノ位置等ヲ考慮シ其ノ外劃線ヲ行政區劃線ニ準據シテ設定スレハ圖面ニ示スカ如ク東ハ東京府ト千葉縣トノ境界タル江戸川ヲ境トシ北ハ埼玉縣トノ境界線ニ沿ヒ西ハ北豐島、豐多摩兩郡ノ西部ヲ過リ南ハ神奈川縣トノ境界タル多摩川ヲ縫フテ東京灣ニ入ルモノニシテ市全部、荏原、豐多摩、南足立、南葛飾ノ四郡全部及北豐島郡內十九ヶ町村北多摩郡內二ヶ村ヲ包含シ其面積約一六五、

五〇〇、〇〇〇坪トナリ現在東京市ノ面積約二四、七〇〇、〇〇〇坪ニ比シ約六七倍トナル

次ニ此ノ區域カ將來包容シ得ヘキ人口及ヒ其ノ密度ニツキテノ許容量ヲ考察セムトス明治四十三年ヨリ大正九年ニ至ル十ケ年間ニ於ケル東京市人口増加ノ狀勢ハ附表第壹ニ示スカ如クニシテ大正九年ニ於ケル密度ハ百萬坪ニツキ約八七、八〇〇(二人當リ一、三坪)之ヲ歐米大都市ノ例ニ徴スルニ東京市ヨリ密度大ナルモノハ伯林市ノ九七、〇〇〇巴里市ノ一一五、七〇〇等アルノミ(附表第二參照)東京市内ノ人口ハ現在尙増加ノ傾向ナキニ非スト雖モ將來近郊町村カ著大ナル増加率ヲ示スニ反シ市内ノ増加率ハ漸次低減シテ殆ント底止ノ狀態ニ到達セントスル傾向ヲ有スルニ依リ市内ニ於ケル今後ノ密度ハ假リニ先ツ之ヲ殆ント巴里、伯林ノ程度ニ止ムルモノトシテ百萬坪ニ付一〇〇、〇〇〇ト豫定シ之レニ依リテ全面積約二四、七〇〇、〇〇〇坪内ニ包容セラルヘキ人口ヲ算定スルキハ二、四七〇、〇〇〇トナル

次ニ東京市ヲ包圍スル近郊町村ニシテ人口稍々稠密ナル三十四ヶ町村

荏原郡

品川町、大森町、大井町、入新井町、大崎町、目黒村

豊多摩郡

淀橋町、中野町、大久保町、戸塚町、落合村、代々幡町、千駄ヶ谷町、澁谷町

北豊島郡

板橋町、南千住町、岩淵町、巢鴨町、高田町、日暮里町、三河島町、尾久村、瀧野川町、西巢鴨町、王子町、長崎村

南葛飾郡

小松川町、寺島村、吾嬬町、隅田村、龜戸町、大島町、砂町

南足立郡

千住町

ニツキテ考フルニ南方東海道線及北方東北本線ニ近接スル部分ノ外ハ概ネ前記中心ニ依ル半徑二里ノ圈圓ニ外接シ主トシテ鐵道省電車線、市營電車線及ヒ王子電車線等ノ領域ニ屬シ其ノ人口増加ノ狀況ハ附表第一ニ示スカ如クニシテ大正九年ニ於ケル人口ノ密度ハ百萬坪ニ付約二四、〇〇〇ナリ内南千住町ノ六六、〇〇〇ヲ以テ最大トス此ノ區域ハ市内ニ次キテ人口ノ

密度大ナルヘキ地域ナルヲ以テ假リニ之ヲ百萬坪ニ付五〇、〇〇〇ト假定セハ(即チ現在ノ赤坂區ノ程度)其ノ面積三八、九八〇、〇〇〇坪内ニ包含全人口約一、九五〇、〇〇〇トナル

市内及近郊町村ヲ除キタル殘餘ノ部分四十九ヶ町村ハ人口密度比較的稀薄ナル部分ニシテ大正九年ニ於ケル人口密度ハ二、三六〇ナリ然レモ市及近郊人口飽和ノ後ニ於テハ漸次其ノ密度増大スヘク之レヲ百萬坪ニ付二五、〇〇〇(現在麴町區又ハ吾嬬町ノ程度)ニ達スルモノト豫定セハ此區域ノ面積一〇一、八三〇、〇〇〇坪ニ對シ全人口約二、五五〇、〇〇〇トナル

由テ前記ノ假定ヲ以テスレハ設定都市計畫區域全部ノ許容人口ハ約六、九六七、〇〇〇トナリ、平均密度百萬坪ニ付四二、一〇〇トナル今將來ニ於ケル所謂大東京發達ノ趨勢ヲ考察スルニ當リ信憑スヘキ諸統計材料不備ナリト雖モ概ネ過去ニ於ケル人口増加ノ狀況ヲ見、又歐米大都市ノ實例ニ鑑ミテ近キ將來ニ於ケル人口ノ激増スヘキコトハ推定シ得ヘシ然レモ其ノ増加ノ程度ノ豫測ニ至リテハ頗ル困難ナルモノアリ抑々都市人口ノ増加ハ單ニ出生率死亡率等ニ依ル自然的増加ノミニ依ルモノニ非ス寧ロ商工業ノ發達交通施設ノ完備其ノ他百般ノ社會狀態ノ變遷ニ基ク人爲的增加ニ依ルモノ大ナルヲ以テ單ニ過去ニ於ケル人口増加ノ狀況ニ基キテ推斷シ難キモノアリ

別表第一ニ示ス所ノモノハ參考トシテ過去十年間ニ於ケル人口増加ノ狀態ニ依リ推察シテ將來増加ノ趨勢ヲ畫キ出セル一例ニ過キス假リニ該表ニ依ルモノトスレハ之ヲ今後三十年ノ將來ニ於テ市内及近郊ハ全ク飽和シ外郊モ亦殆ント飽和ノ狀態ニ達セントス而シテ區域全部ノ人口ハ約六、三五〇、〇〇〇トナリ略飽和ノ狀ニ近シ

要スルニ茲ニ設定スル東京都市計畫區域ハ現代交通機關ノ狀態ニ鑑ミ略都市生活ノ有機的機能ヲ發揮シ得ヘキ範圍ニ於テ地勢及行政ノ區畫ヲ參酌シテ定メタル區域ニシテ其ノ人口ノ密度ヲ前記ノ標準ニ置キテ大約七、〇〇〇、〇〇〇ノ人口ヲ包ン得ヘキ規模ヲ有ス又之ヲ別表第一ニ示スカ如キ推定ニ從ヘハ約三十年後ニ於テ略々此ノ域ニ近ツクヲ知ル

永キ將來ニ於ケル都市發達ノ程度ハ復雜ナル社會狀態ノ變遷ニ依リテ支配セラル、モノニシテ逆賭スヘカラサルモノナキニ非スト雖モ都市計畫ニシテ相當彈力性ヲ有スレハ計畫事業ヲ適當調節シテ過チ少カラシムルコトヲ得ヘシ即チ概ネ其ノ目途ヲ前述ノ規模ニ置キテ組織的都市計畫ヲ樹立セントスルモノナリ

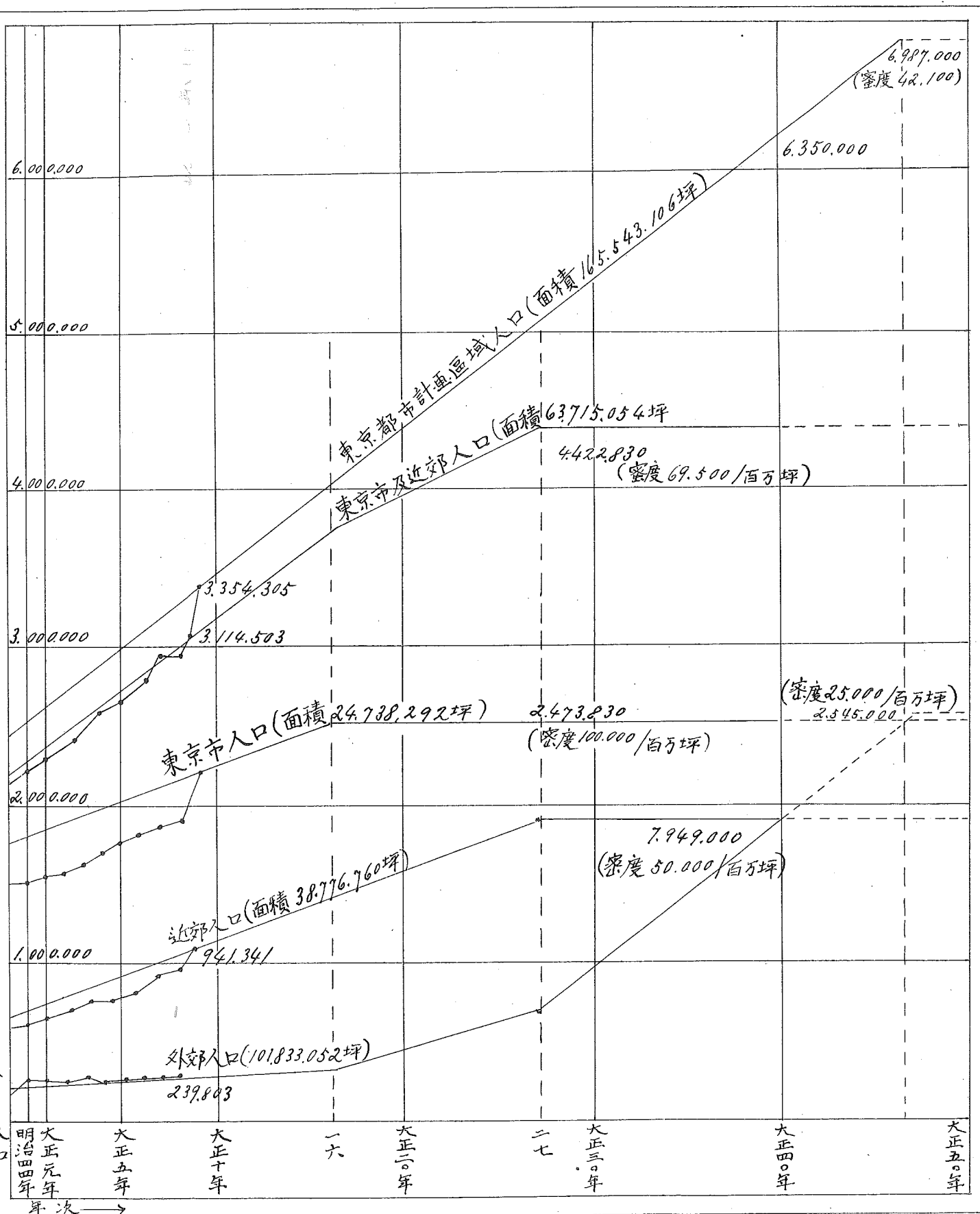
東京地方委員會修正

北豐島郡ニ於テ僅ニ一村ヲ殘スハ行政上適當ナラスト爲シ大泉村ノ區域ヲ加ヘ又東京灣築港ノ計畫アル今日海面ノ區域ヲ明ニ爲シ置クヲ適當ト爲シ多摩川、江戸川兩河口ヲ繼ク圈内ノ海面ヲ加ヘタリ

東京都市計畫區域內人口增加豫想圖表

第一表

明治三十二年ヨリ大正八年ニ至ル人口市内ハ警視廳統計
其他ハ東京市統計ニ依ル、大正九年數字ハ國勢調査結果ナリ



附表第一 説明

本表作製ニ當リテ用ヒタル統計的材料ハ市内ハ警視廳統計書、市外ハ東京府統計書ニ依レリ而シテ大正九年度ニ於ケル數字ハ國勢調査ノ結果ナリ

全區域ヲ市内、近郊及外郊ノ三部分ニ分テ過去十ケ年ニ亘ル各境域内毎年ノ人口増加數ヲ平均シ之ヲ以テ大體ノ傾向ト見做シ此ノ傾向ヲ大正九年國勢調査ニ依ル人口ヲ表示スル點ニ移シ其圖線ヲ以テ將來人口ノ豫測トス

而シテ東京市内ハ前述ノ如ク百萬坪ニ付一〇〇、〇〇〇人ノ密度ニ至リテ飽和スルモノト考フレハ市ノ人口線ハ大正十六年頃ニ至リテ横軸ニ平行ナルモノトナル而シテ市内ノ人口飽和スルト共ニ市外ノ増加率ハ勢ヒ増大スヘク其ノ程度ニ至リテハ全ク逆賭スヘカラサルモ假リニ區域内ノ全人口カ依然同一ノ傾向ヲ以テ増加シ行クモノトシ近郊及外郊ノ人口線ハ之ニ相應シテ各其方向ヲ變スルモノト假定ス

而シテ大正二十七年頃ニ至リテ近郊ノ人口飽和ノ後ハ再ヒ外郊ノ増加率著シク増大スヘク此處ニ再ヒ前同様ノ假定ヲ用ヒテ外郊人口線ノ方向ヲ變スルコト圖ノ如シ

斯クテ最後ニ大正四十六年頃ニ至リ外郊モ亦飽和ノ密度ニ達スル時從ツテ全區域内ノ人口ハ假想セル許容量ニ到達スルトモ亦圖示ノ如シ

第 二 表

都 市 名	年 次	人 口	面 積 (坪)	密 度 百萬坪ニ付	引 用 書 目
大 倫 敦 Greater London	1.911	7.351.358	542,820.000 (76.93km)	13,000	人口 London country council 面積 London Statisties Voe sav 1914-1918
倫 敦 府 Administratie country of London	1.911	4.521.685	91,580.000 (116.909km)	49,000	”
倫 敦 市 The country of the city of London	1.911	12,393	809.000 (1.038km)	24,000	”
大 巴 里 Seine Depaltment	1.908	4.040.009	142,175.000 (4.729km)	28,000	人口 Die welt stadre U. der Clactrieche 面積 Schwellverkehr vor P witting
巴 里 市 City of Paris	1.908	2,800.000	24,200.000	116,000	
大 伯 林 Der neuen stadt Gemsinde Berlin	1.919	3,806.533	299,770.000	15 000	人口 Wall ling Buinding ouen Stadt gemeinda Berline. 面積 同上縮圖ヨリプラニメーターニテ測ル
伯 林 市 Stadt Berlin	1.911	1,997.471	19,663.000 (6.537km)	27,000	人口 Wellling Building neuen Stadt gemeinde 面積 Die weltatadte U. S. W. Von P. W.
大 紐 育 Greater Newyork	1.915	5,256.206	254,100.000 (24.639km)	21,000	City of New york 人口 Repart of communion an.BldgDist and Restriction, June 2,1916
マンハッタン區 Borough of Mahattan	1.915	2,295.482	15,125.000 (15.0939km)	152,000	面積 Die Weltsadte U. S. W. Von P. W.
ブルクリーン區 Brough of Broklin	1.915	1,825.534	378.000 (1.253km)	40,000	
クイーンズ・ブ ロンクス及リッ チモンド區 Bough of Queen Br oux and Richmond	1.915	1,132.690	201,143.200 (6.653km)	6,000	
大 東 京 (東京都市計畫區域)	1.920	3,354,306	165,500.000	20,000	人口 大正九年十月一日現在 國勢調査
東 京 市	1.920	2,173.162	24,738.000	88,000	面積 陸地測量部一萬分分一圖ヨリプラニ メーターニテ測ル

備 考

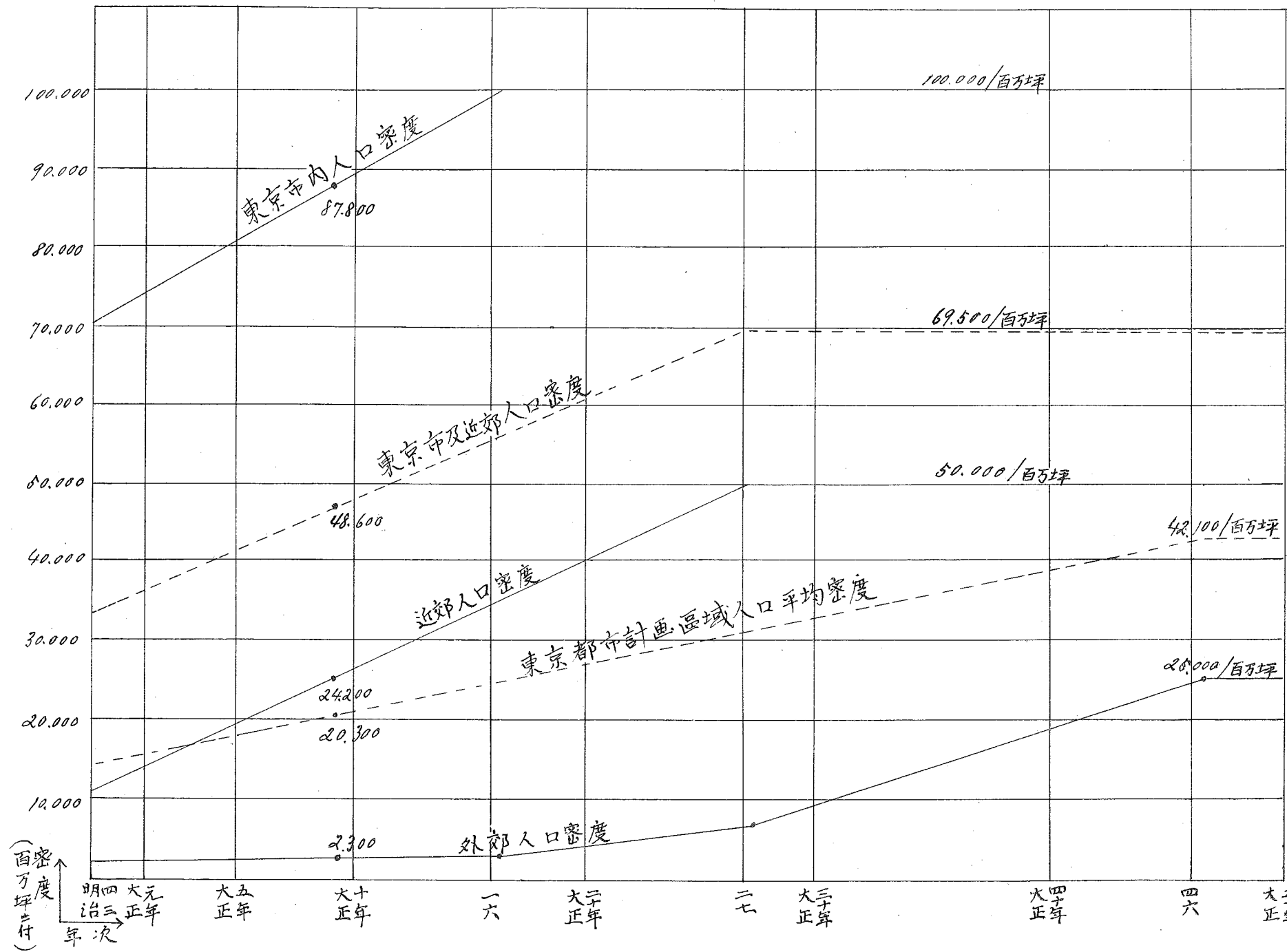
大 倫 敦 ト 稱 ス ル ハ
大 巴 里 ト 稱 ス ル ハ
大 伯 林 ト 稱 ス ル ハ

大 紐 育 ト 稱 ス ル ハ

倫 敦 警 察 全 區 域 フ 謂 フ
セ イ ス 縣 全 部 フ 謂 フ
西 曆 千 九 百 二 十 年 八 月 二 十 七 日 發 布
法 律 ニ ヨ リ 擴 張 セ ラ レ タ ル 新 伯 林 區
域 フ 云 フ
紐 育 全 市 區 域 フ 謂 フ

(第三表) 東京都市計畫區域內人口密度增加豫想圖表

大正十年九月



東京都制案ノ綱要

(大正十一年地方局未定稿)

東京都制案ノ綱要

目次

第一 東京市ノ制度ノ沿革

- (一) 大都市ノ制度ノ沿革
- (二) 東京市ノ制度ノ沿革

政府ノ東京都制案

衆議院ノ東京市制案

貴族院ノ東京都制案

- (三) 東京都制兩案ノ差異

第二 東京都ノ設置

- (一) 東京市ノ制度ト一般都市ノ制度ト區別スル理由
- (二) 東京都武藏縣及縣都組合ノ設置

東京都ノ事務

東京都ノ區

武藏縣ノ事務

縣都組合ノ事務

- (三) 東京都ノ機關
都會及都長ノ職務權限
都長ノ選任
- (四) 東京都ノ監督
- 第三 東京都制ノ綱要
- (一) 總則
- (二) 都會
- (三) 都參事會
- (四) 都吏員
- (五) 給料及給與
- (六) 都ノ財務
- (七) 都ノ監督
- (八) 區
- (九) 經過の規定

東京都制案ノ綱要

第一 東京市ノ制度ノ沿革

(一) 大都市制度ノ沿革 明治二十一年地方自治制度創始ノ際ハ町村ノ制度トシテ町村制、一般都市ノ制度トシテ市制、三都(東京、京都及大阪ノ三大都市)ノ制度トシテ特別市制ヲ編成スル計畫ナリシモ中途ニ於テ其ノ方針ヲ更メ都市ニハ大小ノ別ナク一律ニ市制ヲ施行スルコト、爲シタリ、然ルニ元老院ハ之ヲ不可トシ激烈ニ反對シタル爲再度閣議ヲ變更シ當初ノ方針ニ從ヒ町村制、市制及特別市制ヲ編成シ明治廿三年ヨリ之ヲ實施シタリ

所謂特別市制ハ佛國巴里ノ制度ニ倣ヒタルモノニシテ市長、助役其ノ他市吏員ノ職務ハ府廳ノ官吏之ヲ行フモノナル故ニ本制度ニ對シテハ自治權侵害論喧シク衆議院ハ第一議會以來毎年本制度ノ撤廢ヲ議決シ第十二議會ニ於テ遂ニ貴衆兩院及政府ノ意見一致シ明治三十一年九月三十日限り之ヲ廢止シ三都ニモ一般都市ト同シク市制ヲ施行シタリ

(二) 東京市ノ制度ノ沿革 東京市ノ制度ハ明治廿一年ヨリ同二十八年頃マテハ所謂三都ノ制度トシテ考究セラレタルモ明治廿九年一月八日政府ハ東京都制案ヲ第九議會ニ提出シ京都大阪兩市ノ制度トハ之ヲ切放シタリ

明治廿九年以來帝國議會及東京市會ニ現ハレタル東京市ノ制度案ハ政府提出東京都制案、貴族院提出東京都制案、衆議院提出東京市制案及東京市會建議東京市制案等ニシテ各案ニ對スル帝國議會ノ議事左ノ如シ

(イ) 政府ノ東京都制案 明治廿九年一月八日貴族院へ提出、同院ハ之ヲ特別委員ニ附托シ審査中一月三十一日政府ヨリ撤回シタリ

(ロ) 衆議院ノ東京市制案 明治三十年三月十七日議員肥塚龍氏外三名ヨリ發議第一讀會ニ於テ否決

(ハ) 貴族院ノ東京都制案 明治三十四年三月九日議員清棲伯、岡部子、松平男、馬屋原彰氏及一本喜徳郎氏ヨリ發議

貴族院ハ之ヲ特別委員ニ附托シ審査ヲ爲シ政府モ大體本案ニ同意シタルヲ以テ本會議ニ於テ可決シ衆議院ニ廻付同院ニ於テ特別委員ニ附托審査中會期終了

(二) 貴族院ノ東京市制案 (第二十四議會)

A 貴族院ノ東京市制案 明治四十一年一月二十五日議員岡部子、松平男、小松原英太郎氏、谷森眞男氏及一木喜徳郎氏ヨリ發議貴族院ハ之ヲ特別委員ニ附托シ審査ヲ爲シ政府モ大體本案ニ同意シタルヲ以テ本議會ニ於テ可決シ衆議院ニ廻付同院ニ於テ特別委員ニ附托審査中未議了

B 衆議院ノ東京市制案 明治四十一年二月二十日議員磯部四郎氏外十五名ヨリ發議衆議院ハ之ヲ特別委員ニ附托シ審査ヲ爲シタルモ議了ニ至ラス

(三)

東京市制兩案ノ差異 東京市ノ制度ニ就テ從來政府及貴族院ハ都制ヲ衆議院ハ市制ヲ立案シ互ニ其ノ主張ヲ讓ラサリキ而シテ兩案ハ何レモ東京市ヲ府縣ノ外ニ置キ内務大臣ニ直屬セシムル點ニ於テ相同シキモ團體ノ執行機關ノ組織ニ付都制ハ官選市制ハ公選ト爲シ又其ノ議決機關ノ權限ニ付市制ハ概括的ニ規定シ都制ハ之ヲ列舉スル點ニ於テ根本的ニ其ノ主張ヲ異ニス(政府ノ都制案ハ議決機關ノ權限ニ付概括主義ヲ採リタルモ後ニ列舉主義ノ貴族院都制案ニ同意シタリ)

第二 東京都ノ設置

(一) 東京市ノ制度ト一般都市ノ制度ト區別スル理由 地方團體ノ制度ハ都鄙大小等ノ異同ニ從ヒ殊ニ團體ノ國家ニ對スル關係ノ厚薄ニ應シ其ノ編制ヲ異ニスルヲ要ス明治二十三年地方ニ自治ノ制度ヲ施クニ方リ町村制、市制及特別市制ヲ立法シタル所以ノモノハ此ノ主義ヲ實行シタルニ外ナラスト雖モ未タ三都中ノ最大都市ニシテ帝都タル東京市ニ對シ更ニ一步ヲ進メテ別種適當ナル制度ヲ創設シ以テ益々此ノ趣旨ヲ擴充スルニ至ラザリキ

又明治三十一年特別市制ヲ廢シ東京市ニモ一般市制ヲ施行シタルハ暫定的措置ニシテ東京市ヲ一般都市ト同等ニ處遇セムトスルノ趣旨ニ出テタルモノニアラス

帝都ノ地タル政治ノ中心文化ノ焦點ニシテ實ニ社會樞軸ノ存スル所タリ其ノ廣袤五万里、人口二百十七萬餘歲計豫算一億千三百餘萬圓ニ及フ今試ニ東京市ノ人口ヲ把テ之ヲ

都市ノ人口平均十二萬餘ニ比スレハ其ノ

十三倍七分

六大都市ノ人口平均九十一萬餘ニ比スレハ其ノ

二倍三分

府縣ノ人口平均百十九萬餘ニ比スレハ其ノ

一倍八分

大阪市ノ人口百二十五萬餘ニ比スレハ其ノ

一倍七分

ニ當ル更ニ又其ノ經費ニ就テ之ヲ見ルモ

都市ノ經費平均四百四萬餘圓ニ比スレハ其ノ

二十七倍九分

六大都市ノ經費平均四千三百八十九萬餘圓ニ比スレハ其ノ

二倍六分

府縣ノ經費平均六百廿四萬餘圓ニ比スレハ其ノ

十八倍一分

大阪市ノ經費七千七百五十萬餘圓ニ比スレハ其ノ

一倍五分

ニ當ル亦以テ東京市ノ規模ノ宏大ニシテ經營ノ多端ナルヲ想見シ得ヘシ而シテ本市ノ政務ノ張弛ト事業ノ興廢トハ雷ニ市ノ盛衰ニ關スルノミナラス延ヒテ影響ヲ國家ニ及ホサルモノ幾ント鮮シ故ニ東京市ノ制度ハ之ヲ一般都市ノ制度ト區別シ殊ニ國家ト團體トノ關係ヲ密接ニシ以テ帝都ニ於ケル自治行政ノ振興ヲ圖リ併セテ國運ノ隆昌ヲ策セサルヘカラス是レ東京市ニ特別ナル制度ヲ必要トスル所以ナリ

(二) 東京都、武藏縣及縣都組合ノ設置

東京市ヲ東京都ト爲シ内務大臣直接ニ之ヲ監督シ府縣ト併立セシム東京府ノ郡部ヲ以テ別ニ一縣ヲ置キ武藏縣ト爲シ東京府ハ之ヲ廢シ府費支辨ニ屬スル營造物、事業及府ノ義務ハ之ヲ縣都ニ分屬セシム府費支辨ニ屬スル營造物、事業及府ノ義務ヲ縣都ニ截然分割スルハ縣即チ舊東京府郡部ノ負擔激増スルヲ以テ努メテ急激ナル變化ヲ避クル爲別ニ縣都組合ヲ設ケ現ニ府費ノ負擔ニ屬スルモノニシテ其ノ利害關係カ縣都ニ及フモノハ本組合ヲシテ之ヲ處理セシム道路及河川ハ其ノ主ナルモノトス

A 東京都ノ事務 東京都ハ現在東京市及東京府カ東京市内ニ於テ行フ公共事務及委任事務ヲ處理スル公共團體トス警察事務ハ依然監視總監ヲシテ處理セシメ之ヲ都ニ委任セス是レ蓋シ帝都ノ治安ヲ維持シ國家ノ安寧秩序ヲ確保スルカ如キ要務ハ國家自ラ之ヲ擔任スルヲ適當ナリト認ムルニ依ル警察事務ノ内衛生、交通及消防ニ關スルモノ、如キ一定ノ範圍ヲ限リ之ヲ地方團體ニ委任スルハ必スシモ不可ナラサルカ如キモ機關ノ重複、權限ノ錯綜ヲ來シ延ヒテ國民負擔ノ増嵩ヲ結果スル等決シテ良策ニアラスト認ム

又警察費ニ付テハ地方費ノ支辨ヲ罷メ全部國庫ノ負擔ニ移スモノトス但シ東京府ノ警察費ハ其十分ノ六ヲ國庫其ノ十分ノ四ヲ府ニ於テ負擔スルカ故ニ國ハ此ノ割合ヲ以テ都ニ分賦スルモノトス

B 東京都ノ區 都ノ下ニ區ヲ置キ公共團體トシ局部的公共事務ヲ處理セシム但シ之カ爲都ノ統一ヲ破ルヘカラス仍テ區ノ施設經營ニ關シテハ豫メ部長ノ許可ヲ經ル事ト爲シ以テ都ノ行政ト區ノ行政ト扞格スルコトナカシメ依テ以テ都ノ統一ヲ庶幾シタリ又地方制度ノ系統ヨリ觀テ區ノ地位ハ市ニ類似スルヲ以テ區ニ關スル規定ハ市制ニ準シタリ

C 武藏縣ノ事務 武藏縣ハ大體一般府縣ニ同シ

D 縣都組合ノ事務 縣都組合ハ道路河川等ニ關スル府ノ事務ヲ繼承シ必要アル場合ハ組合管理者ヲシテ之カ管理者ノ職務ヲ行ハシメ又既定事業ニ屬スル河川改修費國庫納付金等ニ關シ縣都ノ分擔割合ヲ定ムルカ如キ權限ヲ有スル公共

トス

(三) 東京都ノ機關 東京都ノ機關ハ都會、都參事會及都長ト爲ス

都會及都長ノ職務權限 都會ハ都ノ議決機關ニシテ都ニ關スル一切ノ事件ヲ議決ス都長ハ都ノ執行機關ニシテ都ヲ代表シ都會ノ議決ヲ執行ス

都長ハ都會ノ議決ヲ執行スルノミ都行政ノ中心ハ都會ニ存ス是レ蓋シ自治行政ハ專ラ合議制ニ依リテ行ハルヘク都會ヲシテ都ニ關スル一切ノ事件ヲ處理セシムルハ自治ノ本義ニ適合スル所以ナリト認ム

又都長ハ法令ノ委任ニ依リ國政事務ノ執行ニ付府縣知事ト同等ノ地位ヲ占ム其ノ結果トシテ都長ニハ勅令ノ規定ニ依リ府縣知事ノ如ク命令制定權及官吏任免權ヲ有セシム但シ其ノ範圍ハ府縣知事ノ如ク廣汎ナラス命令制定權ハ專ラ個々ノ法律勅令カ委任スルモノニ關シ官吏任免權ハ各種學校ノ判任待遇職員ノ如キ專ラ都費支辨ニ屬スル官吏ノ任免ニ關スルモノトス

B 都長ノ選任 内務大臣ハ都會ヲシテ都長候補者三人ヲ選舉推薦セシメ上奏裁可ヲ請フモノトス所謂公選主義ヲ採リ官選主義ヲ排ス是レ蓋シ公選主義ハ自治ノ本義ニ適合シ完全ナル自治權ヲ付與スル所以ナレハナリ

(四) 東京都ノ監督 東京都ハ内務大臣直接ニ之ヲ監督ス是レ蓋シ都政ノ消長ハ直チニ國政ニ反映シ國家カ利害休戚ヲ痛感スルハ既ニ述ヘタリ故ニ國家ト團體トノ關係ヲ密接ニシ以テ其ノ行政ノ伸長ヲ圖リ國家ノ利益ヲ増進セサルヘカラス現行制度ノ如ク東京市ヲ一般都市ト等シク府縣ノ下ニ隸屬セシムルハ此ノ最モ重要ナル團體ト國家トノ關係ヲ密接ナラシムル所以ニアラス

第三 東京都制ノ綱要

東京都制ノ立法ニ付參考ト爲シタル法制ハ市制、府縣制及從來政府又ハ帝國議會ニ於テ調査シタル東京市ノ制度ニ關スル各種ノ法律案ナリトス而シテ今次ノ東京都制ハ大體市制ノ規定ニ從ヒ其ノ都制トシテ適當ナラサル部分ニ限リ別ニ相當ナル規定ヲ爲シタリ以下逐條のニ其ノ要點ヲ説明スヘシ

(一) 總則

A 都ノ區域及其ノ變更 都ハ從來ノ東京市ノ區域ニ依ル

都ノ區域ノ變更ハ行政處分ヲ以テ爲シ得ルコト、シ郊外町村ノ編入ニ付手續ノ簡捷ヲ期セリ

B 都住民、都公民及都ノ立法權 市制ニ同シ

(二) 都會

A 組織及選舉 議員ノ定數ハ八十八人トス東京市會議員ノ定數ニ同シ都會議員ノ選舉權、被選舉權、議員ノ任期及選舉ノ手續等ハ市制ニ同シ但シ選舉人名簿調製期日ハ選舉期日前百日ト爲シ市制ニ比シ四十日ヲ延長シタリ此ノ改正ハ選舉人増加スルカ爲ナリ

B 職務權限 都會ハ會期ヲ定メテ都長之ヲ招集ス市會ハ會期ヲ定メサルヲ原則ト爲スカ故ニ所謂萬年市會ノ弊ヲ生シタリ

都會ノ書記ハ都吏員中ヨリ議長之ヲ命ス市會ノ書記ハ議長之ヲ任免スルカ爲メ諸種ノ惡弊ヲ生シタリ

其ノ他市制ニ同シ

都參事會 市制ニ同シ

都吏員

(四)(三) A 組織選舉及任免 都ニ左ノ吏員ヲ置ク

都長

助役

收入役

副收入役

一人 條例ヲ以テ増加スルコトヲ得

一人

一人 條例ヲ以テ増加スルコトヲ得

以上總テ有給吏員ト爲シ其ノ任期ハ四年トス其ノ他必要ナル有給吏員尙名譽職都參與及委員ヲ置クコトヲ得

都長ノ任免スル有給都吏員ノ組織任用分限及懲戒ニ關シテハ勅令ヲ以テ之ヲ規定シ努メテ良吏ヲ擧ゲシメ都政ノ刷新ヲ期セムトス

其ノ他市制ニ同シ

B 職務權限 市制ニ同シ

給料及給與 市制ニ同シ

(六)(五) 都ノ財務

A 財産營造物及都稅 都ハ其ノ必要ナル費用ヲ支辨スル爲都稅ヲ賦課スルコトヲ得

都稅ノ賦課ニ付テハ府縣稅ノ例ニ依リ其ノ國稅附加稅ノ制限率等ニ付テハ府縣ト市町村トニ付定タルモノヲ合算シタルモノトシ以テ東京市及東京府カ東京市内ニ於テ行ヒタル事務ヲ都ニ於テ承繼スルニ付必要ナル財源ヲ與ヘムトス市制及町村制ニ依レハ市町村ハ基本財産ヲ造成シ之ヨリ生スル收入ヲ以テ其ノ必要ナル費用ヲ支辨シ市町村稅ヲ賦課セサル建前ナルモ大都市ニ於ケル財政ハ課稅主義ニ依ルヲ適當ナリト認メ市制ニ從ハス其ノ他市制ニ同シ

B 歲入出豫算及決算 市制ニ同シ但シ決算ハ翌年度八月ヨリ九月迄ノ間ニ於テ都會ノ認定ニ付セシム市ハ翌々年度ノ豫算ヲ議スル時期迄ニ市會ノ認定ニ付セシムルヲ以テ會計ノ整理緩慢ニ流ル、虞アリ

(七) 都ノ監督 都ハ内務大臣之ヲ監督ス

内務大臣ハ都會ノ議決ヲ取消スコトヲ得

内務大臣ハ勅裁ヲ經テ都會ノ解散ヲ命スルコトヲ得府縣制ト同シ市制ト異ナル

内務大臣ハ期日ヲ定メテ都會ノ停會ヲ命スルコトヲ得會期ヲ定メテ都會ヲ招集スルヲ以テ此ノ規定ノ要アリ府縣會ノ

停會ハ府縣知事之ヲ命ス

都債ヲ起スニ付テハ内藏兩大臣ノ許可ヲ要ス

内務大臣ハ都吏員ニ對シ懲戒ヲ行フコトヲ得都長、都參與、助役、收入役、副收入役及區長ニ對スル懲戒審査會ハ内務

省高等官ヲ以テ之ヲ組織ス

其ノ他市制ニ同シ

(八) 區ハ從來ノ東京市ノ區ノ區域ニ依ル

區ハ條例制定權ヲ有ス

區ノ議決機關ハ區會トス其ノ組織選舉及職務權限ハ市制ニ同シ

區ノ執行機關ハ區長トス其ノ職務權限ハ市制ニ同シ

區ハ其ノ必要ナル費用ヲ支辨スル爲區稅トシテ直接都稅ノ附加稅ヲ賦課スルコトヲ得區ハ第一次ニ於テ都長、第二次ニ

於テ内務大臣之ヲ監督ス其ノ他區ノ監督ニ關シテハ市制ニ同シ

經過的規定 現行法令中府縣又ハ市ニ適用スルモノハ個々ノ法令ニ改正ヲ加ヘスシテ之ヲ都ニ適用ス

(九) 東京市ノ名譽職、市長、助役其ノ他市吏員ハ都ノ名譽職、都長、助役其ノ他ノ都吏員トス都制施行ノ爲直チニ機關ノ改

造ヲ爲ス必要ヲ認メサルニ由ル

外國大都市特別制度摘要

目次

- 一 倫敦市
- 二 伯林市
- 三 巴里市及セインヌ縣
- 四 維納市
- 五 紐育市
- 六 華盛頓市

一、倫敦市

I 普通「倫敦市」ト稱スルハ法律上ノ「倫敦行政縣」(Administrative County of London)ニシテ面積一一六、九平方哩、人口四、四八三、二四九(一九二一年調)ヲ算ス。其ノ特別制度ノ内容ヲ爲スハ次ノ諸法律並其ノ附屬法令トス

1. 首都管理法 (The Metropolis Management Act 1855.)

2. 地方行政法 (The Local Government Act 1888.)

3. 倫敦行政法 (The London Government Act 1897.)

II 首都管理法ニ依リ首都工事務局ヲ設定シ倫敦ニ於ケル中央機關創設セラレシカ、地方行政法ハ倫敦ヲ以テ一縣ヲ構成シ之ニ倫敦縣會ヲ設置セリ之ヲ倫敦行政縣トナス。其ノ管轄區域ハ概ネ首都工事務局ノ管轄區域ト同一ナリ。然レトモ行政縣内ニ在リテ倫敦中央市 (City of London) ハ舊慣ニ依リ特立セル行政組織ヲ有シ、他ノ部分亦統一ヲ缺ケル有様ナリシヲ以テ、倫敦行政法ハ中央市ヲ除ク行政縣全區域ヲ二十八ノ首都市 (Metropolitan Borough)ニ分割シ茲ニ現行特別制度ノ確立ヲ見ルニ至レリ。

III 故ニ現今所謂倫敦トハ倫敦中央市及二十八首都市ニ依リ構成セラル、倫敦行政縣ニシテ、倫敦ハ他ノ縣ト異リ縣ノ監督ヲ脱シタル都邑タルノミナラス純然タル一縣 (County)ヲ構成セルモノナリ。

但シ今ヤ「倫敦」ナル語ハ種々ノ意味ニ使用セラレ、其ノ名稱ヲ異ニスルニ從ヒ其ノ廣袤亦相異ル。水道倫敦、警察倫敦等ノ如キ其ノ例ナリ。

IV 倫敦ニ於ケル地方機關ハ極メテ複雑ニシテ統一ヲ缺キ其ノ管轄區域モ互ニ相錯綜セルモノ多シ就中其ノ主要ナルモノヲ列記スレハ次ノ如シ

(1) 倫敦縣會(London County Council)ハ倫敦行政縣全體ニ對スル普通地方機關ニシテ、縣會議員二二四名、參事會員二〇名ヲ以テ組織ス。議員ノ任期ハ三年、參事會員ハ六年トス。但シ參事會員ハ三年毎ニ改選ス。議長副議長及議長代理ハ毎年改選ス。縣會ハ議決機關タルト同時ニ執行機關ニシテ倫敦縣普通地方行政ハ縣會ニ依リ運用セラル。縣會ハ直接中央政府ノ監督ニ服ス。

(2) 中央市會(City of London Corporation)普通市會(Common Council)ハ任期一年ノ二〇六名ノ市會議員、二六名ノ終身參事會員及市長一名ヲ以テ組織ス。參事會員ハ更ニ參事會ヲ組織ス。別ニ普通會院ト稱スルモノアリテ、市長、參事會員及市長選舉者ヨリ成ル。市長ハ名譽職ニシテ行政上ノ實權ヲ有セス。

(3) 首都市會(Metropolitan Borough Council)ハ市長一名、市會議員三〇名乃至六〇名議員總數ノ六分ノ一ノ參事會員ヨリ成ル。其ノ任期ハ縣會ノ場合ト同様トス。

中央市會、首都市會共ニ議決機關タルト同時ニ執行機關タルコト亦縣會ニ同シ。

(4) 縣會ハ最モ廣キ權限ヲ有シ、首都市會ハ一定ノ範圍内ニ於テ縣會ヨリ讓渡サレタル權限其ノ他ノ權限ヲ有ス。中央市會ハ各種特許狀其ノ他法令ニ基キ獨特ノ廣汎ナル權限ヲ有ス。

之等機關ノ行フ行政事務ハ教育、保健、住宅、下水道、道路、橋梁、建築、消防、軌道、瓦斯、電氣、市場、公園、起債貸付等極メテ廣汎ナル範圍ニ亘ル。

(5) 救貧法ニ依ル特別地方機關トシテ救貧委員會、首都救療局、學校區理事會、課稅評價委員會等アリ。水道事務ノ爲水道法ニ依ル水道局アリ、其ノ他倫敦保險委員會、中央失業防止局等諸種ノ機關各々其ノ特別地方事務ヲ管掌ス。又倫敦港務ニ關シテハ倫敦港務部アリ、テームス河管理ノ目的ヲ達スル爲テームス河管理局アリ、リー河管理ノ爲リー河管理局アリ、倫敦行政縣ノ内外ニ亘リ各々其ノ權限ヲ行使ス。

(6) 警察。首都警察ハ內務大臣ノ直轄ニシテ倫敦縣會ハ全ク之ニ與ラス。內務大臣ノ任命スル警視總監、財務總長、副總監其ノ他ノ警察官吏ニ依リ執行セラル。

首都警察區域ハ倫敦中央市ヲ除キタル倫敦行政縣及ミッドルセツクス縣全部及其ノ他チャーリングクロスヨリ半徑十五哩ノ區域内ニ在ル諸地方ヲ包括ス。警察費ハ地方費支辨ニシテ之ニ對スル國庫下渡金ハ總經費ノ半額トス。只倫敦中央市ハ特別ニ獨立セル警察區ヲナシ中央市會ニ於テ市警察隊ヲ維持監督ス。其ノ經費ニ對シテハ國庫ヨリ補助金ヲ交付ス。

V 倫敦現行制度ハ上述ノ如ク複雑ナルヲ以テ行政事務運用上支障多ク且一面近世都市ノ發達ニ伴ヒ事實上ノ倫敦ノ疆域法制上ノ疆域ヲ超エテ擴大スルニ至リシヲ以テ、茲ニ行政上ノ整齊ヲ期シ負擔ノ均衡ヲ圖ル爲倫敦ニ對シ新制度ヲ樹立セムトスル「大倫敦建設」ノ議政府ノ認ムル所トナリ。之カ爲一九二一年「倫敦地方制度調查會」設立セラレ十名ノ委員任命セラレタリ。爾來委員會ハ詳細ナル調査審議ヲ遂ケ一九二三年二月其ノ意見ヲ答申セリ。

二、伯林市

I 伯林市ハ八市五十九町村、二十七財產區即チ九十七團體ヲ合シテ組織セラレタルモノニシテ其ノ面積三三九、〇平方哩人口三、八〇四、〇四八人(一九一九年調)ヲ包擁ス。

伯林市特別市制ノ沿革ハ古ク獨逸帝國成立以來ノ問題タリ。其ノ内容亦區々ニ別レ、或ハ伯林市ヲプランデンブルグ州ヨリ分離セムトシ或ハ伯林市並其ノ接續地域ヲ合シテ別ニ一州ヲ組織セムトシ、之ヲ法制ノ過程ニ就テ見レハ一八七五年普國東部諸州々制以來幾多ノ迂餘曲折ヲ經、一九二〇年新伯林市構成法ニ至リテ遂ニ其ノ根本的解決ヲ見ルニ至レリ。

II 伯林市特別制度ノ内容ヲ爲スモノハ(一)一般市制(二)州制(三)一般地方行政法(四)新伯林市構成法並之等附屬法令トス。就中州制ニ依リテ伯林市カ自治團體トシテノ特別組織ヲ爲スコトヲ規定シ、一般地方行政法ハ伯林市ノ行政區劃ニ關スル特別制度ヲ定メ、新伯林市構成法ハ伯林市ノ區域及區制等ニ關スル規定ヲ收ム。而シテ之等諸法ニ規定ナキ一般事項ニ關シテハ伯林市モ亦市タルヲ失ハサルヲ以テ一般市制ノ適用ヲ受クルモノトス。大要左ノ如シ

州制(Provinzialordnung 1881.) 第二條ハ「首都伯林市ハ自治團體タルブランデンブルグ州ヨリ分離ス」ト規定セリ。之ニ依リ伯林市ハ自治團體タルブランデンブルグ州ヨリ分離スルニ至リシカ尙國ノ行政區劃トシテハ依然州縣ノ一部タルニ變更ナシ。

一般地方行政法 (Gesetz über die allgemeine Landesverwaltung 1883.) 第一條ハ「國ノ行政區劃ハ州縣郡ニ別ツ。但シ伯林市ハブランデンブルグ州ヨリ分離シ獨立ノ行政區劃ヲ構成ス」ト規定セリ之ニ依リ伯林市ハ自治團體トシテモ、亦行政區劃トシテモ州ヨリ分離スルニ至レリ。而シテ地方行政及司法官廳權限法 (Gesetz über die Zuständigkeit der Verwaltungs- und Verwaltungs gerichtsbekörheiten) ハ第七條ニ於テ「伯林市ニ付テハ縣知事ノ權限ハ州知事ヲ行ヒ、州知事ノ權限ハ內務大臣之ヲ行フト規定シ、一般地方行政法第四十一條ハ、ブランデンブルグ州知事ハ同時ニ伯林市ノ知事タルモノトス」ト規定セリ。

即チ一般都市ニ在リテハ其ノ監督ハ第一次ニ縣知事、第二次而モ終局的ニ州知事之ヲ行フニ反シ伯林市ハ第一次ニ州知事第二次ニ內務大臣之ヲ監督シ、其ノ監督系統ニ於テハ州ト同地位ニ置カルルニ至レリ。斯クシテ伯林市ハ州縣市三者ノ資格ヲ具備スルニ至ル。但シ伯林市ハ法律上市ニシテ州ニアラス

斯ノ如クニシテ伯林特別制度ノ組織全ク成リタリト雖尙伯林市郊外地ノ發展著シキモノアリ伯林市ト其境界區別シ能ハサルニ至リシノミナラス經濟上衛生上ノ理由ヨリ伯林市外ニ居住スル者多キヲ加ヘ、伯林市ノ區域ハ之ヲ更ニ擴張セ

サルヘカラサル時機ニ遭遇シ且伯林市内區ノ事務ニ付テ解決スヘキ點多カリシヲ以テ一九二〇年新伯林市構成法 (Gesetz über die Bildung einer neuen Stadtgemeinde Berlin 1920. ヲ制定シ茲ニ大伯林特別市制ノ問題ハ全ク解決スルニ至レリ。

IV 新伯林市構成法ハ五十九條ヨリ成ル。概ネ伯林市ノ區域、殘餘團體トノ關係、市ノ組織並區制所轄官廳及經過規定ヲ收ム。其ノ主要ナル點左ノ如シ。

(1) 殘餘團體トノ關係

伯林市ニ統一セラレタル伯林市以外ノ市町村、財産區ノ殘餘團體ト新伯林市トノ關係ニ付テハ同法定ムル原則ニ依リ、尙協議調ハサルトキハ特別ノ仲裁裁判所之ヲ決ス。

(2) 市會 (Stadterordnetenversammlung)

二二五名ノ市會議員ヨリ成リ議員ハ各選舉區ニ於テ比例代表ノ原則ニ從ヒ選舉ス。其ノ任期ハ四年トハ市參事會 (Magistrat) ハ三十名以內ヲ以テ組織ス、内少クトモ十二名ハ名譽職タルコトヲ要ス。

有給參事會員ハ十二年毎ニ、名譽職參事會員ハ四年毎ニ市會ニ於テ選舉ス。

高級助役ヲ市長ト稱シ、市長代理者ヲ副市长ト謂フ

(3) 區制

市ノ區域ハ二十行政區 (Verwaltungsbezirk) ニ分ツ。行政區ニハ區會及區參事會アリ。

區會 (Bezirksversammlung) ハ市會議員及特ニ選舉セラレタル區會議員ヨリ成ル。市會議員其ノ選舉區ト行政區ト一致スルトキハ其ノ區ノ區會議員トナリ、一選舉區數行政區ヨリ成ルトキハ市會ニ於テ定メタル行政區ノ區會議員トナル。市會議員タル區會議員ノ外區會ニハ特ニ選舉セラレタル一五名乃至四五名ノ區會議員アリ。區會議員ノ任期ヘ市會議

員ノ任期ト同一トス。

區會ハ市ノ議決機關ノ定ムル原則ノ範圍内ニ於テ區ニ關スル總テノ事項ヲ議決シ、專ラ區ノ利害ニ關スル市ノ施設、營造物ニ關スル行政ヲ管理シ、之カ豫算ヲ議決シ、市豫算ノ基礎トシテ市ニ提出ス。市會ハ區ノ必要ニ應ジ特別豫算ヲ決議シ其ノ執行ヲ區ニ委任ス。

區會ハ區參事會ヲ經テ區ニ關スル請願建議ヲ市ニ提出スルコトヲ得。

區參事會(Périsant)區ニハ區參事會アリ區會ニ於テ選舉スル七名ノ參事會員ヲ以テ組織ス。内一名ヲ議長トシテ之ヲ區長トス。原則トシテ區參事會員ハ有給トス。有給會員ノ任期ハ十二年名譽職會員ノ任期ハ四年トス。

區參事會ハ區ノ行政廳ナリ。市參事會ノ執行機關ニシテ市參事會ノ定ムル所ニ從ヒ其ノ指定スル事務ヲ行フ。

區會及區參事會ノ議決ニ依リ市參事會ノ認可ヲ經、區ハ更ニ之ヲ町(Ortbezirk)ニ分ツコトヲ得。町ニハ町長ヲ置ク町長ハ有給者ハ十二年、名譽職ハ四年ヲ以テ任期トス。町ハ行政區ノ庶務執行機關タリ。

(4) 警察。新伯林市ハ伯林新地方警察區ヲ構成シ警視總監之ヲ管理ス。

三、巴里市及セーヌ縣

I 巴里市ハ面積三〇、九平方哩、人口二、九〇六、四七二(一九二一年調)ニシテセーヌ縣ハ其ノ面積一八五平方哩、人口四、四一一、六九一(一九二一年調)ヲ包擁ス。

セーヌ縣知事ハ巴里市長ヲ兼テ警視總監ハ其ノ職權セーヌ縣全部並其ノ外廓ニモ及ヒ巴里市會ハ特別ノ組織ト職權トヲ有シ且巴里市セーヌ縣兩者ハ諸般行政事務ニ付特殊ナル關係ヲ以テ連結セラル從テ巴里市特別市制ノ内容ハ極メテ複雑ナルモノアリ。

II 巴里市ノ特別制度

巴里市特別制度ノ内容ヲナスモノハ共和曆八年ノ法律以來幾多ノ法令ヨリ成リ、一八八四年佛國普通市町村制ト大ニ其ノ趣ヲ異ニス。其ノ普通市制ト特別市制トノ間ニ存スル重要ナル異同ヲ列舉スレハ次ノ如シ。

(1) 巴里市ニハ中心タル市長ヲ置カス

巴里市ハ市長無ク市長ノ職務ハセーヌ縣知事、警視總監及市内各區ニ任命セラレタル區長ニ歸屬ス。

巴里市ハ之ヲ二十區(Arrondissement)ニ分チ各區ハ更ニ四小區ニ分割ス。各區ニハ大統領ノ任命スル區長及助役アリ何レモ名譽職トス。助役ノ數ハ各區三名ナレトモ人口十二萬以上ノ區ニ在リテハ五名トス。

區長ハ戶籍吏ニシテ兵事、財政ニ關スル法律ノ適用ニ協力シ、壯丁調査表、選舉人名簿ヲ作成スル等ノ事務ニ執筆シ、衛生委員會救貧委員會等ノ會長トナル。

但シ巴里ノ最モ緊要ナル事務ハセーヌ縣知事之ヲ管掌スセーヌ縣知事ハ警視總監ノ權限ニ屬スル事務ヲ除キ、普通市長ヨリ廣汎ナル權限ヲ有ス。

(2) 市會ノ特別ナル組織ト作用

巴里市會ハ二十區ヨリ各區四名宛ノ割ヲ以テ選出サレタル議員ヲ以テ構成ス。市會議員ハ同時ニ縣會議員ヲ兼ヌルヲ以テ市會議員ハ同時ニ兩議員被選舉資格ヲ具備スルコトヲ要ス。巴里市會カ他ノ市會ト異ナル重要ナル點ハ、(一)巴里市會ハ通常十日宛四回開會セラルヘキモ臨時會多クシテ事實上常設セラル(二)巴里市會ハ知事ノ招集ニ依リテノミ開會シ議員開會請求權ナシ。

(3) 巴里市會ノ權限ノ制限

市會ハ事件ヲ議決スルモ知事ノ同意ヲ要ス。特別課稅、市ノ起債ハ議會ノ協賛ヲ要シ、市豫算ハ大統領ノ認可ヲ要ス

- (4) 上述ノ如ク自治權ニ付重大ナル制限ヲ附セラレタルハ巴里市ノ特徴ナリ
- III セイヌ縣ノ特別制度

セイヌ縣ト他ノ縣トノ行政上ノ差異ヲ舉クレハ左ノ如シ。

- (1) セイヌ縣ニハ二人ノ長官(Prefet)アリ
- (2) 縣參事會ノ特別組織
- (3) 縣會ノ特殊ナル組織並權限
- (4) 縣委員會ナシ
- (5) 郡ニ郡長ナシ
- (6) 巴里ニ區會ナシ

(1) セイヌ縣知事(Prefet de la Seine) ハ内務大臣ノ推薦ニ依リ大統領之ヲ任命ス。其ノ資格ハ(1)國家ノ代表者(2)縣ノ支配者タルト同時ニ(3)巴里市長タリ。

セイヌ縣知事ノ縣行政ニ關スル權限ハ市町村會ノ議決ヲ審査シ之ヲ承認シ、縣會ノ議決ヲ執行スルノ外、縣豫算決算ノ調製、縣道里道行政等他ノ縣知事ト異ラス。

巴里市長トシテノ權限ハ最重要ナルモノニシテ、立法權ヲ有シ、公共財産公共事業ノ管理、豫算ノ提出、市吏員ノ任免、市會ノ議決ノ執行其ノ他各般ノ重要事項ヲ管掌スルノ外各種委員會ノ會長タリ。

但シセイヌ縣知事ハ其ノ權限往々警視總監ト牴觸スルコトアルヲ以テ特ニ道路行政、中央市場、衛生、保健事務ニ關シ之ヲ解決ヲ爲ス法律ヲ制定セリ。

(2) 警視總監(Prefet de Police) ハ内務大臣ノ推薦ニ依リ大統領之ヲ任命ス。其ノ資格ハ(一)國家ノ代表者(二)縣ノ支配者ニ

シテ且(三)巴里市長タリ。總監ハ一般警察司法警察及都市警察ニ關スル事務ヲ掌ル。都市警察ニ付テハセイヌ縣知事ト職權ノ牴觸セサル範圍ニ於テ之ヲ行フ。

警視總監ノ權限ハ巴里市ヨリセイヌ縣ニ擴張セラレ、更ニセイヌ、エ、オアズ縣ノ一部ニモ擴張セラレタリ。

警察費ハ地方費支辨ニシテ年々市會ニ於テ議決ス。一九一四年度警察費ニ對スル國庫下渡金ハ總額ノ三割ナリ

(3) 縣參事會ノ特別組織 縣參事會ハ議長ヲ合シ九名ヲ以テ組織シ通常縣參事會ノ三名ナルニ比シ其ノ數ニ於テ大差アリ。參事會員中ニハ書記官ノ外四名ノ政府委員アリ。其ノ權限ハ他ノ縣參事會ト同一トス。

(4) 縣會ノ特別組織並權限。縣會ハ巴里市會議員八十名、サンドエニ、及ソーノ兩郡ヨリ一カントン一名宛ノ割ニテ選出サレタル二十一名ノ議員ヲ以テ組織ス。其ノ任期ハ四年トス。縣會ハ知事ノ招集アルニアラザレハ開會スルコトヲ得ス。其ノ會期及期間ハ命令ノ定ムル所ニ依ル。縣ノ公益ニ關スル事項タリト雖他ノ縣會ト通信協議スルコトヲ得ス。縣豫算ハ知事之ヲ提出シ縣會之ヲ議決シ勅令ヲ以テ之ヲ規定ス。

縣會ハ財産ノ獲得其ノ他或種ノ事項ニ付終局的議決ヲ爲スコトヲ得。非常稅ノ賦課及起債ハ法律ニ依ルコトヲ要ス

(5) セイヌ縣ニ存在セサル機關。縣委員會ハ一般ノ縣ニ存スレトモセイヌ縣ニ委員會ナシ、サンドエニ、及ソー郡ニハ郡長ナク、縣直接郡行政ヲ管掌ス。但シ郡行政區劃及郡會ハ存續ス。巴里ノ區ニハ區會ナシ。

(6) 縣内市町村ハ警視總監ノ權限ニ屬スル事項ヲ除キ普通市町村制ノ適用ヲ受ク。

四 維納市

I 維納市ハ面積一〇七平方哩、人口一、八四一、三二六(一九二〇年調)ヲ包擁ス。維納市特別市制ノ内容ヲ爲スモノハ左ノ三種ノ法律ナリ。

- (1) 一九二〇年一月一〇日ノ法律。維納市制ニ關スルモノ
 - (2) 一九二〇年二月二八日ノ法律。維納市及周圍ノ村落共通事務處理ニ關スルモノ
 - (3) 一九二二年二月二九日ノ法律。維納市ヲ以テ新獨立州ヲ組織スルモノ
- II 一九二〇年一月一〇日ノ法律ニ付維納市制ノ内容ヲ見ルニ左ノ如シ。

- 維納市ハ其ノ周圍村落ト共ニ下奧太利州ヲ組織ス。市ハ之ヲ二十一區ニ分チ市ノ住民ハ之ヲ市民ト外人トニ區別ス。而シテ市ノ行政機關ハ市會、市長、市參事會、市委員會、區會、區吏員、理事及監察官トス。
- (1) 市會 (Gemeinderat) ハ一般直接無記名選舉ニ依ル議員一六五名ヲ以テ組織ス。其ノ任期ハ五年トス。市會ハ市ノ一切ノ事件ニ關シ議決及監督ヲ爲ス權ヲ有ス。
 - (2) 市長 (Burgemeister) ハ市會ニ於テ選舉シ有給ニシテ任期五年トス。市ニ於ケル行政長官トシテ法令ノ適用ヲ監視シ其ノ他市ニ關スル重要ナル事務ヲ掌ル。
 - (8) 市參事會 (Stadl Senat) ハ市會ニ於テ選舉スル議員若干名ヲ以テ組織シ、内二名ハ副市長トシテ選舉セラル。市參事會ハ市長之ヲ招集シ會議ハ公開セス。市長ハ參事會ノ議決執行ノ義務ヲ負フ。
 - (4) 區會 (Conseil d'arrondissement) ハ區内住民ノ直接無記名投票ヲ以テ選舉セラルル三十名ノ議員ヨリ成ル。區會議員ハ市會議員ト兼メルコトヲ得ス。議員ハ原則トシテハ名譽職ナレトモ有給トナスコトヲ得。
- 區會ハ市會ニ於テ定メタル條件ニ從ヒ區内ノ庶務ヲ處理シ、市會ニ提案スルコトヲ得。
- 區吏員ハ市ノ執行吏員ニシテ各區内ノ市事業ニ關シ市長ヲ補佐ス。
- (5) 市應。ハ市長、理事、理事長、常務吏員、補助吏員ヲ以テ組織ス。理事者ハ市ノ行政機關ニシテ市有財産ノ管理、事件ノ調査其ノ他諸般ノ事項ヲ處理ス。

- (6) 市會ハ別レテ各種ノ委員會ヲ組織シ各行政部ニ屬ス。各委員會ハ少クトモ十二名ヲ以テ組織シ、必要アルトキハ特別委員ヲ任命ス。

- (7) 市評議員 (Curie de la ville) 下奧太利ヲ組織スル維納市及其ノ周圍ノ村落ト共通事務ヲ處理スル爲メ市會ハ若干名ノ代表者ヲ以テ市評議會ヲ組織セリト雖未タ其ノ十全ヲ期スルコトヲ得サルヲ以テ更ニ法律ノ制定ヲ必要トスルニ至レリ。

- III 一九二〇年二月二八日ノ法律ハ更ニ維納市及其ノ周圍村落トノ關係ヲ確定セリ。即合議ヲ要スル事項ハ先ツ維納市會之ヲ議決シ、其ノ決議ヲ村會ニ報告ス。兩者意見一致セサルトキハ各六名ノ委員ヲ選出シ仲裁委員ヲ組織シ之ヲ裁定ス。而シテ兩地方廳ノ負擔スヘキ費用ハ村落ニパーセント、維納市七パーセント、トス。

- IV 更ニ一九二一年二月二九日分立法 (Trennungsgesetz) ニ依リ維納市ハ全ク獨立シテ一州トナリ村落ノミヲ以テ下奧太利ヲ組織シ、將來ノ紛爭及共通事件ニ付テハ各州ヨリ三名ノ委員ヲ出シ委員會ニ於テ之ヲ決定スルコトトス。
- 斯ノ如クニシテ維納市ハ全ク獨立セル一州トシテ特別制度ヲ施行セラルルニ至レリ。

五 紐育市

- I 紐育市ハ面積二八六、八平方哩、人口五、六二〇〇四八 (一九二〇年調) 市ヲ分チテマンハッタン、ゼ、ブロンクス、ブルクリン、クイーンズ、リチモンドノ五區トナス。

紐育州憲法ハ一般市制並特別市制ヲ認ム。特別市制ハ兩院通過後關係市ノ承諾ヲ成立ス。

- II 紐育市ニ於ケル重ナル機關左ノ如シ。

- (1) 紐育市會 (Board of alderman) 七十二選舉區ヨリ選出セラレタル任期二年ノ議員七十三名、全市民ヨリ選舉セラル

ル任期四年ノ議長一名及各區長ヨリ成ル。市會ノ議決ニ對シテハ市長ニ拒否權 (Veto) アリ。豫算ニ對シテハ市會ハ檢閱權アルノミニシテ款項ヲ新設シ並増額スル權能ナク、削減ニ付テハ市長拒否權ヲ有スルヲ以テ市會ハ全ク實權ヲ有セス。

(2) 豫算及査定委員會 (Board of Estimate and apportionment) 豫算及査定委員會ハ市長、財政監督官、市會議長、各區長ノ八名ヨリ成ル。此ノ委員會ハ權限最重要ニシテ (一) 豫算ヲ編成決定シ (二) 特權ヲ特許シ (市長拒否權ヲ有ス) (三) 公債ヲ發行ス。

(3) 市長 (Mayor) 市長ハ直接選舉ニ依リ之ヲ定ム。任期ハ四年ニシテ有給ナリ。市長ハ市ノ財政、行政、市政改良事業等ニ付市會ニ報告シ適當ト認ムル政策ヲ勸奨シ、市部局ノ活動ヲ監視シ、市條例並州法ノ勵行ヲ期ス。

市長ハ豫算及査定委員會ノ委員長タリ又各種特權ノ特許ニ對シ拒否權ヲ有ス。

(4) 財政監督官 (City Comptroller) ハ選舉ニ依リ定ム、任期ハ四年トス。市ノ財政檢閲ノ外財政部長トシテ市財務ヲ管理ス。

(5) 警察。警察ハ警視總長之ヲ統轄ス。總長ハ市長ノ任命ニ係リ任期五年トス。

其ノ他水道、電氣、瓦斯、公園、橋梁、船渠、渡船、衛生、消防、教育、其ノ他各種事務ニ關シ各々特別ノ部局委員等ヲ設ケ、市長ノ下ニ事務ニ執掌ス。

III 區。紐育市ハ之ヲ五區ニ區分シ各區ニ區長ヲ置ク。區長ハ區民ノ選舉ニ依リ任期四年トス。但シ知事ニ罷免權アリ。區長ハ有給トス。區長ハ豫算及査定委員會ノ一員タル外各種ノ委員會ニ其ノ席ヲ有ス。區長ノ權限ハ道路、橋梁、下水道ノ管理、鐵道ノ布教、公建築物、娛樂場ノ建設維持等庶般ノ事項ニ及フ。

IV 一般行政及地方改善 (Local Improvement) ノ爲市ハ更ニ二十五地方改善區ニ區分ス。各區ハ其ノ所在區長及區内市

會議員ヲ以テ地方委員會ヲ組織シ委員會ハ區民ト理事者トノ中間ニ在リテ各種地方改善ニ關スル提議ヲナス

六 華盛頓市

I 華盛頓市ハ面積六〇、〇平方哩、人口四三七、五七一 (一九二〇年調) ナリ。華盛頓市ト稱スルモ華盛頓ナル自治團體ハ存セス、只中央政府ノ直轄スルコロンビア區 (District of Columbia) アルノミ。市民ハ參政權ヲ有セス。

II 市ノ行政ヲ管掌スル者ハ三名ノ行政委員 (Commissioner) トス。行政委員ハ上院ノ同意ヲ得大統領之ヲ任命ス。任期ハ三年ニシテ有給ナリ。委員ハ歳入出豫算ヲ大藏省ニ提出シ、命令 (Ordinance) ヲ制定シ職員ノ任免ヲ行フノ外廣汎ナル權限ヲ有ス。

III 華盛頓市警察ハ行政委員ノ任命スル總長 (Superintendent) ノ直轄監督ニ屬シ、警察部員ノ任免ハ委員之ヲ行フ。消防ハ行政委員ノ任命スル技師長ノ管轄ニ屬シ、衛生行政ハ行政委員ノ任命スル保健官ノ管理ニ屬ス。其ノ他教育行政ハコロンビア區最高裁判所判事ノ任命スル委員之ヲ行フ。

IV 華盛頓市豫算ノ半額ハ合衆國費支辨ニシテ半額ハ地方費支辨トス。

倫敦地方制度ニ關スル調査

本調査ニ參考資料トシタル報告及著書等左ノ如シ

- 1.) London County Council: Report of the Council 1919.
- 2.) Royal Commission on London Government: Minutes of Evidence 1962.
- 3.) Encyclopedia of Local Government Vol 2. 4. 1906.
- 4.) Lavelle: Government of England 1920.
- 5.) Local Government Act 1888-1894.
- 6.) London Government Act 1899.

倫敦地方制度ニ關スル調査

目次

- 第一章 倫敦現行地方制度概要
 - 二 現行制度ノ沿革及特色
 - 二 倫敦ノ區域
- 第二章 倫敦行政縣内ニ存在スル諸機關
 - 第一節 普通地方機關
 - 一 倫敦縣會
 - 二 倫敦中央市會
 - 三 首都市會
 - 第二節 倫敦縣會、倫敦中央市會及首都市會ノ職務權限
 - 第一項 總則
 - 一 倫敦縣會
 - 二 倫敦中央市會
 - 三 首都市會
 - 第二項 各種ノ重要ナル職務權限

- 一 教育
- 二 保健
- 三 住宅
- 四 瘋癲其ノ他ノ精神的缺陷
- 五 道路、橋梁、堤防
- 六 建築
- 七 消防
- 八 軌道其ノ他
- 九 瓦斯及電氣
- 十 市場
- 十一 簡易食堂、空地及公園
- 十二 警察
- 十三 其ノ他ノ作用
- 第十四節 首都救貧法ニ基ク諸機關
 - 一 救貧委員會
 - 二 首都救療局
 - 三 學校區理事會

- 四 ポプラ及ステプニ一救療區
- 五 課稅評價委員會
- 第十四節 其ノ他ノ諸機關
 - 一 倫敦縣保險委員會
 - 二 倫敦養老年金委員會
 - 三 中央失業防止局
- 第三章 倫敦ノ財政
 - 第一節 縣稅、普通稅及救貧稅
 - 第二節 倫敦普通地方機關ノ財政
 - 一 倫敦縣會
 - 二 倫敦中央市會
 - 三 首都市會
 - 第三節 特別地方機關ノ財政
 - 一 救貧委員會
 - 二 首都救療局
 - 三 學校區理事會
 - 四 倫敦保險委員會

五 倫敦養老年金委員會

六 中央失業防止局

第四章 倫敦行政縣ノ内外ニ亘リ管轄權ヲ行使スル諸機關

一 內務大臣及警視總監

一 首都水道局

三 倫敦港務部

四 テームス河管理局

五 リー河管理局

附

一 中央刑事裁判所管轄區

二 倫敦並隣接諸縣電力區

三 倫敦行政縣ト縣外ニ在ル地方機關トノ關係

四 倫敦行政縣ノ人口面積統計

倫敦地方制度ニ關スル調査

第一章 倫敦現行地方制度概要

一 現行制度ノ沿革及特色

倫敦ハ都市トシテ古キ歴史ヲ有シ現行制度亦複雑ニシテ頗ル統一ヲ缺ケリ、其ノ現行制度ニ至ル迄ノ沿革ヲ見ルニ次ノ如シ

(一) 一八三五年自治團體法制定セラレタルモ倫敦ハ舊慣ヲ重ムシ特ニ其ノ適用ヲ受ケサリシカ、一八五三年設置セラレタル「都市事務調査會」ハ倫敦ニ中央工事局ノ設立ヲ勸告シ、遂ニ一八五五年首都管理法 (The Metropolis Management Act) 制定セラレ、同法ニ依リ首都工事局 (The Metropolitan Board of Works) 設立セラレタリ。同局ハ首都中央機關トシテノ權能ヲ有シ且首都管理法ノ創設セル寺區會、地區會ヲ監督セリ。此ノ工事局管轄區域ハ概ネ現行倫敦行政縣 (The administrative County of London) ト其ノ區域ヲ同シウス

(二) 一八八八年地方行政法 (The Local Government Act) ハイングランド及ウェールズニ通シ縣制ヲ施行シ、各縣ニ縣會 (County Council) ヲ設定セシカ、倫敦ニ付テモ倫敦ヲ以テ行政縣トナシ倫敦縣會ヲ設クルト共ニ、首都工事局ハ之ヲ廢止シ、同局ニ屬シタル權限ノ全部ヲ倫敦縣會ニ移シタリ。斯ノ如クニシテ首都工事局ノ管轄區域ハ其ノ儘倫敦行政縣ノ區域タルニ至リタルモノトス但シ其後後述倫敦行政法ニ依リ多少ノ修正増減アリタリ。其ノ重ナルモノハ、サウス・ホーンセー (South Hurnsey) ノ合併ヘンヂ (Penge) ノ分離ニ存ス

(三) 更ニ倫敦中央市 (City of London) ヲ除キタル倫敦行政縣全體ニ通シ地方制度統一ノ必要ヲ認メ一八九九年倫敦行政法 (The London Government Act) ヲ制定シ、同法ニ依リ中央市會ヲ除ク倫敦縣ヲ二十八ノ首都市 (Metropolitan Borough) ニ區

分シ、之ニ首都市會ヲ設ケテ制度ノ統一ヲ圖レリ之ヲ現行制度トス
今倫敦地方制度カ他ノ地方制度ニ比シ特殊ナル地位ニ立テル所以ヲ明ニスル爲左ニ其ノ特徴ヲ示サムトス

- (一) 倫敦ハ他ノ大都市ト同シク一ノ都市ナレトモ、大都會タル縣市 (County Borough) カ單ニ縣ノ監督ヲ脱シタリト言フニ反シ、倫敦ハ縣自體ヲ構成ス。縣ハ市 (Borough) 及市街區地方區 (Urban district, Rural district) ヨリ成ルトモ、倫敦縣ハ中央市 (City) 及首都市ノミヲ以テ構成ス、且其ノ主要機關タル縣會、中央市會、首都市會ハ通常ノ縣會市會ト其ノ組織權限ヲ異ニシ倫敦縣會ハ極メテ廣汎ナル權限ヲ有シ、中央市會亦舊慣ニ基ク獨特ノ地位ト職權トヲ有ス
- (二) 首都警察事務ハ他ノ地方團體ノ場合ト異リ地方機關ノ權限ニ屬セス、首都警察ノ爲特別ノ區域ヲ設定シ之ヲ首都警察地區 (Metropolitan Police District) トシ、内務大臣ノ直轄ニシテ警視總監其ノ事務ヲ管掌ス。只倫敦中央市ハ首都警察地區ニ入ラスシテ市會自ラ警察權ヲ行使ス

倫敦地方制度ハ右ノ如キ特徴ヲ有スルノミナラス其ノ地方機關ノ數頗ル多ク、普通地方機關ノ外ニ救貧法ニ基ク機關アリ其ノ他特定事業ノ遂行ノ爲各種ノ獨立機關アリテ各其ノ權限ヲ行使ス

斯ノ如クニシテ倫敦現行制度ハ複雜ニシテ統一ヲ缺キ行政事務運用上支障尠カラサルノミナラス一面近世都市ノ發達ノ爲事實上ノ倫敦ノ疆域ハ法制上ノ倫敦ノ區域ヲ越エテ益々擴大シ、種々ノ困難ヲ醸成スルニ至レリ。於是行政上ノ整齊ヲ期シ負擔ノ均衡ヲ圖ル爲倫敦ニ對シ新制度ヲ樹立セムトスル所謂「大倫敦建設」ニ關スル調査益々急ヲ訴ヘ、倫敦行政縣ハ其ノ地方行政調査委員會ノ報告ニ基キ、(一)大倫敦ヲ通シ統一的管理ノ下ニ置クヘキ特定事務、(二)斯カル事務管理ノ爲統一サルヘキ倫敦ノ區域、(三)斯カル事務管掌ヲナスヘキ機關、(四)斯カル機關ト區域内ニ於ケル他ノ地方機關トノ關係ニ關シ徹底的調査ヲ遂クル爲、「大倫敦調査機關」設立希望ノ決議ヲ爲シ、遂ニ一九二一年十月「倫敦地方制度調査會」 (Royal Commission on London Government) 設立セラレ十名ノ委員之ニ任命セラレタリ。委員會ハ爾來倫敦縣會初メ關係

地方廳代表者ノ詳細ナル意見ヲ聽取シ勅令ニ所謂「地方行政事務ノ能率ヲ增進シ、地方行政費ノ輕減ヲ圖リ且地方費負擔ノ不均衡ヲ減スル爲、倫敦行政縣並其ノ隣接地域ニ付區域ノ變更ヲナス要アリヤ否ヤ」ヲ審議シ、一九二三年二月其ノ意見ヲ答申セリ。其ノ概要ハ別ニ之ヲ敘述スヘシ

二 倫敦ノ區域

「倫敦」ナル名稱ハ元來倫敦舊市ノミヲ指稱スル語ナリシモ漸次近接地域ヲ包含スルニ致リ現今「倫敦」ナル名稱ヲ冠スル語數種ヲ數フヘク、其ノ區域亦相異ル。其ノ重ナル名稱及面積人口左ノ如シ

	面積 (平方哩)	人口 (一九一一年)	人口 (一九二一年)	一平方哩人口密度 (一九二一年)
倫敦 行政 縣	二六・九	四、五二、六五	四、四八二、四九	三六、五二・一
倫敦 縣	一一五・八五	四、五〇一、〇三六	四、四六九、五三	三八、五〇・四
倫敦 中央 市	一・〇五	一九、六七	一三、七〇六	一三、〇五・四
水道 倫敦	五五九・〇〇	—	—	—
警察 倫敦 (中央市ヲ含ム)	六九二・九〇	七、五二、三五	七、四七六、二六八	一〇、七九・六
大 倫敦	六九二・九〇	七、五二、三五	七、四七六、二六八	一〇、七九・六

水道倫敦 (Water London) トハ首都水道局ヨリ給水ヲ受クル地域ニシテ、倫敦行政縣ノ外ケント、エセツクス、サレーハーツ、ミッドルセツクス各行政縣ノ一部ヲ包含ス

警察倫敦 (Police London) トハ首都警察及倫敦市警察ニ依リ保護セラルル區域ニシテチャーリングクロスヲ中心トシ半徑十五哩ノ圓周ヲ畫ケル區域ト略一致ス

第二章 倫敦行政縣内ニ存在スル諸機關

倫敦行政縣内ニ存在スル公ノ地方機關左ノ如シ

一 普通地方機關

- (1) 倫敦縣會 (The London County Council)
- (2) 倫敦中央市會 (The City of London Corporation)
- (3) 首都市會 (Metropolitan Borough Council)

二 首都救貧法ニ基ク諸機關

- (4) 救貧委員會 (Boards of Guardians)
- (5) 首都救療局 (The Metropolitan Asylum Board)
- (6) 學校區理事會 (Board of Managers of School District)
- (7) 課稅評價委員 (The Assessment Committees)
- (8) ポプラ及ステブニー救療區 (Peplar and Stapney Sick Asylum District)

三 其ノ他ノ機關

- (9) 倫敦縣保險委員會 (The County of London Insurance Committee)
 - (10) 倫敦養老年金委員會及其ノ支部 (The London Old Age Pensions Committee and its SubCommittees)
 - (11) 中央失業防止局 (The Central [Unemployed] Body)
- 尙ホ倫敦行政縣ノ内外ニ亘リテ管轄權ヲ有シ縣内ノミナラス縣外利害關係地域ニ付テモ重要ナル關係ヲ有スル諸機關アリ

即チ左ノ如シ但シ之等ノ機關ニ付テハ別ニ章ヲ改メテ論述スヘシ

- (12) 首都水道局 (The Metropolitan Water Board)
- (13) 倫敦港務部 (The Port of London Authority)
- (14) テームス河管理局 (The Thames Conservancy Board)
- (15) リー河管理局 (The Lee Conservancy Board)

第一節 普通地方機關

一 倫敦縣會 (The London County Council)

- (一) 區域 面積一一六・九平方哩。倫敦中央市ヲ除ケル現在疆域(以下單ニ倫敦縣ト稱ス)ハ一八八八年地方行政法施行前ニ於テハミッドルセックス (Middlesex) サレー (Surrey) 及ケント (Kent) ノ各縣ニ分屬セシカ同法第四〇條ニ依リ之ヲ分離シ倫敦縣ナル名稱ノ下ニ全ク獨立ノ區域トナセリ。斯クシテ倫敦縣會ノ管轄區域ハ倫敦縣及倫敦中央市ヲ包含スル倫敦行政縣 (The administrative County of London) ノ全部トス

- (二) 組織 縣會議員 (Councillor) 百二十四名及參事會員 (Alderman) 二十名ヲ以テ組織ス(一八八八年地方行政法第四十條第四項及一九一八年人民代表法第六附表第五節參照)

縣會議員ハ倫敦行政縣内ニ存在スル國會議員選舉區ヨリ各二名(倫敦中央市ハ四名)ヲ選舉ス

選舉入ハ地方行政機關選舉人名簿ニ登錄セラレタルコトヲ要ス、議員ノ任期ハ三年トス

參事會員ハ縣會議員之ヲ選舉ス、任期六年全員ノ半數ハ三年毎ニ改選ス

縣會議員及縣參事會員被選舉資格ハ他ノ諸縣ニ於ケル縣會議員及縣參事會員ト同一トス

議長、副議長及議長代理 (Deputy Chairman) は毎年之ヲ改選ス。議長ハ縣會ノ内外ヨリ其ノ他ハ縣會内ヨリ選出スルモノトス

二 倫敦中央市會 (The City of London Corporation)

- (一) 區域 面積一〇五平方哩。倫敦中央市ノ疆域ハ皆テ市下水道管理委員會ノ管轄セル地域即舊市廓内ノ地域及市廓外一定ノ地域ヨリ成ル (一八五五年首都管理法第二百五十條) 但シ一八九九年倫敦行政法ニ基キ發セラレタル勅令ニ依リスミスフィールド市場附近ニ於テ境界變更行ハレタリ

- (二) 組織 倫敦中央市ノ公民其ノ他ノ自由民ハ法人ヲ構成シ法律上 (The Mayor and Commonalty and Citizens of the City of London) ノ名稱ヲ以テ表示セラル

中央市ハ普通市會 (Court of Common Council) ニ依リ統轄セラル。而シテ此ノ機關ハ限定セラレタル選舉資格ヲ有スル者カ毎年選舉スル二百六名ノ市會議員 (Common Councillor) 中央市内二十六區ヲ代表スル二十六名ノ終身參事會員及管テ執行官 (Sheriff) ノ職ニ在リシ參事會員中ヨリ毎年參事會員ニ於テ選舉スル市長 (Zard Mayor) ヲ以テ組織ス

參事會員ハ別ニ參事會 (Court of Aldermen) ヲ組織シ普通市會ヨリ獨立シテ特定ノ行政的事項殊ニ市内警察ニ關スル權限ヲ行使ス

普通會院 (Court of Comor Hall) ハ市長、市參事會員及市長選舉權者ヨリ成リ、毎年市長候補者タルヘキ二名ノ參事會員及市執行官 (sheriff) 其ノ他ノ市吏員ヲ選舉ス

三 首都市會 (The Metropolitan Borough Council)

- (一) 區域 一八九九年倫敦行政法ハ倫敦中央市ヲ除ケル倫敦行政縣ヲ二十八ノ首都市 (Metropolitan Borough) ニ分割セリ

是等首都市ノ區域ハ同法別表ヲ以テ定メラレシカ爾後勅令ヲ以テ多少ノ境界變更ヲ爲シタリ

- (二) 組織 各首都市會ハ市長一名、市會議員 (Councillor) 三十名乃至六十名、議員總數ノ六分ノ一ノ參事會員ヨリ成ル市會議員ノ任期ハ三年ニシテ參事會員ノ任期ハ六年トス、參事會員ハ議員ノ互選ニ依リテ決ス

第二節 縣會、中央市會及首都市會ノ職務權限

第一項 總 則

一 倫敦縣會

- (一) 倫敦縣會ヲ創設セル一八八八年地方行政法ハ左ノ職務權限ヲ縣會ニ移付セリ
- (1) 新ニ倫敦縣トナレル地域ニ於テ四期法廷判事ノ有セシ行政權
- (2) 首都工事務局ノ職務權限
前者ニ屬スル重ナル職務權限ハ

- (1) 地方稅ノ起定徵收
- (2) 縣建造物、土木工事其ノ他ノ財産管理
- (3) 音樂舞蹈ノ許可 (内大臣ノ職務執行補助)
- (4) 倫敦行政縣並チャーリングクロスヨリ十里以内ノ地域ニ於ケル競馬場設置許可
- (5) 貧窮精神病者收容所管理
- (6) 感化院實業學校橋梁道路管理
- (7) 毒蟲及度量衡ニ關スル法令ノ執行

後者ニ屬スル重ナル職務權限ハ

- (1) 下水道幹線
- (2) 建築取締
- (3) 新街路開設、道路改善
- (4) テームス河諸橋梁堤防
- (5) 公園空地
- (6) 軌道
- (7) 防火設備
- (8) 共同宿泊所
- (9) 公衆衛生保健
- (10) 獸疫取締
- (11) 起債並貸付

等ナリ

(二) 倫敦縣會ハ例外ノ場合ヲ除ク外一般縣會ト同一ナル職務權限ヲ有スルノミナラス特別ノ法令ニ依リ賦與セラレタル廣汎ナル權限ヲ有ス、然レドモ一般縣會ニ比シ權限ノ狹隘ナル點ニアリ曰ク

- (1) 縣會ハ主要道路ニ關シ權限ヲ有セス
- (2) 縣會ハ警察ニ關スル權限ヲ有セス、倫敦中央市ヲ除ケル倫敦行政縣警察權ハ內務大臣ニ屬シ中央市警察權ハ中央市會之ヲ行使ス

(三) 自治立法權。縣會ハ一八八二年自治團體法 (Municipal Corporation Act) ニ依リ倫敦縣ヲ有效ニ統轄管理シ且現行法令ニ從ヒ即決處分シ得サル不法行為 (Unlawful) ヲ防止スル爲條例規則ヲ設クル權限ヲ有ス、又多數ノ法令ニ基キ其ノ他ノ事項ニ付細則ヲ定ムルコトヲ得

二 倫敦中央市會

(一) 中央市會ノ權限ハ各種ノ特許狀 (Charter) 及法令ニ其ノ根據ヲ有ス。一八八八年地方行政法ハ四季會 (Quarter Session) ヲ成シ又ハ構成セサル裁判官ノ權限ヲ中央市會ニ移セリ。或種ノ權限トハ市カ人口一萬ヲ超過スル四季會市 (Quarter Sessions Borough) タル場合ニ於テ地方行政法其ノ他ノ法令ニ基キ市會ノ行使スヘキ權限ヲ謂フ、他ノ行政事項ニ關スル裁判官ノ權限ハ縣會ニ移付セラレタリ (例之音樂舞蹈許可) 中央市下水道委員會ハ一八九七年中央市下水道條令 (City of London Sewer Act) ニ依リ廢止セラレ其ノ權限ハ爾來中央市會ニ移レリ

(二) 自治立法權。中央市會ハ各種ノ單行法令ニ基キ條例制定權ヲ有ス、縣會ノ定メタル條例ハ中央市ニ及ハス但二三重要ナル例外アリ。一九〇七年倫敦中央市市區統一法 (City of London [Union of Parishes] Act) ニ依リ中央市會ハ中央市會ノ監視吏 (Overseer) トナレリ

三 首都市會

(三) 一八五五年首都管理法創設ノ教區委員 (Electorate Vestry) 及地方區會 (District Board) ハ倫敦行政法ニ依リ廢止セラレ其ノ職務權限ハ同一地域ヲ占ムル首都市會ニ讓渡セラレタリ
同法ハ又縣會ノ權限ノ一部ヲ割キテ之ヲ首都市會ニ移付セリ
同法ハ縣會及首都市會過半数ノ請求アルトキハ、保健大臣 (Minister of Health) ヲシテ假命令ヲ發シ縣會首都市會間ニ權限ノ相互讓渡ヲ爲サシメ得ル途ヲ開ケリ

(四) 自治立法權。首都市會ハ自治團體法ニ依リ其ノ疆域ヲ有效ニ統轄スル爲條例規則ヲ制定スル權限ヲ有ス但シ其ノ條例規則ハ縣會ノ定メタル自治法令ニ牴觸スルコトヲ得ス
其他ノ各種ノ法令ニ依リ種々ノ權限職務ヲ首都市會ニ附與セラレタルモ通常之等ノ權能ハ首都市ノ區域外ニ於テ行使スルヲ得ス

一八九九年倫敦行政法第十一條第一項ニ依リ各首都市會ハ其ノ區域内ニ存在スル教會區ノ監視吏タリ

第二項 各種ノ重要ナル職務權限

縣會中央市會及首都市會ノ有スル重要ナル職務權限ニ付テハ以下號ヲ分チテ論述ス

一 教 育 (Education)

倫敦縣會ハ倫敦行政縣全域ノ教育機關トス(一九〇三年倫敦教育法)其ノ職務權限ノ行使ハ法令ニ依ル教育委員會ニ依ルモノトス。縣會ハ教育ニ關スル各種ノ法律(一九二一年教育法ニヨリ統一セラル)ニ基キ地方機關トシテノ總テノ職務權限ヲ有ス

首都市會及中央市會ハ其ノ管轄區域内ニ存在スル小學校ニ付、地方稅ヲ以テ維持セラルルモノタルト否トヲ問ハス其ノ理事者ノ一部ヲ任命ス

二 保 健 (Public Health)

(一) 權限ノ分配 縣會ハ倫敦行政縣全域ニ對スル主要ナル保健機關タリ但シ中央市ノ區域ニ於テハ其ノ權限著シク限定セラル

倫敦保健事務ノ一部ハ縣會ニ依リ直接行ハレ他ハ首都市會及中央市會ニ於テ之ヲ行フ、首都市會ノ保健行政ニ關シ縣會ハ或種ノ監督權ヲ有ス。但シ中央市會ニ關シテハ極メテ狹隘ナル監督權ヲ有スルニ過キス。換言スレハ中央市會及首都

市會ハ一八九一年倫敦保健法ヲ施行スル機關ナレトモ、同法ニ依リ縣會ノ定メタル細則ハ中央市ニ及ハス

(二) 代 執 行 一八九一年倫敦保健法第百條及第百一條ハ特ニ注意ヲ要ス

不法行爲ノ除去、處分ノ開始、細則ノ施行ニ關スル首都市會ノ懈怠ニ付充分ナル心證ヲ得タルトキハ縣會ハ代執行ヲ爲シ所要費用ヲ徵收スルコトヲ得(第百條)

縣會ハ首都市會ノ懈怠ニ付衛生大臣ニ不服ヲ申立ツルコトヲ得、衛生大臣ハ期間ヲ定メテ履行ヲ命シ若シ期間内ニ履行セサルトキハ縣會ヲシテ代執行セシムルコトヲ得、而シテ其ノ費用ヲ支辨スル爲衛生大臣ノ許可ヲ受ケ新稅又ハ地方債ヲ起スコトヲ得(第百一條)

中央市會ノ懈怠アリタルトキハ、衛生大臣ハ首都市會ノ懈怠ニ付縣會ノ有スル權限ヲ自ラ行使スルコトヲ得(第百三十條)

(三) 保 健 吏 員 一八八八年ノ法律ニ依リ縣會ハ一名以上ノ保健官 (Medical officer of Health) ヲ任命ス。一八九一年

倫敦保健法第百六條及第百七條ニ依リ中央市會及首都市會ハ保健衛生検査官 (Medical officer of Health and Sanitary) ヲ任命スルコトヲ要ス、同法第百八條ニ依リ縣會ハ保健衛生検査官ノ給料ノ半額ヲ支拂フ

縣會ハ首都市會又ハ中央市會カ衛生保健検査官ノ所定人員ヲ任命セサルトキハ之ヲ衛生大臣ニ申告スルコトヲ得、衛生大臣ハ申告ニ基キ關係機關ニ對シ不足人員補充ヲ命スルコトヲ得

(四) 保健事務 縣會、中央市會及首都市會ノ保健事務ハ左ノ三種ニ分設スルコトヲ得

(a) 附近地帯ニ關スルモノ

(b) 傳染病豫防撲滅ニ關スルモノ

(c) 倫敦港衛生機關トシテノ中央市會ノ權限ニ關スルモノ

(A) 附近地帯ニ關スルモノ

附近地帯ニ關スル職務權限ハ下水道ノ管理、不法行為ノ防止、有害營業屠場其ノ他ニ付キ存ス

(I) 下水道ノ管理

(1) 下水道ノ幹線ノ管理 縣會ハ倫敦工務局ノ事務ヲ引繼キタルヲ以テ、倫敦行政縣全域ニ於ケル下水道幹線ヲ直接管理スル職務ヲ有ス

一八五五年首都管理法及爾後ノ諸法令ニ基キ主要ナル下水道ハ總テ縣會ノ管理ニ委託セラル、而シテ縣會ハ此下水道及主要下水道トシテ編入シタルモノヲ維持スル義務ヲ負フ、倫敦ノ擴張ニ伴ヒ行政縣外ニ於ケル地域ヲ主要下水道地帯ニ編入スヘキ必要増大シツツアリ、又若干地域ハ既ニ地方的立法及縣會トノ協定ニ依リ編入セラレタルモノアリ

縣會ハ主要下水道築造ノ爲土地收用權ヲ有シ且所屬下水道ノ保護並侵害防止ノ爲廣大ナル權能ヲ附與セラル。縣會ハ主要下水道排水口築造ノ爲縣外ニ工場ヲ有ス

(2) 地方下水道ノ管理 地方下水道ハ首都市會及中央市會ノ管理ニ屬スト雖、中央市内ノモノヲ除キ總テ縣會ノ監督ニ屬ス。中央市外ニ於ケル地方下水道ノ新造ハ縣會ノ認可ヲ要ス縣會ハ地方下水道ノ掃除修繕及其ノ附屬器具ニ付規則ヲ設クルコトヲ得首都市會ハ之ヲ遵守スルコトヲ要ス

地方下水道ハ縣會ノ同意アルニ非サレハ倫敦行政縣内ニ在ル一切ノ下水道幹線ニ連接スルコトヲ得ス

(II) 不法行為ノ防止其ノ他

倫敦行政縣内ニ於ケル不法行為ノ除去ハ主トシテ首都市會及中央市會ノ權限ニ屬ス、然レトモ縣會ハ首都市會ノ權限外ニアル不法行為ノ除去ニ付規則ヲ設クル權限アリ、詳言スレハ危害物件、下水溜厠抗ノ移轉及汚物ノ處分等ニ

關シ細則ヲ設クルコトヲ得、縣會ハ汚物ノ處分ニ關シ首都市會ノ釀シタル不法行為ノ結果ヲ除去スル爲主務大臣ノ指揮ヲ請フコトヲ得、縣會ノ定ムル規則ハ首都市會之ヲ執行ス

縣會ハ有害營業ノ經營ニ關シ細則ヲ設ケ且衛生大臣ノ同意ヲ得テ一定ノ營業ヲ有害營業ト認定スルニトヲ得

縣會ハ屠場其ノ他ヲ許可シ檢閲シ且中央市外ニ付之ニ有スル細則ヲ定ムルコトヲ得

傳染病ノ豫防撲滅

(B) 傳染病ノ豫防撲滅及其ノ類似事項ニ關スル職務權限ハ縣會中央市會及首都市會ト分屬ス然レトモ分配ニ關シ明確ナル標準アルニアラス

一八九一年倫敦保健法ニ依ル傳染病患者ノ隔離、傳染病ノ豫防及家屋衣服ノ消毒其ノ他ニ關スル權限ハ首都市會及中央市會之ヲ行使ス同法ニ依リ衛生大臣ハ一八七五年公衆保健法第百三十四條ノ傳染病豫防規則制定權ヲ倫敦ニ對シ行使スルコトヲ得、然レトモ一八九三年縣會一般權限法 (General Powers Act of the County Council) ハ上述ノ規則ニ基ク權限ヲ衛生大臣ヨリ縣會ニ移讓シ得ル途ヲ開ケリ

縣會ハ衛生大臣ノ同意ヲ經、強制届出ヲ要スヘキ傳染病ノ種類ヲ増加スル權能ヲ有ス、而シテ本條ハ倫敦行政縣全域ニ行ハル (倫敦保健法第五十六條第六項)

一九一三年公衆保健法ニ基キ衛生大臣ノ定メタル規則ニ依リ縣會及中央市會ハ花柳病治療ニ關スル設備ヲナスコトヲ要ス

一九二一年結核豫防法ニ依リ縣會及縣市會ハ結核治療ニ關スル適當ナル設備ヲ爲スコトヲ要ス
同法ニ基ク縣會ノ權能ハ倫敦行政縣全域ニ及フ。同法ノ規定ニ從ヒ首都救療局ハ結核患者ヲ自己ノ經營スル病院ニ收容スル爲縣ト協定スル權限ヲ有ス

中央市會及首都市會ハ一九一五年出生届出法 (Notification of Births Act) 及一九一八年母子扶助法 (Maternity and Child Welfare Act) ニ基キ母子ノ幸福ヲ増進スヘキ機關タリ、然レトモ一九二一年教育法及一九〇七年縣會一般權限法ニ依リ縣會ハ兒童ノ診察治療ヲナス權限ヲ有ス縣會ハ一九〇二乃至一九一八年產婆法ニ基ク監督機關タリ而シテ特別法令ニ從ヒ產婆教習ヲ爲ス、縣會ハ又一九〇八年兒童法ニ基キ兒童ノ住居ニ供スル房屋ヲ検査スル權限ヲ有ス首都市會及中央市會ハ一九一七年人體清潔法 (Cleansing of Persons Act) 及浴場及洗濯業法 (Baths And Washhouses Act) ヲ施行スル機關タリ

一九二〇年盲人法 (The Blind Persons Act) ニ依リ縣會及中央市會ハ其ノ疆域内ニ定住スル盲人ノ幸福ヲ増進スル爲衛生大臣ノ必要ト認ムル設備ヲ爲ス義務ヲ負フ

首都市會及中央市會ハ保健視察官 (Health Visitor) ヲ任命ス、保健視察官ノ給料ノ半額ハ縣會之ヲ支辨ス首都市會及中央市會ハ倫敦保健法ニ基ク機關トシテ病院ヲ經營スル一般の權能ヲ有ス、縣會ハ中央市外ニ於テ傷病者運搬事務ヲ經營スルコトヲ得

獸疫法 (Diseases of Animals Act) ニ基キ農務大臣ノ發スル命令ハ中央市内ニ於テハ市會其ノ他ノ地域ニ於テハ縣會之ヲ行使ス然レトモ一九一八六九年獸疫法 (Contagious Diseases [Animals] Act) ニ依リ中央市會ハ家畜ノ輸入ニ關シテハ倫敦ニ於ケル唯一ノ機關タリ而シテ同法ニ基ク義務ヲ履行スル爲デプトフォード家畜市場ヲ設置セリ

(C) 倫敦港衛生機關

中央市會ハ倫敦港衛生機關ナリ (一九一一年倫敦保健法第百十一條)

同法ニ於テ倫敦港トハ稅關管轄區域ヲ謂ヒ、其ノ區域ハ一八八三年八月十日大藏省令ヲ以テ之ヲ定ム。同區域内ニ存在スル船舶ハ倫敦港衛生機關ノ管轄ニ屬スルモノニシテ、船長ハ家屋ノ占有者ト同一ノ取扱ヲ受ク

倫敦港衛生機關ハ衛生大臣ノ同意ヲ得其ノ權限ノ一部ヲ河川衛生機關 (Riparian Sanitary Authority) ニ委任スルコトヲ得

倫敦港衛生機關ノ權限ハ一九一二年三月地方政務省令ニ依リ定マル、該命令ハ特ニ不法行爲、不良食料品、傳染病及病院ニ關スル一九一一年ノ法律ニ基キ各種ノ衛生機關カ行使スヘキ權限ヲ倫敦港衛生機關ニ移セリ、同機關ハ又倫敦港内ニ於テ煙害ニ關スル法律第二十三條ヲ施行ス

III 住宅 (Housing)

(一) 一九一〇年乃至一九二一年住宅法ニ基ク地方機關ノ職務權限ハ倫敦行政縣ニ於テハ種々ノ方法ニ依リ分配セラレ閉鎖命令其ノ他ノ方法ニ依リ私人家屋ニ付法定ノ改築強制ヲ命スルハ首都市會及中央市會ナリ一九一〇年住宅法第二章ニ基ク改築計畫 (Reconstruction Scheme) ハ首都市會及中央市會之ヲ計畫ス然レトモ改築計畫ノ執行ハ縣會單獨ニ又ハ首都縣會ニ具申ノ上首都市會ニ於テ之ヲ爲ス。一九一〇年住宅法第一章ニ基ク改善計畫 (Improvement Scheme) ハ倫敦縣ニ在リテハ縣會中央市ニ在リテハ中央市會之ヲ計畫ス、然レトモ縣會又ハ中央市會ニ屬スル保健官ノ提案ニ依ルコトヲ得一九一〇年住宅法第三章ニ基ク新築家屋供給計畫ハ縣會中央市會又ハ首都市會ノ何レニ依リ計畫スルモ可ナリ。一九一一年ノ法律第四十一條ハ是等機關ノ權限ヲ定ム。即チ縣會ハ倫敦行政縣ヨリ倫敦中央市ヲ除ケル全部ヲ專屬管轄區域トシ、首都市會ハ首都市ヲ專屬管轄トシ各自其ノ地域ニ於テ他機關ノ權限行使ヲ排除ス

(二) 衛生大臣ハ一九一〇年ノ法律第二章ニ基ク首都市會ノ權限ヲ縣會ニ移シ、或ハ縣會ノ權限ヲ首都市會ニ移スコトヲ得。而シテ縣會中央市會ハ住宅計畫ヲ實現シ又ハ之ニ要シタル費用ヲ賦課スル爲協同スルコトヲ得

(三) 縣會ハ衛生大臣ノ同意ヲ得テ特定首都市會ノ管轄區域内ノ土地ヲ開發シ他ノ地域ノ需要ヲ充足スルコトヲ得縣會ハ倫敦行政縣全域ニ付一九一〇年小住宅取得法 (Small Dwellings Acquisition Act) ヲ施行スル地方機關タリ。然レ

トモ中央市會及首都市會ハ議決ヲ以テ同法ヲ繼受スルコトヲ得。此ノ場合ニ於テハ中央市會及首都市會ハ自己ノ地域ヲ排他的ニ管轄ス

縣會ハ住宅法中都市計畫ニ關スル規定ヲ施行スル爲倫敦行政縣全域ヲ管轄ス

- (四) 縣會ハ共同宿泊所 (Common Lodging House) 及船員宿泊所 (Seamen's Lodging House) ノ許可取締ニ關スル細則ヲ設クルコトヲ得。中央市ニ於テハ之等ノ事務ハ中央市會ノ管掌スル所ナリ。下宿屋又ハ長屋トスル目的ヲ以テ賃貸借セララル家屋ノ取締ニ關シ首都市會ノ有セシ權限ハ一九一九年住宅法ニ依リ縣會ニ移サレタリ縣會及中央市會ハ細則ヲ設クル權ヲ有ス

- (五) 一八九一年倫敦保健法ハ地下室ヲ住居ノ用ニ供スル場合ニ付種々ノ規定ヲナセリ、首都市會及中央市會之ヲ執行ス瘋癲其ノ他ノ精神の缺陷 (Lunacy and Mental Deficiency)

一八九〇年瘋癲法 (Lunacy Act) ニ從ヒ縣會及中央市會ハ各倫敦縣及中央市ヲ管轄ス、然レトモ縣會ハ一九一三年精神缺陷法 (Mental Deficiency Act) ニ依リ倫敦行政縣全部ニ對スル機關タリ

五 道路橋梁堤防 (Streets, Bridges and Embankment)

- (一) 道路 主要道路ハ一八八八年地方行政法ニ依リ縣會ノ管理ニ屬セシカ一八九九年倫敦行政法第六條ニ依リ首都市會ノ管理ニ移サレタリ中央市會及首都市會ハ現在其ノ疆域内ニ存在スル總テノ道路ヲ管理スル義務ヲ負フ但シ後述ノ如キ例外アリ

- (二) 橋梁 縣會ハ首都工事局ノ承繼者トシテテームス河ノ諸橋梁及中央市外ノ墜道 (鐵道用ノ橋梁及墜道ヲ除ク) ヲ維持改善スル義務ヲ負フ
中央市會ハ橋梁家屋土地ノ受託者トシテ中央市外ニ通スルテームス河ノ諸橋梁ヲ維持改善ス

縣會ハ治安判事ノ承繼者トシテ縣内ノ凡テノ橋梁ヲ維持改善ス

- (三) 堤防 縣會ハ各種ノ特別法令ニ基キビクトリア堤防其ノ他ノ堤防ヲ管理シ、倫敦行政縣全域ノ洪水ヲ豫防スル爲必要ナル設備ヲナス義務ヲ負フ

- (四) 開設擴張變更 一八九四年倫敦建築法ニ依レハ新ニ道路ヲ開設セムトスル場合ハ縣會ノ許可ヲ要ス、而シテ縣會ノ設ケタル道路開設ニ關スル細則ノ效力ハ倫敦行政縣全域ニ及フ

縣會ハ首都管理法其ノ他ノ法令ニ依リ賦與セラレタル權限ニ基キ自ラ街路ノ擴張其ノ他ノ改善ヲ爲スコトヲ得。首都市會ハ首都管理法ニ基キ縣會ノ認可ヲ得テ街路ノ擴張變更其ノ他ノ改善ヲ爲スコトヲ得

中央市内ニ於テハ中央市會ハ下水道管理委員會ノ承繼者トシテ類似ノ權限ヲ有ス但シ其ノ權限行使ハ縣會ノ認可ヲ要セス但シ縣會ノ細則ヲ遵守スヘキハ勿論ナリ

一八一七年ミケランゼロ、テーラー法 (Michael Angelo Taylor's Act) ニ依リ中央市會及首都市會モ亦道路ノ改善、取締障害物除去及土地收用ニ關シ廣大ナル權限ヲ有ス。然レドモ倫敦行政縣ニ於ケル改善計畫ノ大部分ハ特別法令ノ與フル權限ニ基キテ行ハル

- (五) 掃除舗石點燈 中央市會及首都市會ハ地方衛生機關タル地位ニ於テ其ノ疆域内ノ街路ヲ掃除シ又之ニ舗石及點燈スル義務ヲ負フ然レトモ縣會ハ其ノ管理ニ屬スルテームス河ノ特定ノ橋梁、縣内ノ橋梁及ビクトリヤ堤防ニ付上述ノ義務ヲ負フ

六 建築 (Buildings)

倫敦内ノ建築取締ニ關スル主要ナル現行法律ハ一八九四年倫敦建築法トス。同法ニ依リ縣會ハ倫敦行政縣全域ニ付建築ノ取締ヲナス主要ナル機關トス。縣會ハ建築一般ニ關シ細則ヲ設クル權限ヲ有ス

取締事務ヲ管掌スル者ハ建築監督官 (Superintending Architect) 及地方測量官 (District Surveyor) ニシテ總テ縣會ノ任命スル所ナリ。但シ中央市内ニ於ケル危害工作物取締權ハ中央市會ニ專屬ス。首都市會モ亦同法ニ基キ其ノ區域内ニ於テ多少ノ權限ヲ行使ス。

同法ニ關スル爭議ハ内務大臣測量官協會 (Surveyor's Institution) 及英國王室建築協會 (Royal Institute of British Architects) ヨリ各々選任セラレタル者ヲ以テ組織スル抗告裁判所 (Appeal Tribunal) ニ於テ之ヲ決定ス。但シ特別ノ目的ニ付テハ更ニ技師協會 (Institute of Civil Engineers) ノ任命スル者一名ヲ加フ。

七 消防 (Fire Protection)

縣會ハ一八六五年首都消防組法 (Metropolitan Fire Brigade Act) ニ基キ倫敦工事局ノ承繼者トシテ倫敦行政縣ニ於ケル唯一ノ防火機關ナリ。同法ニ基キ縣會ハ倫敦消防組ヲ組織ス。其ノ經費ハ主トシテ縣稅ヲ以テ支辨セラルルモ、一部ハ大藏大臣及火災保險會社ヨリノ交付金又ハ寄附金ヲ以テ之ニ充當ス。

縣會ハ特定ノ場合ニ於テ倫敦行政縣外ノ消防組ヲ雇傭シ且之カ爲其ノ所屬スル地方機關ト協定ヲナス權限ヲ有ス。縣會ハ他ノ各種ノ法令ニ基キ工場製造所劇場娛樂所ヲシテ非常口ヲ設ケシムル特別ノ權限ヲ有ス。

八 軌道其ノ他 (Tramways)

一八七〇年軌道法 (Tramway Act) ニ基キ縣會ハ中央市外ノ地域ヲ管轄シ中央市會ハ中央市ノ區域ヲ管轄ス。縣會ハ其ノ權限ヲ行使スル爲中央市外ノ軌道ノ殆ト全部ヲ買收セリ而シテ一八九六年買收軌道ニ依リ營業ヲ爲ス特別ノ權限ヲ得タリ。新ニ軌道ヲ布設スル場合ニ付テハ、縣會及中央市會ハ地方機關トシテ、二十八首都市會ハ道路機關 (Road Authority) トシテ國會定則 (Standing Orders of Both Houses of Parliament) 第二十二號ノ定ムル各自ノ地域ニ付拒否權 (Veto) ヲ有ス。縣會ハ特別法令ニ基キテムス河上ニ汽船ヲ運轉シ、テムス河底其ノ他ニ地下鐵道ヲ布設シ又ウール井ツチニ於テテ

ムス河ヲ横斷スル無賃渡船場ヲ經營スル權限ヲ有ス。

九 瓦斯及電氣 (Gas And Electricity)

一九二〇年瓦斯取締法 (Gas Regulation Act) ニ依リ縣會及中央市會ハ瓦斯並瓦斯計量器ヲ檢查スル爲瓦斯検査員ヲ任命スルコトヲ得。

縣會中央市會及首都市會ハ何レモ電燈法 (Electric Lighting Act) ノ施行ニ關スル事務ヲ管理ス、然レトモ縣會ハ特別法令ニ依リ管轄外トセラレタル地域ヲ除キ一般ニ監督權ヲ有ス。首都市會ハ一八五五年首都管理法ニ基キテ選舉セラレタル教區委員 (Vestries) 及地方區委員 (District Board) ノ承繼者トシテ各種ノ電氣事業ヲ營ムコトヲ得。教區委員及地方區委員ノ權限ハ假命令 (Provisional Order) ニ依リ賦與セラレタルモノナリ。

一方多數ノ法律ニ依リ (其ノ内重ナルモノハ一九〇八年倫敦電力供給法及ウエストミンスターケンシントン電力供給法ナリ) 首都區域内ニ於テ電氣事業ヲ經營スル特別會社及地方機關ハ種々ノ目的ヲ以テ聯合スルコトヲ得又縣會ハ特別會社ノ電氣事業ノ大部分ヲ買收スル爲上掲地方機關ニ代位スルコトナレリ。

從來電燈法及電力供給ニ關スル各種ノ特別法令ニ基キ縣會ノ有セシ地方債許可權ハ一九一九年電力供給法 (Electricity Supply Act) ニ依リ電力委員 (Electricity Commissioners) ノ手ニ移レリ。但シ同委員ハ此ノ認可權ヲ行使スル以前ニ於テ縣會ト協議スルコトヲ要ス。

同法ハ又電力委員ヲシテ電力區 (Electricity District) ヲ設ケ且之カ爲數個ノ地域ヲ結合スルコトヲ得シメタリ。最近電力委員ハ倫敦行政縣全域ト之ヲ圍繞スル地域ヲ結合シテ倫敦及隣接縣電力區 (London and Home Counties District) ヲ設置スルシトノ提案ヲナセリ。

十 市場 (Markets)

法律上倫敦縣會ニハ市場開設權ナシ、然レトモ一八九一年縣會一般權限ニ關スル法律ニ依リ「中央市會ノ所有ニ屬セサル市場」及「中央市會ノ監督ニ屬セサル市場設置權」其ノ他關係事項ニ付審査ヲ爲ス權限ヲ賦與セラレタリ

倫敦ニ於ケル主要市場ノ大多數ハ中央市會ノ所有ニ屬スルカ又ハ其ノ監督ニ服ス、之ニ關スル中央市會ノ權限ハ勅許狀又ハ特別法令ニ基ク、此ノ勅許狀ノ効力ハ政府カ中央市ヲ去ル七哩以内ノ地ニ於テ市場設置許可ヲナス權限ヲ失フニ在リト解セラル。倫敦家畜市場スピタフヰルド市場及デプトフアード市場ハ市外ニ於ケル主要ノ市場ニシテ市ノ所有スル所タリ首都市會ハ公有市場設置權ナシト雖ウールウヰツチ市會ハウールヰツチ地方會ノ承繼者トシテウールヰツチ内ニ市場ヲ有ス尙ホ倫敦行政縣内ニハ私有ノ市場アルコト勿論ナリ

十一 簡易食堂空地及公園 (Commons, Open Spaces and Parks)

倫敦縣會、中央市會及首都市會ハ何レモ一九〇六年空地法 (Open Spaces Act) 施行ニ關スル事務ヲ取扱フ縣會ハ一八六六年倫敦簡易食堂法 (Metropolitan Commons Act) ニ基キ中央市外ノ簡易食堂ヲ管理ス且簡易食堂維持上必要ナル手段ヲ採ルコトヲ得。縣會ハ倫敦行政縣外ニ在リテ而モ首都警察區内ニ存スル簡易食堂保護ノ爲寄附スルコトヲ得中央市會ハ一八七八年倫敦中央市空地法 (Corporation of London Open Space Act) ニ從ヒ倫敦行政縣外ニシテ而モ中央市境界ヨリ二十五哩以内ニ存在スル空地ヲ取得スル權限ヲ有ス

縣會及中央市會ハ特別法令ニ基キ數個ノ公園及空地ヲ取得シ又之ニ關スル各種ノ權限ヲ附與セラレタリ。勅許狀等ニ依リ土地買收權ヲ有スル中央市會ハ各種ノ土地ヲ所有シ若干ノモノハ中央市ヲ去ル頗ル遠キモノアリ

十二 警察 (Police)

倫敦ノ警察權ハ全ク内務大臣ニ專屬スルカ故ニ縣會ハ倫敦行政縣ノ如何ナル部分ニ就テモ警察權ヲ有セス然レトモ中央市會カ大藏大臣ヨリ補助金ヲ得テ維持監督セル市警察隊アリ。市警察委員 (Commissioner of the City Police) ハ内務大臣ノ

同意ヲ得テ中央市會之ヲ任命ス

十三 其ノ他ノ作用 (Miscellaneous Services)

前述各號以外ノ縣會中央市會及首都市會管理ニ屬スル事務多シ。就中度量衡法 (Weights and Measures Act) 店舗法 (Shop Act) 肥料糧秣法 (Fertilisers and Feeding Stuffs Act) 小貸地及分割法 (Small Holdings and Allotment Act) 牛乳販賣業法 (Milk and Dairies Act) 等ニ基クル作用ヲ舉クルコトヲ得ヘシ。縣會ハ又音樂及舞踏ノ興業ヲ許可シ並内大臣ノ (Lord Chamberlain) 管轄ニ屬セサル劇場ノ開設ヲ許可スル權限ヲ有ス。其ノ他縣會中央市會及首都市會ノ法令ニ基ク職務權限甚タ多シ。然レトモ之ヲ論述シ盡スハ到底短篇ノ能スル所ニアラス。又中央市ノ收入ヲ以テ支辨セラルル中央市會ノ法令ニ基カル作用ニ付テハ未タ論述シタルモノナシ。

第二節 首都救貧法ニ基ク諸機關

一 救貧委員會 (Boards of Guardians)

倫敦行政縣内ニハ二十八ノ救貧委員會アリ中央市ハ獨立ノ救貧法施行區域ヲナシ、其ノ他ノ地域ニ於ケル救貧法施行區域ハ概ネ首都市ノ區域ニ同シ。各委員會ノ員數ハ十八名乃至五十名ニシテ任期ハ三ケ年トス

倫敦救貧委員會ノ職務權限ハ他地方ニ於ケル救貧委員會ト實質上ノ差異ナシ。只首都救療局ノ存在ト首都貧民救濟基金 (Metropolitan Common Poor Fund) ノ運用トハ倫敦ニ特殊ノモノナリ

二 首都救療局 The Metropolitan Asylums Board

倫敦救療區ハ倫敦行政縣内ニ存在スル總テノ救貧聯合區及寺區ヨリ成ル但シ法學院 (Houses of Court) ハ之ヲ除ク。而シテ首都救療局ノ管轄ニ屬ス

首都救療局ハ一八六七年首都貧民救濟法ニ基キ衛生大臣ノ前身タル救貧法施行局(Poor Law Board)ニ依リ組織セラレタル者ニシテ、部員七十三名、内五十五名ハ縣内各救貧委員會ニ依リテ選舉セラレ任期三年トス。残り十八名ハ衛生大臣ノ任命ニ依ル

首都救療局ノ職務權限ハ營ニ救貧法ノ施行ノミナラス傳染病ノ一般施療、精神病者監護及肺結核治療ニモ關係ス。衛生大臣ハ一八九一年倫敦保健法ニ基キ傳染病ニ關スル自己ノ命令ヲ執行スル爲衛生機關ノ職務權限ヲ首都救療局ニ移ス命令ヲ發スルコトヲ得、救療局ハ又同法ニ基キ傳染病患者ヲ收容スル爲病院ヲ經營シ且患者運搬事業ヲ經營スルコトヲ得。尙一九一一年首都臨時救恤令(Metropolitan Casual Paupers Order)ニ從ヒ倫敦行政縣内ニ於ケル臨時收容所ヲ管理ス

三 學校區理事會 (Boards of Managers of School Districts)

一八四四年改正救貧法 (Poor Law Amendment Act) ハ一八六七年首都救貧法ニ依リ變更セラレ救貧法ニ基ク學校ヲ設置維持スル爲救貧法施行區ノ諸聯合區ヲ合併シテ學校區及其ノ管理局ヲ設クルコトヲ得シメタリ

學校區理事會ノ委員ノ一部ハ學校區ヲ構成スル救貧聯合區ノ救貧委員中ヨリ選出セラレ他ノ一部ハ衛生大臣之ヲ任命ス現在倫敦縣内ニ四學校區アリ即チ左ノ如シ

- (1) 中央倫敦學校區。倫敦中央市及サウスウソーク各寺區ヲ以テ構成ス
- (2) ケンシントン及チェルシー學校區。同名ノ寺區ヲ以テ構成ス
- (3) 北部サレー學校區。レヴィスハム及ワンヅウオースノ各寺區
- (4) 西部倫敦學校區。バデングトン フルハム ハンマースミス ウェストミンスター市各寺區

四 ポプラーステフニー救療區 (Poplar and Stepney Sick Asylum District)

一八六七年ノ法律ハ罹病貧民救療所ヲ維持スル爲救療區ノ設定ヲ許セリ。倫敦縣内ニ於テ之ニ屬スルモノハポプラーステ

フニー救療區アルノミ。理事會ハ十四名ヨリ成リ十二名ノ部員ハ兩救員聯合區ノ救貧委員ヨリ選任セラレ他ノ二名ハ衛生大臣之ヲ任命ス

五 課稅評價委員會 (The Assessment Committee)

課稅評價委員會ハ首都市會(倫敦中央市ニ在リテハ中央市會)又ハ救貧委員ニ依リテ選舉セララル六名乃至十二名ノ委員ヨリ成ル。而シテ一個ノ救貧聯合區カ全然一首都市内ニ在ルトキハ一八九九年倫敦行政法第十三條ニ從ヒ課稅評價委員ハ首都市會ニ於テ選舉シ救貧委員ノ選舉ニ依ラス。若シ首都市カ數個ノ聯合區ヨリ成ルトキハ首都市會ハ一個ノ委員會ノミヲ選定ス

倫敦行政縣内ニ存在スル課稅評價委員會ハ現在二十六ニシテ救貧委員會數ヨリ少シ。倫敦中央市聯合區ニ對スル課稅評價委員會ハ一九〇七年倫敦中央市教區聯合法ニ從ヒ中央市會之ヲ任命ス
倫敦ニ於ケル課稅ニ關スル主要ナル法律ハ一八六九年首都評價法 (Valuation Metropolis-Act) ナリ。
一八六九年ノ法律ニ依リ定メラレタル首都救療局書記ノ職務權限ハ一八八八年地方行政法第四十四條ニ依リ縣會書記ニ移付セラレタリ書記ハ毎年課稅機關ニ對シ倫敦行政縣内ニ於ケル評價表ヲ給付スヘキ義務ヲ負フ

第四節 其ノ他ノ機關

倫敦縣保險委員會、倫敦養老年金委員會及其ノ支部、中央失業防止局並地方窮乏委員會モ亦倫敦行政縣ニ於テ法令上ノ權能ヲ行使ス

倫敦保險委員會 (The County of London Insurance Committee)

倫敦保險委員會ハ一九一一年簡易保險法 (National Insurance Act) 第五十九條ニ基キ組織セラル。同委員會ハ倫敦行政縣

全域ノ爲選ハルモノニシテ現在四十名ノ委員ヲ有ス其ノ選任方法左ノ如シ。

十一名 縣内居住者ノ組織スル贊助會任命

十二名 贊助會選舉

九名 縣會任命(内一名ハ開業醫タルコト)

二名 地方醫師會任命

五名 衛生大臣任命

一名 被保險者ヲ代表スルモノニシテ贊助會ヲ代表セサル委員會ノ委員ニ依リ互選

保險委員會ハ衛生大臣ノ命令ニ基キ保險法施行ノ爲開業醫ト協定ス。委員會ハ結核療養所ヲ經營セシメ現在ハ肺結核療養義務ハ縣會ニ存ス

二 倫敦養老年金委員及其ノ支部 (The London Old Age Pensions Committee)

倫敦養老年金委員會ハ一九〇八年養老年金法 (Old Age Pension Act) 及同法第四十條ニ基キ大藏大臣カ衛生大臣並遞信大臣ト共同シテ發スル命令ニ從ヒ任命セラル。現在ノ委員會ハ委員三十二名ヨリ成ル。委員ハ任期三年以下縣會ニ依リ任命セラレ其ノ一部ハ縣會議員タルコトヲ要ス。

委員會ハ支部ヲ置ク、支部委員ノ全部又ハ一部ハ本部ノ委員ナリ而シテ養老年金ニ關スル法律ノ施行ハ之等支部ノ管掌スル所トス。

各委員會支部ノ管轄區域ハ委員會ノ適當ト認ムル所ニ從ヒ一乃至數個ノ首都市ヲ含ム

三 中央失業防止局 (The Central [Unemployed] Body)

中央失業防止局ハ一九〇五年失業勞働者法 (Unemployed Workmen Act) ニ基キ地方政務省ノ命令ニ依リ設置セラル。同

局ハ縣會ノ任命スルモノ四名、倫敦中央市及ウエストミンスター市窮乏救濟委員會ノ任命スルモノ各四名、各首都市窮乏救濟委員會ノ任命スルモノ二名、衛生大臣ノ任命スルモノ八名、互選セラルルモノ八名ヲ以テ組織ス

中央失業防止局ハ地方窮乏委員會ノ行動ヲ監督シ又ハ之ニ代位シ且移民ヲ獎勵シ、臨時職業ヲ與ヘ、職業ヲ交換セシメ以テ失業ニ依ル窮乏ヲ救フ

第三章 倫敦ノ財政

各種機關ノ間ニ於ケル財政關係ハ複雜ナル點多シ。一八九四年倫敦地方稅均衡法 (Equalisation of Rates-London Act) 倫敦貧民救濟基金 (Metropolitan Common Poor Fund) 及救貧委員ニ與フル院内救恤金 (Indoor Pauper Grant) ハ倫敦行政縣ニ於ケル地方稅ヲ均等ナラシムル效果甚大ナリ

縣會ハ中央市會又ハ首都市會ノ施行スル各種ノ事業殊ニ道路改善ニ對シ補助金ヲ交付スル權限ヲ有ス。一方中央市會ハ縣會ノ直營スル特定事業ニ對シ寄附ヲナサス但シ他ノ事業ニ對シテハ爲スコトアリ

第一節 縣稅、普通稅及救貧稅

倫敦行政縣ニ於テ現實ニ租稅ヲ徵收スル機關ハ中央市會及首都市會ナリ。兩機關ハ各自ノ區域内ニ存在スル教會區ノ徵稅吏タル地位ニ於テ此ノ義務ヲ履行ス。徵稅吏トシテノ職務權限ハ一九〇七年倫敦中央教會區聯合區及一八九九年倫敦行政法ニ依リ兩機關ニ歸屬セシメラレタリ

倫敦中央市ニ於テハ普通稅ト救貧稅トハ各別個ノ租稅トシテ徵收セラル、然レトモ兩稅ハ同時ニ徵收シ又同一簿冊ニ記載スルコトヲ得。首都市ニ於テハ普通稅ト救貧稅トハ包括シテ徵セラル、即普通稅ノ名義ヲ以テ而モ救貧稅ト同一方法ニ於テ徵收セラル。中央市會及首都市會ノ徵收スル各種ノ地方稅ハ可成一個ノ徵稅令書ニ記載シ且縣會、首都警察、中央業防止局、

首都水道局、救貧委員會ノ經費ニ充當サルヘキ税金ノ割合ヲ表示スヘキモノトス
 首都市會カ其ノ區域ノ特定部分ヨリ徵收スル特別税ハ普通税ト共ニ徵收セラル
 中央市會及首都市會ノ徵收スル税金ヨリ

(a) 中央市會又ハ首都市會ノ經費

(b) 中央市會並首都市會ニ對シ徵稅令書ヲ發スル權限アル諸機關ノ總徵稅額

ヲ支出ス。(b)ニ所謂徵稅令書ヲ發スル權限アル機關トハ(一)縣會(二)救貧委員會(其ノ徵稅令書ハ倫敦貧民救濟基金設置ノ爲
 衛生大臣カ救貧委員會自身ニ對シ發スル徵稅令書及首都救濟局カ救貧委員會ニ對シテ發スル徵稅令書ノ税金ヲ含ム)(三)警視總
 監(四)首都水道局(五)中央失業防止局ヲ謂フ

一九二一年地方機關徵稅法 (Local Authorities Financial Provisions Act) ハ首都市會カ徵稅義務ヲ懈怠シタル場合ノ救濟手段
 ヲ徵稅諸機關ニ與ヘタリ

第二節 倫敦普通地方機關ノ財政

一 倫敦縣會ノ財政

(一) 徵 稅 縣稅ヲ設定シ賦課徵收スル縣會ノ權限ハ一八八八年地方行政法一八九九年倫敦行政法ニ依リ適用セラレタ
 ル一八五二年及一八六六年縣稅法 (County Rates Act) ニ其ノ根據ヲ有ス。縣會ハ治安判事ノ承繼者トシテノ一定ノ稅率
 ニ從ヒ行政縣内ノ各寺區ニ課稅シ且徵稅吏タル首都市會、中央市會及インナーテンブル、ミッドルテンブルノ出納吏ニ
 對シ徵稅令書ヲ發ス。然レトモ一八八八年地方行政法第四十一條第三項ニ依リ縣會カ一定ノ目的ノ爲支出シタル費用ハ
 中央市ニ賦課スルコトヲ得サルニ至レリ。一定ノ目的ノ爲支出サレタル費用トハ同法公布ノ日ニ於テ中央市カ首都工事

局又ハミッドルセックス四季會ニ對シ納付スル義務ナカリシモノヲ謂フ。故ニ縣カ中央市ニ對シ發スル徵稅令書ハ只縣
 ノ一般の經費ニ關スルモノノミトス。中央市カ納付ノ義務ヲ有セサル經費ハ縣ノ特別經費ト稱ス

縣ノ特別經費ニ屬スルモノハ精神病院維持費、縣會直營ノ病者運搬費、不健康地域清潔費、縣ノ小橋梁維持費等ナリ。然レト
 モ縣會ノ權限ニ屬セサル事業ノ經費ニシテ縣ノ一般經費トセラルルモノアリ例之橋梁公園等ニ關スル經費ノ如シ

(二) 財 務 縣ノ財源ハ左記ノ如シ

(a) 各種ノ縣稅

(b) 大藏省ノ交付金及補助金

(c) 首都市ニ對スル貸付金利子

(d) 使用料

(e) 軌道其ノ他ノ事業收入

(f) 雜收入

此ノ收入ヨリ縣會カ法令上ノ義務ヲ履行スル爲要スル費用ヲ支出ス以下注意ヲ要スル事項ノ二三ヲ說述スヘシ

(イ) 大藏省補助金ノ支出ハ他ノ縣ニ於ケルト同シ只首都警察官廳ニ對スル支出(大藏大臣直接ニ支出ス)ハ他縣ニ於ケル
 地方警察官廳ニ對スル支出ニ該當ス

縣會ハ地方行政法第二十六條ニ依リ行政縣内ノ救貧官 (Poor Law Officer) ノ費用ヲ支辨スル義務ヲ免除セラレタリ。縣會
 ハ此ノ義務免除ヲ受ケタル代償トシテ同法第四十三條ニ從ヒ縣内聯合區救貧委員ニ一定金額ヲ支拂ハサルヘカラス、其
 ノ一定金額トハ救貧官ノ手當醫療其ノ他治療器械代及「一八八八年三月二十五日ニ至ル五會計年度ノ間收容セラレタル
 貧民ノ平均數ニ從ヒ各救貧委員ニ支拂フヘキ救恤費」ノ代償トシテ縣會カ支出スヘキモノト衛生大臣ノ認定シタル金額

ヲ謂フ。

二五二 (二八)

(口) 縣會ハ首都市會其ノ他縣内ノ地方機關ニ對シ貸付ヲナス權ヲ有ス首都市會カ其ノ權限行使ノ爲ナシタル起債ノ許可機關ハ縣會ニシテ衛生大臣ニアラス。然レトモ電氣事業ノ起債許可權ハ一九一九年電力供給法ニ依リ縣會ヨリ電氣委員ニ移サレタリ

(ハ) 一八九四年倫敦地方稅均衡法ニ依リ設ケラレタル均稅基金 (Equalisation Fund) ハ縣會ノ管理ニ屬ス

同法ニ基キ縣會ハ毎年縣ノ擔稅額一磅ニ付六片ヲ徵收シテ均稅基金ヲ作り又半年毎ニ各寺區ニ對スル課稅金額及交付金額ヲ決定ス。課稅金額ハ擔稅力ニ從ツテ割當テ交付金額ハ人口ニ從ツテ割當ツ。若シ課稅金額交付金額ヨリ大ナル時ハ其ノ差額ハ均等稅 (Equalisation Charge) トシテ各寺區ヨリ之ヲ徵收ス。反之課稅金額交付金額ヨリ小ナルトキハ其ノ差額ハ眞正交付金トシテ均稅基金中ヨリ各寺區ノ衛生機關ニ支給ス。眞正交付金ハ一旦各寺區ノ人口ニ比例シテ割當テ、先ツ一八九一年倫敦保健法ニ基ク衛生機關ノ經費ニ充當セラレ、尙ホ殘金アルトキハ街燈費及道路費ニ流用ス。換言スレハ均稅基金ハ縣内衛生機關ノ經費及「物價變動人口密度ノ如何ニ依リ各地域カ均等ノ利益ヲ受ケサル地方事業費」ヲ或程度迄衡平ナラシムル目的ヲ以テ設ケラレタルモノナリ

(ニ) 一九一九年住宅法ニ基ク大藏省補助金ハ縣會ニ對シテ支拂ヒ現實ニ家屋供給計畫ヲ執行スヘキ首都市會ニ對シ支拂フニ非ス。此ノ補助金ハ家屋供給計畫執行ニ依リ生シタル損失補填ノ爲用キラル。但シ一九二一年住宅法ニ基キ縣會カ首都市會ニ對シテナス支出ハ衛生大臣ノ發スル命令ニ從フ。之カ爲首都市會ノ不相當ナル出費ハ其ノ市會ノ負擔トナリ倫敦全體ノ負擔トナル虞ナシ

(三) 起債 起債權ニ就テハ倫敦縣會ハ特別ノ地位ヲ有ス。倫敦縣會ハ他ノ縣會ノ如ク其ノ起債ニ付衛生大臣ノ許可ヲ受クル要ナシ、然レトモ毎年豫算ヲ以テ議會ノ協賛ヲ受クルコトヲ要ス縣會ノ起債監督ニ關シテ大藏大臣ハ衛生大臣ニ代位ス

縣會カ起債ヲ爲スニハ債券 (Stock) 證券 (Bill) ノ發行及擔保付借入 (Loan by Mortgage) ノ方法ニ依ル

尙ホ大藏大臣ノ許可ヲ得六ヶ月ヲ超エサル期間ヲ以テ一時借入 (Temporary Loan) ヲナスコトヲ得

二 倫敦中央市會ノ財政

中央市會ハ莫大ナル財産ヲ有シ其ノ收益ハ各種ノ事業ニ用キラル。中央市會ノ起債權ヲ制限スヘキ一般的法律ナシ、只特別法令ニ基ク借入權ヲ行使スルニハ諸種ノ制限アリ、中央市會ノ徵收スル稅ハ普通稅及救貧稅ニシテ中央市會カ其ノ權限ヲ行使スル爲ノ費用及他機關ヨリ割當ラレタル負擔金ヲ之ヨリ支出ス

三 首都市會ノ財政

首都市會ノ徵收スル稅ハ只一種ノミ普通稅之ナリ普通稅ハ首都市自體ノ經費ノ外他機關ヨリ割當ラレタル負擔金ニ充當スル目的ヲ以テ徵收セラル。

起債權ハ縣會ノ許可ヲ得タル時ニ限り行使スルコトヲ得。只例外トシテ特定ノ場合ニハ衛生大臣ノ許可ヲ得テ借入ヲ爲スコトアリ。縣會カ許可ヲ與ヘサル場合及首都市會ノ肯セサル條件ヲ付シタルトキハ衛生大臣ニ訴願スルコトヲ得

第三節 倫敦特別地方機關ノ財政

一 救貧委員會ノ財政

委員會ハ救貧委員ノ費用ニ充當スル爲中央市會及首都市會ニ對シ徵稅令書ヲ發ス此ノ徵稅令書ニハ首都救療局ニ依リ救貧救貧委員會自身ニ割當テラレタル負擔金ヲモ包含ス。然レトモ首都貧民救濟基金ハ最近一九二一年ノ地方機關財政法ニ依リ増額セラレタルヲ以テ行政縣内各救貧聯合區ノ經費ノ大部分 (八割乃至九割) ヲ均等ニシ且此ノ經費ヲ倫敦全般ノ負擔トナサシムル效果アリ。貧民救濟基金ハ一八六七年首都貧民救濟法ニ依リ設置セラレタルモノニシテ衛生大臣ノ管理ニ屬

ス。救済基金ニ關スル普通ノ手續ハ次ノ如シ
(1) 救済委員ハ三月三十一日及九月三十日ニ終ル兩會計期ニ於テ所定ノ形式ヲ具備セル證書ヲ作成ス其ノ證書ニハ基金費途ノ款項ヲ明記ス。

- (2) 明細書ハ會計検査官 (Auditor) ニ提出ソノ證明ヲ受ク
 - (3) 請求書ハ衛生大臣ニ提出ス。衛生大臣ハ之ヲ基金管理官 (Receiver of the Fund) ニ廻送シテ審査セシム
 - (4) 基金ノ爲ニスル徵稅總額明カトナリタルトキハ縣ノ擔稅額一磅ニ付幾許ノ稅率ニナスヘキカヲ算出ス。此ノ稅率カ基金ノ爲ニスル徵稅總額及縣ノ擔稅總額ノ如何ニ依リ變動スルハ當然ナリ
 - (5) 上記計算書ニ依リ定マリタル稅率ニ基キ各聯合區ノ納付スヘキ稅額ヲ算シ衛生大臣ハ之ヲ各聯合區ニ告知ス
 - (6) 基金ノ爲ニスル徵稅額ト各聯合區ノ請求額トノ差額ヲ個別的ニ算出ス
 - (7) 衛生大臣ハ納付金額ニ滿タサル請求ヲ爲シタル救済委員會ニ對シ徵稅令書ヲ發シ其ノ差額ヲ英蘭銀行ノ基金管理官ニ支拂フヘキ旨ヲ命ス。此ノ支拂アリタルトキハ衛生大臣ハ管理官ニ對シ納付金額ニ超ユル請求ヲ爲シタル聯合區ニ其ノ差額ヲ支拂フヘキ旨ヲ命ス
- 院内救恤費、醫療費、救済官ノ給料手當、貧窮學童ノ給養費其ノ他ノ經費ニ充當スル爲一日一志三片宛基金ヨリ支出セラ。一九二二年地方機關財政法ハ上記ノ費途項目ニ院外救恤費ヲ附加セリ。

二 首都救療局ノ財政

首都救療局ノ經費ハ聯合區及「首都救療區内ノ獨立教會區」ニ於ケル救済委員會ニ依リ支辨セラル。經費ハ法令ニ依リ二大別セラル

(イ) 經常費

(ロ) 救療所ニ收容サレタル特定人ニ關スル費用例之其ノ衣食料ノ如シ

第一ノ經費ハ聯合區ノ擔稅能力ニ基キ（一八六七年倫敦貧民法第三十一條及一八九一年倫敦保險法第四百條）救済委員ニ對シ納稅命令書ヲ發シテ徵收シ、第二ノ經費ハ被收容者ヲ出シタル聯合區ノ救済委員會ニ依リ支辨セラル（一八六七年法律第三十二條及一八九一年法律第八十條）

第二ノ經費ハ實質上倫敦貧民救済基金ヨリ支出セラル（一八六七年法律第六十九條及一八九一年法律第八十條）之レ恰モ救済官ノ給料手當及傳染病患者ノ爲ニスル馬車建築物等ニ關スル費用カ救済基金中ヨリ支出セラルルカ如シ。然レトモ一九一六年非常地方行政法 (Local Government Finance Provision Act) 第七條ノ規定ニ依レハ救療局委員ノ一切ノ費用ハ救済基金ヨリ支出スルコトヲ得スシテ恰モ一八六七年倫敦貧民法第三十一條ノ費用換言スレハ經常費ト同一ニ取扱ハルヘキモノナリ其ノ結果兩種ノ經費ニ充當スヘキ基金ハ聯合區及救療區内ノ獨立寺區ノ擔稅力ヲ標準トスル納稅命令書ニ依リ獲得セラル。而シテ一九一六年ノ法律第七條ハ倫敦貧民救済基金ニ依リテ行フ均稅ヨリモ一層通俗的ナル均稅ヲ爲サムトスルニ在リ。同條ハ一九一六年ノ法律ニ從ヒ衛生大臣ノ發スル命令ヨリ一九二二年九月一日迄其ノ效力ヲ存續セシメラレタリ

三 學校區及救療區ノ財政

兩區ヲ管轄スル機關ノ經費モ二種ニ分タレ同シク首都救療局ノ支出スル所トス。然レトモ一九一六年非常地方行政法第七條ハ只救療局ニ適用セラルルノミニシテ學校區理事會及救療區理事會ニ及ハス。從テ之等兩機關ノ經費徵收方法ハ一九一六年前ニ於ケル倫敦救療理事會 (Metropolitan Asylum Managers) ニ類似ス

四 倫敦保險委員會ノ財政

本會ノ經費ハ各種ノ保險法ニ基キ保險基金ヨリ支出セラル。此ノ保險基金ハ雇人被保險者ノ出捐及大藏大臣「九分ノ二」ノ法令上ノ交付金ヲ以テ成立ス。尙ホ醫療費トシテ毎年議會ノ協賛スル補助金ハ亦大藏大臣ノ支辨スル所ナリ

五 倫敦養老年金委員會ノ財政

本會ノ經費ハ總テ大藏大臣之ヲ負擔ス

六 中央失業防止局

本局ノ經費ノ一部ハ義捐金(Voluntary Contribution)ヨリ支出セラレ他ノ一部ハ中央市會及首都市會カ本局ノ請求ニ基キ其ノ擔稅力ヲ標準トシテ其ノ普通稅ヨリ充當ス。但シ地方機關ノ出捐ハ半片又ハ衛生大臣ノ認可シ得ル之以上ノ稅率ヲ超ユルコトヲ得ス。本局カ法令上ノ一般的事項ノ爲要シタル費用ハ嘗テ大藏省補助金ヲ以テ支辨セラレシモ今ハ此事ナシ、尙現在中央市會及首都市會ノ出捐ナルモノモ存在セス

第四章 倫敦行政縣ノ内外ニ亘リ管轄權ヲ行使スル諸機關

既述諸地方機關中ノ或者ハ倫敦行政縣外ニ於テモ其ノ權限ヲ行使スルコトアリ。例之倫敦中央市會カ倫敦港衛生機關トシテ遠クテムス河下流ノ地ニ付テ權限ヲ行使シ、中央市會及倫敦縣會ハ共ニ倫敦行政縣外ニ跨ル空地ニ關スル諸種ノ權限ヲ有シ、縣會ノ下水道幹線管理區域ハ特別法令ニ依リ縣外ニ擴張セラレ、縣會及中央市會ハ一八九〇年住宅法第三章ニ基ク權限ヲ縣外ニ於テモ行使シ得ルカ如シ

然レトモ以上ノ外間接又ハ直接ニ倫敦縣ノ全部又ハ一部ト其ノ境界外ノ一定地域トヲ管轄スル極メテ重要ナル機關アリ。内務大臣、警視總監、倫敦水道局、倫敦港務部、テムス河管理局及リー河管理局之アリ。

一 内務大臣及警視總監

(一) 警察權。倫敦縣會ハ他ノ縣會ト異リ直接間接縣内ニ於テ警察權ヲ行使スルコトナシ。中央市警察ハ獨立ニシテ中央市會ニ屬ス。然レトモ其ノ他ノ地域及首都警察區ノ全部ニ於ケル警察權ハ内務大臣之ヲ有シ警視總監及警察財務總長内務大臣ヲ代用シテ現實ニ行動ス

(二) 區 域。首都警察區ハ倫敦中央市ヲ除外シタル倫敦縣、ミッドルセックス縣、クロイドンイーストハム、ウエストハムノ各縣市及チャーリングクロスヨリ十五哩ヲ半徑トスル區域内ニ在ル、サレハハーツ、エセックス、ケントノ諸縣内ノ寺區等ニシテ勅令ノ指定シタル地域ヨリ成ル。警察區ハ一八二九年首都警察法(Metropolitan Police Act)ニ依リ初メテ設ケラレタルモノナリ

一八三九年首都警察法第二條ニ依レハ中央刑事裁判所管轄區域内ノ地(ロンドン中央市ヲ除ク)及チャーリングクロスヨリ直道十五哩以内ニ在ル寺區、町等ハ勅令ヲ以テ倫敦警察區ニ編入スルコトヲ得ヘシ

(三) 財 政。倫敦警察區ノ經費ノ一部ハ地方稅ヲ以テ支辨セラレ他ノ一部ハ大藏省ノ負擔ニ屬ス。經費中ノ特定部分ハ大藏省租稅決算ニ於テ控除額トナルヘキ各種ノ地方稅ニ依リテ間接ニ填補セラレ、大藏大臣ハ直接警視總監ニ拂渡ス。此ノ金額ハ元來縣會ニ歸屬スヘカリシモノナリ。警視總監ハ一八二九年法律第二三條ニ基キ警察區内ノ各寺徵稅吏(首都ニ於テハ首都市會)ニ對シ特定金額ノ支拂ヲ命スル權ヲ有ス、其ノ特定金額ハ結局地方稅トシテ徵收セラル。徵收額ニ關シ法令上ノ制限アリシモ一九一九年ノ警察法ニ依リ廢止セラレタリ

二 首都水道局 (The Metropolitan Water Board)

(一) 法 規。首都水道局ハ一九〇二年首都水道法(Metropolitan Water Act)ニ依リ組織セラレタルモノニシテ、左記八水道會社ノ事業ヲ買收シ實行スルコトヲ目的トス

- 1.) The New River Company.
- 2.) The East London Water Works Company.
- 3.) The Southwark and Vauxhall Water Company.
- 4.) The West Middlesex Water Works Company.
- 5.) The Lambeth Water Works Company.
- 6.) The Chelsea Water Works Company.
- 7.) The Grand Junction Water Works Company.
- 8.) The Kent Water Works Company.

尚ホ此ノ外トツテンハム及エンフィールド町會ノ水道工事ヲモ買收實行セムトスルモノナリ

(二) 區 域。首都水道局カ給水スル區域ハ約五百三十平方哩ナリ。即チ北ハウエヤー地方區ヨリ東南ハセブンオークス地方區、西南ハエッシャーニ至ル地域ナリ

此ノ區劃ハ他ノ行政上ノ目的ヲ以テ定メラレタル區劃ノ何レニモ合致セス、實質ニ於テハ一九〇二年ニ合同セラレタル水道工事ノ施行區ニ同シ。然レトモクロイドン及リチモンドノ兩縣市チエシヤント及ウエヤー兩地方區ハ嘗テ水道局ノ區域ヨリ除外セラレ而モ多量ノ給水ヲ受ケシモノナリ。前掲諸會社ノ給水區域外ニ在リテ而モ事實上給水ヲ受ケタル二寺區ハ水道局ノ區域ニ編入セラレタリ現在水道局ノ給水スルハ倫敦全部、エセックスノ十六寺區、ハートフォードシャイアーノ九寺區セントノ三十九寺區、ミッドルセックスノ二十三寺區及サレーノ二十四寺區ナリ

(三) 組 織。首都水道局ハ六十六名ノ部員ヨリ成ル。局長及副局長ハ局ノ内外ヲ問ハス選任スルコトヲ得、有給タルコトヲ得ベク任期三年ナリ。部員ノ選任方法次ノ如シ

十四名。倫敦縣會選任

五名。ケント、エセックス、ミッドルセックス、サレー及ハートフォードシャイアー諸縣會各一名宛選任

四名。倫敦中央市及ウエストミンスター市各二名宛選任

二名。ウエストハム市會選任

一名。イーストハム市會選任

二十七名。首都市會二十七ノ選任

四名。リートン、ワルサムストウ、トツテンハム、ウヰルズデンノ諸地方區各一名選任

七名。市及地方區諸聯合ノ選任

二名。テームス河管理局、リール河管理局各一名宛選任

(四) 職務權限。水道局ノ職務ハ前掲區域ニ對シ給水スルニ在リ、水道局ハテームス及リールノ各河川及其ノ支流並水道局ノ所有ニ屬スル井泉ヨリ採水ス

(五) 財 政。水道局固有ノ財源ハ水道局カ法令上ノ權限ニ基キテ需水者ヨリ徵收スル使用料ナレトモ一事業年度ニ於ケル缺損額ハ給水區域ノ擔稅力ニ比例シ之ヲ賦課ス(水道局ニハ此ノ給水區域ノ機關代表者タル部員アリ)

一九〇八年及一九〇九年ニ至ル迄ハ缺損填補稅ヲ課スルノ要ナカリシカ最近其ノ必要ヲ生セリ一九二一年ニ至リ議會ハ「水道局カ最高ノ使用料ヲ徵收スルモ尙缺損ヲ蒙ルコトナクシテ事業ヲ經營スルコト能ハス」トノ確證ニ基キ使用料ノ最高限度ヲ騰メ、同時ニ會計年度終了シテ現實ノ缺損額明白トナラサルモ豫メ缺損額ヲ見積リ各種ノ徵稅機關ニ對シ之ヲ賦課シ得ル旨ヲ規定セリ。倫敦行政縣ニ於テハ水道局ハ其ノ缺損ヲ填補スル目的ヲ以テ中央市會及首都市會ニ對シ徵稅令書ヲ發ス

三、倫敦港務部 (The Port of London Authority)

- (一) 法 規。倫敦港務部ハ一九〇八年倫敦港ノ管理及改善ノ爲倫敦港法 (Port of London Act) ニ依リ設置セラレタルモノニシテ之ニ關スル現行法ハ一九二〇年倫敦港統一法 (Port of London Consolidation Act) ナリ當初港務ハロンドンインデア船渠會社、サレー商業船渠會社、ミルウォール船渠會社ノ事業ヲ買收セシカ尙類似ノ事業ヲ收用スル權限ヲ有ス

(二) 區 域。倫敦港ノ陸上境界 (Landward limit) テデングトン寺區トトウイックンハム寺區トカミツドルセツクス堤防上ニテ隣接スル地點ニ於テテームス河ヲ横斷スル線ニシテ、海上境界 (Seaward limit) ハエセツクスノハーペンゴール陝口トシエビー島ノワーデンポイントヲ結付ケタル線ナリ倫敦港ノ區域ハテームス河ノ何レノ河岸ニ於テモ陸上境界線ヨリ海上境界線ニ至ル部分ヲ意味シ且此ノ區域内ニ存在スル總テノ島嶼、河川、陝口、水流、運河、港津、船渠其ノ他ノ地域ヲ包含ス。但シメツドウエー河管理局ノ管理區域ヲ明示スル海上境界線ニ至ル迄ノメツドウエー河ノ部分、スウオール河全部、リー河管理局ノ管轄區域ニ屬スルリー河、又ハボウ陝口ノ部分及グランドジャンクシヨン運河ノ全部ヲ包含セスリー河及ボウ陝口ノ下流ハ港務ノ管轄ニ屬ス。テームス河ノ本流及倫敦縣ノ西部境界線ニ至ル迄ノ其ノ支流ハ河水汚穢豫防ニ關聯スル目的ヲ以テ港務部ノ管轄ニ屬ス

(三) 組 織。港務部構成部員左ノ如シ

- (1) 選舉ニ依ル部員十八名。内十七名ハ使用料支拂者揚場所有者者船船所有者選舉、一名ハ揚場所有者選舉
 - (2) 任命ニ依ル部員十名。内一名ハ海軍省、二名ハ交通大臣、四名ハ縣會 (但シ二名ハ縣會議員他ノ二名ハ縣會議員ニ非サルコトヲ要ス) 二名ハ中央市會 (一名ハ市會議員タルコトヲ要ス) 一名ハ管船局ニ於テ選任ス
- 部長及次長ハ港務部之ヲ任命ス部長及次長ハ港務部員中ヨリ任命セラルルコトヲ要セス。港務部ハ部長次長及各委員長

俸給ヲ給スルコトヲ得。港務部員ノ任期ハ三年ニシテ三ヶ年目ノ四月一日ヲ以テ終了ス

(四) 職務權限。倫敦港域内ナルテームス河ヲ改善シ又港内ノ利便ヲ助長スル爲隨時必要ナル方法ヲ講スルニ在リ。而シテ之カ爲船渠其ノ他ノ事業ヲ買收經營シ、港内ニ於ケル貨物ノ揚卸寄託ヲ便ナラシメ又新ニ船渠揚場、棧橋等ヲ築造スルコトヲ得

上述一般職務ノ外港務部ハ浚渫障害物除去、河水汚穢豫防、揚場及棧橋ノ許可、水夫免許、信號所燈臺、繫船場許可登録等廣汎ナル權限ヲ有ス

(五) 財 政。港務部ノ財源ハ、關稅、噸稅、船舶通行稅、貨物ニ關スル各種ノ勞務所得稅 (例之波止場料荷卸料)、船渠ヲ使用スル船舶ニ對スル課稅、免許料登録料ナリ

港務部ハ毎年歲入出豫算ヲ交通大臣ニ提出スルヲ要シ若シ交通大臣缺損ヲ生スヘシト認ムルトキハ (又前年度缺損ヲ發見スルトキハ) 課稅ヲ増額スヘキ旨ヲ命スルコトヲ得但シ法令ノ制限ヲ超過スルトキハ假命令ヲ要ス

港務部ノ會計ハ毎年交通大臣ノ任命スル會計検査官之ヲ審査ス

港務部ハ其ノ職務ヲ行フ爲港債券 (Port Stock) ノ發行又ハ交通大臣ノ指定スル方法ニ依リ起債ヲ爲スコトヲ得、一回ノ借入金額ハ一九〇八年ニ所有權ヲ移轉シタル船渠ノ買入ヲ目的トシテ發行セル債券總額ヲ超過スルコト一千萬磅以上ナルコトヲ得ス

四、テームス河管理局 (The Thames Conservancy Board)

- (一) 區 域。管轄區域ハウイルトシヤイアーノクリツクレード町ヨリテディングトンロツクノ直下倫敦港ノ海上境界線ニ至ル地域ニシテ、リーディングニ於ケルケンネット河ノ一小部分ヲ含ム。河水汚穢豫防ノ爲ニハ管轄權上掲地域内ニ於テテームス河本流ニ合スル諸支流ニ及フ。一九〇八年ニ至ル迄管理局ハグレーン島ニ達スル下流地域ヲ管轄セシカ

同年テディングトン以南ニ關スル權限ハ議會ニ於テ倫敦港務部ニ移サレタリ

(二) 組織。テームス河管理局ハ任期三年ノ部員二十八名ヨリ成ル。局長ハ任期一年ニシテ部員中ヨリ選舉セラル。部員任命方法次ノ如シ

- (1) 商務省四名
 - (2) 倫敦港務部一名
 - (3) 倫敦縣會三名、中央市會二名
 - (4) 關係六縣會各一名、聯合縣會一名
 - (5) 各市會五名
 - (6) 市及地方區ノ聯合會其ノ他ノ地方區聯合會四名
 - (7) 首都水道局二名
- (三) 職務權限。管理局ノ職務ハテームス河ノ航行ヲ取締リ改善シ且河水ノ汚穢ヲ防止スルニ在リ。尙附屬的權限トシテハ運河浚渫、障害物除去、信號所建設及航行ニ關スル細則ノ強行ヲ司ル
- (四) 財政。管理局ノ主要財源左ノ如シ
- (1) 首都水道局其ノ他特定ノ水道機關カ引水ノ爲支拂フ料金
 - (2) 商品、船舶、遊覽船ニ對スル通行稅
 - (3) 遊覽船登陸料
 - (4) 河床砂礫賣却代金

一九二一年議會ハ管理局ノ財源不充分ナリト認メ五ケ年間引水料金ヲ増額シ且噸稅及登錄料ノ最高限度ヲ高メタリ

五 リー河管理局 (The Lee Conservancy Board)

(一) 區域。リー河管理局ハエリサバス女帝時代ヨリ一九二一年ニ至ル迄ニ制定發布セラレタル十四種ノ法令ニ基礎ヲ有ス其ノ區域ハリー河本流中ベッドフォードシャーヨリボー陝口ニ至ル部分(七十哩)及部リー河支流ヲ管轄ス

(二) 組織。管理局ハ選舉又ハ任命ニ依ル議員十五名ヨリ成ル任期ハ三年トス

- (1) 倫敦縣會二名、倫敦中央市會一名
- (2) 首都水道局二名
- (3) 關係縣並縣市ヨリ各一名
- (4) 特定地方機關四名
- (5) 船舶所有者一名

(三) 職務權限。管理局ノ職務ハ本流支流ニ於ケル河水汚穢豫防本流航行ノ一般的取締及之等ノ水流ニ於ケル漁業取締ナリ

(四) 財政。管理局ノ收入財源左ノ如シ

- (1) 河川航行稅
- (2) 免許料
- (3) 首都水道局カ採水費及採水保護費トシテ支拂フ料金

一九二一年管理局ハ從來ノ航行稅ノ限度ヲ高メ且首都水道局ノ支拂フ料金ヲ倍額トスヘキコトヲ議會ニ請願セサルヘカラサルニ至レリ。一九二〇年管理局ハリー河水源池ニ於ケル洪水ヲ防止スル爲一定金額ヲ支出スルコトヲ許サレタリ此ノ金額ハ管理局ノ通常財源ヨリ支出セララルニ非スシテ利害關係地域ノ地方機關ヨリ徵收スルモノナリ

附

一 中央刑事裁判所管轄區 (The Central Criminal Court District) 中央刑事裁判所ハ次ノ地域内ニ於ケル犯罪ヲ管轄ス

(1) 倫敦中央市

(2) 中央市ヲ除キタル倫敦行政縣

(3) ミッドルセツクス縣

(4) ハートフオードシャイアー縣中管テミッドルセツクスニ屬セシ部分

(5) サレー縣中六寺區

(6) エセツクス縣中十寺區

(7) ケント縣中一村

上記ノ境域ハ一八三四年中央刑事裁判所法第二條ニ明定セラレタルモノナリ。此ノ疆域ヲ擴張セムトスルトキハ議會ノ協賛ヲ經タル法律ヲ以テスルコトヲ要ス然レトモ冬季巡回裁判及春季巡回裁判ノ爲十一月、十二月、一月、三月、四月、五月ノ間ハ勅令ヲ以テ隣接諸縣又ハ其ノ指定縣ノ一部ヲ編入スルコトヲ得

二 倫敦並隣接諸縣電力區 (The London and Home Counties Electricity District)

電力委員ハ電力區ヲ設クル爲數個ノ地域ヲ結合セシムル權限ヲ有ス。委員ハ一九一九年電力供給法ノ賦與セル權限ニ基キ倫敦行政縣及縣外ノ廣大ナル地域ヲ結合シテ倫敦並隣接諸縣電力區 (London and Home Counties Electricity) ヲ設置スヘシトノ提案ヲナセリ。此ノ提案ニ關スル法律審査會ハ既ニ開催セラレシモ其ノ報告書ハ未タ公表セラレス

三 倫敦行政縣ト縣外ニ在ル地方機關トノ關係

(一) 倫敦行政縣ヲ圍繞スル地域ニハ種々ノ地方機關アリ即チ縣會 (County Council) 縣市會 (County Borough Council) 市會 (Municipal Borough Council) 市街區會及地方區會 (Urban and Rural District Council) 救貧委員會 (Boards of Guardians)

(ian) 及寺區會 (Parish Council) 之ナリ。是等ノ機關ハ他地方ニ於ケル地方機關ト性質上ノ差異アルニ非ス只首都警察區内ニハ他ニ地方警察官廳ナク、地方機關ノ在來享有スヘキ權限中或種ノモノハ首都水道局ニ依リ制限セラレ、又利害關係ヲ有スル地方機關ノ協議其ノ他ノ方法ニ依リ或ル地域カ倫敦下水道幹線區 (London main drainage system) ニ編入セラルル場合倫敦縣會ニ依リ縣外地方機關ノ權限制限セララル等ノ點ニ於テ異ルノミ。以上數點ヲ除キテハ倫敦行政縣外ニ於ケル大倫敦内ノ地方機關ハ獨立自由ノ團體タリ。倫敦消防機關ハ縣會ノ同意ヲ得テ縣外ニ活動セシメ得ルモ固ヨリ之レ各個ノ場合ニ付協定スヘキ事項タリ、又縣會ハ隣接縣ノ軌道ヲ使用シ又ハ境界線ニ當ル地域ニ居住スル兒童ヲ自己ノ學校ニ收容スル爲當テ數回ノ協議ヲ重ネタルコトアルモ、之等ノ點ヲ除キテハ倫敦縣會ハ縣外ノ地ニ於テ何等權限ヲ行使スルコトヲ得ス

(二) 倫敦行政縣外ニ横ハル首都警察區域ニハ五縣、三縣市、七市、六十六市街區及十二地方區アリ之等ノ地方機關ハ特ニ其ノ權限ニ制限アルモノヲ除クノ外各其ノ種類ニ從ヒ教育保健道路建築電燈水道軌道住宅下水道等固有ノ權限ヲ行使セリ

四、倫敦行政縣ノ人口、面積及兩者ノ關係

區	劃	人 口 (一九二一年)	面 積		人 口 密 度	
			エーカー	平方哩	エーカー	平方哩
大 倫 敦	倫 敦	七、四六一、二六八	四、四三、四九	九三・九	一六・八	一〇、七六八
倫 敦	行 政 縣	四、四八三、二四九	七四、八五〇	一六・九	五九・九	三八、三四
倫 敦	中 央 市	一三、七〇六	六七八	一・〇五	二〇・三	一三、九四
バ ッ タ ー シ ー		一六七、六七九	二、二六三	三・三八	七七・五	四九、五八五
バ ー モ ン ド セ ー		一一九、四五五	一、五〇三	二・三五	七九・五	五〇、六八四

ベスナル、グリーン	一七、三八	七六〇	一・一九	一五四・二	九八、六五七
キャンバーウエル	二六七、三五	四四八〇	七・〇〇	五九・六	三八、一三三
チエルシ	六三、七〇〇	六六〇	一・〇三	九六・五	六、七四〇
デブトフオード	一二三、五〇〇	一、五六四	二・四四	七一・九	四六、〇〇三
フインスペリー	七六、〇一九	五八七	〇・九一	一二九・五	八、八五四
フルハム	一五七、九四四	一、七〇六	二・六六	九一・五	五九、一八二
グリーンウイッキ	一〇〇、四九三	三、八五九	六・〇三	二六・〇	一六、六三五
ハツクネー	二三、一五九	三、二八七	五・一四	六七・六	四三、二五〇
ハムマースミス	一三〇、二八七	二、二八七	三・五七	五五・〇	三六、四六八
ハムステッド	八六、〇八〇	二、二六五	三・五四	三八・〇	二四、三三二
ホルボーン	四二、七九六	四〇五	〇・六三	一〇五・七	六七、六二七
イスリントン	三三〇、〇二八	三、〇九二	四・八三	一〇六・八	六八、三三二
ケンシントン	一七五、六八六	二、二九〇	三・五八	七六・七	四九、〇七三
ラムベス	三〇二、九六〇	四、〇八三	六・三八	七四・二	四七、四七三
レウイスハム	一七四、一九四	七〇一五	一〇・九六	二四・八	一五、八六七
バツダングトン	一四四、二七三	一、三五七	二・一二	一〇六・四	六八、〇七四

ポブラー	一六二、六八八	二、三三一	三・六四	六九・八	四四、六五八
セント、メリルボーン	一〇四、二二三	一、四七三	二・三〇	七〇・八	四五、二九八
セント、バンクラス	二二〇、九八六	二、六九四	四・二二	七八・三	五〇、〇九六
シヨアーチツチ	一〇四、三〇八	六五八	一・〇二	一五八・五	一〇、一三四
サウスウワーク	一八四、三八八	一、一三二	一・七五	一六三・〇	一〇四、二七七
ステツブネー	二四九、七三六	一、七六七	二・七六	一四一・三	九〇、四〇四
ストーク、ニウイントン	五、一六七	八六三	一・三四	六〇・五	三八、七〇八
ワズウオース	三八、六五五	九、一〇七	一四・二三	三六・一	二三、〇九七
ウエストミンスター	一四一、三二七	二、五〇三	三・九一	五五・四	三六、〇八五
ウーイルウイッチ	一四、四〇三	八二八二	一二・九四	一六・九	一〇、八八三

